

# 武蔵園草田脚

埼玉県本庄市 南大通り線内遺跡発掘調査報告書

— 都市計画街路南大通り線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査II —



平成元年3月

本庄市教育委員会

# 武蔵国草田御

埼玉県本庄市 南大通り線内遺跡発掘調査報告書

— 都市計画街路南大通り線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査II —



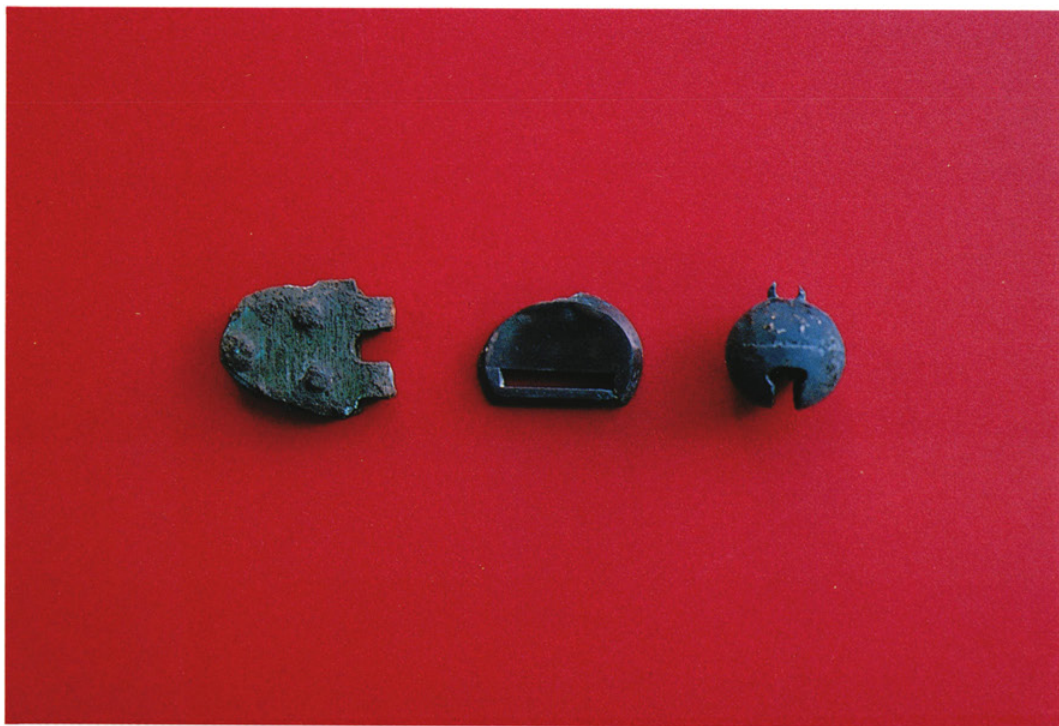
本庄市教育委員会





第51号住居址出土銘文紡錘車





第83号住居址出土帶金具(左)、第77号住居址出土帶金具(中)、第16A号住居址出土銅鈴(右)



第53号住居址出土土器群



## 序 文

都市計画街路南大通り線は、本庄市の経済動脈の一つとして、早期の全面開通が望まれています。この事業に先立ち、都市計画課より事業予定地内に所在する埋蔵文化財の保存問題について、本庄市教育委員会へ協議が提出されたのは、昭和59年度に遡ります。以来5カ年にわたり継続調査を実施し、報告書は第2冊目を刊行する運びとなりました。

この間に、重要な発見や貴重な資料の増加を見ましたが、平安時代の古文書に記録された、古代の村の名前「草田郷」の遺跡であることが判明したことも、その一つであります。これらの発見の間、元号は昭和から平成へと変り、新時代を迎えることになりました。これに鑑み、保存施設の建設や調査担当職員の充実等、多くの課題を目標に、鋭意努力している次第であります。

5カ年にわたる調査に際しては、発掘調査に従事された市民の皆様方、本庄市都市計画課の職員の皆様方に対し、御理解と御協力を得ることが出来、誠に感謝する次第であります。また、文化財保護事業が急増するさなか、作業に従事された社会教育課職員に対して、感謝の意を表しまして序文といたします。

平成元年3月25日

本 庄 市 教 育 委 員 会

教育長 坂 本 敬 信





## 例 言

1. 本書は本庄市教育委員会が昭和59年度から昭和61度に実施した都市計画街路南大通り線建設に伴う発掘調査報告書IIである。
2. 上記にかかる遺構編は、同発掘調査報告書Iとしてすでに刊行済みであり、本編は遺物編にあたる。
3. 調査の予算並びに事務は本庄市都市計画課で行ない、調査は本庄市教育委員会が実施した。調査の組織については第1章第3節に記したとおりである。
4. 本報告書の実測図、観察表の作成、浄書作業は、関根典子氏をはじめ本庄市埋蔵文化財センターの諸氏によるもので、かかる専門的調整と確認、製図、考察、編集は、遺跡の重要度を鑑み、文化財保護係である増田一裕が担当した。また、昭和62年度の発掘調査は下記の方々の協力を得ることができ、佐藤・井上両調査補助員の手をわずらわした。記して感謝します。

(昭和62年度土器実測・観察表執筆作業従事者)

関根 典子    久保田かづ子    津久井八重子    日向みどり    我妻きよみ    滝沢美智子

(昭和62年度発掘調査及び遺物整理作業従事者)

佐藤 好司    井上富美子(調査補助員)    荒井幸太郎    福島 芳夫    木村 三好  
笠原 春吉    萩原 秀子    井上 和哉    秋山 雅彦    関根 正樹    津久井由夏  
倉本 明彦    金子 大治    桑原 章    原 午三    亀田吉之助    新井 一恵  
三浦 イネ

5. 本報告書刊行に際して御指導と御協力をいただいた諸機関、諸氏については同報告書Iに記した方々と同様であるため、今回は割愛した。なお、土器の整理、考察に際しては児玉町教育委員会の鈴木徳雄氏より多大の御教示を賜った。ここに記して感謝する。
6. 本書に記載した実測図は、土器が $\frac{1}{4}$ 、その他遺物は $\frac{1}{2}$ とした。観察の記載凡例については第2章に記した。
7. 鉄器、石製品、土製品の実測及び製図は増田が担当した。

# 目 次

序 文  
例 言  
目 次

## 挿 図 目 次

第1章 調査の経緯と経過	1
第1節 遺跡の概要	1
第2節 調査の経緯と経過	2
第3節 調査の組織	2
第2章 遺 物	5
第1節 整理の内容	5
第2節 遺物の観察	6
第3章 考 察	127
第1節 重複状態を示す住居址の土器群について	127
第2節 鬼高式に伴う須恵器と土師器模倣品について	131
第3節 南大通り線内遺跡の変遷	135
あ と が き	142
写 真 図 版	

## 挿 図 目 次

第1図 南大通り線内遺跡の所在地	3
第2図 南大通り線内遺跡遺構配置図	4
第3図 第1号住居址、第2A号住居址、第2B号住居址出土土器実測図	63
第4図 第2B号住居址、第6号住居址出土土器実測図	64
第5図 第6号住居址出土土器実測図	65
第6図 第6号住居址、第8号住居址出土土器実測図	66
第7図 第9A号住居址、第9B号住居址出土土器実測図	67
第8図 第9B号住居址、第10号住居址出土土器実測図	68
第9図 第10号住居址、第11号住居址出土土器実測図	69
第10図 第11号住居址、第12号住居址出土土器実測図	70
第11図 第12号住居址出土甕類実測図	71
第12図 第12号住居址出土甕・甗類実測図	72

第13图	第12号住居址出土甗類実测图	73
第14图	第12号住居址出土埴類実测图	74
第15图	第12号住居址出土高坏類実测图	75
第16图	第12号住居址出土高坏類実测图	76
第17图	第12号住居址出土高坏類実测图	77
第18图	第12号住居址出土坏類実测图	78
第19图	第13号住居址、第14号住居址、第15号住居址出土土器実测图	79
第20图	第15号住居址出土土器実测图	80
第21图	第15号住居址、第16A号住居址出土土器実测图	81
第22图	第16A号住居址、第16B号住居址、第17号住居址、第18号住居址出土土器実测图	82
第23图	第18号住居址出土土器実测图	83
第24图	第19A号住居址、第19B号住居址出土土器実测图	84
第25图	第20号住居址出土土器実测图	85
第26图	第20号住居址出土土器実测图	86
第27图	第21号住居址、第22号住居址、第23号住居址、第24号住居址出土土器実测图	87
第28图	第24号住居址出土土器実测图	88
第29图	第24号住居址出土土器実测图	89
第30图	第25号住居址、第26号住居址出土土器実测图	90
第31图	第26号住居址出土土器実测图	91
第32图	第26号住居址、第27号住居址出土土器実测图	92
第33图	第28号住居址、第32号住居址、第34号住居址出土土器実测图	93
第34图	第36A号住居址出土土器実测图	94
第35图	第36A号住居址出土土器実测图	95
第36图	第36C号住居址、第37号住居址出土土器実测图	96
第37图	第38号住居址、第39号住居址、第40号住居址出土土器実测图	97
第38图	第41号住居址、第42号住居址出土土器実测图	98
第39图	第42号住居址、第43A号住居址出土土器実测图	99
第40图	第43A号住居址出土土器実测图	100
第41图	第43A号住居址、第43B号住居址、第44号住居址出土土器実测图	101
第42图	第45号住居址出土土器実测图	102
第43图	第48号住居址出土土器実测图	103
第44图	第48号住居址出土土器実测图	104
第45图	第48号住居址出土土器実测图	105
第46图	第48号住居址、第49号住居址、第50号住居址出土土器実测图	106
第47图	第51号住居址出土土器実测图	107
第48图	第51号住居址出土土器実测图	108

第49図	第53号住居出土土器実測図	109
第50図	第53号住居出土土器実測図	110
第51図	第58号住居址、第60A号住居址出土土器実測図	111
第52図	第60A号住居址出土土器実測図	112
第53図	第60A号住居址、第60B号住居址出土土器実測図	113
第54図	第61A号住居址出土土器実測図	114
第55図	第61A号住居址出土土器実測図	115
第56図	第62号住居址、第63号住居址、第64号土壇、第65号住居址出土土器実測図	116
第57図	第65号住居址、第66号住居址出土土器実測図	117
第58図	第67号住居址、第69号住居址、第71号住居址、第72号住居址出土土器実測図	118
第59図	第72号住居址出土土器実測図	119
第60図	第74号住居址、第75号住居址出土土器実測図	120
第61図	南大通り線内遺跡出土鉄器実測図	121
第62図	南大通り線内遺跡出土土錘実測図	122
第63図	南大通り線内遺跡出土土製品・石製品実測図	123
第64図	南大通り線内遺跡出土土製品・石製品実測図	124
第65図	南大通り線内遺跡出土縄文土器実測図	125
第66図	想定復原した第2、6、10号住居址の周堤重複状態	129
第67図	南大通り線内遺跡出土須恵器と陶器出土等須恵器の比較	131
第68図	和泉型高坏と中形高坏及びTK47型式無蓋高坏の比較	132
第69図	南大通り線内遺跡出土模倣土師器の類例	133
第70図	胴部下に最大径を持つ長胴甕の類例	136
第71図	社具路遺跡第49号住居址出土土器集成	138
第72図	夏目遺跡第47、48、49号住居址と出土土器	139
第73図	南大通り線内遺跡第83号住居址出土遺物	139
第74図	第2A号住居址出土墨書土器	140

# 第1章 調査の経緯と経過

## 第1節 遺跡の概要

南大通り線内遺跡は埼玉県本庄市栄三丁目2、4、5番地に所在する。本庄市の沿革や地理・歴史的環境については本報告書Iでふれているため、ここでは割愛するが、本遺跡周辺の環境について今少し詳細を述べる。本庄市は埼玉県の北西部に所在するが、種々の面において群馬県との関連性が高い。この内容は古代においても同様で、遺構や遺物によく反映されている。

古代史上の位置は秩父国造の勢力範囲と推定されているが、西方10kmの神流川を越えた群馬県藤岡市には緑野屯倉が所在しており、今回本遺跡で発見された「大田部」集団や、安閑紀に記録された武蔵国造とも関係する地域である。さらにその西方一帯には、七輿山古墳、白石稻荷山古墳、上野三碑等著名な遺跡が分布している（第1図上）。

一方、近隣に目を転じると、約2km南南西方に県内最古の鷲山古墳が位置している。また、南東方約1kmに所在する5世紀中葉の公卿塚古墳からは、国内でも数カ所のみ出土にとどまる、叩き目格子模様を持つ円筒埴輪が出土している。

古墳時代の集落跡は最も多い遺構の一つで群在する。本遺跡の周辺にも多くの集落跡が分布しており、これらを包括して『西富田遺跡群』と命名している。この内、北方に位置する西富田二本松遺跡や西富田遺跡は、昭和30年代に発掘調査が実施され、関東地方で最も早い時期に、住居址内に造り付けのカマドを導入されたことが確認され、学史的にも著名となった。現在、和泉Ⅱ式期に所属するカマドを持つ住居址の類例は、周辺で多く検出されている。

西富田遺跡群は南方に関越自動車道本庄・児玉インターチェンジが建設されたため、交通の便がよく、各種開発行為が急激に増加している。このため、東西1.5km、南北1.2kmの大規模な範囲であるにもかかわらず、道路建設や各種調査によりマクロなトレンチ状の発掘調査を実施したような状態になっており、比較的遺跡群としての内容が解明されつつある。

本遺跡群の特徴的な地理的条件は、現状で河川が南方の女堀川のみであると言う点にある。しかし微細な地形を観察すると、微低地や微高地が幾筋にも走っており、その一つは自然河道であることが金鑽大通り線内の発掘調査により判明している。これらの微低地は、いわゆる久上水グジョウミズと称される野水の流路にあたる。この野水はこの地域で特徴的な自然現象で、梅雨や夏期の長雨の後に周辺に滞水した水が沸き出すもので、流路部分のロームは粘土化が著しい。各遺跡の立地もこの流路により数グループに細分される。遺跡群の北限には久城堀が流水し、その以北は遺跡が所在しない。また、南限は女堀川で両水路間の微高地が西富田遺跡群の範囲と限定できる。

南大通り線内遺跡は遺跡群の南東部に所属する。近隣には北方の市立南小学校内の薬師遺跡。西方の金鑽大通り線内には社具路遺跡シヤクジが所在し、南大通り線内遺跡を包括した古墳時代の一集落と推定される。何れも和泉式期から国分式期に至る住居址が検出されており、これらを総称して「草田郷の遺跡」と命名されよう（第1図下）。

## 第2節 調査の経緯と経過

本遺跡の調査は昭和59年度よりはじまる。当初3カ年で全区間の発掘調査を完了予定であったが、未買収地が部分的に残存しており、発掘調査の工程もそのつど変更せざるを得ない状況が生じた。しかし、昭和62年度までに住居址82軒を検出しており、最終的に全工程を発掘調査完了後に整理作業を行ない、報告書を刊行するには多大な時間を要するため、発掘調査と並行して整理作業も年度ごとに実施してきた。当初の3カ年を過ぎた昭和62年度には「都市計画街路南大通り線内遺跡建設に伴う埋蔵文化財発掘調査Ⅰ」として遺構編を刊行し、特に重要な遺物については概報を兼ね報告するに至った。その後、多量に出土した土器の実測作業が急ピッチで進行し、本報告では遺構編で紹介した住居址の内、第1号住居址から第75号住居址までの遺物を遺物編として刊行する運びとなった。なお、残りの遺構・遺物については、全工程の調査完了後に報告書Ⅲとして調査編並びに研究編の刊行を予定している。

## 第3節 調査の組織

### 本庄市教育委員会

教 育 長	飯 島 彰	(昭和59年9月30日まで)
”	坂 本 敬 信	(昭和59年10月1日より)

### 社 会 教 育 課

課 長	戸 塚 克 男	(昭和61年3月31日まで)
”	荒 井 正 夫	(昭和61年4月1日より)
指 導 主 事	矢 崎 昭 夫	(昭和61年3月31日まで)
課 長 補 佐	長谷川 道 夫 (文化財保護係長兼務)	(昭和61年3月31日まで)
”	小 林 弘 子 ( ” )	(昭和61年4月1日より 昭和63年3月31日まで)

”	田 村 文 一 ( ” )	(昭和63年4月1日より)
---	---------------	---------------

主 任	長谷川 勇 (文化財保護係)
-----	----------------

主 事	増 田 一 裕 ( ” )
-----	---------------

”	中 田 啓 一 ( ” )	(昭和62年3月31日まで)
---	---------------	----------------

”	早 野 秀 一 ( ” )	(昭和62年4月1日より)
---	---------------	---------------

主 事	齊 藤 みゆき (庶 務 担 当)	(昭和61年4月1日より)
-----	-------------------	---------------

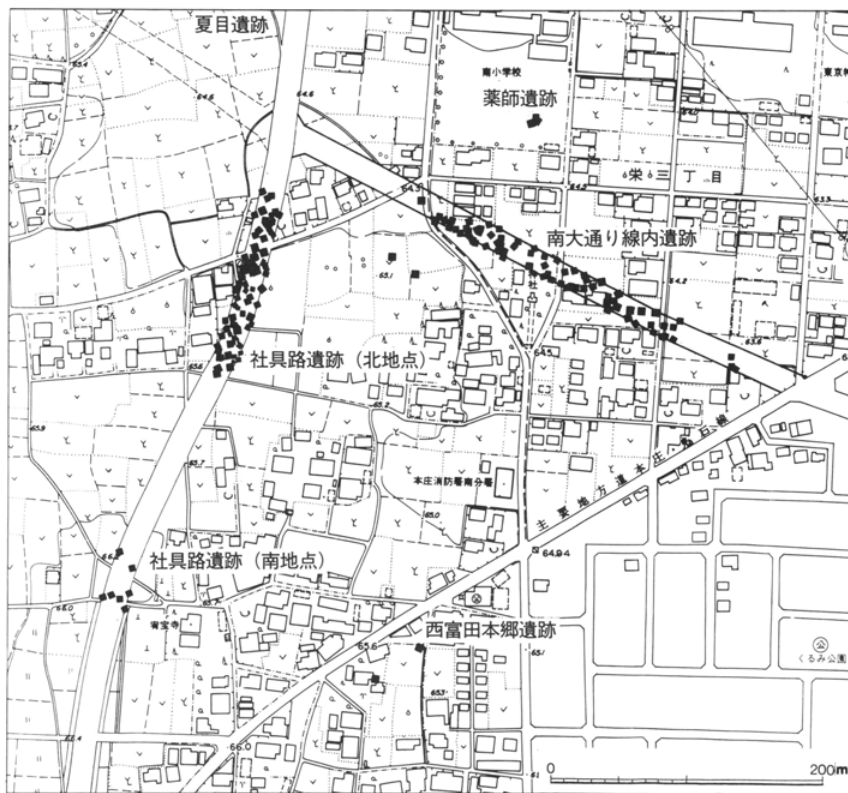
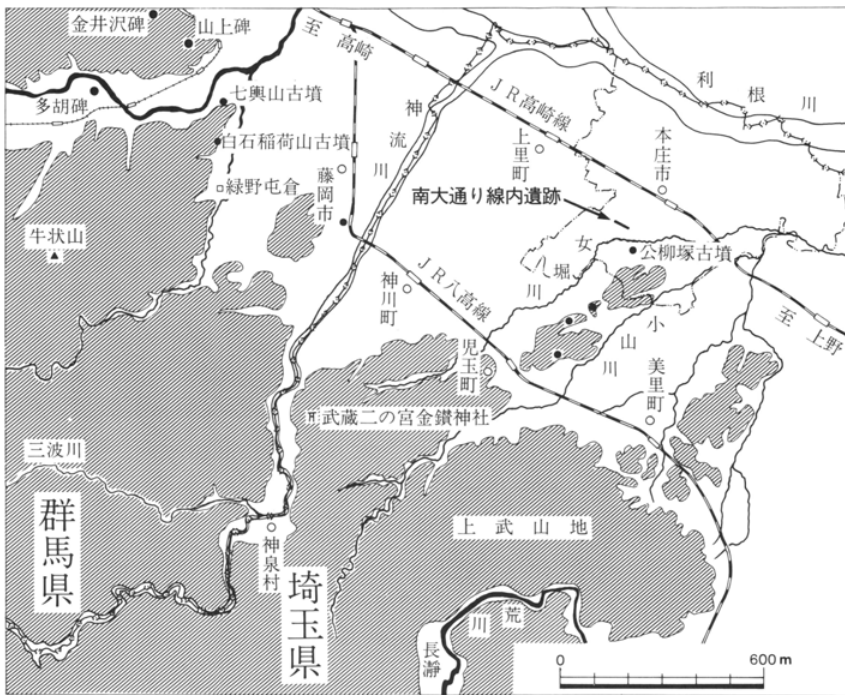
調 査 担 当	増 田 一 裕
---------	---------

調 査 補 助 員	矢 内 勲 (第3次調査・現埼玉県神泉村文化財保護係)
-----------	-----------------------------

”	佐 藤 好 司 (第4次調査)
---	-----------------

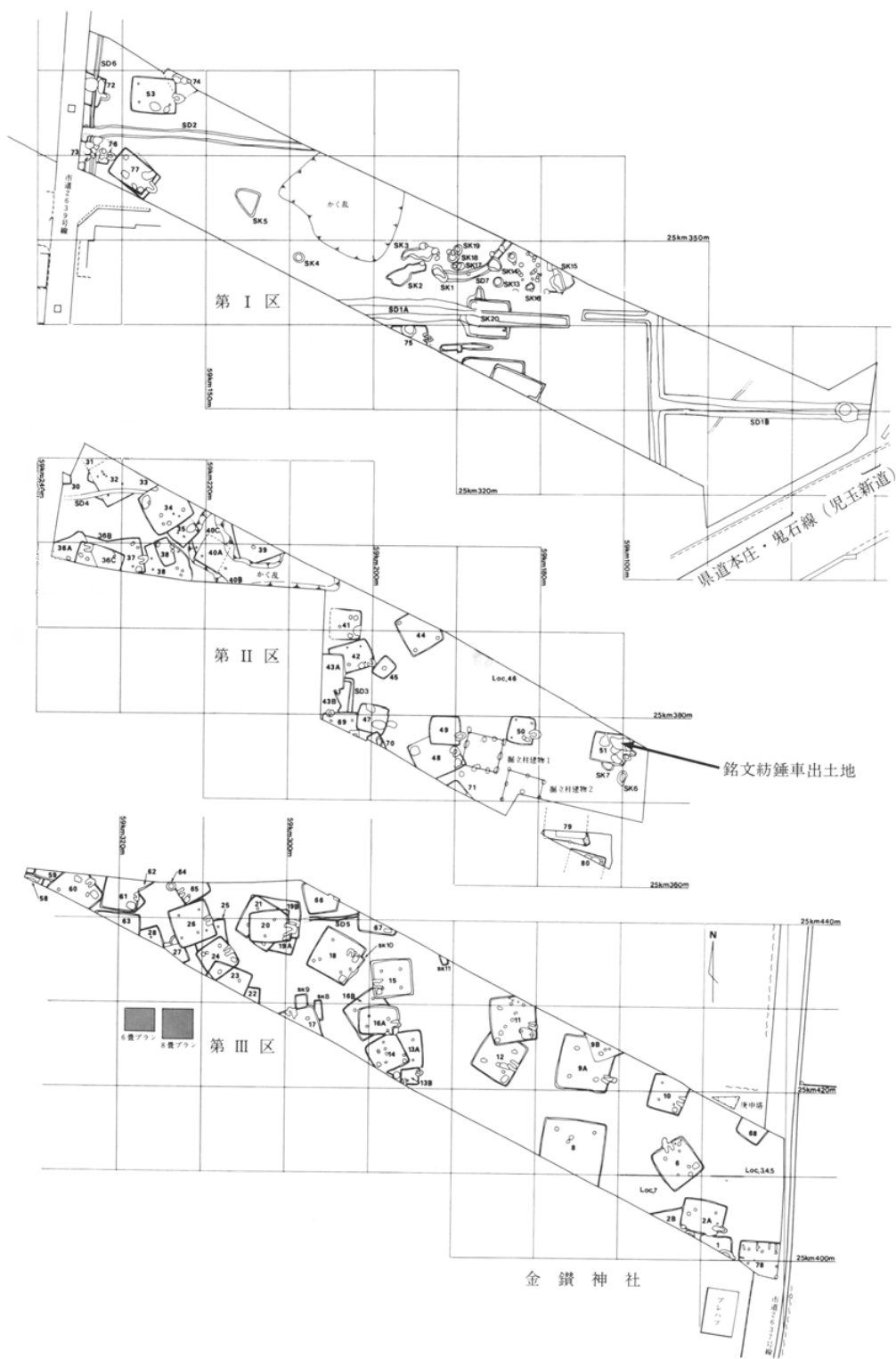
”	井 上 富 美 子 ( ” )
---	-----------------

調 査 作 業 員	(故)茂木秀敏、笠本源一、荒井幸太郎、関根典子、他本庄市民の方々
-----------	----------------------------------



第1図 南大通り線内遺跡の所在地 (上、位置図 下、周辺の遺跡分布図)





第2図 南大通り線内遺跡遺構配置図

## 第2章 遺物

### 第1節 整理の内容

本遺跡の発掘調査は、昭和59年度より継続中である。この内、昭和61年度までに実施した調査範囲内の遺構については報告書Ⅰでふれた。したがって、遺物編として刊行した本報告書に記載されている遺物は、現在までに完了しているすべてのものを包括したものではない。発掘調査の方法は前節でも述べたごとく、土地の買収完了のつど実施したため、下記の区域順に連続して実施したものではなく、同一区域内で数次にわたり重複して調査した遺構も多い。したがって、今回報告する住居址で一部が未調査部分にかかるものについても、現状で出土したものを先に紹介してあるが、これが一遺構の出土遺物すべてを示すわけではない。

発掘調査は路線内を南北に通過する市道により4地区に分離して行なった(第2図)。東より西へ第Ⅰ～Ⅳ区と命名し、昭和63年度現在、第Ⅱ区の西北の一部を残し、現地の調査はほぼ完了している。本遺跡の遺構は、古墳時代以降の住居址が主体であるため、同遺構より出土した遺物を基本に、第1号住居址より第75号住居址までを掲載した。その他の遺構の遺物、あるいは今回紙面の都合上載せることが出来なかったものについては、次回に総括する。出土した遺物は縄文式土器、土師器、須恵器、中・近世陶器、土錘、土製紡錘車、土玉、不明土製品、剝片、石鏃、打製石斧、砥石、石製紡錘車、白玉、管玉、不明石製品、鉄鏃、刀子、鉄釘、鉄鎌、鉄針、鉄鋏、銅鈴などが出土している。量的には土師器が圧倒的であるものの、この他に稀少的なものもあり、銚帯金具2点が出土しており、銘文紡錘車や墨書土器ともども本遺跡の性格を暗示するものである。

遺物の観察並びに図面は甕、壺類、甑、高坏、坏、その他の順に分類した。観察表の記録は以下のとおりである。また、土器実測図断面にアミのあるものは須恵器にあたる。

1. 観察表中の番号は本文挿入図版番号にあたる。
2. 器種名は大別し、細分名称はさけた。
3. 法量はセンチメートルを基準とし、それぞれの最大数値を記入し、カッコ内は復原数値ないし現状数値を示す。
4. 特徴の項目は胎土、技法、焼成、色調、形態、使用痕、出土位置、残存量の順に記し、この内出土位置についてはカマド内、床面直上(床直)とし、特に記載していないものは覆土内より出土したものである。
5. 上記の胎土については、担当者の肉眼観察によるものであり、褐鉄粒、白色粒子の名称については岩石学用語によるものではなく、色調及び前者の場合は褐色の鉄分と言う意味に留まる。形態の項目では技法、図面等で判明しない状態を記した。
6. 今回の遺物報告の内、カマド内の土製支脚等は次回に回した。
7. 第12、15、16A、23、24、25、26、28、51号住居址の遺物の一部は、報告書Ⅰ掲載のものと重複している。

## 第2節 遺物の観察

第1号住居址出土土器観察表(第3図)

番号	器種	法量(cm)	特	徴
1	台付甕	口径(14.8) 器高 20.9	胎土・白色粒子、石英微細粒多量。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、内外と台部及び口縁部ヨコナデ。焼成・良好。色調・暗褐色、台部褐色。使用痕・胴部スス付着。出土位置カマド内。残存量・台部 $\frac{1}{2}$ 、胴部 $\frac{1}{3}$ 、口縁部 $\frac{1}{4}$ 。	

第2 A号住居址出土土器観察表(第3図)

番号	器種	法量(cm)	特	徴
1	甕	口径 22.0 器高 26.7	胎土・褐鉄粒多量、白色粒子、石英、角閃石。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・内外面スス付着。出土位置・カマド内支脚。残存量・ $\frac{3}{4}$ 。	
2	坏	口径(11.4) 器高(3.4)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英、角閃石微細粒。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部同心円状ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口縁部ややいびつ。焼成・普通、外面底部及び口縁部黒斑。色調・暗褐色。使用痕・外面スス付着。出土位置・カマド内。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。	
3	坏	口径(12.7) 器高(4.9)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外ヨコナデ。焼成・普通、外面底部黒斑。色調・橙色。出土位置・カマド内。残存量・ $\frac{1}{3}$ 。	
4	大形碗	口径 18.8 器高(7.0以上)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、石英。整形・内外面体部ナデ、指頭痕、口縁部内外ヨコナデ。形態口縁蛇行。焼成・やや粗悪。色調・橙色。使用痕・スス付着。出土位置・カマド内。残存量・胴部口縁部位置部のみ。	

第2 B号住居址出土土器観察表(第3・4図)

番号	器種	法量(cm)	特	徴
1	小甕	口径(15.8) 器高 12.7	胎土・やや大きい褐鉄粒、角閃石、白色粒子、石英。整形・外面胴部不明瞭、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・胴部下位の器面剥落顕著。焼成・普通。色調・外面黒褐色、内面橙色。使用痕・外面スス付着。出土位置・床直。残存量・ $\frac{1}{3}$ 。	
2	甕	口径 18.4 器高 33.8	胎土・大粒の白色粒子、褐鉄粒、石英、角閃石、砂粒多量。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ヘラナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・底部丸み帯び不安定。焼成・普通、外面胴部黒斑。色調・橙色。出土位置・床直。残存量・ほぼ完形。	
3	甕	口径(19.4) 器高 33.1	胎土・大粒の白色粒子、褐鉄粒、石英、角閃石、砂粒多量。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ヘラナデ、口縁部内外面ヨコナデ(一部外面ヘラケズリ)。形態・胴部のヘラケズリでやや波打つ。焼成・普通。色調・外面暗褐色、内面橙色。使用痕・外面胴部スス付着。出土位置・床直。残存量・ $\frac{3}{4}$ 。	
4	甗	口径 25.0 器高 26.1	胎土・白色粒子、褐鉄粒、石英、角閃石、小石。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ヘラケズリでナデ後、縦にヘラミガキ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・外面胴部スス付着。出土位置・床直。残存量・ほぼ完形。Na 5。	
5	高坏	口径 16.8 器高(11.0以上)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、石英、角閃石。整形・外面脚部ヘラケズリ後ナデ、坏底部ヘラケズリ、坏底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ、焼成・普通。色調・橙色。使用痕・内面坏底部及び口縁部スス付着。出土位置・カマド支脚。残存量・脚部 $\frac{3}{4}$ 、坏部 $\frac{1}{3}$ 。	

6	大形 坏	口径(15.3) 器高(7.2 以上)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部同心円状ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口唇部に沈線あり。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・床直。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
---	---------	---------------------------	--

第6号住居址出土土器観察表(第4~6図)

番号	器種	法量(cm)	特 徴
1	甕	口径 17.5 器高(29.9)	胎土・大粒の白色粒子、褐鉄粒、角閃石、石英。整形・外面胴部下半ヘラケズリ、上半ヘラケズリ後ナデ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・底部やや丸み帯びる。焼成・普通外面胴部黒斑。色調・暗褐色。使用痕・底部にスス附着。出土位置・床直。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
2	甕	口径 15.3 器高(27.3 以上)	胎土・大粒の白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石、チャート、長石、小石。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ(外面に一部指頭痕)。形態・全体にいびつ、口縁部波打つ、胴部下半接合部で段が付く。焼成・普通。色調・暗褐色。使用痕・胴部外面焼土及びスス附着。出土位置・床直。残存量・胴部 $\frac{1}{2}$ 、口縁部 $\frac{1}{4}$ 。
3	甕	口径(14.1) 器高(10.5 以上)	胎土・大粒の褐鉄粒、角閃石、石英、白色粒子多量。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ、焼成・普通。色調・外面明橙色、内面暗褐色。出土位置・床直。残存量・胴部 $\frac{1}{2}$ 、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
4	甕	底径 6.4 器高(8.2 以上)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、胴部ヘラケズリ後ナデ、内面底部及び胴部ナデ。形態・底部に種子痕。焼成・普通、胴部下半に黒斑。色調・外面暗灰褐色、内面淡褐色。使用痕・外面スス附着。出土位置・床直。残存量・底部、胴部一部。
5	小形 甕	口径 20.0 器高 14.8	胎土・大粒の褐鉄粒、角閃石、石英、白色粒子。整形・外面底部ヘラケズリ後ナデ、底部あげ底、胴部下位ヘラケズリ、中位及び上位ヘラミガキ。形態・下位は逆時計回りの渦状ヘラケズリ。焼成・良好。色調・橙色。出土位置・床直。残存量・完形。
6	小形 甕	口径(16.7) 器高(19.7)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・外面胴部スス附着。底部器面の剝落顕著。出土位置・床直。残存量・ $\frac{1}{4}$ 。
7	有段 壺	器高(8.0 以上)	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英。整形・胴部内外面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。No23。
8	有段 壺	口径(20.9) 器高(8.4 以上)	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒の微細粒。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口縁部中位稜線はヘラオサエ。焼成・普通、口縁部外面黒斑。色調・褐色。出土位置・覆土。残存量・胴部の一部と口縁部 $\frac{1}{4}$ 。
9	甕	底径 7.7 器高(10.1 以上)	胎土・角閃石、石英、褐鉄粒、小石。整形・外面底部ヘラケズリ、胴部下位ヘラケズリ、中位ヘラケズリ後ナデ、内面底部ナデ、中位ヨコナデ。形態・底部凹む。焼成・普通、胴部黒斑。色調・橙色。使用痕・外面スス附着。残存量・底部と胴部下半 $\frac{1}{4}$ 。
10	台付 甕	底径 8.4 器高(4.6 以上)	胎土・石英、白色粒子、角閃石。整形・内外面ヨコナデ(指頭痕あり)、焼成・良好。色調・灰褐色。残存量・台部。
11	小形 甕	口径 1.6	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英、角閃石。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、焼成・普通、外面胴部黒斑。色調・橙色。残存量・底部と胴部の一部。
12	甕	口径 19.1 器高 15.4 口径 2.3	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英、白色粒子。整形・孔部ヘラ切り、外面胴部下位ヘラケズリ、中位および上位はケズリ後に暗文状ナデ、内面胴部下位ヘラケズリ、中位及び上位ナデ、口縁部内外面ヨコナデ、焼成・普通。色調・橙色。出土位置・床直。残存量・ほぼ完形。

13	甗	口径 23.7 器高 27.6 孔径 8.2	胎土・大粒の白色粒子、石英、角閃石多量、小石。整形・孔部ヘラ切り、外面胴部ヘラケズリ内面胴部ナデ（ヘラオサエあり）、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面胴部黒斑。色調・橙色。出土位置・床直。残存量・ほぼ完形。
14	扁球 胴罎	胴径 15.9 器高( 9.0 以上)	胎土・褐鉄粒、石英、白色粒子の微細粒。整形・外面底部ヘラケズリ（一部剥落）、胴部下位及び中位ヘラミガキ、上位ナデ、内面底部及び胴部ナデ。焼成・良好。色調・橙色。出土位置・床直。残存量・口縁部欠損。
15	小罎	胴径 6.5 器高( 4.5 以上)	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英、白色粒子の細粒。整形・外面胴部ヘラケズリ後ナデ、内面胴部ナデ（ヘラオサエあり）。焼成・普通。色調・外面橙色、内面灰褐色。出土位置・床直。残存量・底部、胴部 $\frac{1}{2}$ 。
16	埴	口径 11.0 器高 7.0	胎土・褐鉄粒、雲母、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、胴部指頭痕及びナデ、内面胴部ナデ（ヘラオサエあり）、底部の一部剥落。口縁部内外面ヨコナデ。形態・胴部下位に十の字状ヘラ記号あり。焼成・普通、外面黒斑。色調・暗橙色。使用痕・外面の一部にスス附着。出土位置・床直。残存量・ほぼ完形。
17	坏	口径 12.0 器高 5.0	胎土・白色粒子、石英、角閃石、褐鉄粒、砂粒。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ヘラケズリ後ナデ、口縁部ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・床直。残存量・完形。
18	坏	口径 12.7 器高 6.5	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石、砂粒多量。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ヘラケズリ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口縁部ややいびつ。焼成・普通、口縁部内面黒斑。色調・淡橙色。使用痕・外面の大半及び口縁部にスス附着。出土位置・床直。残存量・完形。
19	坏	口径 12.7 器高 5.8	胎土・褐鉄粒、石英、角閃石、白色粒子の細粒。整形・外面底部ヘラケズリ後ナデ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・外面スス附着。出土位置・床直。残存量・ほぼ完形。
20	坏	口径 12.9 器高 5.7	胎土・長石、石英、角閃石多量。整形・外面底部ヘラケズリ（上位に指頭痕）、内面底部ヨコナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口唇部は平ら。焼成・良好。色調・橙色。出土位置・床直。残存量・完形。
21	坏	口径 13.4 器高 5.7	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口唇部にわずかな凹線。焼成・普通、内外面黒斑。色調・橙色。出土位置・床直。残存量・完形。

第 8 号住居址出土土器観察表（第 6 図）

番号	器種	法量(cm)	特 徴
1	有段 壺	口径(18.5) 器高(10.2 以上)	胎土・角閃石、石英、金雲母、極微細粒多量。整形・内外面胴部ナデ、口縁部ヨコナデ。焼成普通。色調・橙色。使用痕・器面風化顕著でザラザラ。出土位置・覆土。残存量・胴部一部と口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
2	小甗	口径(13.0) 器高(12.8 以上)	胎土・白色粒子、大粒の褐鉄粒、角閃石、石英。整形・外面胴部下位ヘラケズリ、上位ハケ調整、口縁部ヨコナデ後ハケ調整、内面胴部ヘラカキ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・胴部外面に若干のスス附着。出土位置・覆土。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
3	埴	口径 12.5 器高 8.5	胎土・白色粒子、褐鉄粒、角閃石、石英微細粒多量。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・底部中央部が指頭状に凹む。焼成・普通、胴部黒斑。色調・やや暗い橙色。出土位置・床直。残存量・完形。

4	埴	口径(9.1) 器高 6.9	胎土・白色粒子、石英微細粒若干。整形・外面底部ヘラケズリ、胴部ヘラケズリ後ナデ、内面ナデ(ヘラオサエあり)、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、胴部内外面黒斑。色調・橙色。出土位置・覆土。残存量・ $\frac{2}{3}$ 。
5	埴	口径 10.8 器高 8.1	胎土・白色粒子、褐鉄粒、石英。整形・外面胴部ヘラケズリ、頸部にハケ調整、内面胴部ナデ(ヘラオサエあり)、口縁部内外面ヨコナデ。形態・胴部下位は逆時計回りに渦状のヘラケズリ。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・床直。残存量・ほぼ完形。
6	小埴	胴径(8.4) 器高(7.8以上)	胎土・白色粒子、石英、角閃石、微細粒。整形・外面底部ヘラケズリ、胴部ナデ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、胴部外面黒斑。色調・橙色。出土位置・床直。残存量・底部、胴部、口縁部 $\frac{1}{4}$ 。
7	小埴	口径 8.8 器高 10.0	胎土・白色粒子、石英、角閃石。整形・外面胴部ヘラケズリ後ナデ、内面底部ヘラオサエあり胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、胴部外面黒斑。色調・橙色。使用痕・口縁部及び胴部の一部にスス附着。残存量・ほぼ完形。
8	高坏	口径 15.8 器高(5.4以上)	胎土・白色粒子、石英、角閃石、極微細粒。整形・外面坏底部ヘラケズリ、内面坏底部ナデ、坏口縁部内外面ヨコナデ。焼成・良好。色調・赤褐色。出土位置・覆土。残存量・坏底部 $\frac{1}{2}$ 、坏口縁部 $\frac{1}{4}$ 。
9	高坏	器高(7.2以上)	胎土・褐鉄粒、石英、角閃石。整形・外面脚部ヘラケズリ後ナデ、坏底部ハケ調整、内面脚部紋り、坏底部ナデ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・内面坏底部スス附着。出土位置・覆土残存量・脚部 $\frac{2}{3}$ 、坏底部一部。
10	高坏	器高(7.2以上)	胎土・褐鉄粒、石英、白色粒子、角閃石、金雲母、極微細粒。整形・外面脚部ヘラミガキ、坏底部ヘラケズリ後ナデ、内面裾部ヨコナデ、脚部及び坏底部ナデ。焼成・やや良好。色調・橙色。出土位置・覆土。残存量・裾部一部、脚部、坏底部 $\frac{1}{2}$ 。

第9A号住居址出土土器観察表(第7図)

番号	器種	法量(cm)	特 徴
1	甕	口径(21.2) 内器高(9.4以上)	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英、白色粒子。整形・外面胴部ヘラケズリ(ヘラオサエあり)、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・カマド内。残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{1}{4}$ 。
2	坏	口径 12.2 器高 3.6	胎土・褐鉄粒、角閃石、白色粒子。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、内面黒斑。色調・橙色。使用痕・外面スス附着。出土位置・カマド内。残存量・完形。
3	坏	口径 14.1 器高 4.5	胎土・褐鉄粒、雲母、角閃石、石英、白色粒子。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ、内面剝落顕著。焼成・普通、外面黒斑。色調・暗褐色。使用痕・スス附着。出土位置・カマド内。残存量・ほぼ完形。
4	高坏	口径 12.8 器高(7.0以上)	胎土・褐鉄粒、角閃石、白色粒子。整形・外面坏底部ヘラケズリ、内面坏底部ヘラケズリ後ナデ、坏口縁部内外面ヨコナデ後暗文状ヘラミガキ。焼成・普通、外面一部黒斑。色調・橙色。出土位置・覆土。残存量・坏底部、坏口縁部 $\frac{1}{4}$ 。
5	高坏	口径(18.4) 器高(4.0以上)	胎土・褐鉄粒、白色粒子極微細粒多量。整形・内外面坏底部ナデ後細かい暗文状ヘラミガキ、坏口縁部ヨコナデ後暗文状ヘラミガキ。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・覆土。残存量・坏底部、坏口縁部 $\frac{1}{4}$ 。

6	小罎	口径 8.2 器高 7.3	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英、白色粒子、微細粒。整形・外面胴部下半ヘラケズリ、上半ヘラケズリ後ナデ、内面胴部ナデ、一部ヘラオサエ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・覆土。残存量・底部 $\frac{1}{4}$ 欠損。
7	小罎	口径(7.9) 器高(8.0以上)	胎土・褐鉄粒、角閃石、白色粒子。外面胴部ヘラケズリ後ナデ、内面胴部風化摩滅で不明、口縁部内外面ヨコナデ及び指頭痕。焼成・普通、内外面黒斑顕著。色調・橙色。出土位置・覆土。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。No.5。

第9 B号住居址出土土器観察表(第7・8図)

番号	器種	法量(cm)	特	徴
1	甕	口径(21.0) 器高(18.9以上)	胎土・褐鉄粒、石英、角閃石、白色粒子、小石、片岩大粒。整形・外面胴部ヘラケズリ後ナデ内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ、形態・口縁部外面にヘラオサエによる段が2カ所。焼成・普通、内外面一部に淡い黒斑。色調・橙褐色。出土位置・床直。残存量・胴部 $\frac{1}{4}$ 、口縁部 $\frac{3}{4}$ 。	
2	甕	口径(18.3) 器高(14.8以上)	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英、小石。整形・胴部ヘラケズリ、内面胴部ヘラナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・覆土。残存量・胴部一部、口縁部一部。	
3	甕	口径(23.0) 器高(21.5以上)	胎土・褐鉄粒、石英、角閃石、白色粒子、絹雲母片岩の大粒多量、小石。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・スス付着。出土位置・床直。残存量・胴部 $\frac{1}{4}$ 、口縁部 $\frac{3}{4}$ 。	
4	鉢	口径 12.8 器高 10.2	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英、白色粒子。整形・外面胴部ヘラケズリ後ナデ、内面底部ヘラオサエ痕、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ、内外面とも一部剥落。焼成・普通。色調・橙褐色。使用痕・外面スス付着。出土位置・覆土。残存量・底部、胴部 $\frac{3}{4}$ 、口縁部 $\frac{3}{4}$ 。No.21。	
5	大形 坏	口径 21.6 器高 9.8	胎土・褐鉄粒、白色粒子。整形・外面底部ヘラケズリ後ナデ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・やや粗悪。色調・淡橙色。出土位置・床直。残存量・ $\frac{3}{4}$ 。	
6	大形 坏	口径 21.8 器高 8.7	胎土・褐鉄粒、石英。整形・外面底部ヘラケズリ後ナデ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・やや粗悪。色調・橙色。使用痕・外面一部スス付着。出土位置・覆土。残存量・ほぼ完形。	
7	坏	口径 13.2 器高 4.4	胎土・褐鉄粒、石英、白色粒子。整形・外面底部ヘラケズリ後ナデ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・内面に若干のスス付着。出土位置・覆土。残存量・底部 $\frac{3}{4}$ 、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。	
8	坏	口径 13.2 器高 4.4	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英、白色粒子。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・やや粗悪。色調・明橙色。出土位置・覆土。残存量・底部、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。	
9	坏	口径 14.2 器高 4.8	胎土・石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ハケ状ナデ。形態・口縁部いびつ、口唇部に凹線。焼成・良好で硬質、外面底部黒斑。色調・橙色。残存量・口縁部 $\frac{3}{4}$ 。	
10	坏	口径(13.0) 器高(4.0以上)	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ焼成・普通、内外面黒斑。色調・にぶい黄褐色。使用痕・口縁部スス付着。出土位置・覆土。残存量・底部一部、口縁部 $\frac{1}{4}$ 。	

第10号住居址出土土器観察表（第8・9図）

番号	器種	法量(cm)	特 徴
1	甕	口径 16.8 器高 28.8	胎土・白色粒子、石英、角閃石、滑石若干、褐鉄粒、砂粒多量。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口縁部やや波打つ。焼成・普通、外面胴部黒斑。色調・橙色。使用痕・外面胴部スス付着。出土位置・カマド内。残存量・完形。
2	甕	口径(15.1) 器高 28.6	胎土・大粒の褐鉄粒、白色粒子、石英、角閃石、砂粒。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・胴部外面スス付着、外面器壁は薄く剥落。出土位置・覆土。残存量・%。
3	甕	口径 18.3 器高 29.0	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英、角閃石。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面胴部下 半ナデ、上半ヘラナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、胴部内外面黒斑。色調・橙色。 使用痕・胴部外面スス付着。出土位置・カマド内。残存量・ほぼ完形。
4	甕	口径 17.7 器高(28.2)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英、角閃石、砂粒。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、 口縁部内外面ヨコナデ。形態・全体にゆがむ。焼成・普通、胴部及び口縁部内面黒斑。色調・ 淡橙色。使用痕・外面及び内面口縁部スス付着。出土位置・床直。残存量・胴部%、口縁部 %。
5	甕	口径 25.2 器高 27.2 孔径 8.5	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、砂粒。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ヘラケズリ後 ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、胴部外面黒斑。色調・橙色。使用痕・胴部外面 スス付着。出土位置・カマド右袖埋納状態。残存量・完形。
6	甕	口径(21.5) 器高 23.2 孔径 7.6	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英。整形・孔部ヘラ切り、外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ヘラ ケズリ後ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・全体にややいびつ。焼成・普通、外面胴部黒 斑。色調・橙褐色。使用痕・胴部内外面スス付着。出土位置・床直。残存量・胴部 $\frac{3}{4}$ 、口縁 部 $\frac{1}{4}$ 。
7	小甕	口径 12.0 器高 12.2	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英、角閃石、絹雲母片岩、砂粒。整形・外面底部及び胴部ヘラ ケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ、形態・口縁部ゆがむ。焼成・普通。色調・ 橙色。使用痕・若干のスス付着。出土位置・カマド内支脚。残存量・ほぼ完形。
8	小形 甕	口径 17.5 器高 12.0 孔径 2.0	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英、角閃石。整形・孔部ヘラ切り、外面胴部ヘラケズリ、内面 胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、胴部外面黒斑。色調・暗褐色。使用痕・胴 部内外面スス付着。出土位置・カマド右側床直、9とセットで重ねた状態で出土。残存量・ $\frac{3}{4}$ 。No.2。
9	扁球 胴罎	口径(8.8) 器高 13.7	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、砂粒、微細粒。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ後ヘラ ミガキ、肩部ナデ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・やや淡い橙 色。使用痕・口唇部内側面に擦痕。出土位置・カマド右側床直。残存量・底部、胴部、口縁 部 $\frac{1}{2}$ 。No.3。
10	杯	口径 11.3 器高 5.8	胎土・白色粒子、石英、角閃石。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナ デ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・良好、外面底部黒斑。色調・赤褐色。出土位置・カマド 内。残存量・完形。
11	坏	口径 12.5 器高 5.2	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁 部内外面ヨコナデ、口縁と体部接合部分にヘラオサエ。形態・口縁わずかに蛇行。焼成・普 通、外面底部黒斑。色調・橙色。出土位置・床直。残存量・ほぼ完形。
12	碗	口径(15.4) 器高(4.8 以上)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英、角閃石。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁 部内外面ヨコナデ。形態・全体にいびつ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・内外面に若干 のスス。出土位置・カマド内。残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{3}{4}$ 。



第11号住居址出土土器観察表（第9・10図）

番号	器種	法量(cm)	特	徴
1	甕	口径(15.0) 器高(15.5 以上)	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石、砂粒。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ（ヘラオサエあり）、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・カマド内。残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。No58。	
2	高坏	口径 15.3 器高 12.9	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石。整形・外面裾部ヨコナデ、脚部及び坏底部ヘラケズリ、坏口縁部ヨコナデ、内面裾部及び脚部ナデ、坏底部ナデ後暗文状ヘラミガキ、坏口縁部ヨコナデ後暗文状ヘラミガキ。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・カマド内支脚。残存量・ほぼ完形。	
3	坏	口径 13.2 器高 3.7	胎土・白色粒子、石英、角閃石、褐鉄粒。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ後ヘラミガキ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、底部及び口縁部黒斑。色調・赤褐色。出土位置・カマド内。残存量・ $\frac{3}{4}$ 。	
4	坏	口径 13.9 器高 4.4	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石、小石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・覆土。残存量・ $\frac{3}{4}$ 。	
5	坏	口径 17.1 器高 6.4	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・覆土。残存量・ $\frac{3}{4}$ 。	
6	坏	口径 13.9 器高 4.9	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石、小石。整形・外面底部ヘラケズリ内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・覆土。残存量・ほぼ完形。	
7	坏	口径 12.6 器高 3.5	胎土・白色粒子、石英。外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・にぶい橙色。使用痕・口縁部内外面スス附着。出土位置・覆土。残存量・ほぼ完形。混入品か。	

第12号住居址出土土器観察表（第10～18図）

番号	器種	法量(cm)	特	徴
1	壺	口径(17.0) 器高 27.9	胎土・褐鉄粒、角閃石、白色粒子、石英、雲母。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ後指頭痕とナデ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面胴部黒斑。色調・橙色。使用痕・内面胴部一部にスス附着。出土位置・カマド中央部。残存量・ほぼ完形。	
2	壺	口径(21.4) 器高( 5.7 以上)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、石英、角閃石。整形・口縁部内外面ヨコナデ、焼成・普通。色調・橙色。使用痕・口縁部内面スス附着。出土位置・覆土。残存量・口縁部 $\frac{3}{4}$ 。	
3	壺	口径 22.2 器高( 7.6 以上)	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英、白色粒子。整形・口縁部内外面ヨコナデ。形態・口縁部内面点状に破裂状態。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・覆土。残存量・口縁部 $\frac{1}{2}$ 。	
4	壺	胴径(22.2) 器高(17.4 以上)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、石英、角閃石。整形・外面胴部ナデ、内面胴部ナデ。焼成・やや甘い。色調・淡赤橙色。使用痕・風化が進行し器面ザラザラ。出土位置・覆土。残存量・胴部 $\frac{3}{4}$ 。	
5	壺	底径 6.0 器高(20.5 以上)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、角閃石、石英。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ後ナデ（指頭痕）、内面胴部ヘラケズリ後ヘラナデ。焼成・普通、外面底部及び胴部黒斑。色調・橙色。使用痕・内面胴部若干スス附着。出土位置・覆土。残存量・底部、胴部下半。	

6	小甕	口径 14.7 器高 17.5	胎土・褐鉄粒、白色粒子、角閃石、雲母。整形・外面底部ヘラケズリ、胴部ヘラミガキ、内面胴部ヘラナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面黒斑。色調・橙色。使用痕・外面ほぼ全面にスス附着。出土位置・覆土。残存量・ほぼ完形。
7	甕	口径(18.3) 器高(13.8 以上)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英、角閃石。整形・外面胴部ヘラケズリ後ナデ、内面胴部ヘラナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・胴部外面中央に記号的図形。焼成・普通、外面胴部一部黒斑。色調・橙色。出土位置・覆土。残存量・胴部 $\frac{1}{4}$ 、口縁部 $\frac{1}{4}$ 。
8	甕	口径(17.7) 器高(25.0 以上)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英。整形・外面胴部ヘラミガキ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・外面胴部スス附着。出土位置・覆土。残存量・胴部、口縁部 $\frac{1}{4}$ 。
9	甕	口径 16.2 器高 24.5	胎土・褐鉄粒、石英、白色粒子、角閃石。整形・外面胴部ヘラケズリ後ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面胴部一部薄い黒斑。色調・橙色。使用痕・胴部外面スス附着。出土位置・覆土。残存量・ $\frac{1}{4}$ 。
10	甕	口径 18.5 器高(22.0 以上)	胎土・チャート大粒極めて多量、石英。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、内面黒斑。色調・橙色。使用痕・外面胴部下半スス附着。出土位置・覆土。残存量・縦に割れており $\frac{1}{2}$ 。
11	甕	口径 17.4 器高 24.3	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英、白色粒子、雲母。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・赤褐色。使用痕・内外面スス附着顕著。出土位置・覆土。残存量・ほぼ完形。
12	甕	口径 17.5 器高(23.8 以上)	胎土・褐鉄粒、角閃石、白色粒子、石英、小石。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ヘラナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・内外面スス附着。出土位置・覆土。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
13	甕	口径 16.9 器高(12.4 以上)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、角閃石。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・外面口縁部一部スス附着。外面胴部一部剥落。出土位置・覆土。残存量・胴部上半。
14	甕	口径 16.4 器高 11.8	胎土・褐鉄粒、石英、白色粒子、角閃石。整形・外面胴部ヘラケズリ後ナデ、内面胴部ナデ(ヘラオサエあり)、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面胴部一部黒斑。色調・橙色。出土位置・覆土。残存量・胴部上半、口縁部 $\frac{1}{4}$ 。
15	小甕	口径 13.7 器高(12.6 以上)	胎土・褐鉄粒、石英、白色粒子。整形・外面胴部ナデ(指頭痕)、内面胴部ヘラナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・外面スス附着。出土位置・覆土。残存量・胴部上半 $\frac{1}{2}$ 、口縁部。
16	甕	口径(17.5) 器高( 6.9 以上)	胎土・褐鉄粒、石英、白色粒子、角閃石。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ヘラナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・外面スス附着。出土位置・覆土。残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
17	甕	口径(17.9) 器高( 6.4 以上)	胎土・褐鉄粒、石英、白色粒子、角閃石。整形・外面胴部ナデ(指頭痕)、内面胴部ヘラナデ口縁部内外面ヨコナデ。焼成・良好。色調・橙色。使用痕・外面スス附着。出土位置・覆土。残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
18	小形 甕	口径 21.8 器高 10.7 口径 1.8	胎土・褐鉄粒、石英、白色粒子、角閃石。整形・外面孔部ヘラ切り、胴部ヘラケズリ(上部に指頭痕)、内面孔部付近指ナデ痕、胴部ハケ調整、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、内外面黒斑。色調・明赤褐色。出土位置・覆土。残存量・ $\frac{1}{4}$ 。
19	甕	口径(16.5) 器高 27.3 口径 9.0	胎土・褐鉄粒、石英、白色粒子、角閃石、砂粒。整形・外面胴部ヘラナデ(指頭痕)、内面孔部指頭痕、胴部ヘラナデ、口縁部内外面ナデ後指頭痕。形態・器形ゆがむ。焼成・普通、外面胴部黒斑。外面胴部スス附着。出土位置・覆土。残存量・ $\frac{1}{4}$ 。

20	甌	口径(23.8) 器高 24.9 孔径 6.6	胎土・褐鉄粒、石英、白色粒子。整形・外面孔部ヘラ切り、胴部ヘラミガキ、口縁部下位と中位にヘラミガキ、上半ヘラナデ後指頭痕、内面胴部ナデ、口唇部ヨコナデ。焼成・普通、外面胴部黒斑。色調・橙色。出土位置・覆土。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
21	把手付甌	口径(19.4) 器高 26.6 孔径 7.1	胎土・大粒褐鉄粒、石英、白色粒子微細粒。整形・孔部外面指頭痕、外面胴部下半ヘラケズリ上半ヘラナデ後指頭痕、内面胴部ヘラナデ、口縁部内外面ヨコナデ、形態・輪積痕顕著、内面下位は風化によりザラザラ、口縁部は亜方形か、全体に楕円形。焼成・良好、外面一部黒斑。色調・橙色。使用痕・外面スス付着。出土位置・床面上位。残存量・ $\frac{2}{3}$ 。
22	把手付甌	口径 19.3 器高 27.9 孔径 7.1	胎土・石英・長石微細粒。整形・外面孔部ヘラオサエ、把手部ヘラケズリ後指頭痕、胴部下半ヘラケズリ、上半ヘラケズリ後ナデと指頭痕、内面胴部ヘラナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・良好、外面一部黒斑。色調・橙色。使用痕・外面スス付着。出土位置・覆土。残存量・ほぼ完形。
23	小罎	口径 6.7 器高 6.8	胎土・微砂、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、胴部指頭調整、内面胴部ナデ（ヘラ痕あり）ナデ。焼成・良好。色調・赤褐色。出土位置・覆土。残存量・完形。
24	小罎	器高( 6.2) 以上	胎土・褐鉄粒、白色粒子、角閃石。整形・外面底部及び胴部下位ヘラケズリ、中位と下位ヘラミガキ、内面底部及び胴部ナデ（ヘラオサエあり）。焼成・普通、外面胴部黒斑。色調・橙色。出土位置・覆土。残存量・底部、胴部。
25	小罎	器高( 8.4) 以上	胎土・白色粒子、角閃石、石英。整形・外面胴部ヘラミガキ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ、焼成・普通、内面胴部黒斑。色調・橙色。出土位置・覆土。残存量・ほぼ完形。
26	小罎	器高( 8.9) 以上	胎土・白色粒子、角閃石、石英、褐鉄粒、雲母。整形・外面底部及び胴部下位ヘラケズリ、中位と上位ナデ指頭痕、内面底部ヘラ痕、胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面黒斑。色調・明赤褐色。出土位置・覆土。残存量・底部、胴部、口縁部の一部。
27	小罎	口径 9.5 器高 8.1	胎土・細砂。整形・外面胴部ヘラケズリ後ヘラミガキ、頸部周辺指頭痕調整、内面ヘラ痕、輪積痕明瞭、形態・胴部は算盤玉状。焼成・良好。色調・にぶい赤褐色。残存量・完形。
28	小罎	器高( 7.7) 以上	胎土・白色粒子、角閃石、石英。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナデ焼成・普通。色調・橙色。残存量・底部、胴部 $\frac{2}{3}$ 。
29	小罎	口径(11.1) 器高 6.1	胎土・白色粒子、角閃石、石英、褐鉄粒。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・外面胴部及び口縁部スス付着。出土位置・覆土。残存量・底部、胴部、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
30	罎	口径 14.5 器高 14.9	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石、小石。整形・外面胴部下半ヘラケズリ、上半ナデ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面胴部及び口縁部黒斑。色調・橙色。出土位置・覆土。残存量・ほぼ完形。
31	罎	口径(14.0) 器高 13.4	胎土・白色粒子、褐鉄粒、角閃石、雲母。整形・外面底部及び胴部下半ヘラケズリ、上半ナデ内面底部及び胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面底部及び胴部黒斑。色調・橙色。使用痕・外面底部及び胴部スス付着。出土位置・覆土。残存量・底部、胴部、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
32	罎	口径 15.0 器高 15.4	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石。整形・外面底部及び胴部下位ヘラケズリ、中位と上位ヘラミガキ、内面底部及び胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面胴部及び口縁部黒斑。色調・橙色。出土位置・覆土。残存量・ほぼ完形。
33	罎	口径 12.4 器高 12.7	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石。整形・外面底部及び胴部下位ヘラケズリ、上位ナデ口縁部ヨコナデ後暗文状ヘラミガキ、内面底部及び胴部ヘラケズリ後ナデ（底部ヘラオサエあり）、口縁部ヨコナデ後ヘラミガキ、上半ヨコナデ。焼成・普通、胴部黒斑。色調・橙色。出土位置・覆土。残存量・ほぼ完形。

34	埴	底径 4.5 器高( 8.1 以上)	胎土・白色粒子、雲母、褐鉄粒、角閃石、砂粒。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナデ。焼成・普通、外面底部黒斑。色調・橙色。使用痕・内面底部スス付着。出土位置・覆土。残存量・底部、胴部。
35	埴	胴径 14.7 器高( 8.4 以上)	胎土・白色粒子、角閃石、小石。整形・内外面底部及び胴部ヘラケズリ、焼成・普通。色調・明赤褐色。使用痕・底部及び胴部外面スス付着。出土位置・覆土。残存量・底部、胴部 $\frac{1}{2}$ 。
36	扁球 胴埴	口径( 9.1) 器高(13.6)	胎土・白色粒子多量、褐鉄粒、角閃石、石英。外面底部及び胴部下 $\frac{1}{2}$ ヘラケズリ、上半ヘラミガキ及びナデ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
37	扁球 胴埴	口径 10.4 器高 13.6	胎土・微細砂多量、石英。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ後ヘラミガキ、内面底部及び胴部ナデ、口縁部内外面指頭調整後ヨコナデ、輪積痕内外面明瞭。形態・扁平な球体。焼成・良好。色調・赤色。出土位置・覆土。残存量・完形。
38	埴	口径 12.4 器高 15.0	胎土・白色粒子、褐鉄粒、角閃石、石英。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、口縁部暗文状ヘラミガキ、内面底部ナデ後ヘラオサエあり、胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通外面胴部黒斑。色調・橙色。使用痕・内外面スス付着。出土位置・覆土。残存量・ほぼ完形。
39	台付 埴	口径 11.5 器高(15.8 以上)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、角閃石、石英。整形・台部下指頭調整、上半ヘラケズリ、胴部下 $\frac{1}{2}$ ヘラケズリ、上半ヘラミガキ、内面台部下 $\frac{1}{2}$ ヘラケズリ、上半ヘラ調整、胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・覆土。残存量・ほぼ完形。
40	台付 埴	口径 16.0 器高(11.8 以上)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、角閃石、石英。整形・外面脚部ハケ調整後ナデ、胴部下 $\frac{1}{2}$ ハケ調整、胴部上半ヘラケズリ、内面脚部ナデ、胴部ヘラケズリ後暗文状ヘラミガキ。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・覆土。残存量・脚部、胴部 $\frac{3}{4}$ 、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
41	高坏	口径 19.4 器高 13.5	胎土・白色粒子、褐鉄粒、角閃石、石英。整形・外面裾部下 $\frac{1}{2}$ ヨコナデ、上半ハケ調整、脚部ハケ調整、坏底部ヘラケズリ後ナデ、坏縁部下 $\frac{1}{2}$ ハケ調整後ヨコナデ、上半ヨコナデ、内面裾部下 $\frac{1}{2}$ ヨコナデ、上半ハケ調整後ナデ、脚部及び坏底部ナデ、坏縁部下 $\frac{1}{2}$ ナデ、上半ヨコナデ形態・口唇部沈線あり。焼成・良好。色調・橙色、全面に赤色顔料塗付。出土位置・床面上位。残存量・坏縁部 $\frac{1}{2}$ 欠損。
42	高坏	口径(18.3) 器高 15.2	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英。整形・外面裾部ヘラケズリ、脚部ヘラミガキ、坏底部ヘラケズリ、坏縁部ヨコナデ後ヘラミガキ、内面裾部ヨコナデ、脚部ヘラケズリ(上半絞り)、坏底部ナデ、坏縁部ヨコナデ後ヘラミガキ。形態・脚部に円形穿孔1カ所あり。焼成・普通。色調・橙色。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
43	高坏	口径 17.8 器高 14.4	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英、角閃石。整形・外面裾部下 $\frac{1}{2}$ ヨコナデ、上半ヘラケズリ、脚部及び坏底部ヘラケズリ、坏縁部下 $\frac{1}{2}$ ヘラケズリ、上半ヨコナデ、内面裾部ヨコナデ、脚部ナデ(ヘラオサエあり)、坏底部ナデ、坏縁部ヨコナデ。形態・口縁部湾曲。焼成・良好。色調・赤褐色。出土位置・覆土。残存量・ほぼ完形。
44	高坏	口径 18.6 器高(13.9 以上)	胎土・白色粒子、石英。整形・外面脚部及び坏底部ヘラケズリ後ナデ、内面脚部及び坏底部ナデ、坏縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面坏部及び坏縁部黒斑。色調・橙色。出土位置・覆土。残存量・脚部、坏底部 $\frac{3}{4}$ 、坏縁部 $\frac{1}{2}$ 。
45	高坏	口径 17.1 器高 16.4	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英、角閃石。整形・外面脚部及び坏底部ヘラケズリ、坏縁部下 $\frac{1}{2}$ ハケ調整後暗文状ヘラミガキ、上半ヨコナデ後暗文状ヘラミガキ、内面脚部ナデ(粘土紐積み上げ)、坏底部及び坏縁部下 $\frac{1}{2}$ 暗文状ヘラミガキ、上半ヨコナデ後暗文状ヘラミガキ、裾部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面黒斑。色調・橙色、坏部内面赤褐色。出土位置・覆土。残存量・裾部 $\frac{3}{4}$ 欠損。

46	高坏	口径 16.7 器高 16.3	胎土・微細砂、石英。整形・裾部及び脚部ナデ調整後放射状ヘラミガキ、裾部と脚部の境界横位ヘラミガキ、坏底部ヘラケズリ、坏縁部下半ヘラケズリ後ナデ、上半ヨコナデ、内面裾部ヘラナデ、脚部ヘラケズリ、裾部と脚部境界横位ヘラミガキ、坏底部及び坏縁部ヘラナデ後放射状ヘラミガキ、脚部と坏部ソケット状差し込み。焼成・良好。色調・赤褐色。残存量・完形。
47	高坏	口径 17.5 器高(15.7 以上)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英、角閃石。整形・外面脚部及び坏底部ヘラケズリ、口縁部ヨコナデ、内面脚部絞り込み後ナデ、坏底部ナデ後暗文状ヘラミガキ、坏縁部ヨコナデ後暗文状ヘラミガキ、裾部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面坏縁部黒斑。色調・橙色。残存量・脚部、坏底部、坏縁部 $\frac{3}{4}$ 。
48	高坏	口径 15.6 器高 13.5	胎土・白色粒子、石英。整形・外面脚部及び坏底部ヘラケズリ、内面脚部ナデ、坏底部ナデ(ヘラオサエあり)、裾部及び坏縁部内外面ヨコナデ、形態・底部蛇行。焼成・普通。色調・明赤褐色。残存量・ほぼ完形。
49	高坏	口径 19.2 器高 15.4	胎土・褐鉄粒、白色粒子、角閃石。整形・裾部内外面ヨコナデ、外面脚部ヘラケズリ、坏底部ナデ、坏縁部ヨコナデ、内面脚部絞り込み、坏底部ナデ、坏縁部ヨコナデ後ナデ。焼成・普通色調・にぶい赤褐色。使用痕・坏部内面スス付着。出土位置・カマド内支脚。残存量・ほぼ完形。
50	高坏	口径 19.1 器高 16.1	胎土・褐鉄粒、白色粒子、角閃石、石英。整形・外面脚部及び坏底部ヘラケズリ、内面脚部及び坏底部ナデ、裾部及び坏縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面坏縁部黒斑。色調・赤褐色。残存量・裾部 $\frac{3}{4}$ 欠損。
51	高坏	口径 17.4 器高 13.8	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英。整形・外面脚部及び坏底部ヘラケズリ、内面脚部及び坏底部ナデ、裾部及び坏縁部内外面ヨコナデ。焼成・良好。色調・赤褐色。残存量・裾部 $\frac{1}{4}$ 、脚部、坏底部、坏縁部 $\frac{3}{4}$ 。
52	高坏	口径 17.7	胎土・白色粒子、石英。整形・外面裾部ヨコナデ後暗文状ヘラミガキ、脚部及び坏底部ヘラケズリ、内面裾部ヨコナデ、脚部及び坏底部ナデ、坏縁部内外面ヨコナデ。焼成・良好、脚部外面うすい黒斑。色調・赤褐色。残存量・裾部 $\frac{1}{2}$ 、脚部、坏底部、坏縁部☆。
53	高坏	口径 17.6 器高 13.5	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英。整形・外面裾部下半ヨコナデ、上半ハケ調整、脚部ヘラミガキ、坏底部ヘラケズリ、内面裾部ヨコナデ、脚部及び坏底部ナデ、坏縁部内外面ヨコナデ。焼成・良好。色調・赤褐色。残存量・ほぼ完形。
54	高坏	口径 17.6 器高 13.5	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英。整形・外面裾部下半ヨコナデ、上半ハケ調整、脚部ヘラミガキ、坏底部ヘラケズリ、内面裾部ヨコナデ、脚部ナデ、坏底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・良好。色調・橙色。出土位置・床直。残存量・ほぼ完形。
55	高坏	口径(16.7) 器高 15.0	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英。整形・外面脚部及び坏底部ヘラケズリ、内面脚部及び坏底部ナデ、裾部及び坏縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、裾部内外面及び坏縁部外面黒斑。色調・にぶい褐色。残存量・裾部 $\frac{3}{4}$ 、脚部、坏底部、坏縁部 $\frac{3}{4}$ 。
56	高坏	口径 18.0 器高(12.2 以上)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英。整形・外面脚部及び坏底部ヘラケズリ、内面脚部及び坏底部ナデ、坏縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、坏縁部内外面黒斑。色調・赤褐色。残存量・脚部坏底部、坏縁部 $\frac{3}{4}$ 。
57	高坏	口径 17.6 器高( 5.5 以上)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英、角閃石。整形・外面坏底部ヘラケズリ、坏縁部ヨコナデ、内面坏底部ナデ後暗文状ヘラミガキ、坏縁部ヨコナデ後暗文状ヘラミガキ。焼成・良好。色調・赤褐色。残存量・坏底部、坏縁部。
58	高坏	口径 18.1 器高( 7.4 以上)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英、角閃石。整形・外面坏底部ヘラケズリ、坏縁部下半ヘラケズリ、上半ヨコナデ、内面坏底部ヘラナデ、坏縁部ヨコナデ後ヘラナデ(ヘラミガキ)、焼成・良好、内面坏縁部黒斑。色調・橙色。残存量・坏縁部、坏底部。

59	高坏	口径 19.8 器高( 6.0 以上)	胎土・白色粒子、石英、角閃石。整形・内外面坏底部ナデ後暗文状ヘラミガキ、坏縁部ヨコナデ後暗文状ヘラミガキ。形態・口唇部に沈線。焼成・普通。色調・橙色。残存量・坏底部 $\frac{3}{4}$ 、坏縁部 $\frac{1}{4}$ 。
60	高坏	器高(11.7 以上)	胎土・白色粒子、石英、角閃石、褐鉄粒。整形・外面脚部及び坏底部ヘラケズリ、内面脚部絞り込み、坏底部ナデ、裾部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・赤橙色。残存量・裾部一部、脚部、坏底部 $\frac{3}{4}$ 。
61	高坏	裾部径13.7 器高(10.7 以上)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英。整形・外面脚部及び坏底部ヘラケズリ、内面脚部絞り込み、坏底部ナデ、裾部内外面ヨコナデ。焼成・普通、内面裾部及び脚部黒斑。色調・赤橙色。残存量・裾部、脚部坏底部一部。
62	高坏	裾部径14.0 器高( 8.1 以上)	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石。整形・外面脚部及び坏底部ヘラケズリ、内面脚部及び坏底部ナデ、裾部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・裾部 $\frac{1}{2}$ 。脚部、坏底部 $\frac{1}{2}$ 。
63	高坏	器高( 7.4 以上)	胎土・白色粒子、石英。整形・裾部内外面ヨコナデ、外面脚部ヘラミガキ、内面脚部ヘラケズリ、焼成・普通。色調・橙色。残存量・裾部 $\frac{1}{4}$ 、脚部。
64	高坏	器高( 9.8 以上)	胎土・白色粒子、石英、整形・外面脚部ヘラミガキ、内面脚部ナデ、焼成・普通。色調・橙色。残存量・脚部。
65	坏	口径 15.3 器高 5.7	胎土・褐鉄粒、白色粒子、角閃石、雲母、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ後暗文状ミガキ、口縁部内外面ヨコナデ、焼成・良好、外面底部黒斑。色調・赤橙色。残存量・完形。
66	坏	口径 15.1 器高 6.4	胎土・褐鉄粒、白色粒子、角閃石、雲母。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ後暗文状ミガキ、口縁部内外面ヨコナデ、焼成・良好、外面底部黒斑。色調・赤褐色。残存量 $\frac{1}{2}$ 。
67	坏	口径 16.1 器高 6.6	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ後暗文状ヘラミガキ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・良好。色調・赤褐色。残存量 $\frac{1}{2}$ 。
68	坏	口径 14.0 器高 4.5	胎土・微細砂。整形・外面底部ヘラケズリ(部分的にヘラケズリ後ナデ)、内面底部放射状ヘラミガキ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口縁部は短く内外に凹線が廻る、口唇部玉縁状。焼成・良好。色調・赤褐色(外底部は赤黒色)。残存量・完形。
69	碗	口径 13.8 器高 5.3	胎土・微細砂、鉄斑。整形・外面底部ヘラケズリ、胴部下半ヘラケズリ後ミガキ、上半指頭調整、内面底部及び胴部ナデ後放射状ヘラミガキ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・良好。色調・外面赤色、内面橙色。残存量・完形。
70	碗	口径 13.4 器高 5.3	胎土・褐鉄粒、雲母、白色粒子。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ後暗文状ミガキ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・底部凹む。焼成・良好。色調・赤橙色。残存量・ほぼ完形。
71	碗	口径(13.4) 器高 6.8	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・底部凹む。焼成・良好。色調・橙色。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
72	碗	口径 13.3 器高 6.4	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ後暗文状ミガキ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口唇部うすい。焼成・良好、外面口縁部の一部黒斑。色調・にぶい橙色。残存量・ほぼ完形。
73	碗	口径 12.3 器高 5.7	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口唇部うすい、底部凹む。焼成・普通。色調・にぶい橙色。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。

74	埴	口径 13.5 器高 7.6	胎土・白色粒子、雲母、褐鉄粒、角閃石。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・底部に縦ぎ目痕。焼成・普通。色調・赤褐色及び橙色。使用痕・外面底部スス付着。残存量・ $\frac{3}{4}$ 。
75	埴	口径(12.3) 器高 6.7	胎土・白色粒子、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面黒斑。色調・外面赤褐色、内面黒褐色。残存量・ $\frac{3}{4}$ 。
76	埴	口径 12.4 器高 7.2	胎土・微細砂、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、胴部ヘラケズリ後ミガキ、内面底部及び胴部ナデ後放射状ヘラミガキ、口縁部内外ヨコナデ。焼成・良好。色調・外面明赤褐色（底部の一部黒ずむ）、内面赤色。残存量・完形。
77	埴	口径(14.1) 器高 6.5	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面胴部黒斑。色調・赤褐色。残存量・底部胴部、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
78	埴	口径 13.6 器高 5.6	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面底部及び胴部うすい黒斑。色調・赤褐色。残存量・ $\frac{3}{4}$ 。
79	坏	口径 12.3 器高 4.8	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ後暗文状ミガキ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・良好。色調・赤褐色。残存量・ほぼ完形。

第13号住居址出土土器観察表（第19図）

番号	器種	法量(cm)	特 徴
1	坏	口径(12.8) 器高( 4.2)	胎土・角閃石、石英、極微細粒。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外ヨコナデ、焼成・普通。色調・暗褐色。使用痕・スス付着。出土位置・床直。残存量・底部、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
2	坏	口径 12.6 器高 4.0	胎土・褐鉄粒、石英、角閃石、微細粒。整形・外面底部ヘラケズリ、中位指頭痕、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ、形態・底部外面中央若干凹む。焼成・良好。色調・橙色。残存量・ほぼ完形。
3	坏	口径(11.4) 器高( 3.0)	胎土・褐鉄粒、石英、角閃石、白色粒子、微細粒。整形・外面底部ヘラケズリ後ナデ、口縁部ヨコナデ、内面底部及び口縁部ヨコナデ後細い暗文状ヘラミガキ、形態・全体に器壁うすい。焼成・良好。色調・橙色。出土位置・覆土。残存量・ $\frac{1}{3}$ 。
4	皿	口径 12.8 器高 2.0	胎土・褐鉄粒、角閃石、白色粒子、石英、砂粒。整形・ろくろ整形。形態・全体にねじれる。焼成・普通。色調・灰色。残存量・完形。

第14号住居址出土土器観察表（第19図）

番号	器種	法量(cm)	特 徴
1	埴	口径 15.9 器高 8.9	胎土・大粒の褐鉄粒、角閃石、白色粒子、石英。整形・外面底部ヘラケズリ後ナデ、内面底部ヘラカキ後ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口縁はいびつで蛇行。焼成・普通、内面底部黒斑。色調・橙褐色。出土位置・覆土。残存量・ほぼ完形。
2	埴	口径 11.5 器高 6.1	胎土・褐鉄粒、石英、白色粒子。整形・底部及び胴部ヘラケズリ後ナデ、内面底部及び胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・外面に輪積痕顕著。焼成・良好、口縁内外面黒斑。色調・橙色。使用痕・外面スス付着。出土位置・床直。残存量・ $\frac{3}{4}$ 。

3	高坏	器高(10.0以上)	胎土・褐鉄粒、石英、角閃石、白色粒子。整形・外面裾部暗文。脚部ヘラケズリ後ナデ、坏底部ナデ、内面裾部ヨコナデ、脚部ヘラケズリ後ナデ。焼成・普通。色調・橙色。出土・覆土。残存量・裾部一部、脚部、坏底部一部。
4	高坏	器高(10.1以上)	胎土・褐鉄粒、角閃石、白色粒子、石英。整形・外面脚部及び坏底部ナデ、内面脚部ヘラケズリ後ナデ、裾部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・坏底部剝離。残存量・脚部、坏底部、一部。

第15号住居址出土土器観察表 (第19～21図)

番号	器種	法量(cm)	特 徴
1	甕	口径 19.2 器高(23.1以上)	胎土・白色粒子、石英、チャート、砂粒。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部中位タテヘラケズリ、上位ヨコヘラナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・淡褐色。使用痕・外面胴部大半にスス付着。出土位置・床直。残存量・胴部上半、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
2	甕	口径 15.6 器高 29.6	胎土・微細砂多量、小石、鉄斑、石英。整形・底部ナデ、外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ口縁部内外面ヨコナデ。形態・底部やや突出ぎみ。焼成・良好。色調・橙褐色。使用痕・外面胴部スス付着。出土位置・床直。残存量・ $\frac{3}{4}$ 。
3	甕	口径(27.0) 器高( 5.0以上)	胎土・白色粒子、石英、砂粒、角閃石、微細粒。整形・内外面胴部ヘラケズリ後ナデ、口縁部ヨコナデ(外面ヘラオサエによる稜)。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・風化進行器壁ザラザラ。出土位置・貯蔵穴上位、床面と同レベル。残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
4	甕	口径(18.2) 器高( 7.3以上)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英、砂粒、角閃石。整形・外面胴部ハケ調整、口縁部ヨコナデ、内面胴部ナデ、口縁部ハケ調整後ナデ。焼成・普通、外面黒斑。色調・橙色。出土位置・覆土。残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{2}{3}$ 。
5	甕	口径(22.5) 器高(12.3以上)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英、砂粒、絹雲母片岩。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・胴部内外面スス付着。残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{1}{3}$ 。
6	甕	底径( 7.1) 器高(13.7)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英、砂粒。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、形態・底部上り底。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・底部と胴部全面及び内面一部スス付着。出土位置・覆土。残存量・底部 $\frac{2}{3}$ 、胴部一部。
7	小甕	口径 14.6 器高 16.6	胎土・微細砂多量、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、胴部ヘラケズリ後ナデ、内面胴部摩減剝離顕著、口縁部内外面ヨコナデ。形態・底部わずかに上げ底。焼成・普通。色調・にぶい橙色。残存量・ほぼ完形。No.5。
8	小甕	口径 10.4 器高 13.3	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石、チャート、小石。整形・底部及び胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ、胴部外面下位は逆時計回りの渦巻き状ヘラケズリ。形態・口縁部ややいびつ、焼成・普通、口縁部内外面スス付着。色調・橙色。使用痕・2次的な熱のため器壁あれる。出土位置・カマド内支脚。残存量・完形。
9	小甕	口径 9.1 器高 6.4	胎土・褐鉄粒、白色粒子、砂粒多量。整形・外面底部ヘラケズリ、胴部ヘラケズリ後ナデ(指頭痕)、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口唇部ゆるやかに蛇行。焼成・粗悪。色調・外面淡い橙色、内面橙色。使用痕・器壁の摩減顕著。残存量・ $\frac{3}{4}$ 。
10	甕	口径 24.0 器高 28.3 口径 7.8	胎土・微細粒、石英。整形・外面孔部ナデ、胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・良好。色調・外面にぶい橙色、内面橙色。残存量・ほぼ完形。



11	高坏	口径 17.3 器高(13.2 以上)	胎土・微細砂、石英。整形・外面脚部ナデ、内面脚部横位ヘラケズリ、坏縁部内外面ヨコナデ形態・全体にゆがむ。焼成・良好。色調・橙色。脚部にふい橙色。残存量・裾部一部、脚部 $\frac{1}{2}$ 坏底部、坏縁部。
12	高坏	器高(9.2 以上)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英、角閃石。整形・外面脚部ヘラケズリ後ナデ、坏底部ヘラケズリ、内面脚部ヘラケズリ後ナデ、坏底部ナデ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・脚部外面スス附着。残存量・脚部 $\frac{1}{2}$ 、坏底部一部。
13	坏	口径 12.4 器高 6.1	胎土・微細砂、石英、鉄斑。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・良好、外面底部黒斑。色調・外面橙色、内面明赤褐色。残存量・ほぼ完形。
14	坏	口径 11.9 器高 6.0	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口唇部凹線。焼成・良好。色調・橙色。出土位置・床直。残存量・完形。
15	坏	口径 12.0 器高 5.7	胎土・微細砂、鉄斑。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口唇部沈線。焼成・良好。色調・橙色。残存量・ほぼ完形。
16	大形 坏	口径 14.4 器高 7.7	胎土・微細砂、鉄斑、石英、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口唇部沈線。焼成・良好。色調・内面赤褐色、外面明赤褐色。残存量・ほぼ完形。

第16A号住居址出土土器観察表(第21・22図)

番号	器種	法量(cm)	特 徴
1	甕	口径(20.5) 器高(7.1 以上)	胎土・石英、角閃石、白色粒子。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面ヘラナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口縁部外面に指頭痕。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・口縁部内面一部スス附着。出土位置・床直。残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
2	甕	口径(22.0) 器高(11.2 以上)	胎土・大粒褐鉄粒、微細角閃石、石英、白色粒子。整形・外面胴部ヘラケズリ後ナデ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口縁は断面口の字形に近い。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・床直。残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{1}{4}$ 。
3	台付 甕?	胴径(14.3) 底径(7.3) 器高(13.0 以上)	胎土・褐鉄粒、石英、白色粒子。整形・裾部内外面ヨコナデ、外面脚部指頭痕、胴部風化顕著不明。内面胴部ナデ、形態・外面胴部赤色顔料塗付。焼成・粗悪。色調・外面橙色、内面明褐色。出土位置・覆土。残存量・裾部一部、脚部、胴部 $\frac{1}{2}$ 。第16B号住居址よりの混入か。
4	甕	底径 5.3 器高(5.8 以上)	胎土・角閃石、褐鉄粒、石英。整形・外面底部指頭痕、胴部ヘラケズリ後ナデ、内面胴部ヘラナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・底部、胴部一部。第16B号住居址に帰属。
5	高坏	脚部径 3.4 器高(7.4 以上)	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英。整形・外面脚部ヘラミガキ、内面脚部ハケ調整、坏底部ナデ。焼成・良好。色調・橙色。残存量・脚部。
6	高坏	器高(8.6 以上)	胎土・石英、角閃石。整形・外面脚部ヘラケズリ後ナデ、坏底部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・赤みがかかった褐色。残存量・脚部及び坏底部 $\frac{1}{4}$ 。第16B号住居址に帰属。
7	坏	口径 13.1 器高 3.4	胎土・白色粒子、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ、形態・底部外面に「天」字墨書。焼成・普通。色調・橙色。残存量・ほぼ完形。

8	坏	口径(13.0) 器高( 3.3)	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、口縁部ヨコナデ、内面底部ナデ、口縁部ナデ後細かい暗文状ヘラミガキ。焼成・普通、内外面黒斑。色調・暗橙色。残存量・ $\frac{1}{3}$ 。
9	坏	口径(12.4) 器高( 2.9)	胎土・角閃石、石英、褐鉄粒、微細粒。整形・底部内外面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・底部中央親指大の凹み。焼成・普通。色調・橙色。残存量・ $\frac{1}{4}$ 。
10	坏	口径 12.4 器高 3.5	胎土・微細砂、石英、鉄斑。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面下半指頭調整(強圧)、上半ヨコナデ。形態・底部やや凹凸。焼成・良好。色調・にぶい橙色(外面一部橙色)。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
11	坏	口径 13.0 器高 4.3	胎土・微細砂、石英、鉄斑。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部放射状暗文、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・内面灰赤色、外面にぶい赤褐色。残存量・ $\frac{1}{3}$ 。
12	羽釜形土器	鏝径(30.5)	胎土・微細粒多量。整形・鏝部ヨコナデ。形態・鏝部粘土板2枚重ね。焼成・普通。色調・暗橙色。残存量・鏝部 $\frac{1}{4}$ 。
13	坏	口径(13.4) 器高 4.2	胎土・角閃石、微細砂、小石、白色粒子。整形・ロクロ整形、底部回転糸切り、内外面ミズヒキ。形態・わずかに上げ底。焼成・良好。色調・灰色(内面一部灰白色)。残存量・ $\frac{1}{4}$ 。
14	皿	口径 16.2 器高 2.5	胎土・微細砂、鉄斑多量、石英、小石、白色粒子。整形・ロクロ整形、底部回転糸切り、底部周縁部わずかにナデ。形態・わずかに上げ底。焼成・良好。色調・にぶい褐色(外面一部灰赤色)。残存量・ $\frac{3}{4}$ 。

第16B号住居址出土土器観察表(第22図)

番号	器種	法量(cm)	特 徴
1	坏	口径 13.7 器高 5.0	胎土・褐鉄粒、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、口縁部ヨコナデ、内面底部及び口縁部ヘラミガキ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・内面スス付着。出土位置・床直。残存量・ $\frac{3}{4}$ 。
2	坏	口径(16.1) 器高( 5.5)	胎土・褐鉄粒。整形・外面底部ヘラケズリ後ナデ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・床直。残存量・ $\frac{1}{4}$ 。

第17号住居址出土土器観察表(第22図)

番号	器種	法量(cm)	特 徴
1	坏	口径 13.8 器高 5.0	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ後ナデ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、内面底部及び口縁部黒斑。色調・橙色。使用痕・外面スス付着。残存量・ $\frac{2}{3}$ 。
2	坏	口径 13.4 器高 4.9	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・外面スス付着。残存量・底部、口縁部 $\frac{3}{4}$ 。

第18号住居址出土土器観察表 (第22・23図)

番号	器種	法量(cm)	特 徴
1	甕	口径 17.4 器高(30.0 以上)	胎土・褐鉄粒多量、白色粒子、石英、角閃石。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・内面輪積み痕明瞭。焼成・普通、口縁部内面黒斑。色調・橙色。使用痕・胴部外面スス付着。出土位置・カマド袖内。残存量・胴部 $\frac{1}{2}$ 、口縁部。No20。
2	甕	底径 8.7 器高(10.0 以上)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英、角閃石。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナデ。形態・接合部で分離。焼成・普通、外面底部及び胴部黒斑。色調・橙色。使用痕・スス付着。出土位置・貯蔵穴。残存量・底部、胴部一部。
3	甕	口径(23.4) 器高(17.5 以上)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英、角閃石、砂粒。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ヘラミガキ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、胴部及び口縁部内外面黒斑。色調・赤褐色。使用痕・胴部及び口縁部内外面スス多く付着。残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
4	甕	孔径 9.1 器高(12.6 以上)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英、角閃石。整形・孔部を部分的にヘラ切り、外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ後ヘラミガキ。焼成・普通・色調・外面明赤褐色、内面明褐色。使用痕・スス若干付着。出土位置・カマド内。残存量・胴部一部。
5	高坏	口径(17.2) 器高( 3.9 以上)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英。整形・外面坏底部ヘラケズリ後ナデ、内面坏底部ナデ、坏縁部内外面ヨコナデ。形態・口唇部沈線。焼成・普通、内外面坏底部及び坏縁部黒斑。色調・橙色。残存量・坏底部 $\frac{1}{2}$ 、坏縁部 $\frac{1}{2}$ 。
6	高坏	底径(12.7) 器高(11.7 以上)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英。整形・外面脚部ヘラケズリ後ナデ、内面脚部ヘラケズリ、裾部内外面ヨコナデ。焼成・普通、裾部内外面黒斑。色調・明赤褐色。残存量・裾部 $\frac{1}{2}$ 、脚部。西毛地方の土器か？。
7	高坏	口径 18.1 器高(11.9 以上)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英。整形・外面坏底部ヘラケズリ後ナデ、内面坏底部ナデ、坏縁部内外面ヨコナデ。形態・全体に分厚い作り。焼成・普通、内面坏底部及び坏縁部黒斑。色調・橙色。使用痕・外面坏底部及び坏縁部スス多量に付着。残存量・脚部一部、坏底部 $\frac{1}{2}$ 、坏縁部 $\frac{1}{2}$ 。外来系土器か。
8	小罎	口径( 8.4) 器高 9.0	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、胴部ヘラケズリ後ナデ、頸部ヨコナデ、口縁部下位及び中位ヘラケズリ後ハケ調整？、口縁部上位ヨコナデ、内面底部及び胴部ナデ、口縁部ヨコナデ(ヘラオサエあり)。焼成・普通、外面胴部黒斑。色調・橙色。使用痕・器壁風化でザラザラ。残存量・口縁部 $\frac{1}{2}$ 、欠損。No16。
9	小罎	胴部( 8.5) 器高( 6.7 以上)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、胴部ヘラケズリ後ナデ内面底部及び胴部指頭ナデ。焼成・普通、内面胴部黒斑。色調・明赤褐色。出土位置・カマド。残存量・底部一部、胴部 $\frac{1}{2}$ 、口縁部一部。
10	罎	器高 9.5 口径( 8.4)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英、角閃石。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、肩部ナデ、内面底部及び胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・底部親指大の凹み。焼成・普通。色調・明赤褐色。使用痕・外面胴部風化剝離顕著。出土位置・床直。残存量・口縁部 $\frac{1}{2}$ 、欠損。
11	坏	口径( 5.1) 器高(16.0)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
12	坏	口径 14.5 器高 5.6	胎土・大粒の褐鉄粒、白色粒子、石英、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口唇部に若干の凹線。焼成・普通、外面底部黒斑。色調・橙色。出土位置・カマド袖内。残存量・ほぼ完形。

13	坏	口径 10.3 器高 4.5	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英。整形・底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、指頭痕及び爪痕多し、口縁部内外面ヨコナデ。形態・外面は荒削り。焼成・普通。色調・明赤褐色。使用痕・スス附着。出土位置・貯蔵穴。残存量・ほぼ完形。
14	坏	口径(16.3) 器高 4.9	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部同心円状ナデ口縁部内外面ヨコナデ。形態・口縁部下位ヘラオサエによる稜。焼成・普通、内面底部黒斑。色調・赤褐色。使用痕・外面底部及び内面口縁部スス附着。出土位置・貯蔵穴。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
15	坏	口径 13.0 器高 5.0	胎土・微細砂、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ、形態・口縁部と底部の境界稜線に段が付く。焼成・普通。色調・外面暗赤褐色。内面極暗赤褐色。残存量・ $\frac{3}{4}$ 。
16	埴	口径(10.2) 器高( 5.5)	胎土・白色粒子、石英、角閃石。整形・外面底部及び胴部粗いヘラケズリ、内面底部ナデ、胴部ヘラナデ。形態・口縁部いびつ。焼成・普通。色調・暗赤色。使用痕・外面胴部スス附着。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
17	坏	口径 16.0 器高 6.1	胎土・白色粒子、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・全体に分厚い。焼成・普通。色調・赤褐色。使用痕・外面底部上半環状にスス附着、外面口縁部スス附着。出土位置・床直。残存量・完形。
18	埴	口径(12.3) 器高( 4.5)	胎土・白色粒子、石英、角閃石多量。整形・外面底部及び胴部並びに口縁部下半ヘラケズリ、口縁部上半ヨコナデ、内面底部ナデ、胴部及び口縁部ヨコナデ・形態・口縁部いびつ。焼成・普通。色調・明褐色。出土位置・貯蔵穴。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
19	埴	口径(10.7) 器高( 4.9)	胎土・白色粒子、石英、角閃石。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナデ。焼成・普通。色調・明赤褐色。使用痕・全体に風化顕著。出土位置・床直。残存量・底部、胴部、口縁部一部。
20	坏	口径 15.9 器高 5.9	胎土・白色粒子、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ、焼成・普通、外面黒斑。色調・明赤褐色。出土位置・床直。残存量・ほぼ完形。
21	坏	口径(13.4) 器高( 3.5 以上)	胎土・白色粒子、石英、角閃石、褐鉄粒。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口縁部一部波うつ。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・貯蔵穴。残存量・底部 $\frac{1}{4}$ 、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
22	坏	口径( 7.4) 器高( 5.4 以上)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、角閃石、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ(部分的にヘラミガキあり)。焼成・普通、外面底部及び口縁部内外面黒斑。色調・赤褐色。使用痕・内外面スス附着。出土位置・カマド内。残存量・ $\frac{1}{4}$ 。

第19A号住居址出土土器観察表(第24図)

番号	器種	法量(cm)	特 徴
1	坏	口径 14.0 器高 4.1	胎土・白色粒子、石英、角閃石、褐鉄粒。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・赤褐色。残存量・底部 $\frac{1}{2}$ 、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。

第19B号住居址出土土器観察表（第24図）

番号	器種	法量(cm)	特	徴
1	甕	口径 17.5 器高(26.3 以上)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、石英。整形・外面胴部ヘラケズリ、首部ヘラオサエあり、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口唇部に沈線。焼成・普通、胴部外面及び口縁部内外面黒斑。色調・橙色。使用痕・スス付着。出土位置・カマド左側床直。残存量・胴部 $\frac{1}{2}$ 、口縁部。	
2	甕	口径(18.6) 器高 34.0	胎土・白色粒子、角閃石、石英。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナデ及びヘラオサエあり、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面黒斑。色調・外面赤褐色、内面橙色。使用痕・スス付着。出土位置・カマド右貯蔵穴内。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。	
3	壺	口径 20.0 器高( 5.0 以上)	胎土・白色粒子、角閃石、石英。整形・胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面口縁部黒斑。色調・橙色。使用痕・内面頸部スス付着、摩耗。残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。	
4	高坏	器高(12.3 以上)	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石。整形・外面脚部ヘラケズリ後ナデ、脚部と坏底部接合部にヘラオサエあり、坏底部ナデ後ハケ調整。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・脚部スス付着。出土位置・カマド内。残存量・脚部、坏底部 $\frac{1}{4}$ 。	
5	高坏	器高( 9.5 以上)	胎土・白色粒子、角閃石、雲母。整形・裾部内外面ヨコナデ、外面脚部ヘラケズリ後ナデ、内面脚部ナデ。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・カマド内。残存量・裾部一部、脚部 $\frac{1}{2}$ 。	
6	埴	口径(10.3) 器高( 7.6 以上)	胎土・褐鉄粒、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、胴部ナデ後ヘラオサエ?、内面底部ナデ、胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・にぶい赤褐色。出土位置・カマド左側床面。残存量・底部、胴部 $\frac{3}{4}$ 、口縁部一部。	
7	坏	口径 13.3 器高(15.0)	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口唇部凹線。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・底部内面スス付着多量。出土位置・カマド右床直。残存量 $\frac{1}{3}$ 。	
8	坏	口径 14.0 器高 4.7	胎土・褐鉄粒、雲母、石英、小石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口唇部凹線。焼成・普通、外面底部黒斑。色調・橙色。出土位置・北壁床直。残存量・完形。	
9	小埴	胴径 8.1 器高( 5.3 以上)	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ。焼成・普通、胴部黒斑。色調・明赤褐色。出土位置・カマド及び床直。残存量・胴部 $\frac{1}{4}$ 。	

第20号住居址出土土器観察表（第25・26図）

番号	器種	法量(cm)	特	徴
1	甕	口径 器高	胎土・角閃石、石英、微細粒多量。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・明赤褐色。使用痕・胴部若干スス付着。出土位置・カマド内。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。	
2	甕	口径(23.0) 器高( 6.5 以上)	胎土・白色粒子、石英、角閃石、褐鉄粒。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・明赤褐色。残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{1}{4}$ 。	

3	甕	口径(23.0) 器高(6.5 以上)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、石英、角閃石。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・胴部若干スス附着。出土位置・カマド内。残存量・胴部 $\frac{1}{2}$ 、口縁部。※図面欠落。
4	甕	底径 6.9 器高(10.0 以上)	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナデ。焼成・普通、底部及び胴部黒斑。色調・浅黄橙色。残存量・底部、胴部下半。
5	甕	底径 4.6 器高(3.8 以上)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、角閃石、石英。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナデ、焼成・普通、外面黒斑。色調・明赤褐色。出土位置・カマド内。残存量・底部、胴部一部。
6	甕	口径 21.0 器高 16.9	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、内外面黒斑。色調・橙色。出土位置・カマド内中央。残存量・ほぼ完形。
7	丸甕	口径 21.9 器高(15.4 以上)	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、胴部外面黒斑。色調・橙色。出土位置・貯蔵穴。残存量・上半。
8	甕	底径 6.9 器高(7.4 以上)	胎土・白色粒子、石英、角閃石、褐鉄粒。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナデ。焼成・普通、底部及び胴部黒斑。色調・橙色。出土位置・貯蔵穴。残存量・底部、胴部一部。
9	甕	口径 20.5 器高(8.5 以上)	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・カマド左袖内(埋甕?) 残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{3}{4}$ 。
10	甕	口径 21.6 器高(7.4 以上)	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{3}{4}$ 。
11	坏	口径 17.9 器高 4.4	胎土・白色粒子、石英、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、口縁部ヨコナデ、内面底部ナデ後ラセン状暗文、口縁部放射状暗文。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・床直。残存量・底部 $\frac{3}{4}$ 、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
12	坏	口径(13.6)	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、中位指頭痕、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・床直。残存量・底部 $\frac{3}{4}$ 、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
13	坏	口径 13.1 器高 3.5	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、中位指頭痕、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、内外面黒斑。色調・橙色。出土位置・床直。残存量・底部 $\frac{3}{4}$ 、口縁部 $\frac{3}{4}$ 。
14	坏	口径 13.0 器高 3.3	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、中位指頭痕、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・床直。残存量・底部、口縁部 $\frac{3}{4}$ 。
15	坏	口径 12.6 器高 3.1	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・やや甘い。色調・橙色。出土位置・床直。残存量・ほぼ完形。
16	大形 坏	口径(18.4) 器高 6.8	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石。外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・床直。残存量・底部、胴部 $\frac{3}{4}$ 、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。

17	坏	口径(14.1) 器高(4.0)	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・覆土。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
18	坏	口径 12.6 器高 3.0	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ後細かい暗文状ミガキ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・やや甘い。色調・橙色。出土位置・床直。残存量・ $\frac{3}{4}$ 。
19	坏	口径(17.0) 器高(4.9)	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、中位指頭痕、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・内面底部うすく剝離。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
20	坏	口径(13.9) 器高(4.1)	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、中位指頭痕、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・床直。残存量・底部 $\frac{1}{2}$ 、口縁部 $\frac{3}{4}$ 。
21	坏	口径(12.5) 器高 3.2	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、中位指頭痕、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・床直。残存量・底部 $\frac{3}{4}$ 、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。

第21号住居址出土土器観察表(第27図)

番号	器種	法量(cm)	特 徴
1	丸甕	口径 21.4 器高(7.9 以上)	胎土・褐鉄粒、角閃石、白色粒子、石英、小石。整形・外面ヘラケズリ、内面ナデ、口縁部ヨコナデ。焼成・普通、黒斑。色調・橙色。出土位置・床直。残存量・胴部一部、口縁部。
2	高坏	器高(9.7 以上)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英、角閃石。整形・外面脚部ナデ後ヘラミガキ、内面脚部ナデ。焼成・普通。出土位置・柱穴上。残存量・脚部。
3	坏	口径(13.0) 器高 3.7	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、口縁部黒斑。色調・橙色。出土位置・床直。残存量・底部 $\frac{1}{2}$ 、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
4	坏	口径(13.2) 器高 3.9	胎土・白色粒子、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、口縁部わずかに黒斑。色調・橙色。出土位置・床直。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。

第22号住居址出土土器観察表(第27図)

番号	器種	法量(cm)	特 徴
1	球胴甕	口径(17.5) 器高(10.6 以上)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英、角閃石。整形・外面胴部ヘラケズリ後ナデ、内面胴部ヘラナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、内外面黒斑。色調・橙色。残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
2	坏	器高(4.9 以上)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、胴部ナデ、内面底部及び胴部ナデ。焼成・良好。色調・明赤褐色。残存量・底部 $\frac{1}{2}$ 、胴部 $\frac{1}{4}$ 。
3	坏	口径(14.6) 器高 6.1	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英、角閃石、砂粒。整形・外面底部ヘラケズリ、胴部ナデ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・外面胴部スス及び器壁剝離。残存量・底部、胴部、口縁部 $\frac{1}{4}$ 。

第23号住居址出土土器観察表（第27図）

番号	器種	法量(cm)	特 徴
1	高坏	器高( 8.5 以上)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英。整形・外面脚部及び坏底部ヘラケズリ、内面脚部及び坏底部ナデ、裾部及び坏縁部内外面ヨコナデ、焼成・普通。色調・橙色。出土位置・床直。残存量・裾部一部、脚部、坏底部、坏縁部一部。
2	甕	器高( 5.5 以上)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英、角閃石。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ焼成・普通。色調・橙色。残存量・底部及び胴部一部。
3	坏	口径 12.2 器高 6.1	胎土・微細砂多量、石英、鉄斑。整形・外面底部下半ヘラケズリ、上半ナデ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口縁部と体部の境界に段。焼成・良好。色調・外面にふい赤褐色、内面にふい橙色。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
4	坏	口径(13.2) 器高( 4.8 以上)	胎土・褐鉄粒、石英、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ焼成・普通。色調・橙色。残存量・ $\frac{1}{4}$ 。

第24号住居址出土土器観察表（第27～29図）

番号	器種	法量(cm)	特 徴
1	甕	口径 28.4 器高(28.7 以上)	胎土・褐鉄粒、砂粒、小石、石英、角閃石。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・床直。残存量・胴部 $\frac{1}{2}$ 、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
2	甕	口径 18.7 器高(22.5 以上)	胎土・褐鉄粒、石英、角閃石、砂粒。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面ヘラナデ。焼成・普通、外面黒斑。色調・橙色。使用痕・外面焼土付着。出土位置・床直。残存量・胴部 $\frac{1}{2}$ 、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
3	甕	口径 20.0 器高 33.1	胎土・褐鉄粒、石英、角閃石、小石、砂粒。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・底部不安定。焼成・普通、外面スス付着。色調・橙色。出土位置・カマド内中央。残存量・底部、胴部一部欠損、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
4	甕	口径 15.2 器高 27.6	胎土・褐鉄粒、角閃石、白色粒子、石英、小石。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面底部胴部ナデ（ヘラオサエあり）、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、内面底部黒斑。色調・橙色。出土位置・カマド内中央。残存量・口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
5	小甕	口径(15.0) 器高(15.4 以上)	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英、雲母、白色粒子。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・内外面にうすくスス付着。出土位置・柱穴横床直。残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
6	小甕	口径(15.0) 器高(16.3 以上)	胎土・褐鉄粒、石英、角閃石、白色粒子、砂粒多量。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面黒斑。色調・橙色。使用痕・外面スス付着、焼土付着。出土位置・カマド内支脚。残存量・底部欠損。
7	小甕	口径(13.0) 器高 13.5	胎土・褐鉄粒、石英、角閃石、白色粒子、小石、雲母。整形・外面胴部ヘラケズリ後ナデ、内面胴部ヘラナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、内外面黒斑。色調・にふい赤褐色。出土位置・カマド左側床直。残存量・底部、胴部、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
8	埴	口径 10.4 器高 8.6	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・底部中心よりはずれる。焼成・普通。色調・明赤褐色。出土位置・カマド内中央。残存量・胴部 $\frac{1}{4}$ 、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。



9	甌	口径 24.3 器高 28.3 孔径 8.7	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英、角閃石、砂粒。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部暗文状ヘラミガキ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・孔部は全面剝離。焼成・普通、孔部周囲に黒斑。色調・橙色。出土位置・貯蔵穴内。残存量・ほぼ完形。
10	多孔小形甌	口径 15.5 器高 12.8	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英・小石。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・孔は不整形、13カ所穿孔。焼成・普通、内面スス付着。色調・赤褐色。使用痕・外面一部剝離、風化顕著。出土位置・カマド左側床直。残存量・胴部一部欠損、口縁部 $\frac{3}{4}$ 。
11	大形坏	口径 19.3 器高 8.5	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英、白色粒子、小石。整形・外面底部ヘラケズリ後ナデ、内面ナデ口縁部内外面ヨコナデ。焼成・やや甘い、底部黒斑。色調・橙色。出土位置・カマド右側床直。残存量・完形。
12	坏	口径 13.2 器高 3.7	胎土・微細砂、鉄斑。整形・外面底部ヘラケズリ、内面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・良好。色調・明褐色。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
13	坏	口径 14.2 器高 4.2	胎土・微細砂、鉄斑、きめ細かい。整形・外面底部ヘラケズリ、内面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・良好。色調・外面橙色、内面赤褐色。残存量・ほぼ完形。
14	坏	口径 13.6 器高 4.2	胎土・微細砂、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・良好。色調・橙色、外面底部黒斑？。残存量・ほぼ完形。
15	坏	口径 13.8 器高 4.4	胎土・微細砂、鉄斑。整形・外面底部ヘラケズリ、内面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・良好。色調・橙色、外面底部黒斑。残存量・ほぼ完形。
16	坏	口径(14.1) 器高(4.5以上)	胎土・褐鉄粒、角閃石、白色粒子。整形・外面底部ヘラケズリ、内面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・底部一部、口縁部 $\frac{1}{4}$ 。
17	坏	口径 14.6 器高 4.2	胎土・微細砂、角閃石、鉄斑。整形・外面底部ヘラケズリ、内面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ焼成・良好。色調・外面にぶい橙色、内面赤色。残存量・完形。
18	坏	口径 13.4 器高 4.6	胎土・微細砂、鉄斑。整形・外面底部ヘラケズリ、内面ヘラナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・良好。色調・外面黒褐色、内面黒色。残存量・ほぼ完形。
19	坏	口径 14.0 器高 4.2	胎土・微細砂、鉄斑、きめ細かい。整形・外面底部ヘラケズリ、内面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・良好。色調・外面にぶい橙色、内面橙色。残存量・完形。
20	坏	口径 14.2 器高 4.4	胎土・微細砂、鉄斑。整形・外面底部ヘラケズリ、内面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・丸底、口縁部と体部の境界に稜線。焼成・良好。色調・赤色。残存量・完形。
21	坏	口径 13.4 器高 4.3	胎土・微細砂、鉄斑。整形・外面底部ヘラケズリ、内面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・良好。色調・外面にぶい橙色、内面橙色。残存量・完形。
22	坏	口径 14.0 器高 4.1	胎土・微細砂、鉄斑多量。整形・外面底部ヘラケズリ、内面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・良好。色調・橙色。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
23	坏	口径 15.0 器高(3.6以上)	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ焼成・普通。色調・橙色。使用痕・外面スス付着。出土位置・カマド正面床直。残存量・ $\frac{1}{4}$ 。
24	坏	口径 13.1 器高 3.8	胎土・微細砂。整形・外面底部ヘラケズリ、内面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・底部扁平、口縁部と体部の境界シャープ。焼成・良好。色調・赤褐色。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。

25	坏	口径(14.6) 器高( 3.6)	胎土・褐鉄粒、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面黒斑。色調・橙色。使用痕・内面斑点状に器壁剥落、口唇部摩滅。出土位置・床直。残存量・底部 $\frac{1}{2}$ 、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
26	坏	口径(13.2) 器高( 3.4 以上)	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ焼成・普通、外面黒斑。色調・橙色。使用痕・全面スス付着、口唇部摩滅。出土位置・床直。残存量・底部、口縁部一部。

第25号住居址出土土器観察表 (第30図)

番号	器種	法量(cm)	特 徴
1	高坏	裾部径12.0 器高 10.4	胎土・微細砂、鉄斑。整形・裾部内外面ヨコナデ、脚部ヘラケズリ、内面中位指頭ナデ、上位ヘラ調整。形態・脚部「ハ」字状に開く、透かし楕円形3方1段。焼成・良好。色調・にぶい橙色。出土位置・床直。残存量・脚部、裾部 $\frac{1}{2}$ 。
2	坏	口径 14.0 器高 4.8	胎土・微細砂多量、小石。整形・外面底部下半ヘラケズリ、上半ケズリ後ナデ、内面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・良好。色調・外面にぶい橙色、内面暗赤褐色。残存量・口縁部一部欠損。

第26号住居址出土土器観察表 (第30～32図)

番号	器種	法量(cm)	特 徴
1	甕	口径 17.2 器高(23.0 以上)	胎土・白色粒子、角閃石、石英。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・外面スス付着。残存量・胴部 $\frac{1}{2}$ 、口縁部 $\frac{1}{4}$ 。
2	甕	口径 15.8 器高(23.6 以上)	胎土・白色粒子、角閃石、石英。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口唇部に沈線。焼成・普通、外面胴部黒斑。色調・橙色。使用痕・外面胴部スス付着。残存量・胴部 $\frac{1}{2}$ 、口縁部。
3	甕	口径 17.2 器高(10.9 以上)	胎土・褐鉄粒、小石、石英。整形・外面胴部ヘラケズリ後ナデ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面胴部黒斑。色調・橙色。使用痕・外面胴部スス付着。出土位置・床直。残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
4	甕	口径 18.8 器高(13.6 以上)	胎土・褐鉄粒、石英、白色粒子、角閃石。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・外面胴部スス付着。残存量・胴部 $\frac{1}{2}$ 、口縁部 $\frac{1}{4}$ 。
5	甕	口径 24.0 器高(21.0 以上)	胎土・褐鉄粒、石英、白色粒子、小石。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口唇部に沈線。焼成・普通、外面胴部黒斑。色調・橙色。使用痕・内面若干風化。出土位置・床直。残存量・上半 $\frac{1}{2}$ 。
6	甕	口径 17.7 器高(19.0 以上)	胎土・褐鉄粒、石英、白色粒子、角閃石、砂粒。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・内面スス付着。出土位置・床直。残存量・胴部 $\frac{1}{4}$ 、口縁部。
7	甕	口径(19.2) 器高( 5.6 以上)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、石英、角閃石。整形・口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、胴部と口縁部黒斑。色調・橙色。残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{1}{4}$ 。

8	甕	底径 6.5 器高(10.3 以上)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、石英、角閃石。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ焼成・普通、外面胴部黒斑。色調・橙色。残存量・底部、胴部 $\frac{1}{3}$ 。
9	小甕	口径 13.3 器高 14.6	胎土・角閃石、小石。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面底部及び胴部黒斑。色調・橙色。出土位置・床直。残存量・ほぼ完形。
10	高坏	口径(17.0) 器高(12.1 以上)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英。整形・外面脚部及び坏底部ヘラケズリ、内面脚部及び坏底部ナデ、内外面裾部及び坏縁部ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・土器溜り。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
11	高坏	裾部径10.7 器高(5.9 以上)	胎土・白色粒子、石英、角閃石。整形・外面脚部及び坏底部ヘラケズリ、内面脚部及び坏底部ナデ、裾部内外面ヨコナデ。形態・裾部先端に沈線。焼成・普通、裾部及び脚部内外面黒斑。色調・明橙色。出土位置・土器溜り。残存量・裾部 $\frac{3}{4}$ 、脚部、坏底部 $\frac{1}{2}$ 。
12	高坏	器高(10.3 以上)	胎土・角閃石、石英。整形・外面脚部ヘラケズリ後ナデ、坏底部ヘラケズリ、内面脚部及び坏底部ナデ。焼成・普通。色調・赤褐色。出土位置・土器溜り。残存量・脚部、坏底部 $\frac{3}{4}$ 。
13	高坏	器高(10.0 以上)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、角閃石。整形・裾部内外面ヨコナデ、外面脚部及び坏底部ヘラケズリ、内面脚部及び坏底部ナデ。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・土器溜り。残存量・裾部一部、脚部、坏底部 $\frac{1}{4}$ 。
14	高坏	器高(8.4 以上)	胎土・褐鉄粒、石英。整形・裾部内外面ヨコナデ、外面脚部ヘラケズリ後ナデ、坏底部ナデ、内面脚部及び坏底部ナデ。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・土器溜り。残存量・裾部一部脚部、坏底部。
15	高坏	器高(9.6 以上)	胎土・褐鉄粒、角閃石、白色粒子。整形・外面脚部及び坏底部ヘラケズリ後ナデ、内面脚部及び坏底部ナデ。焼成・普通。色調・赤褐色。出土位置・土器溜り。残存量・脚部、坏底部一部。
16	碗	口径 10.4 器高 6.5	胎土・白色粒子、石英。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ後ナデ、内面底部及び胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、胴部内外面及び口縁部内外面黒斑。色調・赤褐色。出土位置・床直。残存量・ほぼ完形。
17	坏	口径(13.3) 器高(5.1)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英、小石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・橙色。出土位置・土器溜り。残存量・底部 $\frac{1}{2}$ 、口縁部 $\frac{1}{3}$ 。
18	坏	口径(10.5) 器高(5.1)	胎土・褐鉄粒、石英。整形・外面底部ヘラケズリ後ナデ、内面底部及び胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・胴部内外面スス附着。残存量・底部及び胴部 $\frac{1}{3}$ 、口縁部 $\frac{1}{4}$ 。
19	坏	口径 12.6 器高 5.2	胎土・石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ヘラナデ、口縁部内外面ハケ状ナデ、焼成・良好、外面底部黒斑。色調・橙色。残存量・完形。
20	坏	口径 11.6 器高 5.5	胎土・石英、角閃石、褐鉄粒。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ヘラケズリ後ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・底部平底、木葉痕、焼成・良好。色調・明赤褐色。残存量・ほぼ完形。
21	坏	口径 12.4 器高 5.8	胎土・微細砂、鉄斑。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口縁部と体部の境界に段。焼成・良好。色調・内面灰褐色、外面にふい赤褐色。残存量・底部、口縁部 $\frac{1}{3}$ 。

22	坏	口径 12.8 器高 5.1	胎土・微細砂、鉄斑、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・扁平化、口縁部と体部の境界に段。焼成・良好。色調・内面暗赤褐色、外面明赤褐色（底部黒ずむ）。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
23	坏	口径 14.0 器高 7.2	胎土・微細砂、石英、鉄斑、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口縁部と体部の境界に段、口唇部内側に凹線。焼成・良好。色調・外面暗赤褐色、内面明赤褐色。残存量・底部 $\frac{3}{4}$ 、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
24	坏	口径(12.6) 器高( 5.6)	胎土・白色粒子、石英、角閃石、褐鉄粒。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面底部黒斑。色調・橙色。出土位置・土器溜り。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
25	手捏	口径 6.1 器高 4.5	胎土・白色粒子、石英、角閃石。整形・内外面指頭ナデ、指頭痕。焼成・普通、外面底部及び胴部黒斑。色調・にぶい黄褐色。使用痕・外面一部スス付着。残存量・完形。

第27号住居址出土土器観察表（第32図）

番号	器種	法量(cm)	特 徴
1	坏	口径(11.6) 器高( 3.5)	胎土・白色粒子、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ、焼成・普通。色調・橙色。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
2	坏	口径(12.2) 器高( 2.9)	胎土・白色粒子、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ焼成・普通。色調・橙色☆。残存量・ $\frac{1}{4}$ 。
3	蓋	口径 17.3 器高 2.9	胎土・褐鉄粒、石英大粒、角閃石、絹雲母片岩、砂粒、白色粒子。整形・上面回転糸切り、内外面ミズヒキ。焼成・普通。色調・灰色。残存量・底部、口縁部 $\frac{3}{4}$ 。
4	坏	口径 13.5 器高 3.8	胎土・角閃石、石英大粒多量、砂粒、白色粒子。整形・外面底部回転糸切り、口縁部内外面ミズヒキ。形態・口縁部いびつ。焼成・良好。色調・灰色。残存量・ほぼ完形。
5	坏	口径 13.2 器高 4.0	胎土・褐鉄粒、角閃石、白色粒子、石英、片岩大粒、砂粒。整形・外面底部回転糸切り、口縁部内外面ミズヒキ。焼成・やや甘い。色調・灰白色、底部内外面にぶい橙色。残存量・底部、口縁部 $\frac{3}{4}$ 。

第28号住居址出土土器観察表（第33図）

番号	器種	法量(cm)	特 徴
1	鉢	口径 19.0 器高 13.9	胎土・微細 砂多量、石英、鉄斑。整形・底部ヘラケズリ後ナデ、胴部ヘラケズリ、内面ヘラナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・内外面に接合痕明瞭。色調・外面赤褐色、内面明赤褐色（部分的に黒ずむ）。残存量・底部完形、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
2	壺	口径 22.5 器高(10.0 以上)	胎土・白色粒子、角閃石、金雲母。整形・外面胴部ヘラケズリ後ナデ、内面胴部ヘラケズリ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・良好。色調・淡褐色。残存量・口縁部 $\frac{3}{4}$ 。
3	高坏	器高( 9.4 以上)	胎土・微細砂、鉄斑、石英。整形・外面脚部縦位ヘラナデ、内面横位ヘラケズリ、坏部脚部接合部ヘラオサエ。焼成・良好。色調・外面にぶい赤褐色、内面にぶい橙色。残存量・脚部。
4	坏	口径 11.9 器高 5.6	胎土・微細砂、鉄斑。整形・外面底部ヘラケズリ、内面ヘラナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・良好。色調・外面明赤褐色、内面橙色。残存量・ほぼ完形。

5	小罎	底径 3.0 器高( 5.3 以上)	胎土・微細砂・整形・外面底部ヘラケズリ後ナデ、胴部中位指頭調整、下位ヘラケズリ、内面指頭調整。焼成・良好。色調・にぶい赤褐色。残存量・ $\frac{3}{4}$ 。
6	甌	胴径 10.0 器高 9.6	胎土・微細砂、小石。整形・外面胴部下半ロクロ後ヘラナデ調整、内面調整やや雑。形態・胴部肩の稜線は発達せず全体に丸みを帯びる。施文は胴部中位に8本単位の連続刺突文、その上位に浅い凹線、口縁部下位に波状文、自然釉は外面頸部より胴部中位まで及び内面口縁部より胴部下半、底部にかかる。焼成・良好。色調・灰色(自然釉はオリブ灰色)。使用痕・孔部周囲薄い剝離。出土位置・床直。残存量・口縁部上位欠損。

第32号住居址出土土器観察表 (第33図)

番号	器種	法量(cm)	特 徴
1	甕	底径( 8.4) 器高( 3.5 以上)	胎土・白色粒子、石英。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナデ。焼成・普通、外面黒斑。色調・橙色。残存量・底部 $\frac{1}{2}$ 、胴部一部。
2	小形甌	孔径( 2.3) 器高( 3.7 以上)	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面穴部周囲ヘラケズリ、胴部ナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・胴部一部。
3	高坏	器高( 8.8 以上)	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒。整形・外面脚部及び坏底部ヘラミガキ、内面脚部ナデ、坏底部ナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・脚部、坏底部 $\frac{3}{4}$ 。

第34号住居址出土土器観察表 (第33図)

番号	器種	法量(cm)	特 徴
1	埴	口径( 9.6) 器高( 8.2 以上)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、胴部ヘラケズリ後ナデ、内面底部及び胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面胴部及び口縁部黒斑。色調・明赤褐色、褐色。残存量・底部及び胴部 $\frac{1}{2}$ 、口縁部一部。
2	埴	口径( 8.4) 器高( 4.8 以上)	胎土・白色粒子、石英、角閃石。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・胴部及び口縁部 $\frac{1}{4}$ 。
3	高坏	口径( 8.3) 器高( 6.5 以上)	胎土・白色粒子、石英。整形・外面坏底部ヘラケズリ、坏縁部ヘラケズリ後ナデ、内面坏底部ナデ後ハケ調整、坏縁部ヨコナデ後ハケ調整。焼成・普通。色調・橙色。残存量・坏底部、坏縁部 $\frac{1}{4}$ 。
4	台付甕?	底径(10.9) 器高( 3.9 以上)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英。整形・脚部内外面ヨコナデ、内面上半指頭調整。焼成・普通、底部内面黒斑。色調・明赤褐色。残存量・脚部 $\frac{3}{4}$ 。
5	坏	口径 10.3 器高 2.9	胎土・白色粒子、石英、角閃石。整形・外面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口縁部ゆるくいびつ。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・覆土。残存量・完形。第35号住居址に帰属する。

第36A号住居址出土土器観察表（第34・35図）

番号	器種	法量(cm)	特	徴
1	甕	口径 21.0 器高 38.9	胎土・石英・角閃石、微細砂。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・底部丸み帯び不安定。焼成・普通。色調・明褐色。使用痕・外面スス附着、焼土附着。出土位置・カマド内中央。残存量・ほぼ完形。	
2	甕	口径 22.2 器高 35.2	胎土・褐鉄粒、角閃石、白色粒子。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・外面胴部上半及び内面胴部一部スス附着。出土位置・カマド内。残存量・底部、胴部 $\frac{3}{4}$ 、口縁部。	
3	小形丸甕	口径(14.6) 器高(7.6以上)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、角閃石、石英。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・良好。色調・橙色。使用痕・内外面スス附着。出土位置・カマド内。残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{1}{4}$ 。	
4	小形丸甕	口径(13.7) 器高(15.5以上)	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英、白色粒子、雲母、小石。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面ナデ焼成・普通、外面黒斑。色調・橙色。残存量・胴部 $\frac{1}{2}$ 、口縁部 $\frac{1}{3}$ 。	
5	甕	口径(22.1) 器高(17.0以上)	胎土・褐鉄粒、角閃石、白色粒子、石英。整形・外面胴部ヘラケズリ後ミガキ口縁部ヨコナデ内面ナデ後ミガキ、口縁部ヨコナデ後ミガキ。焼成・普通。色調・赤褐色。使用痕・外面スス附着。残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。	
6	小形丸甕	口径 14.7 器高 12.6	胎土・角閃石、石英、白色粒子、砂粒。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、内外面黒斑。色調・橙色。出土位置・カマド内。残存量・ほぼ完形。	
7	甕	口径 25.5 器高 29.1	胎土・角閃石、石英、白色粒子、砂粒、褐鉄粒。整形・外面孔部ヘラ切り、胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、内面孔部周辺黒斑。色調・橙色。残存量・口縁部一部欠損。	
8	小形甕	口径 17.4 器高 13.1	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英、白色粒子、雲母。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面ナデ。焼成・普通、内外面黒斑。色調・橙色。出土位置・カマド内。残存量・胴部一部欠損、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。	
9	坏	口径 12.1 器高 4.3	胎土・白色粒子、褐鉄粒、角閃石、砂粒。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口縁部いびつ。焼成・甘い、底部外面黒斑。色調・外面橙色、内面赤褐色。出土位置・床直。残存量・完形。	
10	坏	口径 12.1 器高 4.3 短径	胎土・白色粒子、褐鉄粒、角閃石、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・甘い、外面底部及び口縁部黒斑。色調・橙色。出土位置・床直。残存量・完形。	
11	坏	口径(16.1) 器高 4.2	胎土・白色粒子。整形・外面底部ナデ後格子目状に細かいヘラミガキ、内面底部ナデ。形態・胎土・整形とも良好、光沢を帯び全体に薄手。焼成・良好。色調・褐色。使用痕・内面全体にスス附着。出土位置・カマド内。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。	
12	坏	口径 11.7 器高 3.8	胎土・白色粒子、石英、角閃石、褐鉄粒。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口縁部いびつ。焼成・甘い。色調・橙色。出土位置・床直。残存量・完形。	
13	坏	口径 11.7 器高 3.8	胎土・白色粒子、石英、角閃石、褐鉄粒。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口縁部いびつ。焼成・甘い。色調・橙色。出土位置・床直。残存量・完形。	

14	坏	口径 11.4 器高 3.6	胎土・角閃石、石英、金雲母、チャート。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・カマド内。残存量・完形。
15	坏	口径 11.3 器高 3.9 短径 10.1	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・全体にひしゃげる。焼成・甘い、外面底部黒斑。色調・橙色。出土位置・床直。残存量・口縁部一部欠損。
16	坏	口径 11.8 器高 3.6	胎土・白色粒子、褐鉄粒、角閃石、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口縁部波うつ。焼成・甘い。色調・橙色。残存量・ほぼ完形。
17	坏	口径 11.1 器高 3.3	胎土・褐鉄粒、角閃石、雲母、白色粒子。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・甘い、口唇部一部黒斑。色調・橙色。出土位置・床直。残存量・ほぼ完形。
18	坏	口径 11.7 器高 3.8	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口縁部いびつ。焼成・甘い。出土位置・床直。残存量・ほぼ完形。
19	坏	口径 11.5 器高 4.2	胎土・角閃石、石英、金雲母、微細粒。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、口縁部外面黒斑。色調・橙色。出土位置・床直。残存量・完形。
20	坏	口径 11.5 器高 3.4	胎土・角閃石、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、口唇部黒斑。色調・橙色。出土位置・床直。残存量・完形。
21	坏	口径 11.9 器高 3.5	胎土・褐鉄粒、角閃石、金雲母、白色粒子。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・甘い。色調・橙色。出土位置・床直。残存量・ほぼ完形。
22	坏	口径 10.9 器高 3.4	胎土・白色粒子、褐鉄粒、石英。整形・外面・底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・やや良好。色調・浅黄橙色。出土位置・床直。残存量・完形。
23	坏	口径 11.9 器高 3.5	胎土・白色粒子、石英、角閃石、褐鉄粒。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・全体に楕円形。焼成・甘い。色調・橙色。出土位置・床直。残存量・口縁部一部欠損。
24	坏	口径 12.0 器高 3.2	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ形態・全体にいびつ。焼成・甘い、外面底部薄い黒斑。色調・淡橙色。出土位置・床直。残存量・ほぼ完形。
25	坏	口径 13.3 器高 3.8	胎土・石英、角閃石、砂粒、小石。整形・内外面ロクロ整形ミズヒキ、形態・全体に厚手・やや甘い、外面底部黒斑。色調・内外面底部灰白色、口縁部部灰色。出土位置・床直。残存量・完形。
26	坏	口径 13.2 器高 4.2	胎土・角閃石、石英、砂粒、白色粒子。整形・内外面ロクロ整形ミズヒキ、形態・内外底部灰白色、口縁部灰色。出土位置・床直。残存量・完形。

第36C号住居址出土土器観察表（第36図）

番号	器種	法量(cm)	特 徴
1	壺	口径 17.4 胴径 29.1 器高(29.3)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、角閃石、雲母。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、胴部下半黒斑。色調・橙色。残存量・底部欠損。

2	壺	器高(6.7以上)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、角閃石。整形・外面胴部ヘラケズリ後ナデ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・赤褐色。使用痕・内面頸部に擦痕。残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{3}{4}$ 。
3	坏	口径12.3 器高5.8	胎土・極微細砂粒。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・良好。色調・橙色。残存量・完形。
4	坏	口径(11.2) 器高5.8	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英、白色粒子。整形・外面底部下半ヘラケズリ、上半ヘラケズリ後ナデ、内面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・明赤褐色。使用痕・外面一部スス付着。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
5	手捏	口径5.5 器高3.7	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英、白色粒子。整形・底部及び胴部内外面ナデ。形態・全体に楕円形、口縁部いびつ。焼成・普通、内外面黒斑。色調・にぶい黄橙色。残存量・ $\frac{3}{4}$ 。

第37号住居址出土土器観察表(第36図)

番号	器種	法量(cm)	特	徴
1	甕	口径14.5 器高(14.2以上)	胎土・褐鉄粒、角閃石、白色粒子、雲母、小石。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・明褐色。使用痕・外面胴部焼土付着、内面口縁部一部スス付着。残存量・胴部 $\frac{1}{2}$ 、口縁部一部欠損。	
2	甕	器高(20.0以上)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、角閃石、砂粒多量。整形・外面底部ヘラケズリ、内面ナデ。焼成・普通。色調・明褐色。残存量・胴部 $\frac{1}{4}$ 。	
3	甕	口径16.0 器高28.7	胎土・褐鉄粒、白色粒子。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面ヘラケズリ後ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・器壁に焼土付着。出土位置・カマド袖。残存量・底部欠損。	
4	坏	口径10.5 器高3.8	胎土・褐鉄粒、角閃石、雲母、石英。整形・外面底部ナデ、内面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・明赤褐色。使用痕・内外面スス付着。残存量・ほぼ完形。	
5	坏	口径14.1 器高5.5	胎土・褐鉄粒、石英、白色粒子、雲母。整形・外面底部ヘラケズリ後ナデ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・全体に分厚い。焼成・普通。色調・明赤褐色。使用痕・内外面スス付着。残存量・底部一部欠損、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。	
6	高坏	口径(13.7) 器高(5.0以上)	胎土・褐鉄粒、角閃石、白色粒子、石英。整形・外面坏底部ナデ、内面ナデ後暗文状ヘラミガキ。焼成・良好。色調・明赤褐色。残存量・ $\frac{1}{4}$ 。	

第38号住居址出土土器観察表(第37図)

番号	器種	法量(cm)	特	徴
1	台付甕	底径(9.8) 器高(6.9以上)	胎土・褐鉄粒、角閃石、白色粒子、石英。整形・外面裾部ナデ(暗文状)、胴部ナデ、内面裾部及び胴部ナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・脚部 $\frac{1}{2}$ 、胴部一部。	
2	坏	口径12.4 器高4.2	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英、白色粒子。整形・外面底部ヘラケズリ後ナデ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口縁部楕円形。焼成・甘い。色調・橙色。残存量・完形。	
3	坏	口径(12.1) 器高(4.1)	胎土・褐鉄粒、石英、白色粒子、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・やや甘い。色調・橙色。残存量・底部 $\frac{1}{2}$ 、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。	



第39号住居址出土土器観察表（第37図）

番号	器種	法量(cm)	特	徴
1	坏	口径(10.0) 器高 2.7	胎土・白色粒子、褐鉄粒、石英、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・底部 $\frac{1}{2}$ 、口縁部 $\frac{1}{3}$ 。	
2	坏	口径 11.1 器高 3.4	胎土・白色粒子、石英、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ・内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、底部外面円形黒斑。色調・橙色。残存量・ $\frac{2}{3}$ 。	
3	坏	口径(11.4) 器高( 2.8)	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英、白色粒子。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・ $\frac{1}{4}$ 。	
4	坏	口径 11.3 器高 3.6	胎土・白色粒子、石英、角閃石。整形・外面底部指頭痕、ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・底部外面指頭痕。焼成・外面底部より口縁部の一部にかけ楕円形の黒斑。色調・橙色。残存量 $\frac{2}{3}$ 。	
5	坏	口径(10.9) 器高 3.5	胎土・白色粒子、石英、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部同心円状ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・色調・橙色。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。	
6	坏	口径(11.0) 器高 2.8	胎土・白色粒子、石英、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面裾部同心円状ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・にぶい褐色。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。	
7	坏	口径 12.3 器高 3.9	胎土・褐鉄粒、石英、白色粒子、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・底部、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。	
8	坏	口径(11.7) 器高 3.7	胎土・白色粒子、石英、角閃石、褐鉄粒。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・底部厚い。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・外面一部スス附着。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。	
9	坏	口径 11.2 器高 3.3	胎土・白色粒子、石英、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・全体にひしゃげる。焼成・やや甘い。色調・橙色。残存量・完形。	
10	坏	口径 13.7 器高 3.9	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英、チャート、小石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・ほぼ完形。	
11	坏	口径(12.8) 器高( 4.0)	胎土・白色粒子、石英、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。	
12	盤	口径(17.9) 器高( 2.7)	胎土・白色粒子、石英、角閃石、褐鉄粒。整形・外面底部ヘラケズリ、内面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・やや甘い。色調・橙色。残存量・ $\frac{1}{4}$ 。	
13	蓋	口径(10.9) 器高 2.1	胎土・石英・褐鉄粒、角閃石、砂粒、白色粒子。整形・内外面ロクロ整形ミズヒキ。焼成・甘い。色調・暗灰黄色。使用痕・全体に摩滅顕著。残存量・ $\frac{3}{4}$ 。	

第40号住居址出土土器観察表（第37図）

番号	器種	法量(cm)	特	徴
1	甕	口径(17.5) 器高(17.3以上)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、角閃石。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、胴部外面黒斑。色調・橙色。使用痕・胴部外面スス附着。残存量・胴部、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。	

2	甕	口径 18.0 器高( 9.2 以上)	胎土・白色粒子、角閃石、褐鉄粒、小石。整形・胴部ヘラケズリ後ヘラミガキ、内面胴部ヘラナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、胴部外面、口縁部内外面スス付着。色調・橙色。残存量・胴部一部、口縁部。
3	甕	口径(14.4) 器高( 9.4 以上)	胎土・白色粒子、角閃石、小石、褐鉄粒。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・明赤褐色。使用痕・外面胴部及び口縁部スス付着。残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
4	台付 甕	底径 10.5 器高( 5.5 以上)	胎土・白色粒子、石英、角閃石、褐鉄粒。整形・外面台部上半風化不明瞭、内面台部上半ナデ、台部下半内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・赤褐色。使用痕・台部内面、胴部内面スス付着。残存量・台部 $\frac{1}{2}$ 。脚部一部。
5	坏	口径(13.1) 器高 5.4	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒。整形・外面底部ヘラケズリ後ナデ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、底部、口縁部内外面黒斑。色調・明赤褐色。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
6	坏	口径(11.8) 器高( 5.4)	胎土・白色粒子、雲母、石英、褐鉄粒。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・内面底部スス付着。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
7	坏	口径(11.9) 器高( 3.5)	胎土・白色粒子、角閃石、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・底部 $\frac{1}{4}$ 、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。

第41号住居址出土土器観察表(第38図)

番号	器種	法量(cm)	特 徴
1	甕	底径 4.9	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面ナデ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・外面底部及び胴部スス付着。残存量・底部、胴部若干。
2	坏	底径 6.5	胎土・褐鉄粒、石英、砂粒、小石。整形・ロクロ整形、外面底部回転糸切り後高台貼付け。焼成・普通。色調・灰色。残存量・底部のみ。
3	坏	口径 13.4 器高 3.8	胎土・角閃石、褐鉄粒、雲母、白色粒子、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・底部 $\frac{2}{3}$ 、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
4	坏	口径(12.3) 器高( 3.7)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・ $\frac{1}{4}$ 。
5	坏	口径 14.5 器高 5.5	胎土・褐鉄粒、雲母、角閃石、石英、白色粒子。整形・外面底部及び体部ヘラケズリ、内面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面黒斑。色調・橙色。残存量・底部一部。

第42号住居址出土土器観察表(第38・39図)

番号	器種	法量(cm)	特 徴
1	甕	口径(19.9) 器高(16.2)	胎土・褐鉄粒、チャート大粒、石英多量。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ後ヘラオサエ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・にぶい黄橙色。残存量・ $\frac{1}{4}$ 。
2	甕	口径(18.7) 器高(10.5 以上)	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英、砂粒。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ヘラナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口縁部に輪積痕。焼成・普通、外面一部スス付着。色調・橙色。残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{1}{4}$ 。

3	小甕	口径(13.4) 器高(7.1 以上)	胎土・角閃石、石英、白色粒子。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・赤褐色。残存量・胴部、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
4	小甕	口径(11.9) 器高(13.5 以上)	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英、白色粒子、小石、雲母。整形・外面胴部ヘラケズリ後ナデ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・明赤褐色。使用痕・外面底部一部スス付着。残存量・胴部 $\frac{3}{4}$ 、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
5	小甕	口径 13.6 器高 14.6	胎土・チャート、褐鉄粒、角閃石、白色粒子、砂粒多量。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナデ後ヘラオサエ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・にぶい橙色。残存量・完形。
6	甕	口径 26.2 器高 30.7	胎土・砂粒多量、褐鉄粒、角閃石、白色粒子、石英、絹雲母片岩。整形・外面胴部ヘラケズリ内面胴部ヘラケズリ後ヘラミガキ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面胴部及び口縁部内面黒斑。色調・灰白色及び橙色。出土位置・貯蔵穴内。残存量・ほぼ完形。
7	高坏	口径 16.6 器高 11.5	胎土・褐鉄粒、石英、白色粒子、雲母。整形・裾部内外面ヨコナデ、外面脚部ヘラケズリ後ナデ、坏底部ヘラケズリ、内面脚部ヘラケズリ後ナデ、坏底部ナデ、坏縁部内外面ヨコナデ。焼成・良好。色調・橙色。出土位置・カマド付近床直。残存量・ほぼ完形。
8	高坏	口径 16.4 器高 11.3	胎土・褐鉄粒、雲母、白色粒子、角閃石。整形・裾部内外面ヨコナデ、外面脚部ナデ、坏底部ヘラケズリ、内面脚部ヘラケズリ後ナデ、坏底部ナデ、坏縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・ほぼ完形。
9	高坏	口径 16.0 器高 11.2	胎土・褐鉄粒、角閃石、白色粒子、雲母。整形・外面脚部及び坏底部ヘラケズリ後ナデ、裾部内外面ヨコナデ、内面脚部及び坏底部ナデ、坏縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・カマド内。残存量・ほぼ完形。
10	高坏	口径 16.2 器高(4.9 以上)	胎土・褐鉄粒、雲母、角閃石。整形・外面坏底部ヘラケズリ後ナデ、内面坏底部ナデ、坏縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、内外面黒斑。色調・赤褐色。使用痕・内面坏底部及び坏縁部スス付着。残存量・坏底部、坏縁部。
11	坏	口径 10.7 器高 4.8	胎土・石英多量。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口唇部に凹線。焼成・普通。色調・橙色。残存量・完形。
12	坏	口径 13.8 器高 6.4	胎土・極微細粒、石英、長石、金雲母、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・粗悪。色調・橙色。残存量・完形。
13	坏	口径 11.9 器高 5.1	胎土・金雲母、石英、長石、微細砂多量。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面底部黒斑。色調・明赤褐色。残存量・完形。
14	坏	口径 12.1 器高 4.9	胎土・褐鉄粒、雲母、角閃石、白色粒子。整形・外面底部ヘラケズリ後ナデ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・赤褐色。使用痕・底部スス付着。残存量・完形。
15	坏	口径 12.5 器高 4.9	胎土・褐鉄粒、白色粒子、雲母。整形・外面底部ヘラケズリ後ナデ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・完形。
16	坏	口径(12.6) 器高 4.8	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英、白色粒子、小石、砂粒。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・底部 $\frac{1}{2}$ 、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
17	坏	口径(12.6) 器高 4.4	胎土・褐鉄粒、石英、雲母。整形・外面底部ヘラケズリ後ナデ、内面底部ナデ後暗文状ヘラミガキ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面底部黒斑。色調・橙色。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
18	坏	口径(13.6) 器高 5.0	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英、チャート。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ(ヘラオサエあり)、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・明赤褐色。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。

第43A号住居址出土土器観察表（第39～41図）

番号	器種	法量(cm)	特	徴
1	甕	口径 17.9 短径 15.1 器高 31.1	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、小石。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面黒斑。色調・橙色。使用痕・外面胴部焼土付着、内面胴部及び口縁部スス付着。残存量・ほぼ完形。	
2	甕	口径 18.6	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナデ口縁部内外面ヨコナデ、焼成・普通、外面胴部黒斑。色調・橙色。使用痕・外面胴部及び口縁部鉄分付着、内面底部スス付着。残存量・ほぼ完形。	
3	甕	底径( 8.9) 器高(15.5 以上)	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナデ。焼成・普通、外面胴部黒斑。色調・明赤褐色。使用痕・内面底部及び胴部スス付着。残存量・底部、胴部 $\frac{1}{2}$ 。	
4	甕	口径 15.0 器高 32.6	胎土・白色粒子、褐鉄粒、石英、角閃石、小石。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・外面橙色、内面赤褐色。使用痕・外面胴部及び口縁部スス付着。残存量・ほぼ完形。	
5	甕	口径(21.0) 器高 27.3	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石。整形・外面脚部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量 $\frac{1}{2}$ 。	
6	小形甕	口径 15.5 器高 14.1	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、胴部ヘラケズリ後ナデ内面底部及び胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・外面ヘラケズリにより波うつ。焼成・普通、外面胴部及び口縁部黒斑。色調・赤褐色。残存量・ほぼ完形。	
7	甕	口径 22.5 器高 24.8 孔径 8.8	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英、雲母、砂粒。整形・孔部ヘラ切り、外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、内外面一部黒斑。色調・橙色。残存量・ほぼ完形。	
8	甕	底径 6.0 孔径 2.5	胎土・白色粒子、小石。整形・外面胴部及び底部ヘラケズリ、内面ヘラケズリ後ナデ、孔部ヘラケズリ後指頭調整。焼成・良好。色調・橙色。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。	
9	甕	孔径 1.6 器高(10.5 以上)	胎土・石英、角閃石。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ。形態・穿孔は小さい、内面より外面へ穿孔。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・外面胴部黒斑。残存量・胴部一部。	
10	埴	口径 11.9 器高( 8.4 以上)	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英、雲母、白色粒子。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・甘い。色調・橙色。使用痕・風化顕著で全体に摩滅。残存量・胴部 $\frac{1}{4}$ 、口縁部 $\frac{3}{4}$ 。	
11	埴	口径( 9.6) 器高( 5.0 以上)	胎土・微細砂、金雲母多量。整形・外面胴部ヘラケズリ後ナデ、内面ヨコナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・ $\frac{1}{4}$ 。	
12	坏	口径(17.7) 器高 7.4	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面底部円形黒斑。色調・明赤褐色。残存量・底部 $\frac{3}{4}$ 、口縁部 $\frac{1}{4}$ 。	
13	坏	口径(14.1) 器高( 5.8 以上)	胎土・褐鉄粒、角閃石、雲母、砂粒、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、内外面一部黒斑。色調・赤褐色。残存量・底部 $\frac{3}{4}$ 、口縁部 $\frac{1}{4}$ 。	
14	坏	口径(14.8) 器高( 4.9 以上)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、石英、角閃石、砂粒。整形・外面底部ヘラケズリ、焼成・普通。色調・明赤褐色。使用痕・外面底部及び口縁部に剝離。残存量・底部 $\frac{1}{4}$ 。口縁部 $\frac{3}{4}$ 。	

15	坏	口径(13.4)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、角閃石、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・ $\frac{1}{4}$ 。
16	坏	口径 15.8 器高 5.1	胎土・金雲母多量。長石、石英、角閃石微細粒。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・良好、底部より口縁部に帯状に黒斑。色調・橙色。出土位置・床直。残存量・ $\frac{2}{3}$ 。
17	坏	口径 14.8 器高 4.1	胎土・白色粒子、褐鉄粒、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、口縁部内外面黒斑。色調・明赤褐色。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
18	坏	口径(14.0) 器高(5.1)	胎土・白色粒子、褐鉄粒石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、口縁部内外面黒斑。色調・明赤褐色。残存量・ $\frac{2}{3}$ 。
19	坏	口径 11.7 器高 4.4	胎土・白色粒子、褐鉄粒、石英、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・外面底部スス附着。残存量・ $\frac{1}{3}$ 。
20	高坏	口径 15.5 器高 7.2 以上	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ後ヘラミガキ。口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・内面底部及び坏縁部スス附着。色調・橙色。残存量・坏底部、坏縁部 $\frac{1}{2}$ 。

第43B号住居址出土土器観察表(第41図)

番号	器種	法量(cm)	特 徴
1	坏	口径 12.2 器高 3.5	胎土・石英多量。焼成・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・良好。色調・橙色。残存量・完形。
2	坏	口径(14.2) 器高 5.8	胎土・褐鉄粒、若干大粒の石英、片岩、白色粒子、微細砂。整形・底部は回転糸切り後高台貼りつけ、貼りつけ後ナデ。焼成・普通。色調・黄灰色。出土位置・カマド内。残存量・ $\frac{1}{3}$ 。
3	小壺	口径 5.5 器高 7.5	胎土・白色粒子、角閃石、小石。整形・ロクロ整形、底部回転糸切り。焼成・良好、高温のため外面発泡。色調・暗灰色。使用痕・内外面スス附着。残存量・底部 $\frac{1}{3}$ 、胴部 $\frac{1}{3}$ 。

第44号住居址出土土器観察表(第41図)

番号	器種	法量(cm)	特 徴
1	皿	口径(16.4) 器高(3.0)	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・甘い、外面底部うすい黒斑。色調・橙色。残存量・ $\frac{1}{3}$ 。

第45号住居址出土土器観察表(第42図)

番号	器種	法量(cm)	特 徴
1	甗	口径(18.2) 器高 33.1	胎土・白色粒子、角閃石、石英。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナデ口縁部内外面ヨコナデ。形態・底部木葉痕。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・内外面スス附着、外面焼土附着。残存量・ $\frac{1}{3}$ 。
2	甗	底径 7.1 器高(12.1 以上)	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英、砂粒。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ。形態・底部木葉痕。焼成・普通、底部及び胴部一部黒斑。色調・橙色。使用痕・内面底部スス附着。残存量・底部、胴部 $\frac{1}{2}$ 。

3	直口壺	器高(6.1以上)	胎土・角閃石、雲母。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ。焼成・普通、内外面黒斑。色調・外面赤褐色、内面橙色。残存量・ $\frac{1}{4}$ 。
4	直口壺	口径(12.1)器高 18.2	胎土・褐鉄粒、角閃石、白色粒子、石英、砂粒。整形・外面胴部ヘラケズリ後ナデ、口縁部下位及び中位ヘラナデ、上位ヨコナデ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面胴部及び口縁部一部黒斑。色調・赤褐色。使用痕・口唇部欠損部分あり。残存量・胴部 $\frac{1}{2}$ 、口縁部 $\frac{1}{4}$ 。須恵器模倣品。
5	高坏	口径(16.2)器高(6.6以上)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、角閃石、石英、砂粒。整形・外面坏底部ヘラケズリ、内面坏底部ナデ、坏縁部内外面ヨコナデ。形態・口縁部いびつ。焼成・普通、坏底部及び坏縁部うすい黒斑色調・橙色。残存量・坏底部 $\frac{3}{4}$ 、坏縁部 $\frac{1}{2}$ 。
6	坏	口径(4.4)器高(5.5)	胎土・角閃石、褐鉄粒、雲母、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、内外面黒斑。色調・橙色。使用痕・内面スス附着。残存量・底部一部、口縁部 $\frac{1}{4}$ 。
7	坏	口径(13.8)器高 5.6	胎土・大粒の褐鉄粒、角閃石、石英、小石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面黒斑。色調・橙色。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
8	坏	口径(16.1)器高(4.6以上)	胎土・褐鉄粒、角閃石、白色粒子、片岩、砂粒。整形・外面底部ヘラケズリ、口縁部ヨコナデ内面底部ナデ、口縁部不明瞭。焼成・普通。色調・明赤褐色。残存量・ $\frac{1}{6}$ 。
9	坏	口径 12.6器高 4.0	胎土・褐鉄粒、雲母、白色粒子、角閃石。整形・外面底部糸切り、内外面ロクロ整形ミズヒキ焼成・甘い、外面うすい黒斑。色調・灰黄色。残存量・ $\frac{3}{4}$ 。混入品。

第48号住居址出土土器観察表(第43~46図)

番号	器種	法量(cm)	特 徴
1	甕	口径(18.1)器高 28.6	胎土・褐鉄粒、石英、白色粒子、角閃石、雲母。整形・外面胴ヘラケズリ、内面胴部ナデ(ヘラオサエあり)、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面黒斑。色調・赤褐色。使用痕・内面一部スス附着、底部剝離。残存量・底部、胴部 $\frac{3}{4}$ 、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
2	甕	口径 15.9器高 29.5	胎土・白色粒子、石英、角閃石、褐鉄粒。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・明赤褐色。使用痕・外面焼土及びスス附着。残存量・ほぼ完形。
3	甕	口径 20.0器高(26.7以上)	胎土・角閃石、石英大粒多量、砂粒、小石。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面黒斑。色調・赤褐色。残存量・胴部 $\frac{1}{2}$ 、口縁部 $\frac{3}{4}$ 。
4	甕	口径 16.8器高(17.3以上)	胎土・角閃石、褐鉄粒、石英、砂粒、小石。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ、形態・外面ヘラケズリにより波うつ。焼成・普通、内外面黒斑。色調・橙色。残存量・胴部 $\frac{1}{4}$ 、口縁部 $\frac{3}{4}$ 。
5	甕	口径(19.7)器高(13.4以上)	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石、小石。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ(ヘラオサエあり)、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面胴部及び口縁部内外面黒斑。色調・外面灰褐色。内面にふい褐色。残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
6	甕	口径(16.7)器高(13.0以上)	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石、小石、砂粒。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ(ヘラオサエあり)、口縁部内外面ヨコナデ。形態・胴部輪積痕顕著。焼成・普通、外面胴部黒斑。色調・橙色。残存量・胴部 $\frac{1}{2}$ 、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。

7	小甕	口径(16.4) 器高(9.8 以上)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、角閃石、石英。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・外面胴部及び口縁部スス付着。残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
8	甕	底径 6.6 器高(10.5 以上)	胎土・褐鉄粒、角閃石、白色粒子、チャート、小石。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナデ(ヘラオサエあり)。焼成・普通、内外面黒斑。色調・橙色。残存量・底部、胴部下半。
9	甕	底径 6.0 器高(13.0 以上)	胎土・白色粒子、角閃石、石墨片岩、石英、チャート小石。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナデ。焼成・普通、外面胴部黒斑。色調・橙色。残存量・底部、胴部 $\frac{1}{2}$ 。
10	球胴甕	底径 7.3 器高(11.1 以上)	胎土・白色粒子、角閃石、石英、赤色チャート大粒、灰色チャート大粒、小石。整形・外面底部及び胴部黒斑。色調・橙色。使用痕・外面底部及び胴部スス付着。残存量・底部、胴部 $\frac{1}{2}$ 。
11	球胴甕	底径 7.2 器高(14.8 以上)	胎土・白色粒子、チャート、絹雲母片岩、石英、角閃石、小石。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナデ。焼成・普通、外面黒斑。色調・明赤褐色。使用痕・外面胴部スス付着。残存量・底部、胴部 $\frac{1}{2}$ 。
12	小甕	口径 12.8 器高(15.9)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、角閃石、小石、チャート多量。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナデ(胴部ヘラオサエあり)、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面胴部及び口縁部内外面黒斑。色調・橙色。使用痕・外面底部スス付着。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
13	短頸壺	口径 11.1 器高 20.4	胎土・角閃石、褐鉄粒、白色粒子、石英、チャート。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ(ヘラオサエあり)、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面胴部及び口縁部内外面黒斑。色調・明赤褐色。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
14	小甕	口径 14.2 器高 19.4	胎土・白色粒子、褐鉄粒、石英、角閃石、チャート、小石。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面胴部及び口縁部黒斑。色調・明赤褐色。残存量・ $\frac{3}{4}$ 。
15	小甕	口径 14.3 器高 20.8	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英、チャート、片岩、白色粒子。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・底部ふくらむ。焼成・普通、口縁部黒斑。色調・赤橙色。残存量・完形。
16	短頸壺	口径(12.4) 器高(14.0 以上)	胎土・褐鉄粒、角閃石、雲母。外面胴部ヘラケズリ後ナデ、内面胴部ナデ、口縁部内外面指頭痕及びヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
17	小甕	口径 11.4 器高 11.5	胎土・白色粒子、石英、角閃石、褐鉄粒、絹雲母片岩、砂粒。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナデ(底部ヘラオサエあり)。焼成・普通、内外面黒斑。色調・赤褐色。残存量・底部、胴部 $\frac{3}{4}$ 、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
18	鉢	口径 13.8 器高 9.3	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英、白色粒子。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ(ヘラオサエあり)、口縁部内外面ヨコナデ。形態・底部渦巻き状にヘラケズリ。焼成・普通、外面胴部及び口縁部内外面黒斑。色調・橙色及び明赤褐色。残存量・ $\frac{3}{4}$ 。
19	鉢	口径 15.1 器高 10.4	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英、角閃石。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・底部不明瞭。焼成・普通、外面一部黒斑、内面黒色仕上げ。色調・橙色。残存量・ $\frac{3}{4}$ 。
20	甕	口径 15.6 器高 11.4	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石、チャート。整形・孔部ヘラ切り、外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ヘラナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、内外面黒斑。色調・橙色。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。

21	甌	口径(20.1) 器高(14.4 以上)	胎土・白色粒子、角閃石、石英、チャート、絹雲母片岩、小石。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面胴部及び口縁部黒斑。色調・赤褐色。残存量・胴部 $\frac{1}{2}$ 、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
22	甌	口径 6.9 器高(16.5 以上)	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英大粒多量、白色粒子、砂粒。整形・孔部ヘラ切り、外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ。焼成・普通、外面黒斑。色調・明赤褐色。残存量・胴部 $\frac{1}{4}$ 。
23	小形 甌	口径 7.4 器高(13.7 以上)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、角閃石。整形・孔部ヘラ切り、外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ焼成・普通、内外面黒斑。色調・橙色。残存量・胴部 $\frac{1}{4}$ 。
24	小形 鉢	口径 14.1 器高 8.4	胎土・白色粒子、石英、角閃石、褐鉄粒。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・赤黒色(全面黒色化)。使用痕・内外面スス付着。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
25	高坏	裾径(9.5) 器高(5.0 以上)	胎土・角閃石、石英、白色粒子。整形・裾部内外面ヨコナデ、外面脚部ヘラケズリ、内面脚部ナデ後ヘラミガキ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・裾部 $\frac{1}{2}$ 、脚部。台付甕脚部か。
26	坏	口径(14.8) 器高 4.4	胎土・白色粒子、石英、角閃石、砂粒。整形・外面底部ヘラミガキ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口唇部凹線。焼成・普通。色調・明赤褐色。使用痕・内外面スス付着。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
27	坏	口径 12.1 器高 4.9	胎土・白色粒子、石英。整形・外面底部ヘラミガキ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・良好、内外面黒斑。色調・暗赤褐色。使用痕・外面底部スス付着。残存量・底部、口縁部 $\frac{1}{4}$ 。
28	坏	口径(11.1) 器高 5.1	胎土・白色粒子、角閃石、褐鉄粒、雲母。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ(ヘラオサエあり)、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、内外面黒斑。色調・明赤褐色。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
29	坏	口径 12.5 器高 5.1	胎土・白色粒子、石英、角閃石、褐鉄粒、砂粒。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・内面底部及び口縁部スス付着。残存量・底部、口縁部 $\frac{1}{4}$ 。
30	坏	口径 12.5 器高 5.3	胎土・石英、褐鉄粒、角閃石、白色粒子、雲母。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、内外面底部うすい黒斑。色調・にぶい橙色。残存量 $\frac{1}{4}$ 。
31	坏	口径 12.8 器高 5.4	胎土・微細砂、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部指頭調整後ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・外面灰褐色、内面明褐色(一部赤褐色)。残存量・完形。
32	坏	口径(13.6) 器高(4.6)	胎土・石英、褐鉄粒、白色粒子、角閃石、雲母。外面底部ヘラケズリ、内面底部同心円状ナデ口縁部内外面ヨコナデ、形態・口唇部浅い凹線。焼成・普通。色調・橙色。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
33	坏	口径 14.9 器高 4.5	胎土・褐鉄粒、石英、雲母。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面底部円形黒斑。色調・橙色。残存量・底部 $\frac{1}{4}$ 、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
34	坏	口径 14.0 器高 4.7	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・底部、口縁部 $\frac{1}{4}$ 。
35	坏	口径 12.0 器高 4.1	胎土・微細砂多量。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・明赤褐色。出土位置・カマド内。残存量・ほぼ完形。



36	坏	口径 11.1 器高 3.2	胎土・石英、角閃石、褐鉄粒、金雲母、白色粒子。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ（ヘラオサエあり）、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口縁部波うつ。焼成・普通の色調・赤褐色及び橙色。残存量・ほぼ完形。
37	坏	口径 10.3 器高 3.3	胎土・褐鉄粒、角閃石、白色粒子、石英、金雲母。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ（ヘラオサエあり）、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・明赤褐色。使用痕・内面スス付着。残存量・ほぼ完形。
38	坏	口径 12.2 器高 3.7	胎土・白色粒子、角閃石、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ（指頭痕）、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、口縁部内外面黒斑。色調・橙色。残存量・¾。
39	坏	口径 10.3 器高 3.3	胎土・白色粒子・褐鉄粒、角閃石、石英。整形・解底部ヘラケズリ、内面底部ナデ（ヘラオサエあり）、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・外面にぶい赤褐色。内面明褐色。残存量・ほぼ完形。
40	坏	口径( 9.8) 器高( 4.0 以上)	胎土・白色粒子、角閃石、雲母。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、内面底部黒斑。色調・赤褐色。残存量・⅓。
41	坏	口径 10.9 器高 3.7	胎土・白色粒子、石英、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ（ヘラオサエあり）、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、内面底部及び口縁部黒斑。色調・にぶい赤褐色。残存量・¾。
42	坏	口径 11.1 器高 3.6	胎土・角閃石、石英、雲母、褐鉄粒。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ（ヘラオサエあり）、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・内面底部円形うすい黒斑。色調・明赤褐色。使用痕・外面底部スス付着。残存量・¾。
43	坏	口径 10.0 器高 4.0	胎土・微細砂多量、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ焼成・良好。色調・にぶい赤褐色。残存量・ほぼ完形。
44	坏	口径 9.8 器高 4.8	胎土・微細砂、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・外面にぶい橙色、内面明赤褐色。残存量・ほぼ完形。
45	坏	口径 9.8 器高 3.9	胎土・白色粒子、石英微細粒多量、褐鉄粒、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・にぶい赤褐色。残存量・完形。
46	坏	口径 10.0 器高 4.6	胎土・石英、白色粒子、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ（ヘラオサエあり）、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、内外面黒斑。色調・外面明赤褐色、内面全面黒斑。残存量・完形。
47	坏	口径(11.8) 器高 4.1	胎土・褐鉄粒、白色粒子、金雲母、角閃石、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ（ヘラオサエあり）、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、底部及び口縁部内外面黒斑。色調・橙色。残存量・底部、口縁部⅓。
48	坏	口径 9.1 器高 4.1	胎土・白色粒子、角閃石微細粒多量、雲母。整形・外面底部ヘラケズリ、口縁部ヨコナデ、内面底部及び口縁部ナデ。焼成・普通、外面底部黒斑。色調・橙色。残存量・完形。
49	坏	口径 9.3 器高 3.8	胎土・白色粒子、角閃石、石英。整形・外面底部下半ヘラケズリ、上半指頭調整、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、底部外面円形黒斑。色調・橙色。残存量・ほぼ完形。
50	坏	口径 12.8 器高 3.2	胎土・微細砂、石英。整形・外面底部下半ヘラケズリ、上半指頭調整、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・外面橙色（一部赤黒色）、内面明赤褐色（一部灰赤色）残存量・完形。

51	坏	口径 10.0 器高 4.5	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、胴部指頭調整、内面底部渦巻き状ナデ、胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面及び胴部黒斑。色調・橙色。残存量・ほぼ完形。
52	坏	口径 9.6 器高 4.5	胎土・白色粒子、石英、角閃石。整形・内外面胴部指頭ナデ、口縁部ヨコナデ。形態・底部木葉痕。全体に手握状。焼成・普通、内外面黒斑。色調・暗褐色。残存量・完形。

第49号住居址出土土器観察表 (第46図)

番号	器種	法量(cm)	特 徴
1	甕	口径(19.4) 器高(13.6以上)	胎土・褐鉄粒、雲母、角閃石。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・外面スス付着。残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{3}{4}$ 。
2	坏	口径 11.4 器高 4.6	胎土・角閃石多量。整形・外面底部ヘラケズリ後ナデ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ焼成・粗悪。色調・橙色。使用痕・風化進行摩滅顕著。出土位置・カマド内。残存量・完形。
3	坏	口径(14.7) 器高 6.0	胎土・褐鉄粒、雲母、石英、角閃石。整形・内外面ロクロ整形ミズヒキ。焼成・甘い、内外面うすい黒斑、酸化炎焼成。色調・にぶい橙色。残存量・底部、胴部 $\frac{3}{4}$ 、口縁部 $\frac{1}{4}$ 。

第50号住居址出土土器観察表 (第46図)

番号	器種	法量(cm)	特 徴
1	坏	口径 12.2 器高 3.5	胎土・褐鉄粒、石英、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・ほぼ完形。

第51号住居址出土土器観察表 (第47・48図)

番号	器種	法量(cm)	特 徴
1	甕	口径 21.2 器高(17.3以上)	胎土・微細砂多量、石英、鉄斑、角閃石。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ(輪積痕あり)、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口縁部コの字状。焼成・良好。色調・にぶい赤褐色。残存量・ $\frac{3}{4}$ 。
2	甕	口径(17.1) 器高( 5.4以上)	胎土・白色粒子、石英、角閃石、褐鉄粒。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{3}{4}$ 。
3	甕	口径(19.6) 器高( 5.7以上)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、石英、角閃石。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・外面ヘラケズリにより波うつ。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・カマド内。残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{1}{4}$ 。
4	甕	口径(19.4) 器高( 7.2以上)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、角閃石。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・カマド内。残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{3}{4}$ 。
5	甕	口径(20.8) 器高( 6.0以上)	胎土・微細砂多量・鉄斑、石英、角閃石。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・外面赤色、内面明赤褐色。出土位置・カマド内。残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{1}{4}$ 。

6	甕	口径(19.2) 器高(5.3 以上)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、石英、角閃石。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{1}{4}$ 。
7	甕	底径 5.2 器高(15.5 以上)	胎土・微細砂多量、鉄斑、石英。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナデ(輪積痕あり)。焼成・良好。色調・橙色。使用痕・内外面摩滅顕著。出土位置・カマド内及び貯蔵穴。残存量・底部、胴部 $\frac{1}{6}$ 。
8	坏	口径 15.4 器高 4.9	胎土・微細砂多量、石英、角閃石、鉄斑。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・良好。色調・橙色。残存量・底部、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
9	坏	口径(14.0) 器高 4.5	胎土・白色粒子、褐鉄粒、石英、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、口縁部ヨコナデ、内面底部下半ナデ、上半暗文状ヘラミガキ、口縁部ヨコナデ後暗文状ヘラミガキ。焼成・普通。色調・橙色。残存量 $\frac{3}{4}$ 。
10	坏	口径(14.0) 器高 4.3	胎土・白色粒子、褐鉄粒、石英、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・甘い。色調・橙色。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
11	坏	口径(12.1) 器高(3.2)	胎土・白色粒子、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・ $\frac{1}{4}$ 。
12	坏	口径(11.7) 器高(3.4)	胎土・白色粒子、石英、角閃石、褐鉄粒。整形・外面底部指頭調整、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・ $\frac{1}{4}$ 。
13	坏	口径(12.2) 器高(3.1)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、角閃石、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・ $\frac{1}{6}$ 。
14	坏	口径 10.6 器高 3.9	胎土・微細砂、石英、角閃石。整形・外面底部下半ヘラケズリ、上半指頭調整、内面底部ナデ口縁部内外面ヨコナデ。焼成・良好。色調・にぶい橙色。出土位置・カマド内。残存量・ $\frac{1}{4}$ 。
15	坏	口径 11.4 器高 3.3	胎土・微細砂多量、石英、鉄斑、角閃石。整形・外面底部下半ヘラケズリ、上半指頭調整、内面底部摩滅顕著、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
16	坏	口径 11.6 器高 3.8	胎土・微細砂、石英、角閃石、鉄斑。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部摩滅顕著不明瞭、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・良好。色調・橙色。残存量・ほぼ完形。
17	坏	口径 12.4 器高 3.6	胎土・微細砂、石英、鉄斑、角閃石。整形・外面底部下半ヘラケズリ、上半指頭調整、内面底部摩滅、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・粗悪。色調・外面にぶい橙色、内面橙色。残存量・ $\frac{1}{3}$ 。
18	坏	口径(12.4) 器高(3.2)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、石英。整形・内外面底部ヘラケズリ、口縁部ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・貯蔵穴。残存量・底部一部、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
19	坏	口径 12.1 器高 3.8	胎土・微細砂多量、角閃石、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部摩滅顕著、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・外面橙色、内面明赤褐色。残存量・ほぼ完形。
20	坏	口径 11.4 器高 3.4	胎土・微細砂多量、石英、角閃石。整形・内外面摩滅顕著で不明瞭。焼成・普通。色調・外面赤褐色、内面橙色。残存量・ほぼ完形。
21	坏	口径(12.7) 器高(3.7 以上)	胎土・角閃石、石英、白色粒子。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・甘い。色調・橙色。残存量・底部一部、口縁部 $\frac{1}{4}$ 。

22	坏	口径(12.2) 器高( 3.4)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、石英、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・甘い。色調・橙色。残存量 $\frac{1}{4}$ 。
23	坏	口径(12.4) 器高( 3.6)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量 $\frac{1}{4}$ 。
24	坏	口径(12.8) 器高 4.0	胎土・白色粒子、石英、角閃石、砂粒。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・甘い。色調・橙色。残存量 $\frac{3}{4}$ 。
25	坏	口径(10.6) 器高( 3.5)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、石英、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量 $\frac{1}{4}$ 。
26	坏	口径(12.1) 器高 3.8	胎土・白色粒子、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ焼成・やや甘い。色調・橙色。残存量 $\frac{3}{4}$ 。
27	坏	口径(12.1) 器高( 3.6)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・良好。色調・赤褐色。残存量 $\frac{1}{4}$ 。
28	盤	口径(16.3) 器高 2.8	胎土・白色粒子、石英、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・全体にゆがみ扁平。焼成・良好。色調・橙色。出土位置・貯蔵穴。残存量 $\frac{1}{2}$ 。
29	坏	口径(13.2) 器高 3.2	胎土・微細砂、白色粒子、鉄斑。整形・ロクロ整形、底部回転糸切り。焼成・良好。色調・灰色(外面部分的ににぶい褐色)。残存量 $\frac{1}{4}$ 。
30	坏	口径(11.2) 器高 3.2	胎土・微細砂、小石。整形・ロクロ整形、底部回転糸切り後ヘラケズリ。焼成・良好。色調・青灰色。残存量・完形。
31	坏	口径 14.2 器高 2.4	胎土・微細砂多量、小石。整形・ロクロ整形、底部回転糸切り。焼成・良好。色調・灰色。残存量・底部、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。

第53号住居址出土土器観察表(第49・50図)

番号	器種	法量(cm)	特 徴
1	甕	口径 19.8 器高(23.7 以上)	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英、白色粒子。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・外面胴部一部スス附着。出土位置・カマド内。残存量・底部欠損。
2	甕	口径(20.1)	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英、白色粒子、砂粒。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、底部外面黒斑。色調・橙色。残存量 $\frac{3}{4}$ 。
3	甕	口径 14.2 器高( 7.0 以上)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英、角閃石、砂粒。整形・胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{3}{4}$ 。6と同一か。
4	甕	口径 12.8 器高( 5.9 以上)	胎土・褐鉄粒、雲母、角閃石、石英。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・明褐色。使用痕・内外面スス附着。残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{3}{4}$ 。
5	甕	底径 4.0 器高( 4.5 以上)	胎土・白色粒子、石英、角閃石、褐鉄粒、砂粒。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面底部ナデ、胴部ナデ。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・カマド内。残存量・底部、胴部一部。

6	台付 甕	底径 7.8 器高( 6.7 以上)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英、角閃石、砂粒。整形・外面くびれ部指頭痕、胴部ヘラケズリ内面胴部ナデ、台部内外面ヨコナデ。焼成・甘い。色調・橙色。残存量・台部、胴部一部。3と同一か。
7	台付 甕	底径 10.0 器高( 4.2 以上)	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英、白色粒子、砂粒。整形・外面くびれ部指頭痕、台部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・台部 $\frac{3}{4}$ 。
8	台付 甕	底径( 9.3) 器高( 4.0 以上)	胎土・褐鉄粒、角閃石、白色粒子、石英。整形・台部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・台部 $\frac{1}{2}$ 。
9	坏	口径 14.8 器高 4.3	胎土・白色粒子、褐鉄粒、角閃石、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部同心円状ナデ口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・ $\frac{3}{4}$ 。
10	坏	口径 12.0 器高 3.3	胎土・微細砂、石英、鉄斑。整形・外面底部下半ヘラケズリ、上半指頭調整、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・良好。色調・外面にふい橙色、内面灰褐色。残存量・完形。
11	坏	口径 12.0 器高 3.1	胎土・微細砂、鉄斑多量、石英。整形・外面底部下半ヘラケズリ、上半指頭調整、内面底部ナデ。形態・内面底部×記号状擦痕。焼成・良好。色調・外面橙色、内面灰褐色。残存量・ほぼ完形。
12	坏	口径(12.3) 器高 3.1	胎土・褐鉄粒、雲母。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
13	坏	口径 12.1 器高 3.2	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英、砂粒。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
14	坏	口径 19.0 器高 2.9	胎土・白色粒子、角閃石多量、雲母。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口縁部やや蛇行。焼成・普通、外面底部黒斑。色調・にふい橙色。残存量・ほぼ完形。
15	坏	口径 12.6 器高 3.4	胎土・白色粒子、石英、角閃石、褐鉄粒。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・ほぼ完形。
16	盤	口径 15.3 器高 3.1	胎土・白色粒子、褐鉄粒、石英、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・甘い。色調・にふい橙色。使用痕・摩滅顕著。残存量・ $\frac{3}{4}$ 。
17	盤	口径 16.1 器高( 2.7)	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英、白色粒子。整形・底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・底部 $\frac{1}{2}$ 、口縁部 $\frac{3}{4}$ 。
18	高盤	口径 17.0 器高 15.0 裾径 16.6	胎土・微細砂、石英、角閃石、白色粒子。整形・ロクロ整形、坏底部内面及び脚部ナデ入念。形態・盤の部分は短くくの字状に鋭く外反し、同時期の須恵器つまみ付蓋を逆転した状態。脚部上反は円筒状に近く、裾部は八の字状に開く。焼成・良好、硬質、酸化炎焼成。色調・外面にふい橙色、内面明赤褐色。出土位置・貯蔵穴、床直。残存量・ほぼ完形。
19	蓋	器高 4.4	胎土・角閃石、砂粒、小石。整形・内外面ロクロ整形ミズヒキ。焼成・普通。色調・灰色。使用痕・内外面一部鉄分付着。出土位置・床直。残存量・ $\frac{3}{4}$ 。
20	蓋	口径 16.8 器高 4.7	胎土・微細砂、角閃石、白色粒子、小石、石英。整形・内外面ロクロ整形ミズヒキ。焼成・普通。色調・灰色。出土位置・床直。残存量・ $\frac{3}{4}$ 。
21	蓋	口径 15.6 器高 4.4	胎土・微細砂多量、石英、角閃石、小石、白色粒子。整形・内外面ロクロ整形。焼成・普通、内外面の一部黒斑。色調・灰白色。使用痕・器壁の摩滅顕著で内面特に粗い。出土位置・床直。残存量・ $\frac{3}{4}$ 。

22	蓋	口径 11.9 器高 3.2	胎土・角閃石、石英、白色粒子、褐鉄粒。整形・内外面ロクロ整形ミズヒキ。焼成・普通、酸化炭焼成、内外面一部黒斑。色調・橙色。使用痕・つまみ部分摩滅。残存量・ほぼ完形。
23	坏	口径 12.0 器高 3.8	胎土・微細砂多量、小石、鉄斑、石英。整形・ロクロ整形、底部回転糸切り後ヘラケズリ。形態・底部外面扁平。焼成・普通。色調・外面灰黄色、内面灰白色。残存量・ほぼ完形。
24	坏	口径 15.8 器高 7.4	胎土・微細砂、小石。整形・ロクロ整形、底部回転糸切り後高台貼りつけに伴うナデ。焼成・良好。色調・灰色。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
25	坏	口径 15.0 器高 5.9	胎土・微細砂多量、石英。整形・ロクロ整形、底部回転糸切り後高台貼りつけに伴うナデ。焼成・良好。色調・灰褐色。残存量・底部、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
26	坏	口径 12.2 器高 3.5	胎土・微細砂多量、小石。整形・ロクロ整形、底部回転糸切り形態・底部あげ底。焼成・良好。色調・外面口縁部灰白色、底部灰色、内面灰色。残存量・底部、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
27	坏	口径 11.2 器高 3.3	胎土・微細砂、小石。整形・ロクロ整形、底部回転糸切り、底部周辺ナデ。形態・底部あげ底焼成・良好。色調・灰色。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
28	坏	口径 13.2 器高 3.3	胎土・微細砂、小石、鉄斑、石英。整形・ロクロ整形、底部回転糸切り、底部周辺ナデ。形態・底部あげ底。焼成・良好。色調・黄灰色。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。

第58号住居址出土土器観察表 (第51図)

番号	器種	法量(cm)	特 徴
1	高坏	口径 17.7 器高( 5.4 以上)	胎土・白色粒子、角閃石、石英。整形・外面坏底部ヘラケズリ後ナデ、坏縁部ヨコナデ、内面ヨコナデ。形態・脚部接合部で欠損。焼成・普通、坏縁部外面黒斑。色調・橙色。出土位置・土壇上位床面同レベル。残存量・坏縁部、坏底部。

第60A号住居址出土土器観察表 (第51~53図)

番号	器種	法量(cm)	特 徴
1	球胴甕	底径 8.5 器高( 7.0 以上)	胎土・角閃石、小石、白色粒子。整形・外面底部及び胴部下半ヘラケズリ、内面底部及び胴部下半ナデ。焼成・普通、外面底部及び胴部黒斑。色調・外面橙色。淡橙色。残存量・底部、胴部一部。
2	甕	口径 17.3 器高 31.3	胎土・白色粒子、角閃石、石英。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナデ口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面底部及び胴部下半黒斑。色調・橙色。使用痕・内面口縁部スス付着。出土位置・カマド左袖。残存量・完形。
3	甕	口径 15.7 器高 29.3	胎土・白色粒子、褐鉄粒、角閃石、石英、チャート。整形・外面底部ヘラケズリ後ヘラオサエ胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面胴部黒斑色調・橙色。使用痕・内面胴部及び底部スス付着。出土位置・カマド右袖。残存量・完形。
4	甕	口径 17.7 器高(16.0 以上)	胎土・角閃石、白色粒子、小石。整形・外面胴部ヘラケズリ、口縁部ヘラケズリ後ヨコナデ、内面胴部ナデ、口縁部ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・外面胴部スス付着。残存量・胴部上半 $\frac{1}{2}$ 、口縁部 $\frac{3}{4}$ 。
5	小甕	口径 12.6 器高 15.1	胎土・白色粒子、石英、角閃石、小石。整形・外面胴部指頭痕顕著、ナデ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・輪積痕跡顕著、全体に凹凸顕著。焼成・普通、外面胴部黒斑。色調・橙色、明褐色。使用痕・内外面スス付着。出土位置・東南壁溝上。残存量・ほぼ完形。

6	小鉢	口径 13.6 器高 11.1	胎土・白色粒子、褐鉄粒、石英、チャート。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、内面底部うすい黒斑。色調・橙色。使用痕・外面胴部焼土付着。残存量・完形。
7	壺	口径 19.0 器高( 9.0 以上)	胎土・白色粒子、石英、小石。整形・胴部内外面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・内面口縁部擦痕。残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
8	甕	底径 7.4 器高(11.6 以上)	胎土・白色粒子、石英、角閃石褐鉄粒、砂粒、チャート。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ内面底部及び胴部ナデ。焼成・普通。色調・外面橙色、内面黒色仕上げ。使用痕・内面底部及び胴部スス、焼土付着。残存量・底部、胴部一部。
9	甕	底径 7.6 器高 (7.9 以上)	胎土・白色粒子、石英、角閃石、褐鉄粒、小石。整形・外面底部及び胴部ナデ(指頭痕あり)内面胴部及び底部ナデ。焼成・普通。色調・明赤褐色。使用痕・内外面スス付着。残存量・底部、胴部一部。
10	甕	底径 6.8 器高(13.8 以上)	胎土・白色粒子、角閃石、褐鉄粒。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナデ(底部ヘラオサエあり)。焼成・普通、外面胴部黒斑。色調・橙色。残存量・底部 $\frac{3}{4}$ 、胴部 $\frac{1}{2}$ 。
11	小形 甕	口径 17.1 器高 15.1 孔径 3.5	胎土・白色粒子・褐鉄粒、角閃石、石英。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・焼成・普通、外面胴部黒斑。色調・明赤褐色。残存量・完形。
12	甕	口径 24.9 器高 31.7 孔径 8.0	胎土・白色粒子、褐鉄粒、角閃石、石英。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、胴部及び口縁付内外面黒斑。色調・橙色。使用痕・胴部及び口縁部内外面スス付着。出土位置・カマド左側床直。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
13	甕	口径 22.5 器高 29.1 孔径 8.0	胎土・石英、褐鉄粒、角閃石、白色粒子、小石。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面胴部黒斑。色調・明赤褐色、橙色。使用痕・外面胴部一部、口縁部スス付着。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
14	坏	口径(14.2) 器高( 4.4)	胎土・石英、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・褐色。使用痕・内外面若干スス付着。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
15	坏	口径 12.9 器高 4.9	胎土・褐鉄粒、石英、雲母。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・ $\frac{3}{4}$ 。
16	大形 坏	口径 16.8 器高( 7.2)	胎土・褐鉄粒、角閃石、白色粒子。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ、焼成・普通。色調・橙色。残存量・ほぼ完形。
17	坏	口径 14.2 器高 5.5	胎土・白色粒子、褐鉄粒、角閃石、石英、小石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・全体に分厚い。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・底部及び口縁部内外面スス付着。残存量・ $\frac{3}{4}$ 。
18	甕	口径(16.6) 器高( 4.3)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・にぶい褐色。使用痕・外面底部及び口縁部スス付着。出土位置・カマド内。残存量・ $\frac{1}{4}$ 。
19	坏	口径(13.9) 器高( 3.6)	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口唇部に沈線。焼成・良好。色調・橙色。残存量・底部 $\frac{1}{2}$ 、口縁部 $\frac{1}{4}$ 。

20	坏	口径 14.4 器高 ( 3.3)	胎土・褐鉄粒、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ後ヘラミガキ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態、スス付着部分は光沢を帯びる。焼成・普通。色調・明赤褐色。使用痕・底部及び口縁部内外面スス付着。残存量・底部一部、口縁部¼。
21	坏	口径 (12.6) 器高 ( 5.0)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、角閃石、石英、小石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口唇部沈線。焼成・良好、内面底部黒斑。色調・明赤褐色。使用痕・外面底部及び口縁部スス付着。残存量・½。
22	高坏	器高 ( 8.9)	胎土・石英、角閃石、チャートの小石。整形、外面脚部及び坏底部ヘラケズリ、内面脚部及び坏底部ナデ、坏縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。橙色。残存量・脚部、坏底部、口縁部一部。
23	高坏	口径 (18.2) 器高 ( 4.9 以上)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、石英、角閃石。整形・外面坏底部ナデ、坏縁部外面ヨコナデ。焼成・普通、坏縁部内外面黒斑。色調・橙色。残存量・坏底部一部、坏縁部¼。
24	高坏	口径 (10.8) 器高 ( 3.7 以上)	胎土・石英、長石、微細粒、絹雲母片岩若干。整形・ロクロ整形、外面底部逆時計回りヘラケズリ。形態・脚部接合部付近で欠損。焼成・甘く粗悪。色調・灰色。使用痕・風化進行。出土位置・貯蔵穴内。残存量・坏部¼。1段透かし長脚高坏の坏部にあたり、MT15~TK10と推定。

第60B号住居址出土土器観察表 (第53図)

番号	器種	法量 (cm)	特 徴
1	坏	口径 (13.9) 器高 3.3	胎土・白色粒子、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ焼成・普通。色調・橙色。残存量・½。
2	坏	口径 (13.4) 器高 3.3	胎土・白色粒子、角閃石、褐鉄粒。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・¾。
3	坏	口径 (14.1) 器高 3.3	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・¾。
4	坏	口径 (13.4) 器高 3.5	胎土・白色粒子、褐鉄粒、角閃石、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・口縁部¼。
5	坏	口径 (13.8) 器高 3.9	胎土・石英、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・½。
6	坏	口径 (14.0) 器高 3.5	胎土・白色粒子、小石。整形・ロクロ整形、内外面ミズヒキ、外面底部逆時計回り回転ヘラ切り。焼成・普通。色調・灰色。残存量・¼。
7	坏	底径 8.7 器高 ( 3.6 以上)	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒。整形・ロクロ整形、外面底部回転糸切り後高台張り付け。焼成・普通。色調・灰色。残存量・底部½、体部¼。
8	台付 甕	底径 (10.4) 器高 ( 5.5 以上)	胎土・白色粒子、石英、角閃石、砂粒。整形・外面ヘラケズリ、内面ナデ。焼成・普通、内面台部黒斑。色調・橙色。残存量・台部、胴部一部。



第61号住居址出土土器観察表 (第54・55図)

番号	器種	法量(cm)	特	徴
1	甕	口径(17.4) 器高 34.7	胎土・褐鉄粒、石英、角閃石、雲母。整形・外面ヘラケズリ、内面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、色調・橙色。使用痕・外面スス附着。出土位置・カマド内。残存量・ $\frac{3}{4}$ 。	
2	甕	口径 19.1 器高 32.8	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英、白色粒子、雲母、小石。整形・外面底部ヘラケズリ、胴部ヘラケズリ、内面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面黒斑。色調・橙色。使用痕・内面スス附着。出土位置・床直。残存量・ $\frac{3}{4}$ 。	
3	甕	口径 16.8 器高( 9.8 以上)	胎土・褐鉄粒、石英、角閃石、白色粒子、微細砂。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・床直。残存量・胴部、口縁部。	
4	甕	底径 7.0 器高(16.8 以上)	胎土・白色粒子、角閃石、褐鉄粒、小石多量。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面底部ヘラケズリ、胴部ナデ。焼成・普通、外面胴部黒斑。色調・にぶい褐色。使用痕・外面胴部スス附着。出土位置・貯蔵穴内。残存量・底部 $\frac{3}{4}$ 、胴部 $\frac{1}{4}$ 。	
5	小甕	口径 15.3 器高 21.8	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英、砂粒。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面胴部下半及び底部黒斑。色調・橙色。出土位置・床直。残存量・完形。	
6	小甕	口径(13.8) 器高( 8.0 以上)	胎土・角閃石、絹雲母片岩、チャート、石英。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{3}{4}$ 。	
7	小甕	口径 14.8 器高 16.0	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英、雲母、小石。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・底部は胴部中心よりずれ、全体に器形ゆがむ。焼成・普通、内外面黒斑。色調・橙色。残存量・底部、胴部 $\frac{3}{4}$ 、口縁部 $\frac{3}{4}$ 。	
8	壺	口径 24.9 器高( 9.3 以上)	胎土・白色粒子、石英、角閃石、砂粒。整形・胴部内外面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口唇部沈線。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・内面頸部環状擦痕。出土位置・床直。残存量・口縁部、胴部一部。	
9	甗	口径 25.7 器高 27.6	胎土・褐鉄粒、石英、雲母、角閃石、白色粒子。整形・孔部ヘラ切り、外面胴部ヘラケズリ、内面暗文状ヘラミガキ、焼成・普通、口縁部内外面黒斑。色調・橙色。使用痕・内面スス附着。残存量・ほぼ完形。	
10	高坏	口径 17.4 器高 12.3	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英、雲母、白色粒子。整形・内外面裾部及び口縁部ヨコナデ、外面脚部ヘラケズリ後ナデ、内面指頭調整、外面坏底部ヘラケズリ、内面ナデ。焼成・普通、口縁部一部黒斑。色調・橙色。使用痕・内面坏底部及び坏縁部一部剝落。出土位置・貯蔵穴内。残存量・ほぼ完形。	
11	高坏	口径 17.3 器高 12.2	胎土・褐鉄粒、角閃石、雲母、石英、白色粒子。整形・内外面裾部及び口縁部ヨコナデ、外面脚部ヘラケズリ後ナデ、坏底部ヘラケズリ、内面脚部ナデ、坏底部ナデ。焼成・普通、外面脚部黒斑。色調・橙色。使用痕・内外面スス附着。出土位置・貯蔵穴内。ほぼ完形。	
12	高坏	口径 17.7 器高 11.1	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英、白色粒子。整形・内外面裾部及び坏縁部ヨコナデ、外面脚部及び坏底部ヘラケズリ、内面脚部ヨコナデ後指頭調整、坏底部ナデ。焼成・普通、外面坏部小さい黒斑。色調・橙色。使用痕・脚部外面、坏部スス附着。出土位置・貯蔵穴内。残存量・ほぼ完形。	
13	小鉢	口径 9.4 器高 10.0	胎土・褐鉄粒、雲母、石英。整形・外面胴部指頭ナデ、内面ヘラケズリ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・焼土附着。残存量・ほぼ完形。	

14	小鉢	口径 9.5 器高 10.2	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面ナデ、口縁部内外面ヨコナデ形態・全体にややいびつ。焼成・普通、内外面黒斑。色調・橙色。出土位置・カマド内。残存量・完形。
15	小埴	底径(4.3) 器高(4.6以上)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、石英、角閃石。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ後ナデ、内面底部及び胴部ナデ後ヘラオサエ。焼成・良好。色調・明赤褐色。残存量・底部 $\frac{1}{2}$ 、胴部 $\frac{1}{2}$ 。
16	埴	口径(11.0) 器高(6.7)	胎土・白色粒子、石英、小石、砂粒。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、口縁部ヨコナデ、内面底部及び胴部ナデ、口縁部風化不明瞭。焼成・普通、内面底部及び胴部黒斑。色調・明赤褐色。使用痕・外面スス付着。残存量・ $\frac{1}{4}$ 。
17	埴	口径 12.4 器高 6.3	胎土・褐鉄粒、角閃石、雲母、白色粒子。整形・外面底部風化不明瞭、内面底部ナデ、口縁部内外面風化不明瞭。焼成・普通、内外面黒斑。色調・明赤褐色。使用痕・内外面一部スス付着。残存量・ $\frac{2}{3}$ 。
18	坏	口径(11.7) 器高 4.5	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英、白色粒子、砂粒。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、黒色仕上げ。色調・灰褐色、暗赤褐色。使用痕・内面口唇部擦痕。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。

第62号住居址出土土器観察表 (第56図)

番号	器種	法量(cm)	特 徴
1	甕	口径(15.8) 器高(6.3)	胎土・白色粒子、石英、角閃石。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口縁部波うつ。焼成・普通。色調・明赤褐色。使用痕・外面器壁剥落顕著。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
2	台付甕	裾径 8.5 器高(5.1以上)	胎土・褐鉄粒、角閃石、小石。整形・脚部内外面ヨコナデ、外面坏底部ヘラケズリ、内面ナデ焼成・良好。色調・橙色。使用痕・脚部内外面及び坏底部内面スス付着。出土位置・床直。残存量・脚部、坏底部 $\frac{3}{4}$ 。
3	甕	底径 7.4 器高(3.4以上)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、石英、角閃石。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナデ。焼成・普通、底部及び胴部黒斑。色調・橙色。残存量・底部、胴部一部。

第63号住居址出土土器観察表 (第56図)

番号	器種	法量(cm)	特 徴
1	甕	口径(14.9) 器高(3.9以上)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、角閃石。整形・口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・にぶい赤褐色。使用痕・外面口縁部スス多量付着。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
2	甕	底径 7.0 器高(2.5以上)	胎土・砂粒、角閃石、雲母、石英。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面ナデ。焼成・普通、外面底部黒斑。色調・橙色。残存量・底部 $\frac{1}{2}$ 、胴部一部。
3	甕	底径 6.0 器高(3.6以上)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、胴部ヘラミガキ、内面底部及び胴部ナデ。焼成・底部及び胴部黒斑。色調。外面にぶい褐色。内面橙色。残存量・底部 $\frac{1}{2}$ 、胴部一部。

第64号土壇出土土器観察表 (第56図)

番号	器種	法量(cm)	特	徴
1	大形壺	口径 23.7 器高(13.3以上)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、石英、角閃石、小石。整形・外面胴部ヘラケズリ、口縁部クシ状調整後ヨコナデ、内面胴部ヘラケズリ後ヘラナデ、口縁部ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・土壇下底。残存量・胴部一部、口縁部。	

第65号住居址出土土器観察表 (第56・57図)

番号	器種	法量(cm)	特	徴
1	甕	口径(16.5) 器高 31.7	胎土・褐鉄粒、石英、角閃石、雲母。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・底部木葉痕。焼成・普通、底部及び胴部スス付着。色調・橙色。出土位置・カマド内中央。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。	
2	甕	口径 15.8	胎土・褐鉄粒、角閃石、雲母、白色粒子。整形・外面底部ヘラケズリ、胴部下半ヘラケズリ後ナデ、上半ヘラケズリ、内面胴部ナデ(ヘラオサエあり)、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・カマド内。残存量・ほぼ完形。	
3	鉢	口径 15.0 器高 12.0	胎土・角閃石、白色粒子、褐鉄粒、石英。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ(ヘラオサエあり)、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口唇部凹線。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・カマド内。残存量・完形。	
4	鉢	口径 13.5 器高( 6.5以上)	胎土・褐鉄粒、角閃石、白色粒子、石英。整形・外面胴部ヘラケズリ後ナデ、内面胴部ナデ(ヘラオサエあり)、口縁部内外面ヨコナデ。形態・下半部古く欠損し断面摩滅。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・支脚として使用か。出土位置・カマド内。残存量・胴部、口縁部。	
5	坏	口径(11.4) 器高 6.5	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英、白色粒子。整形・外面胴部ナデ、内面底部ナデ、胴部ナデ(ヘラオサエあり)、口縁部内外面ヨコナデ。形態・底部及び胴部木葉痕。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・カマド内。残存量・底部、胴 $\frac{1}{3}$ 。	
6	坏	口径 10.8 器高 6.1	胎土・角閃石、褐鉄粒、チャート、小石、雲母。整形・外面底部ヘラケズリ、胴部ナデ、内面底部及び胴部ナデ後ヘラオサエ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・底部種子痕、口縁部波うち楕円形。焼成・普通、外面底部及び胴部黒斑。色調・外面橙色、内面明赤褐色。残存量・完形。	
7	坏	口径(13.8) 器高( 4.4)	胎土・金雲母、白色粒子。整形・外面底部ヘラケズリ、内面ナデ(ヘラオサエあり)、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面一部黒斑。色調・橙色。残存量・ $\frac{1}{3}$ 。	
8	埴	口径 10.0 器高 5.1	胎土・褐鉄粒、雲母、白色粒子、角閃石。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ後ナデ、内面底部及び胴部ナデ後ヘラオサエ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口縁部波うつ。焼成・良好、底部内外面黒斑。色調・橙色。残存量・完形。	
9	坏	口径 11.8 器高 5.2	胎土・石英、白色粒子、褐鉄粒、雲母。整形・内外面底部風化不明瞭、口縁部ヨコナデ。焼成・普通、内外面黒斑。色調・橙色。使用痕・内外面風化器壁剥落顯著、外面スス付着。残存量・ほぼ完形。	
10	坏	口径 13.1 器高 5.6	胎土・角閃石、褐鉄粒、白色粒子、雲母。整形・外面底部ヘラケズリ後ナデ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面底部円形黒斑。色調・橙色。使用痕・口縁部外面スス付着。残存量・完形。	

第66号住居址出土土器観察表（第57図）

番号	器種	法量(cm)	特	徴
1	甕	口径(20.7) 器高( 5.9 以上)	胎土・白色粒子、石英。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{1}{4}$ 。	
2	大形 坏	口径(16.1) 器高 5.5	胎土・白色粒子、石英、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・底部、口縁部 $\frac{1}{4}$ 。	
3	坏	口径 13.0 器高( 3.2)	胎土・白色粒子、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ後ヘラミガキ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面底部及び口縁部黒斑。色調・明赤褐色。使用痕・底部及び口縁部スス付着。残存量・ $\frac{3}{4}$ 。	
4	坏	口径(13.2) 器高( 2.7)	胎土・白色粒子、石英、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・甘い。色調・橙色。残存量・底部 $\frac{1}{2}$ 、口縁部 $\frac{1}{4}$ 。	
5	坏	口径(15.9) 器高 4.2	胎土・褐鉄粒、石英、白色粒子。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・口唇部擦痕。残存量・底部、口縁部 $\frac{3}{4}$ 、口唇部一部。	
6	坏	口径 13.8 器高 2.7	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ口縁部内外面ヨコナデ。形態・内面黒色仕上げ。焼成・普通。色調・外面橙色、内面黒色。残存量・ $\frac{3}{4}$ 。	
7	坏	口径 12.4 器高 3.5	胎土・白色粒子、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面底部円形黒斑。色調・橙色。使用痕・内面底部及び口縁部スス付着。残存量・底部、口縁部 $\frac{3}{4}$ 。	
8	坏	口径 13.1 器高 3.2	胎土・白色粒子、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面底部円形黒斑。色調・橙色。使用痕・内面底部及び口縁部スス付着。残存量・ほぼ完形。	
9	坏	口径 12.8 器高 3.2	胎土・石英、白色粒子、褐鉄粒。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・内面スス付着。残存量・底部、口縁部 $\frac{3}{4}$ 。	
10	坏	口径(11.7) 器高( 2.9)	胎土・褐鉄粒、白色粒子石英、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・内面底部スス付着。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。	
11	坏	口径(11.9) 器高( 3.2)	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・良好。色調・橙色。残存量・底部 $\frac{1}{4}$ 、口縁部 $\frac{1}{4}$ 。	
12	坏	口径(12.7) 器高 4.2	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英、砂粒。整形・外面底部ヘラケズリ、口縁部ヨコナデ、内面底部ナデ後ラセン状暗文、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。	
13	坏	口径(13.6) 器高( 3.9)	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石、小石。整形・外面底部ヘラケズリ、口縁部ヨコナデ、内面底部ラセン状暗文、口縁部内外面ヨコナデ後暗文状ヘラミガキ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・底部 $\frac{1}{4}$ 。口縁部 $\frac{1}{4}$ 。	

第67号住居址出土土器観察表（第58図）

番号	器種	法量(cm)	特	徴
1	甕	口径 18.4 器高(28.5 以上)	胎土・石英、白色粒子、褐鉄粒、角閃石、小石。整形・内外面胴部ヘラケズリ、口縁部ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・内外面スス附着。残存量・ $\frac{9}{10}$ 。	
2	甕	口径(18.6) 器高(4.8 以上)	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石。整形・口縁部内外面ヨコナデ。形態・口唇部沈線。焼成・普通、内外面黒斑。色調・橙色。残存量・口縁部 $\frac{1}{2}$ 。	
3	高坏	器高(6.6 以上)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、石英。整形・外面底部ヘラケズリ後ナデ、坏底部ヘラケズリ、内面脚部ヘラオサエ、坏底部ナデ。焼成・普通。色調・明赤褐色。残存量・脚部一部、坏底部一部。	
4	坏	口径(13.5) 器高(4.0)	胎土・褐鉄粒、石英、白色粒子。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・外面橙色、内面黒色。使用痕・外面若干スス附着。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。	

第69号住居址出土土器観察表（第58図）

番号	器種	法量(cm)	特	徴
1	坏	口径 13.0 器高 6.4	胎土・微細砂多量、石英、鉄斑。整形・外面底部ヘラケズリ後ナデ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・外面底部赤黒色。口縁部にふい赤褐色。内面底部赤褐色、口縁部にふい赤褐色。使用痕・外面スス附着。残存量・完形。	
2	坏	口径 12.8 器高 6.3	胎土・微細砂多量、石英、鉄斑。整形・外面底部下半ヘラケズリ、上半ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・不良。色調・外面底部赤黒色、口縁部にふい赤褐色、内面底部赤褐色、口縁部極暗赤褐色。使用痕・内外面スス附着。残存量・完形。	
3	坏	口径 12.7 器高 6.5	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・赤褐色。使用痕・外面底部スス附着。残存量・完形。	

第71号住居址出土土器観察表（第58図）

番号	器種	法量(cm)	特	徴
1	坏	口径 11.0 器高 4.4	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英、砂粒。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・底部分厚い。焼成・普通。色調・橙色。使用痕・全面に風化し斑点状に器壁剝離。残存量・ほぼ完形。本文内では真間式としたが、鬼高式の古い段階に帰属か。	

第72号住居址出土土器観察表（第58・59図）

番号	器種	法量(cm)	特	徴
1	甕	口径 20.3 器高 26.9	胎土・白色粒子、褐鉄粒、石英、角閃石。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、外面底部黒斑。色調・橙色。出土位置・カマド袖。残存量・ほぼ完形。	

2	甕	底径(4.4) 器高(24.6 以上)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、石英、角閃石。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナデ。焼成・普通、底部及び胴部黒斑。色調・橙色。残存量・底部、胴部 $\frac{2}{3}$ 。
3	甕	口径(18.9) 器高(17.4 以上)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、石英、角閃石。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・胴部 $\frac{1}{2}$ 、口縁部 $\frac{2}{3}$ 。
4	甕	口径(20.1) 器高(13.0 以上)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英、砂粒。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・胴部一部及び口縁部一部。
5	甕	口径(19.4) 器高(6.9 以上)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、角閃石。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{1}{4}$ 。
6	甕	口径(20.4)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、石英、角閃石。整形・胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{1}{4}$ 。
7	甕	口径(19.0) 器高(7.3 以上)	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英。外面胴部風化不明瞭、口縁部ヨコナデ、内面胴部及び口縁部風化不明瞭。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・カマド袖。残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{1}{4}$ 。
8	甕	底径 4.2 器高(8.5 以上)	胎土・白色粒子、石英、褐鉄粒、角閃石、砂粒。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナデ。形態・器壁極薄。焼成・普通。色調・橙色。残存量・底部 $\frac{3}{4}$ 、胴部一部。
9	甕	底径(4.3) 器高(3.4 以上)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、角閃石、石英。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・底部、胴部一部。
10	大形 坏	口径(22.2) 器高(7.5 以上)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、石英、角閃石。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
11	壺	口径(14.5) 器高 6.3	胎土・褐鉄粒、角閃石、石英、白色粒子。整形・内外面底部及び胴部器壁剥落不明、口縁部ヨコナデ。焼成・甘い。色調・橙色。残存量・ $\frac{2}{3}$ 。
12	坏	口径(13.3) 器高(2.7)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、石英、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・底部 $\frac{2}{3}$ 、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
13	坏	口径(11.9) 器高 3.3	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・ $\frac{1}{4}$ 。
14	坏	口径(13.0) 器高(4.0)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、石英、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、口縁部下半ヘラケズリ上半ヨコナデ、内面底部ナデ、口縁部ヨコナデ後暗文状ヘラミガキ。焼成・普通。色調・橙色残存量・底部一部、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
15	坏	口径 12.7 器高 3.4	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、上位指頭痕、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・明赤褐色。使用痕・内面スス付着。出土位置・カマド内。残存量・底部、口縁部 $\frac{3}{4}$ 。
16	坏	口径(11.6) 器高 2.9	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通、底部内面黒斑。色調・橙色。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。

17	坏	口径 11.6 器高 3.0	胎土・褐鉄粒白色粒子、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部同心円状ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。形態・口縁部粘土帯を2カ所で接合。焼成・普通。色調・橙色。残存量・ $\frac{1}{4}$ 。
18	皿	口径(15.5) 器高 2.5	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。出土位置・カマド内。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
19	蓋	口径(17.5) 器高(3.4)	胎土・石英多量、角閃石。整形・ロクロ整形。焼成・普通。色調・灰色。残存量・ $\frac{1}{4}$ 。

第74号住居址出土土器観察表 (第60図)

番号	器種	法量(cm)	特 徴
1	甕	口径(24.4) 器高(6.4 以上)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、石英、角閃石。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{1}{4}$ 。
2	甕	口径(18.4) 器高(6.6 以上)	胎土・白色粒子、石英、角閃石、砂粒。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{1}{4}$ 。
3	坏	口径(13.0) 器高(3.6)	胎土・白色粒子、石英、角閃石。整形・外面底部ヘラケズリ、内面底部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・甘い。色調・橙色。残存量・ $\frac{1}{2}$ 。
4	蓋	つまみ部径 3.1	胎土・角閃石、白色粒子、石英、小石。整形・ロクロ整形。焼成・普通。色調・灰色。残存量・つまみ部のみ。
5	蓋	口径(16.0) 器高(2.2 以上)	胎土・白色粒子、石英、角閃石。整形・ロクロ整形。焼成・甘い。色調・淡橙色及び灰白色。残存量・口縁部一部。
6	坏	器高(2.6 以上)	胎土・石英大粒、雲母、チャート。整形・ロクロ整形、底部回転糸切り。焼成・普通。色調・灰白色。残存量・底部、口縁部一部。

第75号住居址出土土器観察表 (第60図)

番号	器種	法量(cm)	特 徴
1	甕	底径(5.4) 器高(16.0 以上)	胎土・白色粒子、褐鉄粒、石英、角閃石。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナデ、焼成・普通、外面胴部黒斑。色調・橙色。残存量・底部、胴部下半。
2	甕	口径(21.9) 器高(8.7 以上)	胎土・白色粒子、石英、角閃石、褐鉄粒。整形・外面胴部ヘラケズリ、内面胴部ナデ、口縁部内外面ヨコナデ。焼成・普通。色調・橙色。残存量・胴部一部、口縁部 $\frac{1}{2}$ 。
3	甕	底径 6.3 器高(3.9 以上)	胎土・白色粒子、石英。整形・外面底部及び胴部ヘラケズリ、内面底部及び胴部ナデ。焼成・普通、内外面底部及び胴部一部黒斑・色調・橙色。残存量・底部 $\frac{1}{4}$ 、胴部一部。
4	坏	高台径 7.3 器高(3.0 以上)	胎土・褐鉄粒、白色粒子、石英、角閃石、チャート、砂粒。整形・ロクロ整形。焼成・普通。色調・灰色。残存量・高台部のみ。

南大通り線内遺跡出土鉄器観察表 (第61図)

番号	器種	特 徴
1	刀 子	切先部、柄部欠損。現長11.4cm、刃部幅1.6cm、厚さ0.45cm。柄部幅1.1cm、厚さ0.5cm。第47号住居址No1。床直。
2	刀 子	切先部若干欠損。現長12.7cm、刃部幅0.7cm、厚さ0.3cm。柄部幅0.6cm、厚さ0.2cm。第47号住居址No2。床直。
3	刀 子	両端欠損、茎部周辺のみ残存。現長5.6cm、刃部幅1.9cm、厚さ0.3cm。柄部幅0.7cm、厚さ0.3cm。第6号住居址No26。
4	刀 子	刃部のみ残存。現長6.4cm、刃部幅1.3cm、厚さ0.3cm。刃縁部内湾、小形鎌か。第57号住居址。
5	刀 子	刃部のみ若干残存。現長2.2cm、刃部幅1.1cm、厚さ0.2cm。峯部丸み帯びる。第13号住居址。
6	鋏 先	完形品。幅11.4cm、高さ7.1cm、刃部幅1.8cm、扶り部幅1.5cm、厚さ0.9cm。第24号住居址。カマド左側床直。
7	棒状鉄器	両端欠損。鉄線をねじり棒状に加工。断面方形。現長5.0cm、厚さ0.4cm。第11号住居址。釘か。
8	角 釘	全体にサビが顕著。頭部旧状不明。断面方形。現長5.3cm、厚さ0.3×0.4cm。第53号住居址。
9	鉄 鎌	柄部下半欠損。先端部若干欠損。現長5.0cm、刃部幅1.4cm、厚さ0.7cm。柄部幅0.7cm、厚さ0.6cm。第24号住居址No17。柄部が曲がっておりヤリガンナか。
10	直 鎌	部分的にサビ顕著。完形品。全長10.2cm、幅3.8cm、厚さ0.3cm。第74号住居址。
11	不明鉄器	一部欠損、角棒を直角に曲げており、一端は丸みを帯びる。現長8.0cm、幅0.7cm、厚さ0.5cm。第5号住居址。
12	鉄 針	完形品。頭部は棒を細身にし、曲げて孔を形成。先端は尖る。断面頭部より先端部にかけて方形・隅丸方形・円形。全長17.5cm、厚さ0.6cm。第66号住居址。

南大通り線内遺跡出土土錘観察表 (第62図)

番号	器種	特 徴
1	棒状土錘	胎土・石英粒多量。焼成・普通。色調・褐色。長3.1cm、径0.7cm。全体に細身でいわゆるなめくじ状指頭圧調整。表採。
2	棒状土錘	胎土・角閃石、長石、石英粒多量。焼成・良好。色調・褐色。長3.6cm、径1.3cm。上端欠損。第III区表採。
3	棒状土錘	胎土・石英、角閃石微細粒若干。焼成・良好。色調・褐色。長3.6cm、径1.2cm。上部側辺若干欠損。第21号住居址。
4	棒状土錘	胎土・石英、角閃石微細粒若干。焼成・良好。色調・褐色。長3.5cm、径1.2cm。完形品。穿孔は全体に片寄る。第36号住居址。
5	棒状土錘	胎土・角閃石若干。焼成・良好。色調・褐色。長4.7cm、径1.2cm。上端若干欠損。穿孔内に植物痕跡。第37号住居址。



6	紡錘状土錘	胎土・石英、角閃石多量。焼成・普通。色調・淡灰褐色。長2.7cm、径1.7cm。上半分欠損。下端若干欠損。穿孔大きい。第38号住居址。
7	紡錘状土錘	胎土・石英、長石、角閃石、チャート。焼成・普通。色調・暗褐色。長4.0cm、径1.7cm。両端若干欠損。第I区表採。
8	紡錘状土錘	胎土・角閃石、石英多量。焼成・甘い。色調・淡い褐色。長3.4cm、径2.8cm。両端若干欠損。穿孔片寄る。第53号住居址。
9	紡錘状土錘	胎土・長石、石英、角閃石微細粒多量、チャート若干。焼成・やや甘い。色調・淡褐色。長4.4cm、径2.4cm。第53号住居址。
10	紡錘状土錘	胎土・長石、角閃石多量。焼成・普通。色調・淡い褐色。長2.9cm、径1.9cm。完形品。第48号住居址周辺。第49号住居址に帰属か。
11	紡錘状土錘	胎土・長石、石英、角閃石微細粒。焼成・良好。色調・褐色。長4.5cm、径2.0cm。上端欠損。細孔。第20号住居址No30。
12	紡錘状土錘	胎土・角閃石微細粒多量。焼成・普通。色調・淡褐色。長4.2cm、径2.4cm。ほぼ完形。第I区表採。
13	紡錘状土錘	胎土・長石、黒雲母微細粒。焼成・普通。色調・赤みがかった暗褐色。長5.3cm。径2.1cm。上端斜めに欠損。穿孔片寄る。第48号住居址。
14	紡錘状土錘	胎土・石英、角閃石多量。焼成・普通。色調・やや暗い褐色。長4.0cm、径2.1cm。上端大きく欠損。第II区表採。
15	土玉状土錘	胎土・石英、角閃石微細粒多量。焼成・良好。色調・褐色。長3.3cm、径2.7cm。全体に手で練ったいびつな球体で指頭痕。穿孔断面楕円形。第67号住居址。
16	紡錘状土錘	胎土・角閃石、長石、石英多量。焼成・やや甘い。色調・明褐色。長4.6cm、径1.8cm。上端欠損。器面一部指頭痕。第II区表採。
17	紡錘状土錘	胎土・長石極めて多量。整形、黒雲母、褐鉄粒、角閃石。焼成・良好。色調・褐色。長6.3cm、径2.3cm。第51号住居址。
18	扁平棒状土錘	胎土・長石、石英、角閃石。焼成・良好。色調・暗褐色。長6.0cm、径2.5cm。焼成前に刻まれた線刻あり。第18号住居址。カマド内。

南大通り線内遺跡出土土製品、石製品観察表（第63・64図）

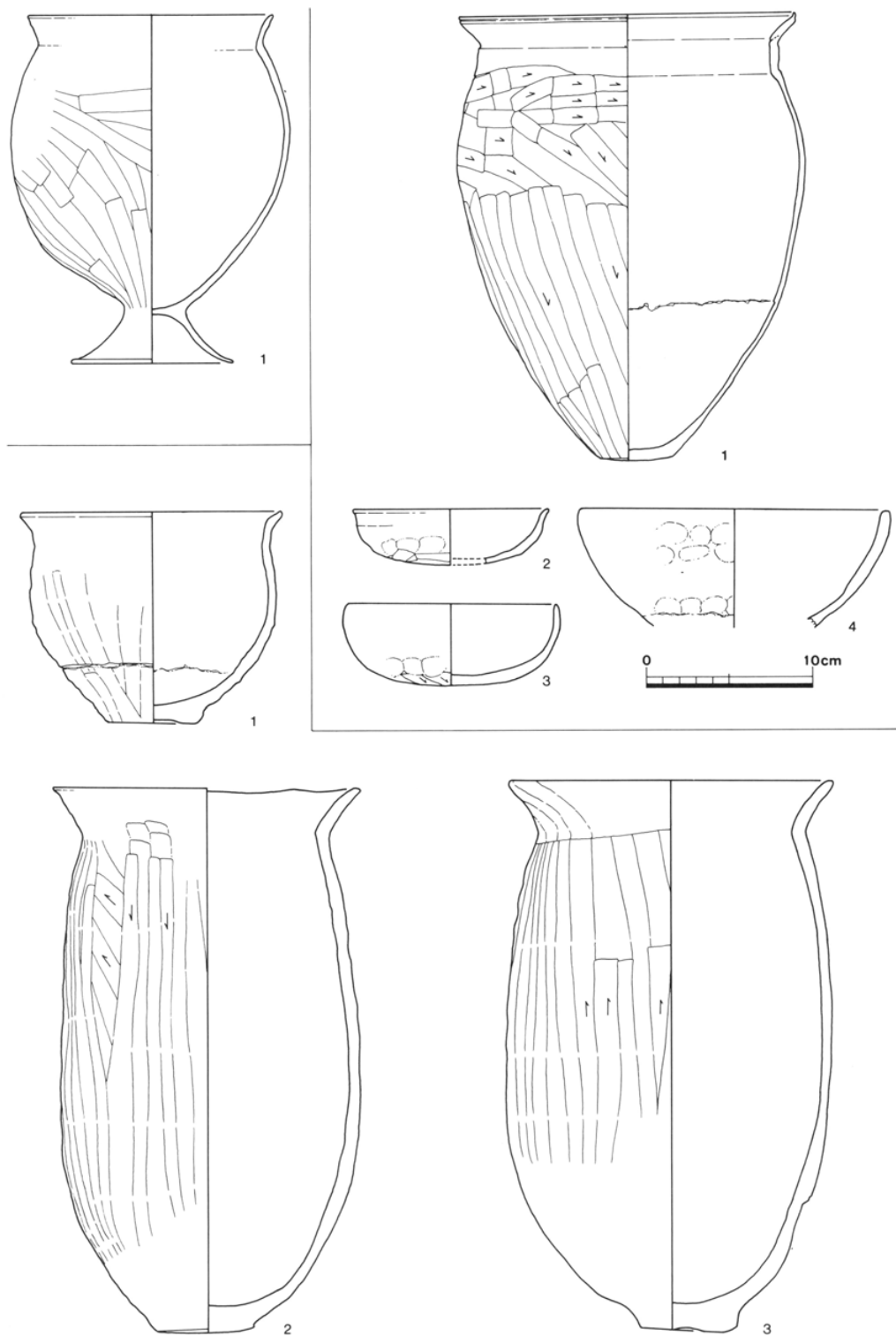
番号	器種	特徴
1	棒状土製品	胎土・角閃石微細砂。焼成・やや甘い。色調褐色。長2.5cm、径0.8cm。穿孔なし、棒状に加工。上端欠損。第36B号住居址。カマド袖内。
2	棒状土製品	胎土・焼成・色調は1と同じ。長1.9cm、径0.9cm。穿孔なし、棒状に加工。上端欠損。第36B号住居址。カマド内。
3	棒状土製品	胎土・角閃石、石英。焼成・甘い。色調・褐色。長2.2cm、径1.2cm。穿孔なし。第51号住居址。
4	棒状土製品	胎土・角閃石。焼成・かなり甘い。色調・淡褐色。長1.3cm、径1.0cm。全体に摩滅顕著。第53号住居址。

5	円盤状土製品	胎土・石英。焼成・良好。色調・外面褐色、内面淡褐色。径3.6cm、厚さ1.3cm。手捏ね整形の際のスジ、ヒビが顕著。第III区表採。
6	土製丸玉	胎土・褐鉄粒、石英、角閃石。焼成・良好。色調・褐色。長1.4cm、径1.5cm。表採。
7	土製丸玉	胎土・微細砂多量。焼成・良好。色調・淡褐色。長1.2cm、径1.5cm。第2B号住居址。
8	土製丸玉	胎土・角閃石微細粒。焼成・やや甘い。色調・褐色。長1.4cm、系1.0cm。第37号住居址。カマド袖内。
9	土製丸玉	胎土・石英微細粒。焼成・普通。色調・淡褐色。長1.0cm、径1.1cm。第42号住居址。カマド袖内。
10 5 12	土製丸玉	胎土・角閃石、石英。焼成・甘い。色調・淡褐色。長(10)0.9cm、(11)0.7cm、(12)0.5cm。径(10)0.7cm、(11)0.6cm、(12)0.5cm。第61号住居址。カマド袖内。
13	白玉	乳茶褐色滑石。径0.8cm、厚さ0.5cm。第26号住居址。床直。
14	白玉	乳茶褐色滑石。径0.6cm、厚さ0.4cm。第12号住居址。カマド袖内。
15	白玉	乳茶褐色滑石。径0.6cm、厚さ0.5cm。第18号住居址。カマド袖内。
16	白玉	深緑色滑石。径0.5cm、厚さ0.4cm。第18号住居址。カマド袖内。
17	白玉	深緑色滑石。径0.4cm、厚さ0.2cm。第61B号住居址。カマド袖内。
18	白玉	深緑色滑石。径0.4cm、厚さ0.25cm。第11号住居址。カマド袖内。
19	白玉	深緑色滑石。径0.4cm、厚さ0.2cm。第1号住居址。カマド袖内。
20	白玉	深緑色滑石。径0.5cm、厚さ0.2cm。第18号住居址。カマド袖内。
21	白玉	灰色滑石。径0.5cm、厚さ0.25cm。第36B号住居址。カマド袖内。
22	白玉	深緑色滑石。径0.4cm、厚さ0.3cm。第12号住居址。カマド袖内。
23	管玉	深緑色滑石。長2.4cm、径0.5cm。第32号住居址。床直。
24	不明石製品	白緑化した滑石。長6.9cm、幅4.4cm、厚さ1.9cm。刀子状の工具で削り、左右及び下辺の側辺部にV字状の溝を彫り込む。第39号住居址。
25	紡錘車	深緑色滑石。径4.4cm、厚さ1.3cm。斜面は刀子状工具の削り痕明瞭。上面、底面に擦痕。全体に光沢を帯びる。第12号住居址。
26	紡錘車	深緑色滑石。径4.4cm、厚さ1.3cm。斜面は刀子状工具の削り痕明瞭。上面と底面近くの斜面にわずかな稜がある。縁辺部摩滅、部分的に光沢。第12号住居址。
27	円盤状土製品	淡緑色片岩。径2.0cm、厚さ0.4cm。擦痕が観察されるが光沢を帯びる。
28	剣形石製模造品	緑色片岩。長さ6.4cm、幅2.4cm、厚さ0.6cm。全面に擦痕が顕著。第12号住居址出土。
29	石鏃	チャート。長さ2.2cm、幅1.5cm、厚さ0.4cm。両側縁部より押圧剝離。基部欠損。

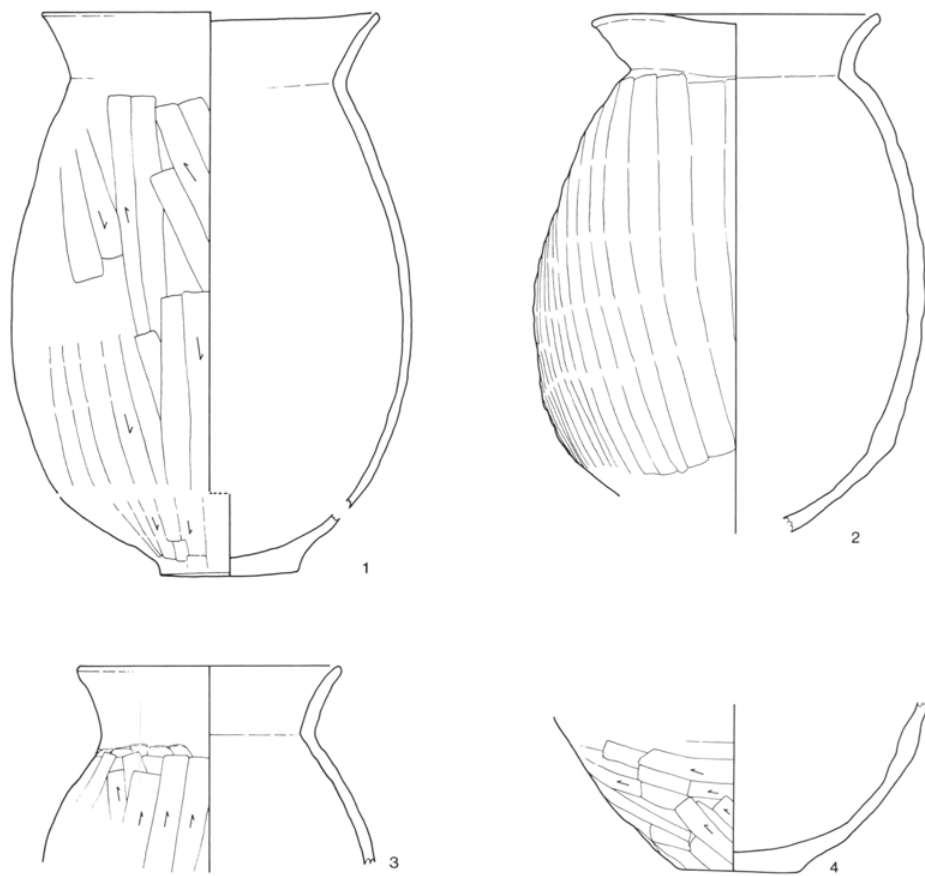
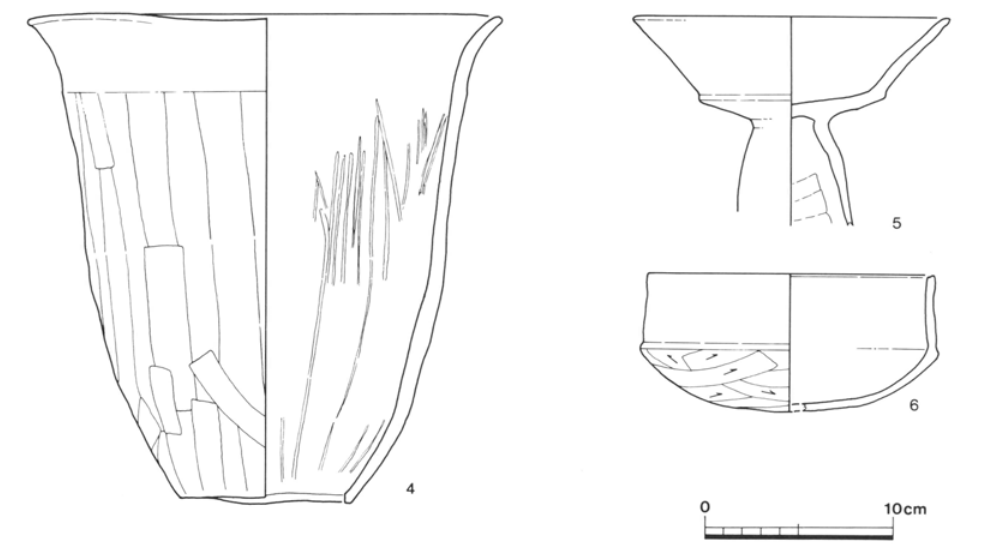
30	剥片	黒耀石。長さ4.0cm、幅1.6cm、厚さ0.5cm。打面若干残存。正面に自然面残存。
31	剥片	安山岩。長さ8.2cm、幅5.4cm、厚さ0.8cm。平坦打面より剥離。正面に3枚の剥離面が観察。下端部は若干蝶番剥離状。全体に風化顕著。
32	打製石斧	玄武岩。長さ12.1cm、幅10.2cm、厚さ2.7cm。片面に自然面が残存。両面を粗く剥離後側縁部を階段状剥離で調整。風化顕著。

南大通り線内遺跡出土縄文土器観察表（第65図）

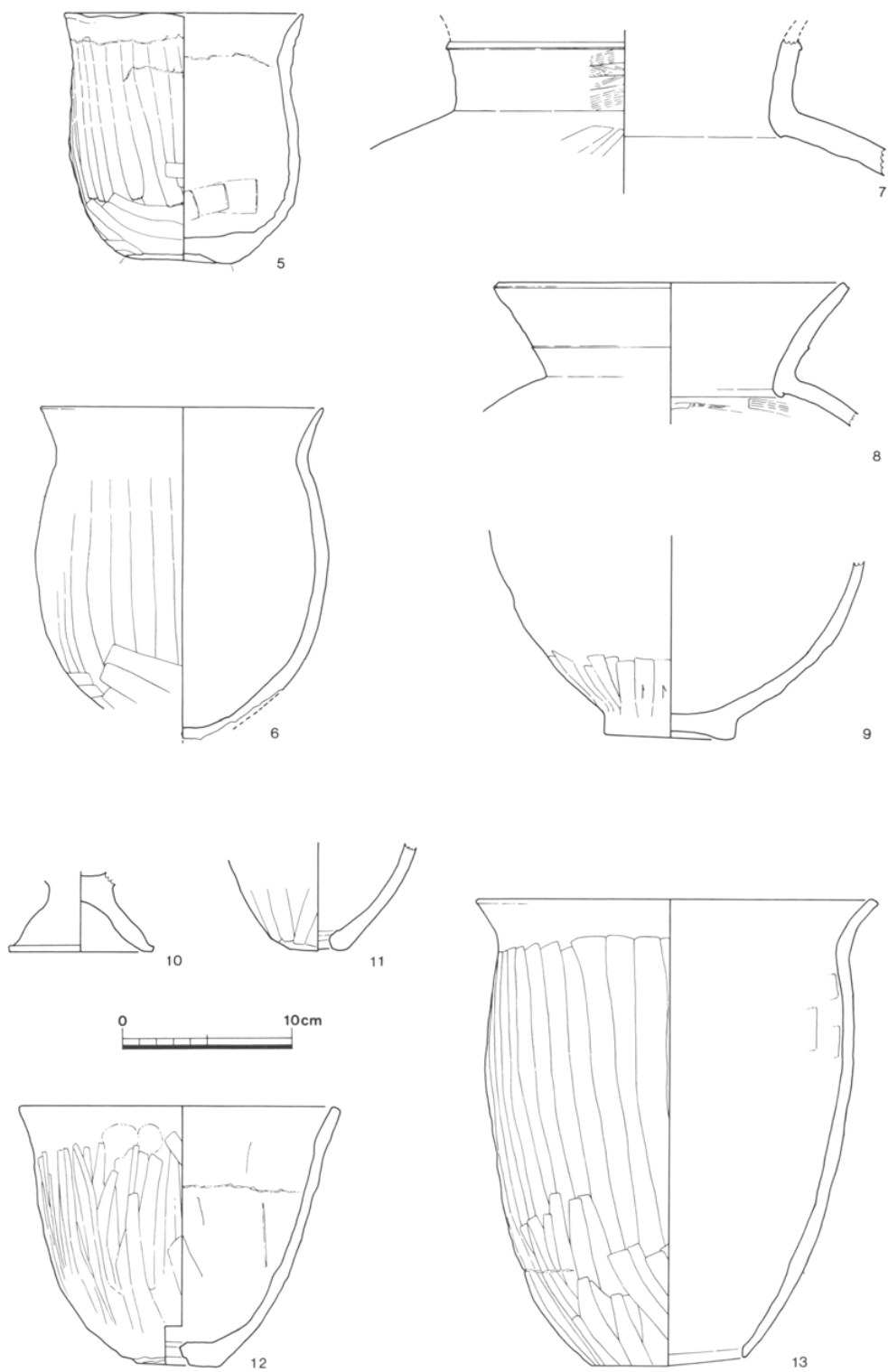
番号	器種	特 徴
1 5 9	深鉢	1、4、5は口縁部にあたる。1～3は同一固体で加曽利E2～3式。4は加曽利E1式。いずれも第38号住居址周辺より集中して出土。



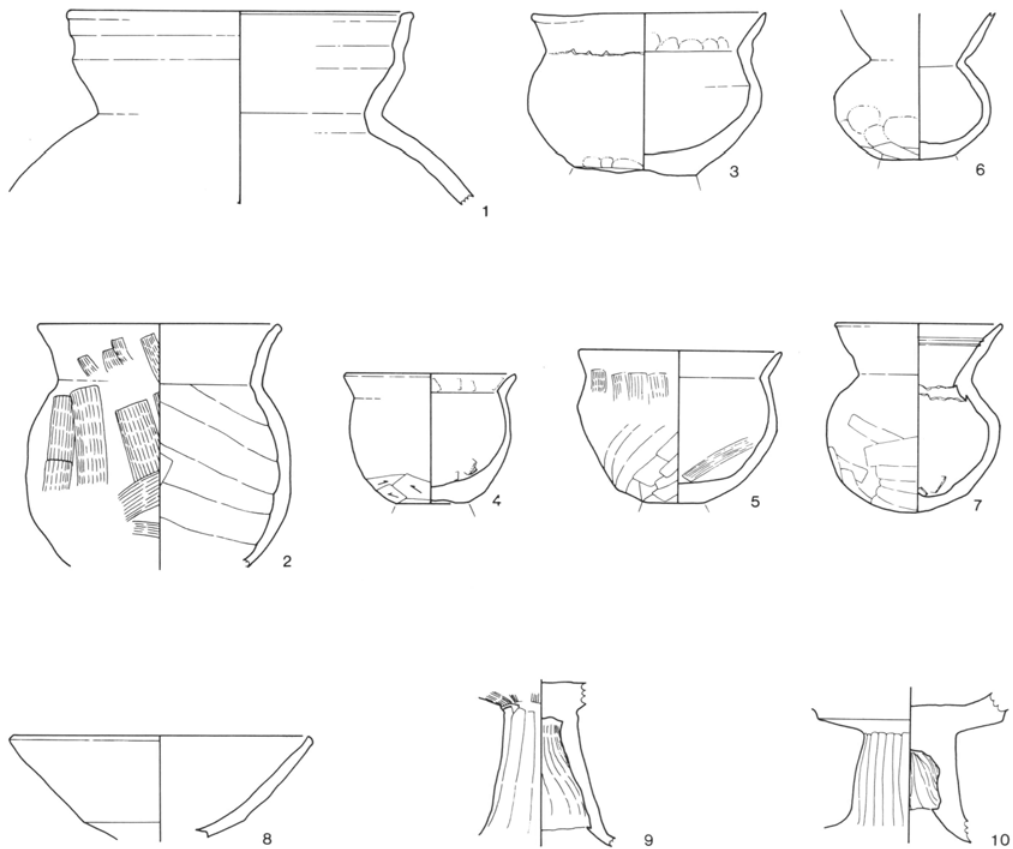
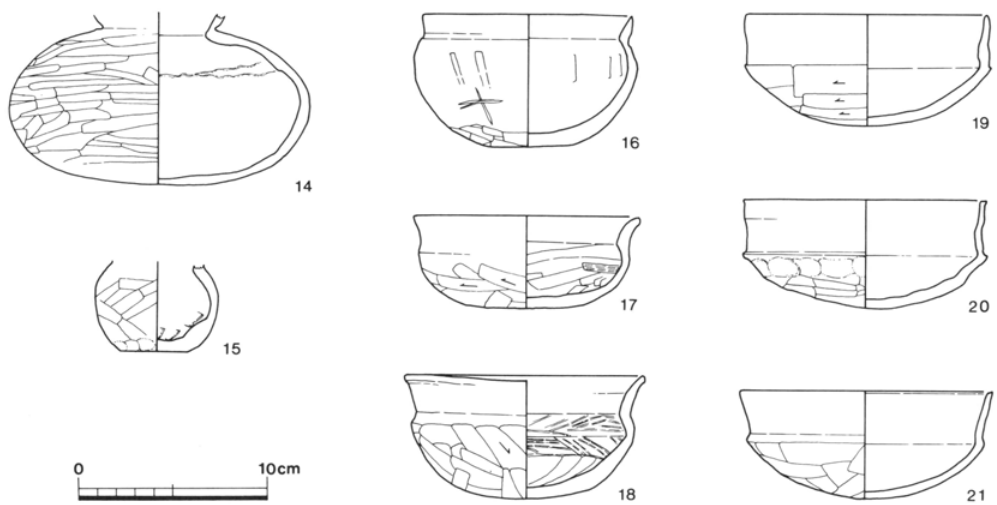
第3図 第1号住居址(左上)、第2A号住居址(右上)、第2B号住居址(下)出土土器実測図



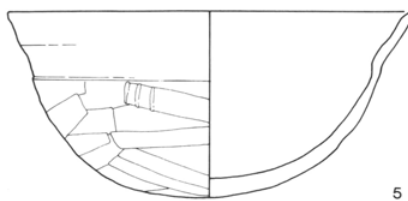
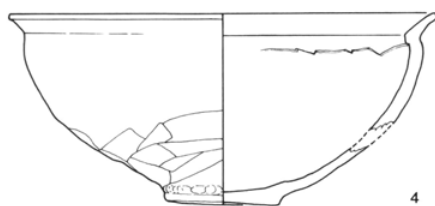
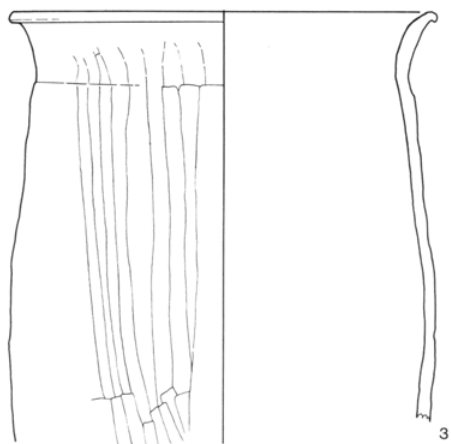
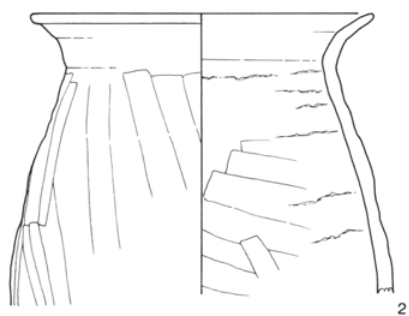
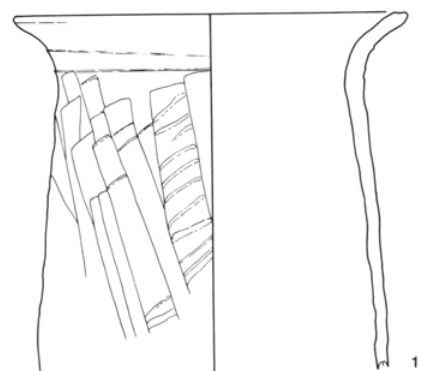
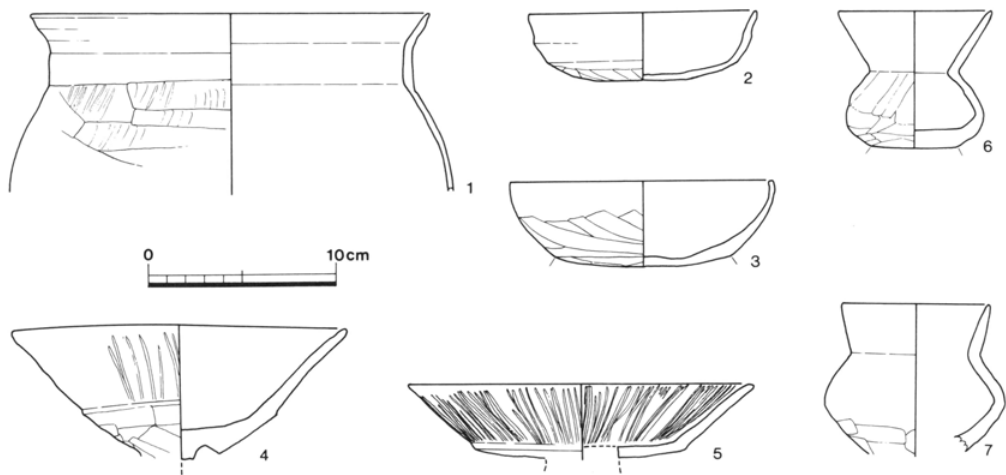
第4图 第2B号住居址(上)、第6号住居址(下)出土土器实测图



第5图 第6号住居址出土土器实测图

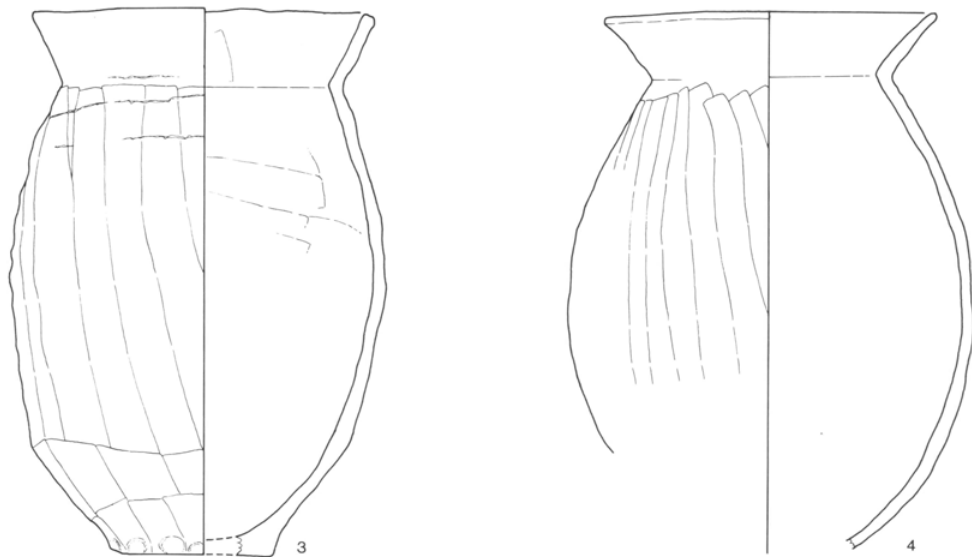
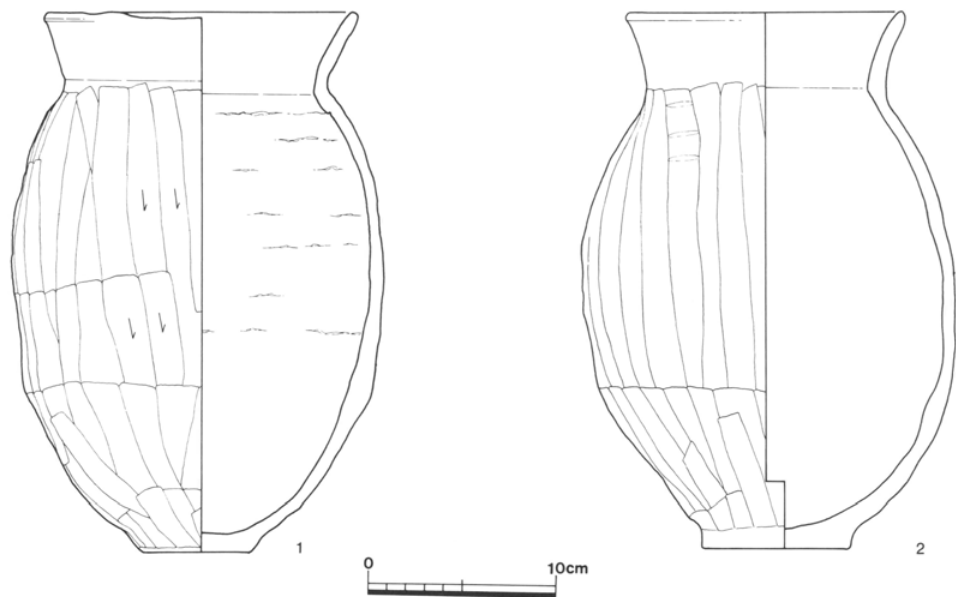
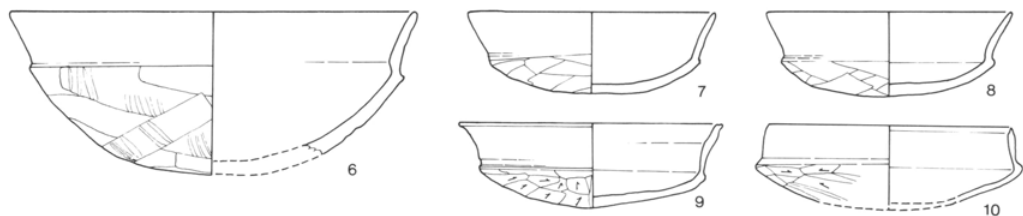


第6图 第6号住居址(上)、第8号住居址(下)出土土器实测图

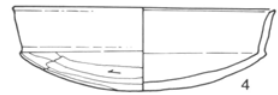
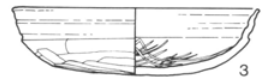
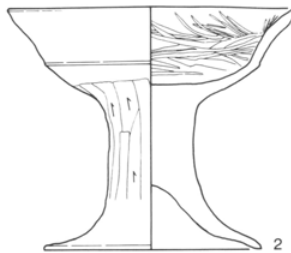
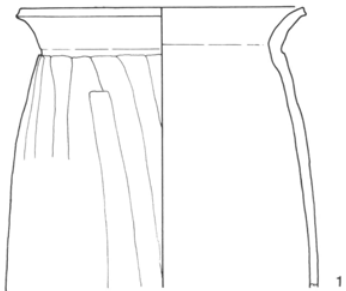
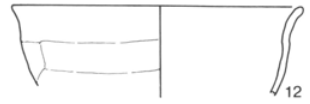
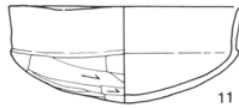
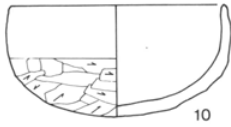
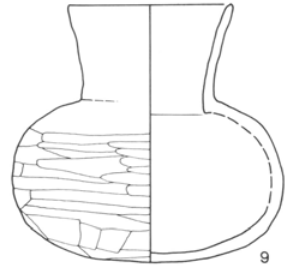
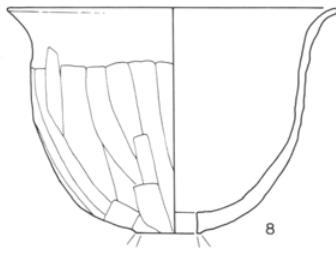
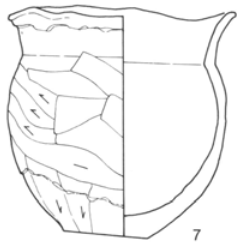
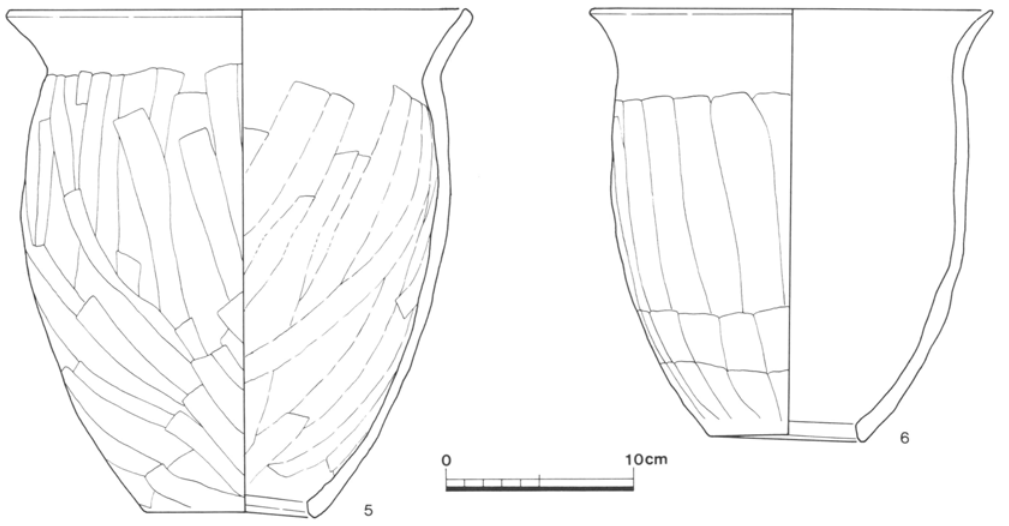


第7图 第9A号住居址(上)、第9B号住居址(下)出土土器实测图

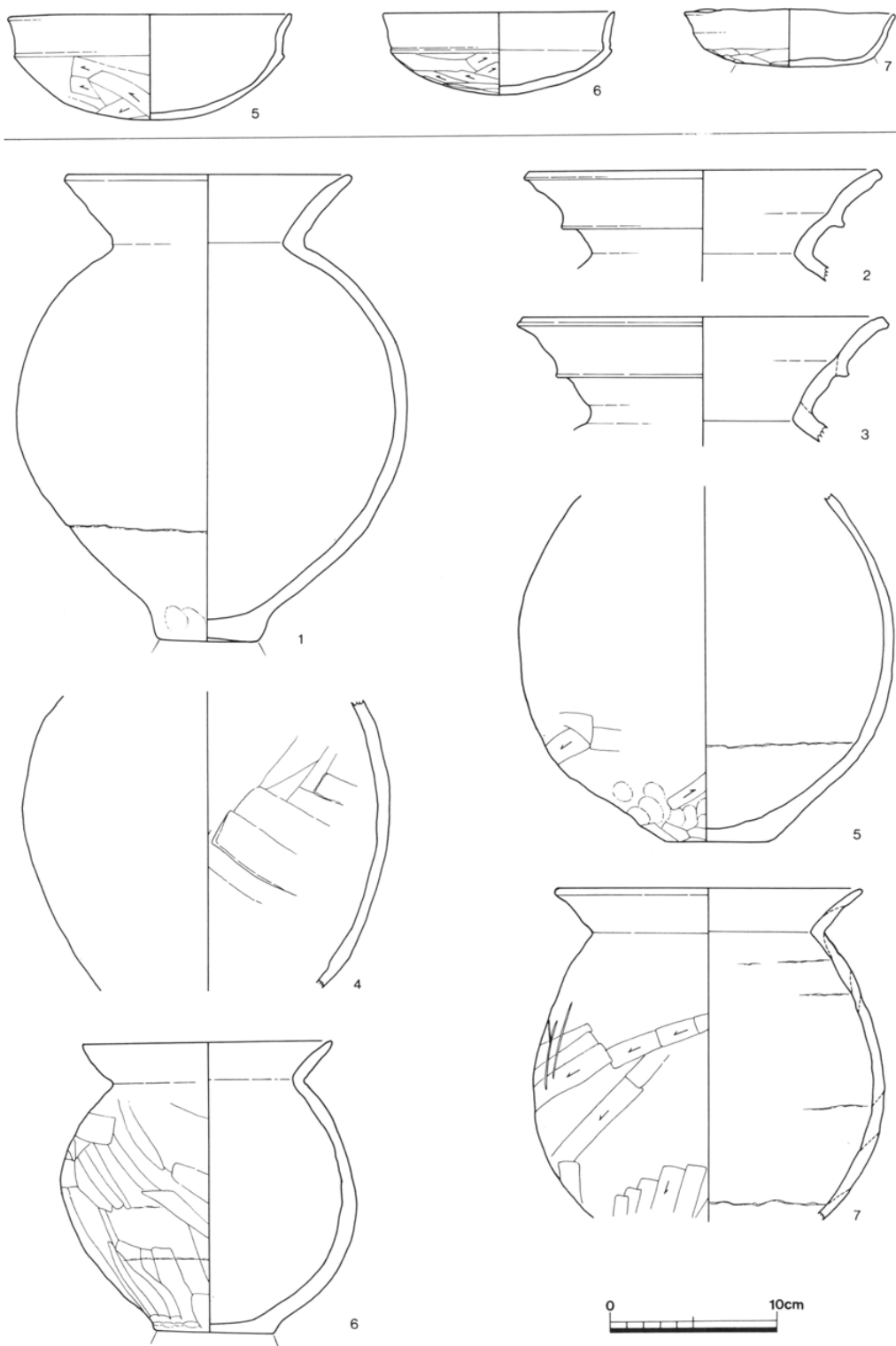




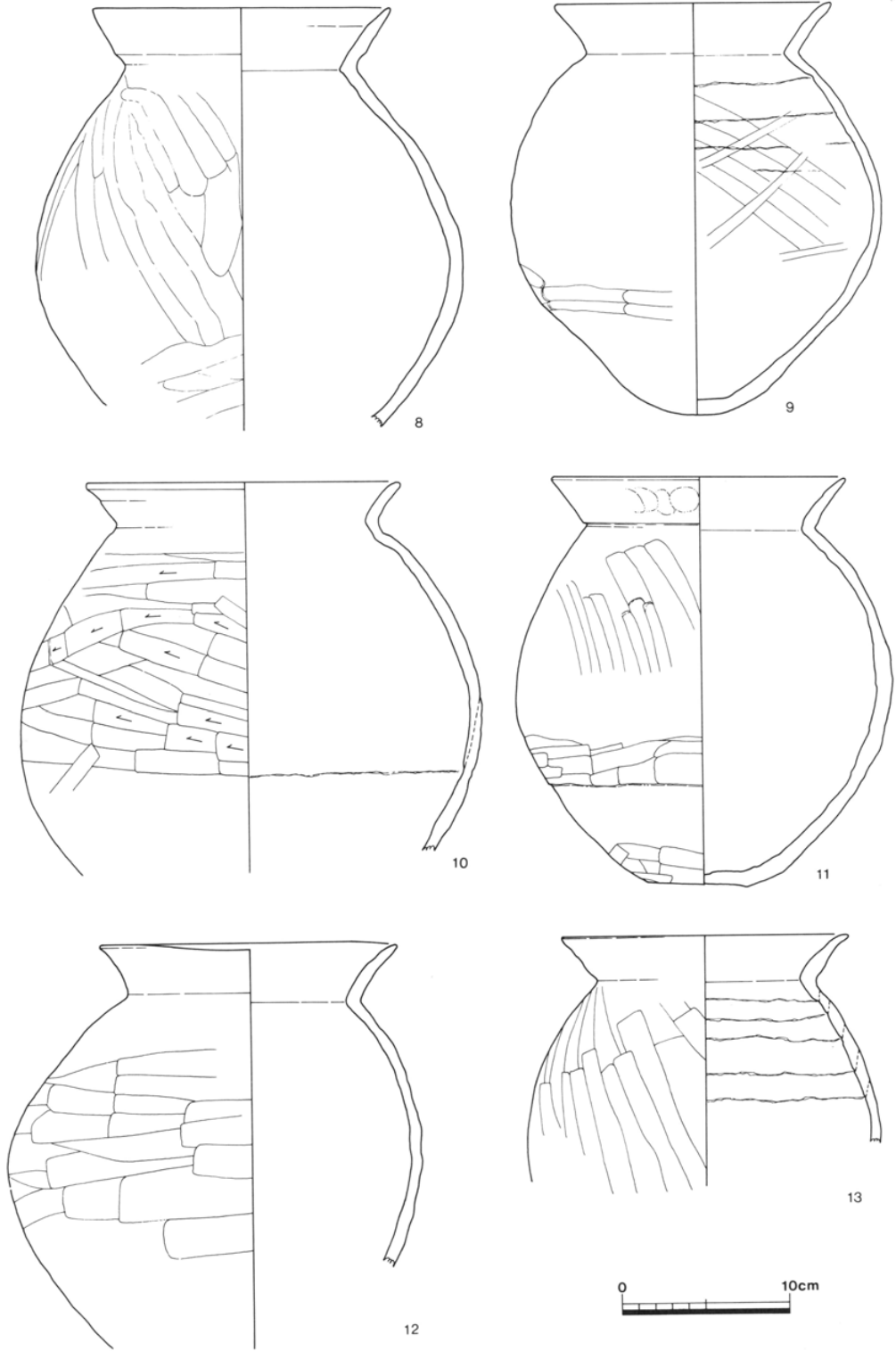
第8图 第9B号住居址(上)、第10号住居址(下)出土土器实测图



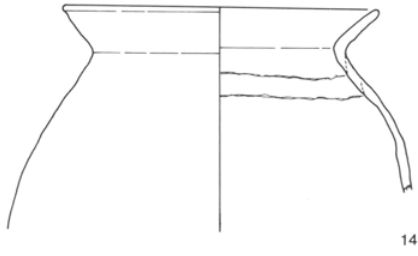
第9图 第10号住居址(上)、第11号住居址(下)出土土器实测图



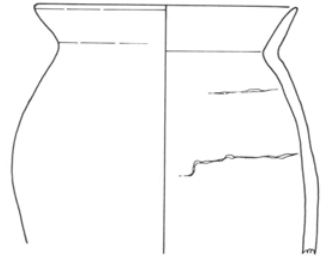
第10图 第11号住居址(上)、第12号住居址(下)出土土器实测图



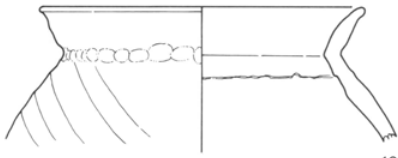
第11図 第12号住居址出土甕類実測図



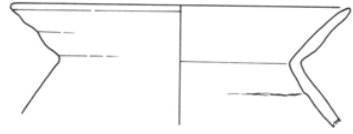
14



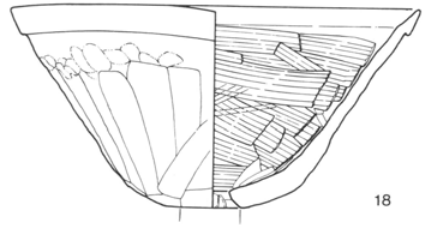
15



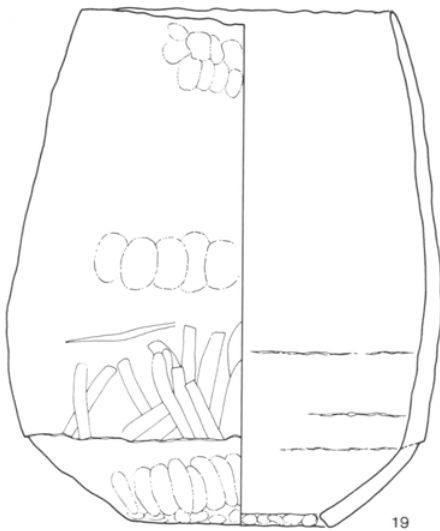
16



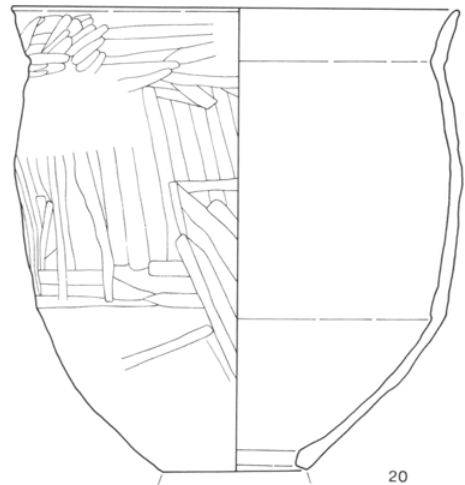
17



18

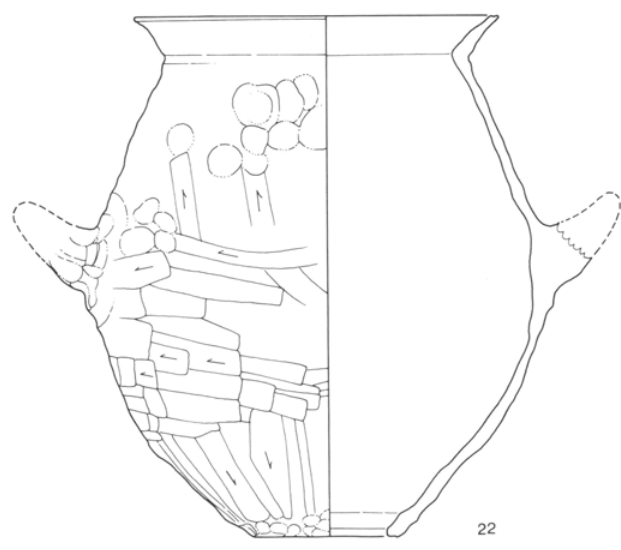
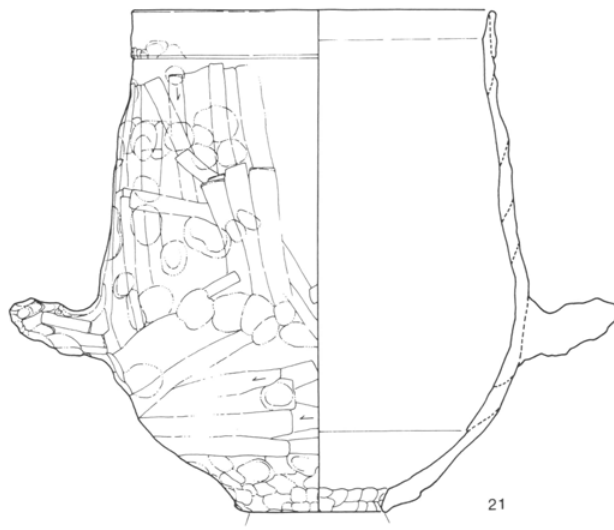


19

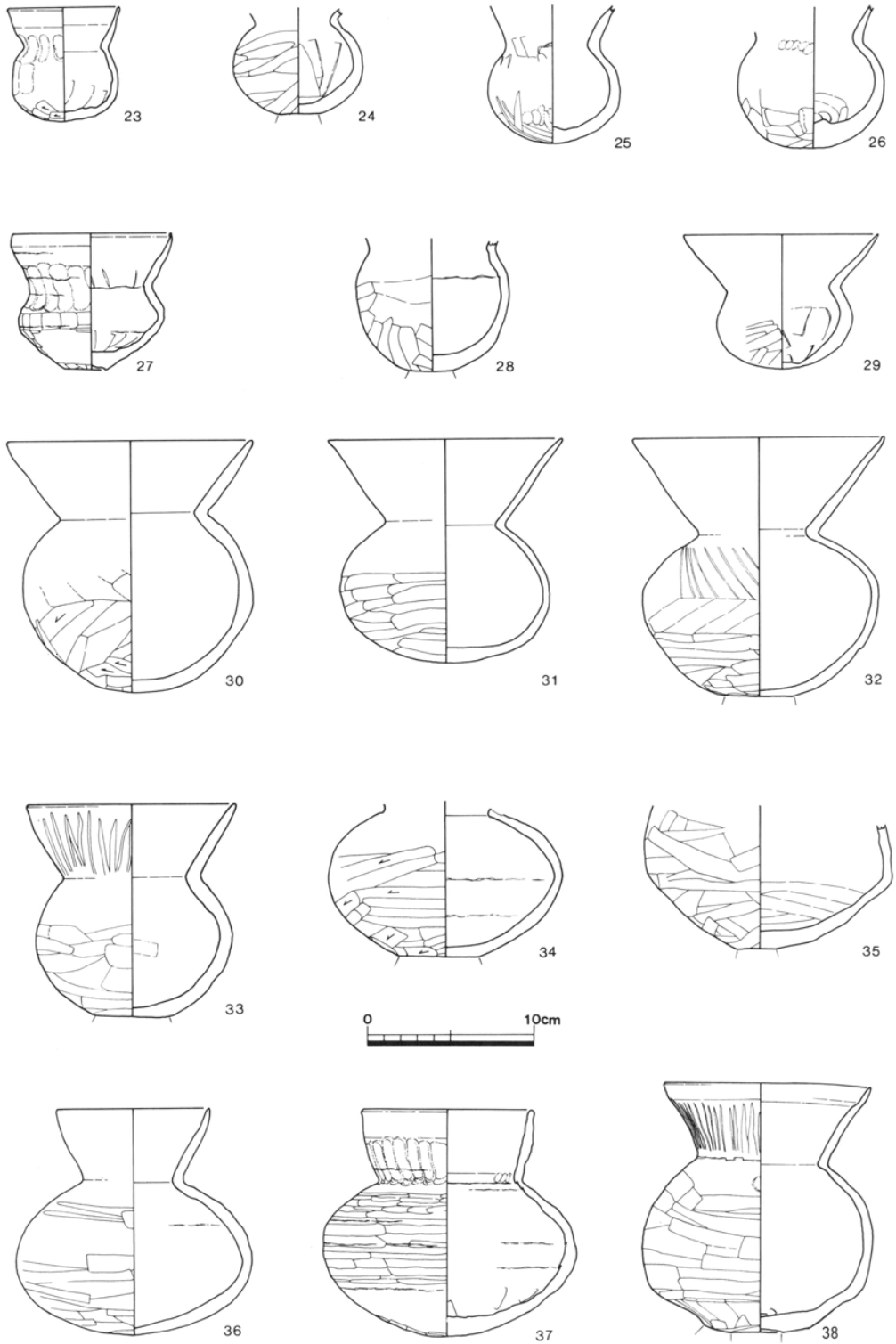


20

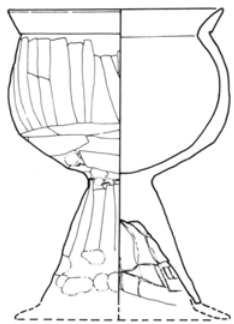
第12図 第12号住居址出土甕・甗類実測図



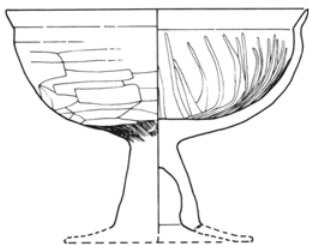
第13図 第12号住居址出土甗類実測図



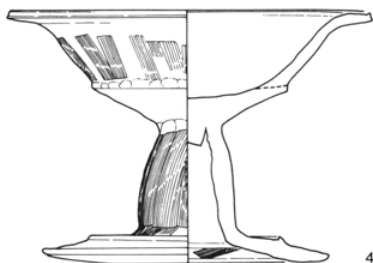
第14图 第12号住居址出土埴類実測図



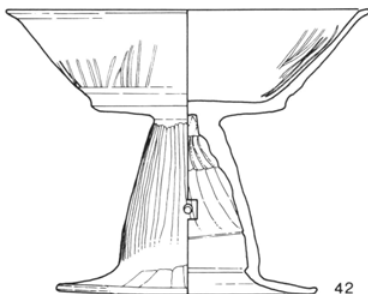
39



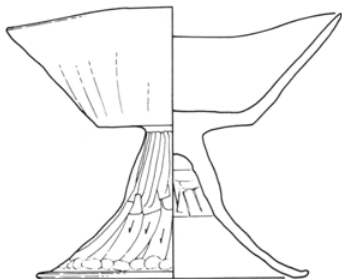
40



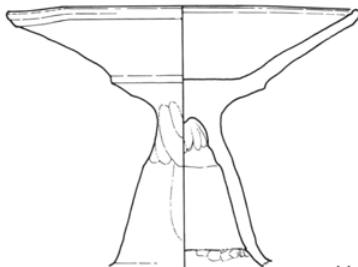
41



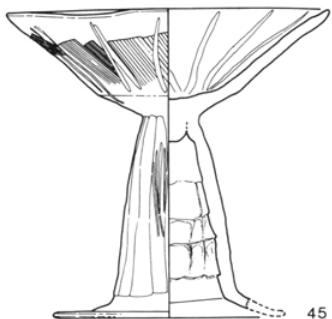
42



43



44



45



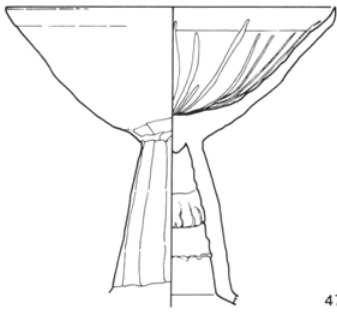
10cm



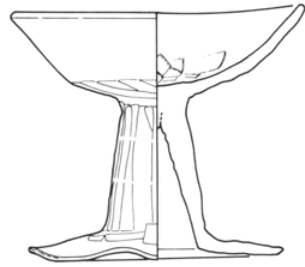
46

第15图 第12号住居址出土高环类实测图

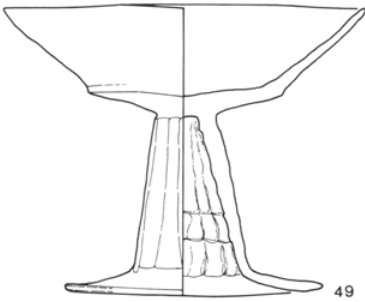




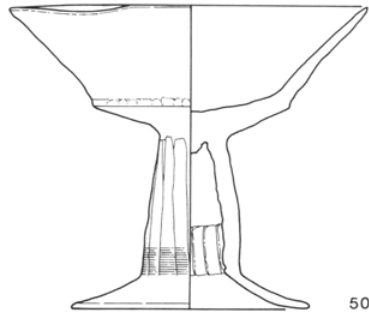
47



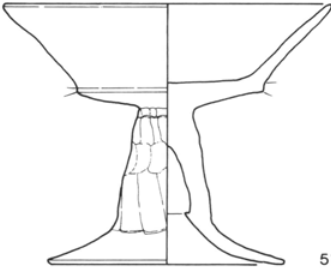
48



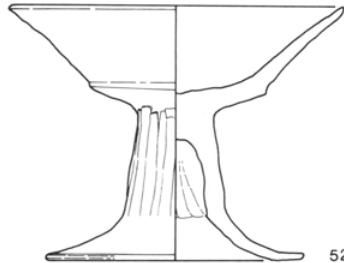
49



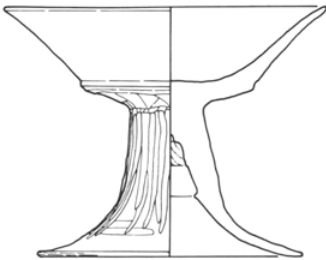
50



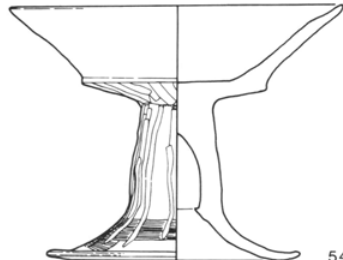
51



52

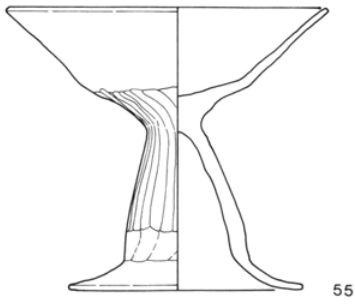


53

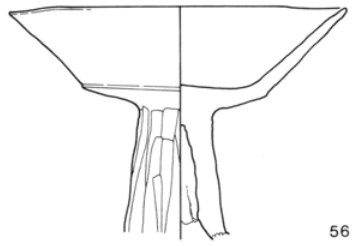


54

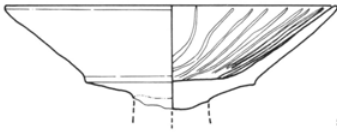
第16图 第12号住居址出土高坏類実測图



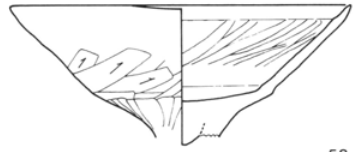
55



56



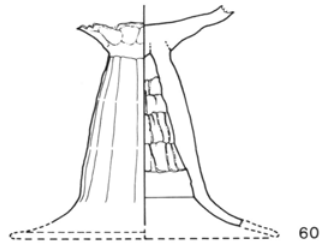
57



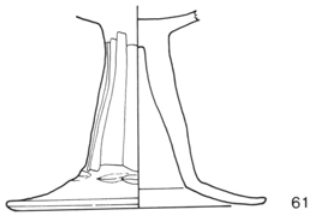
58



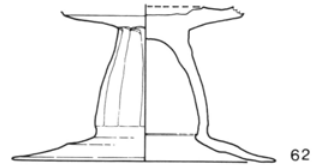
59



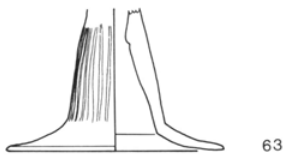
60



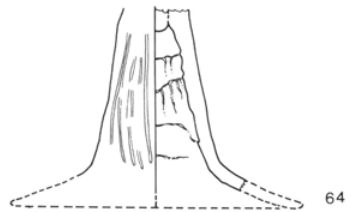
61



62

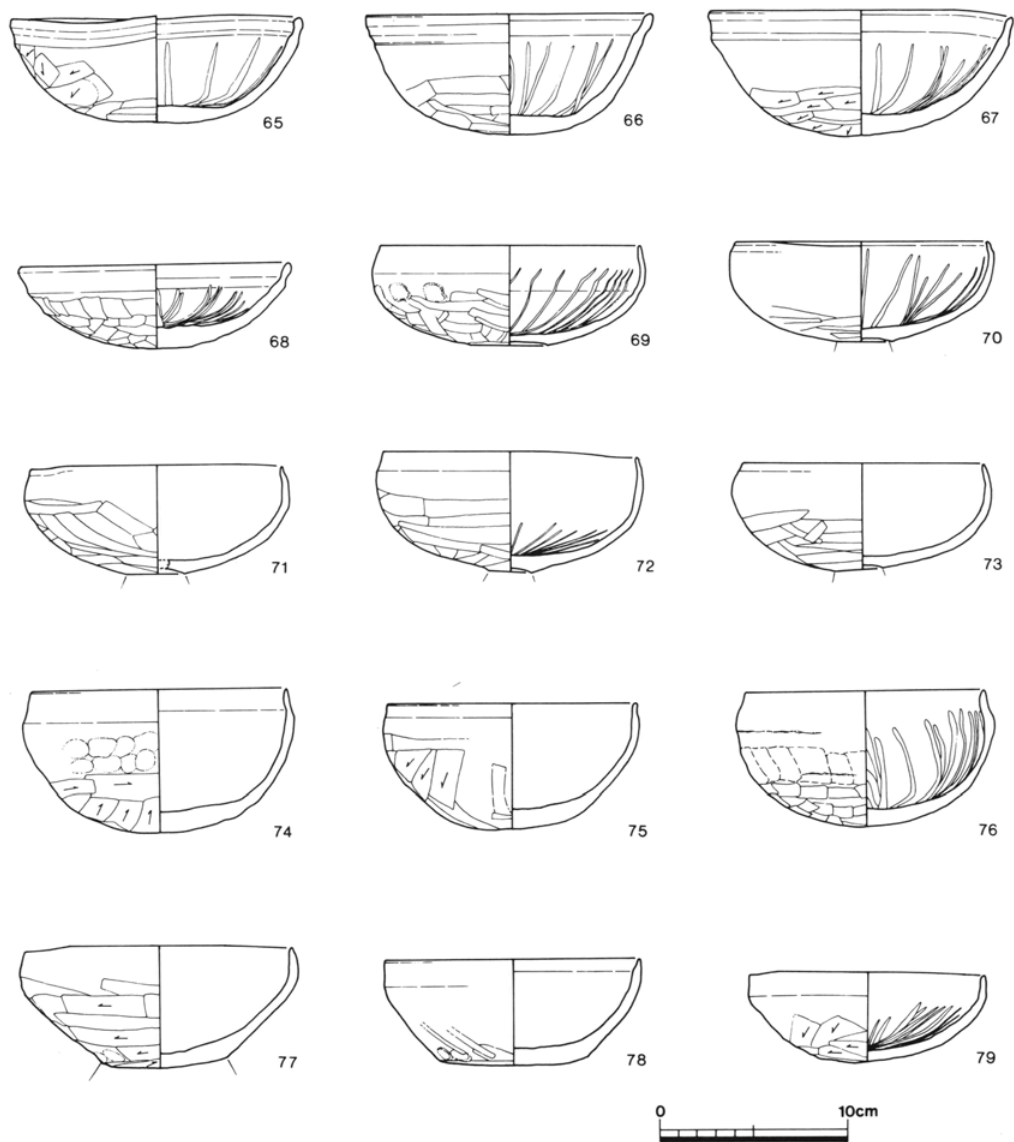


63

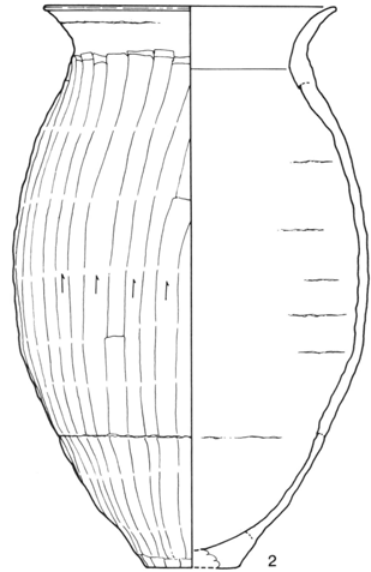
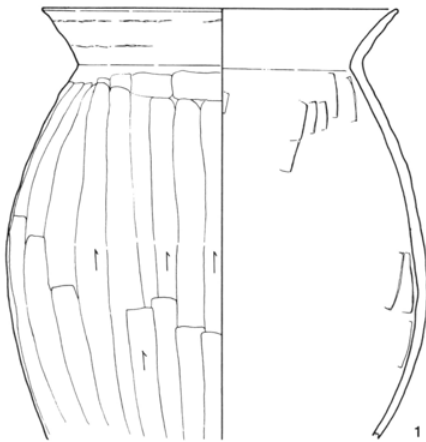
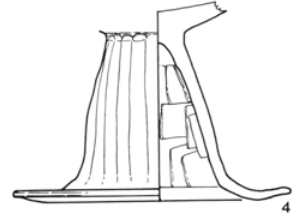
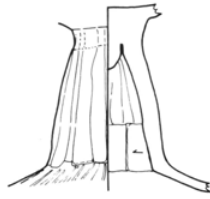
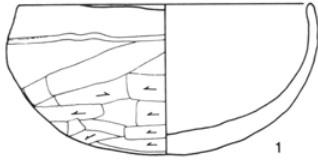
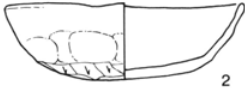


64

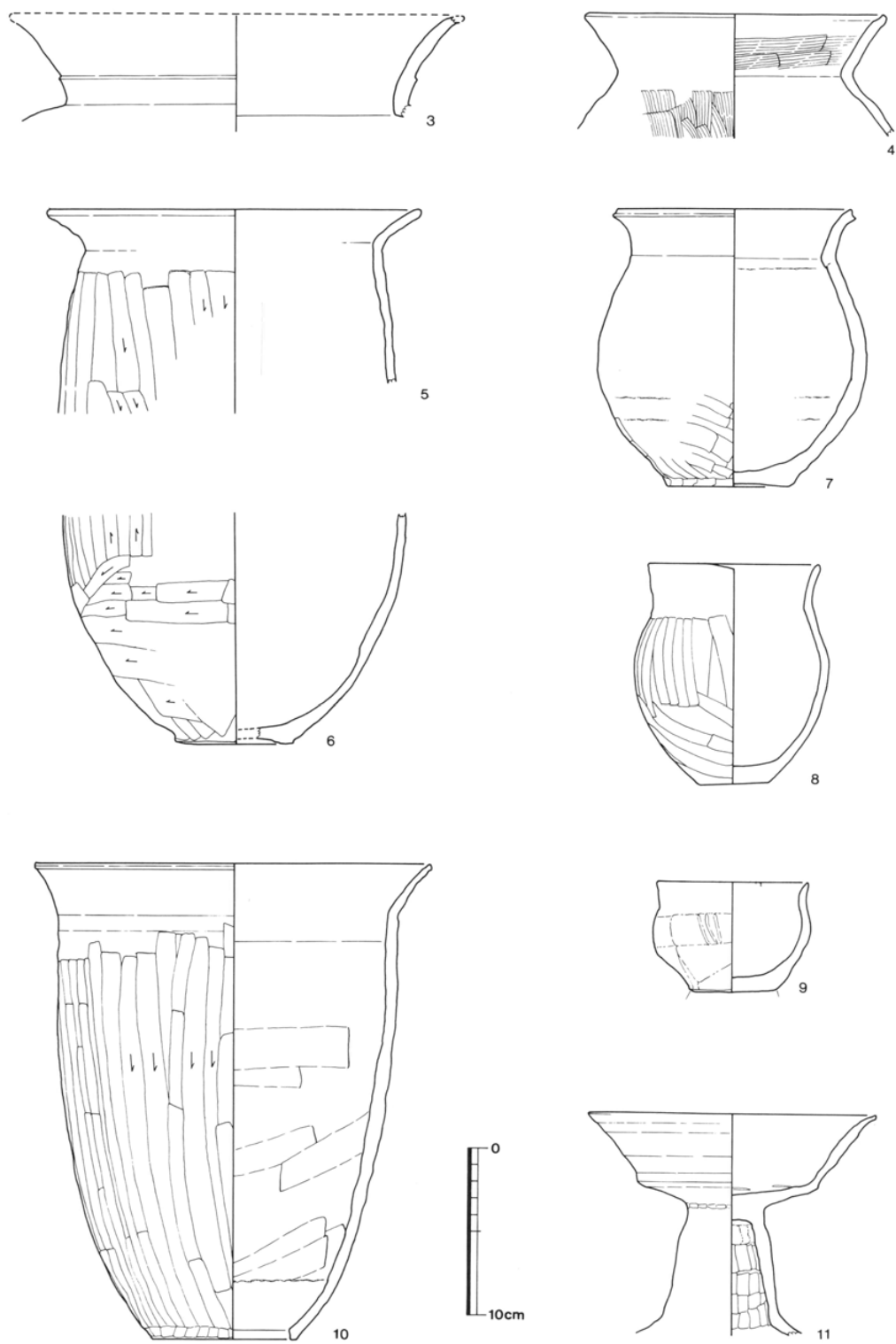
第17图 第12号住居址出土高坏类实测图



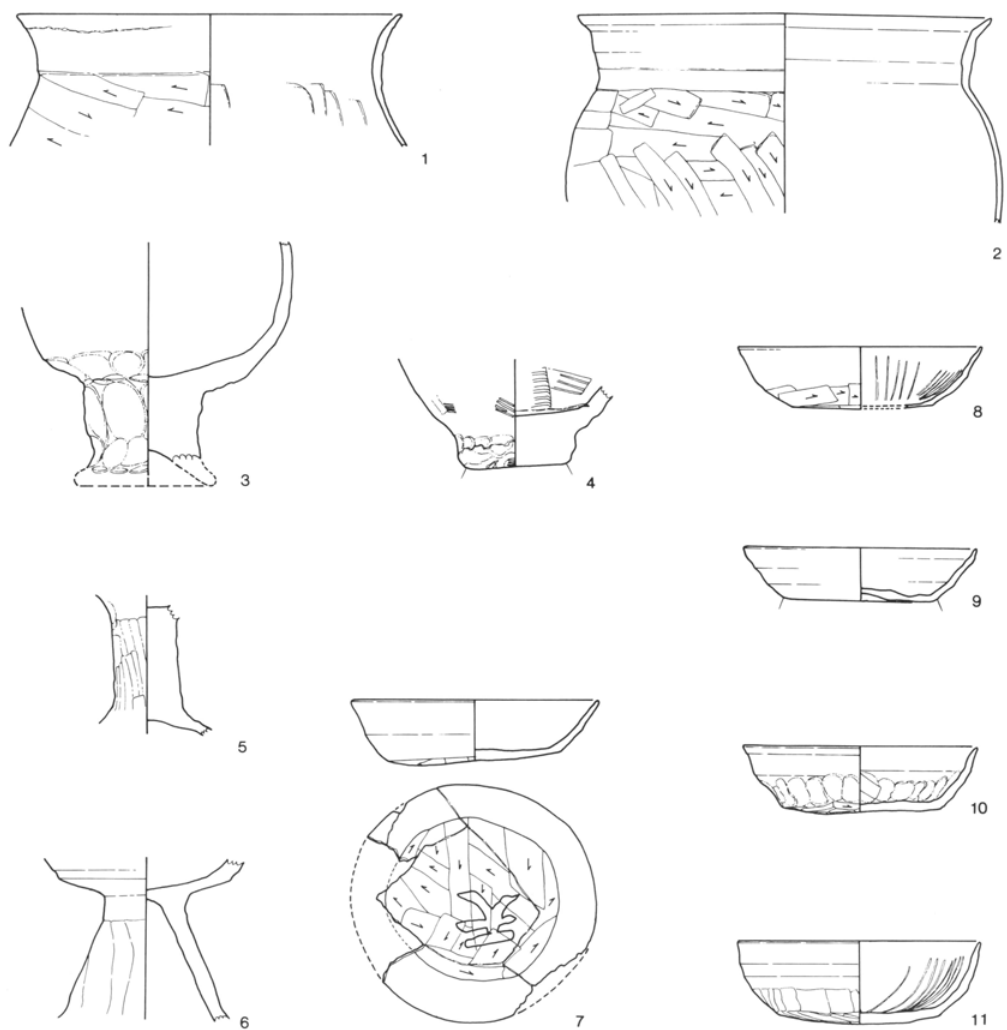
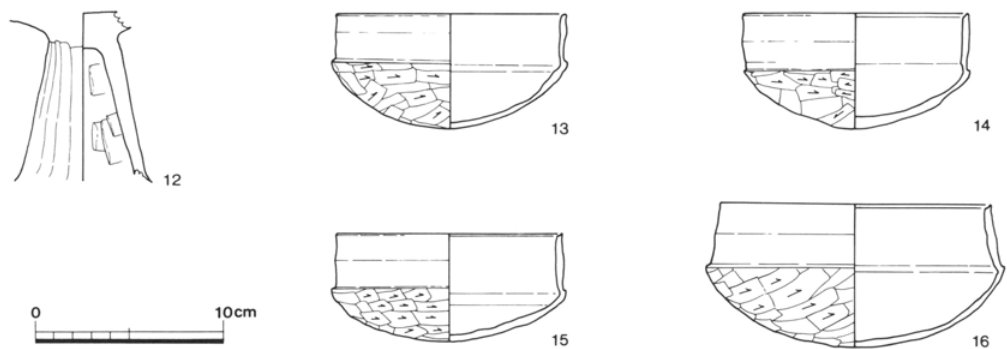
第18图 第12号住居址出土坏類実測图



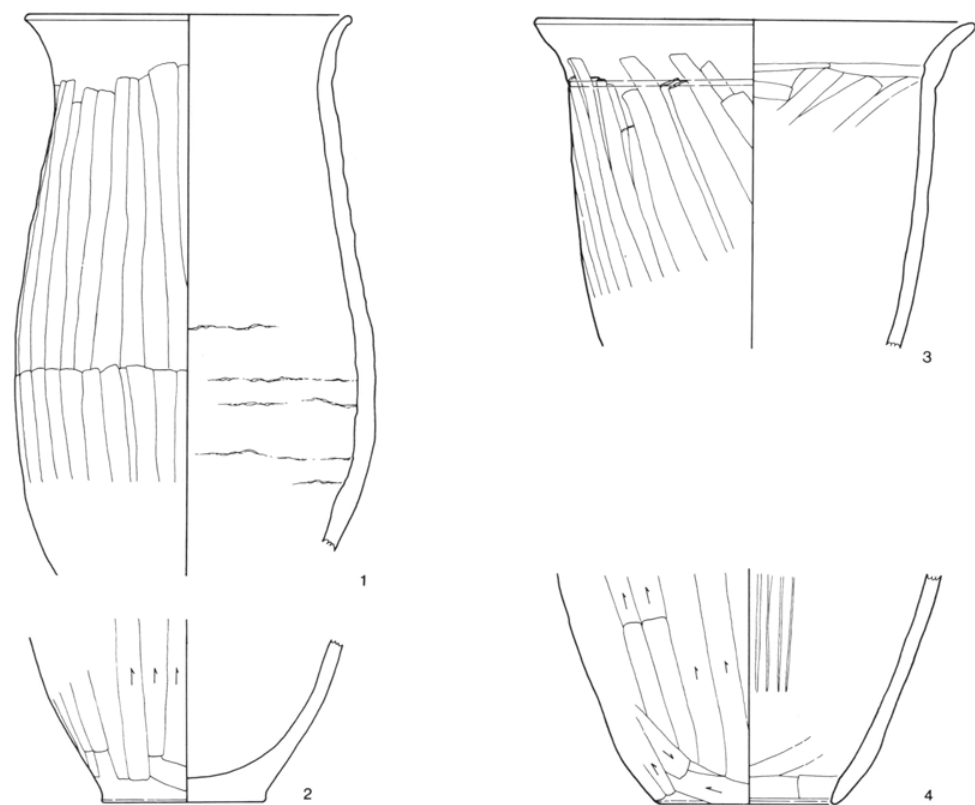
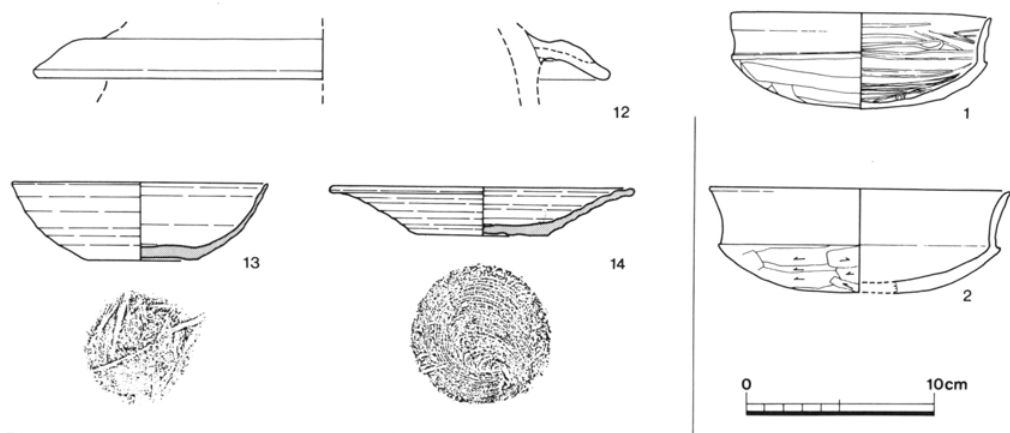
第19图 第13号住居址(上)、第14号住居址(中)、第15号住居址(下)出土土器实测图



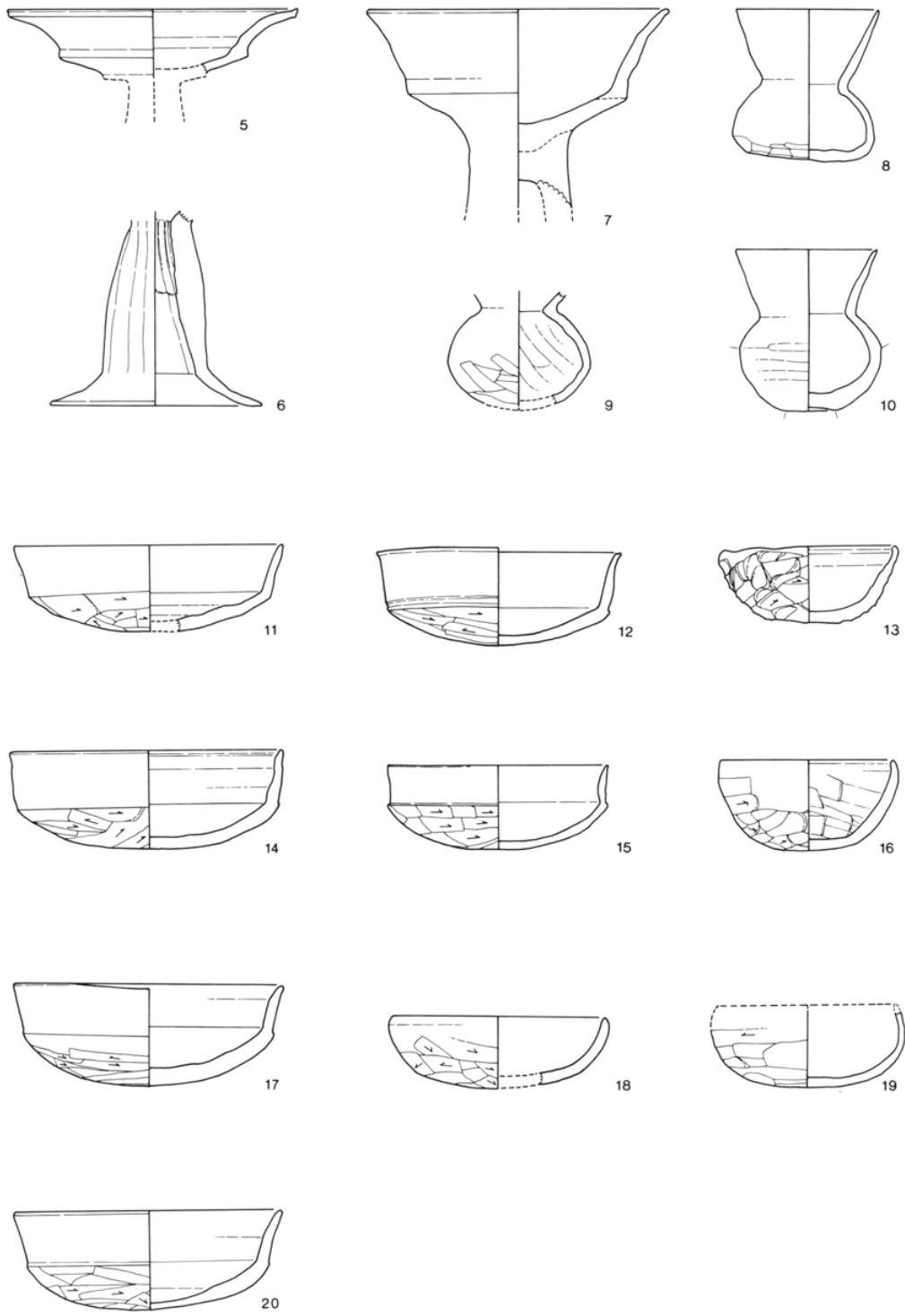
第20图 第15号住居址出土土器实测图



第21图 第15号住居址(上)、第16A号住居址(下)出土土器实测图

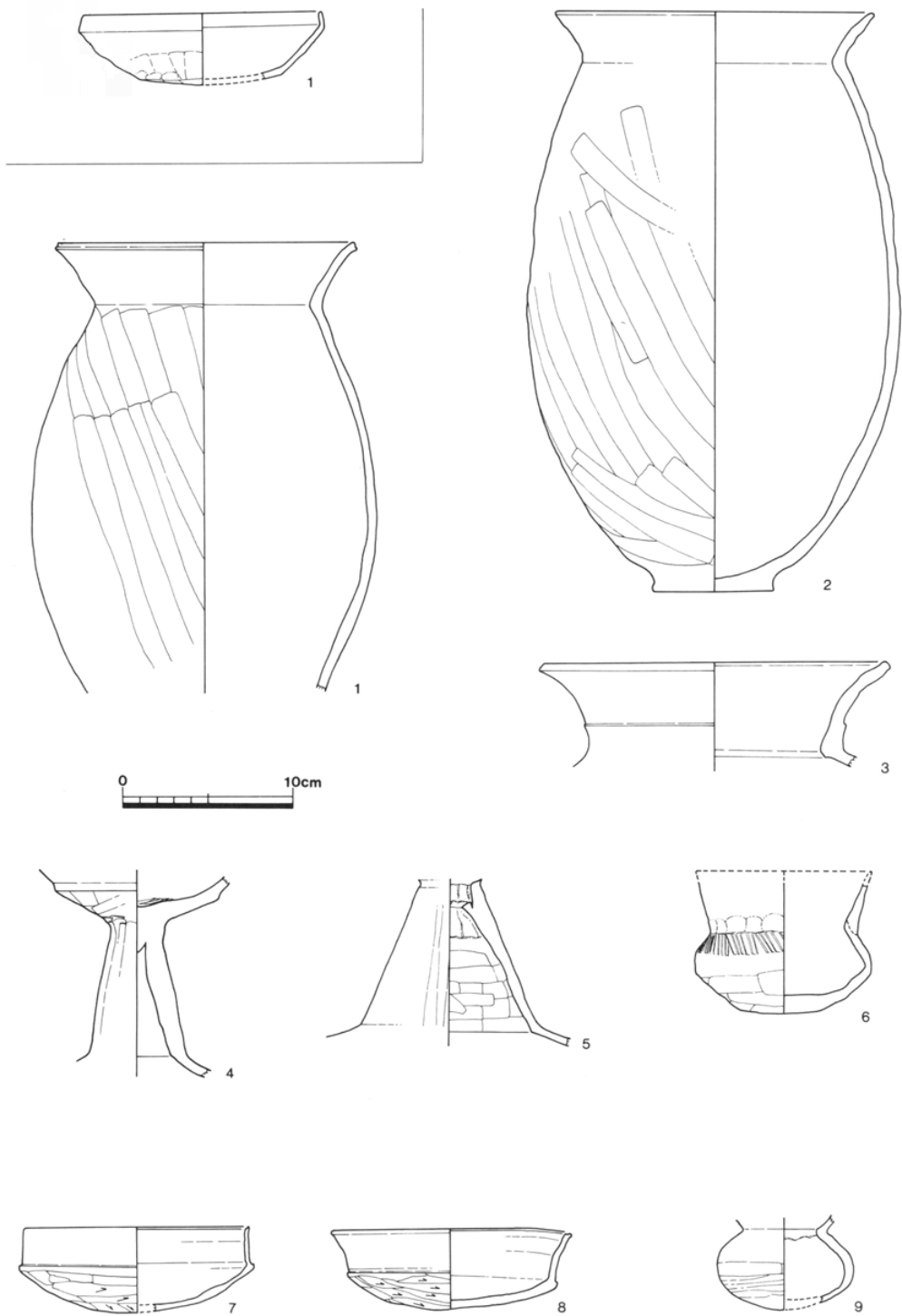


第22图 第16A号住居址(左上)、第16B号住居址(右上)、第17号住居址(中)、第18号住居址(下)  
出土土器实测图

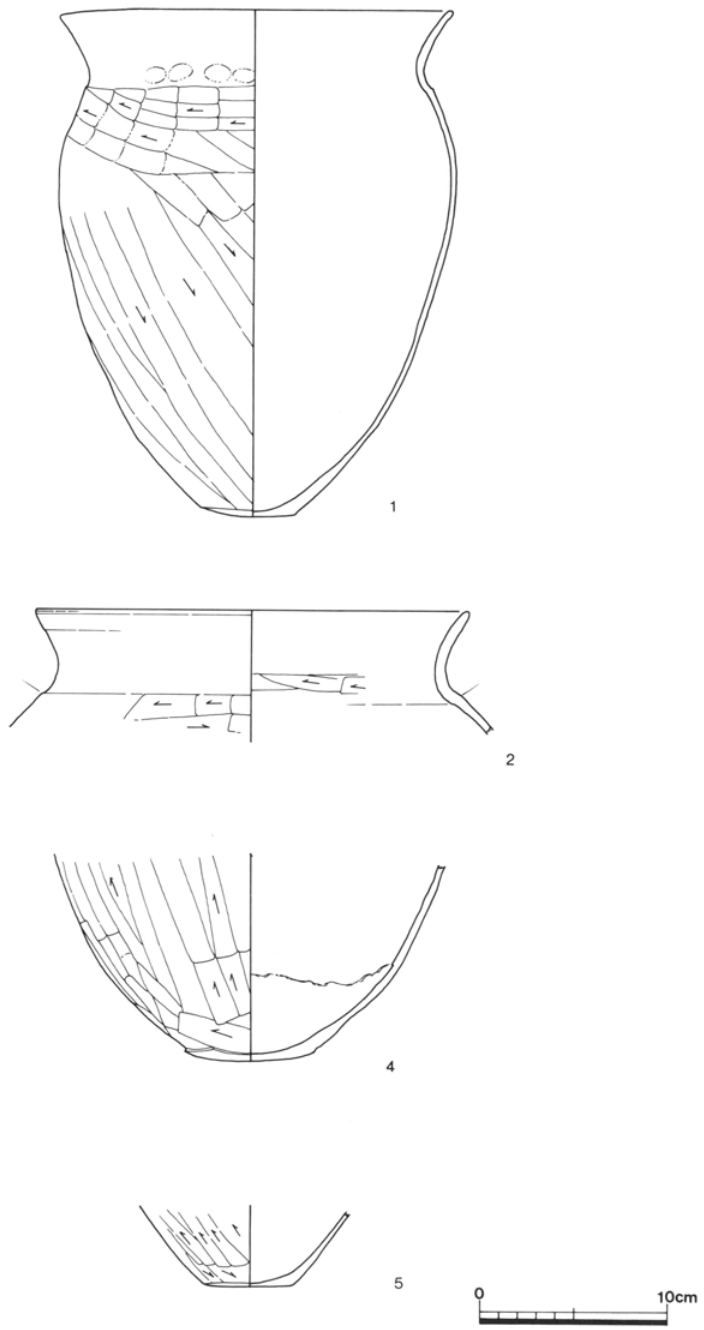


第23图 第18号住居址出土土器実測図

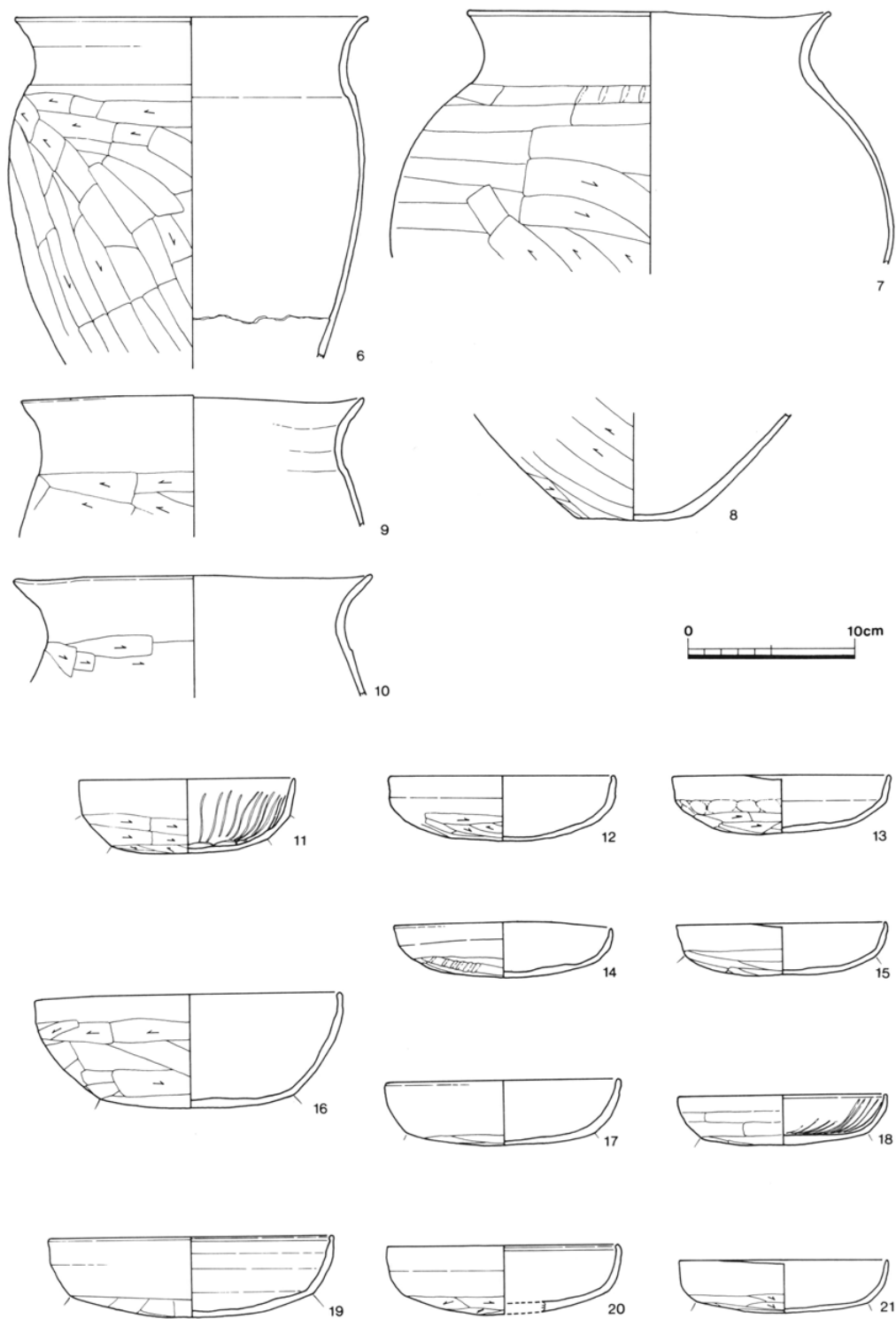




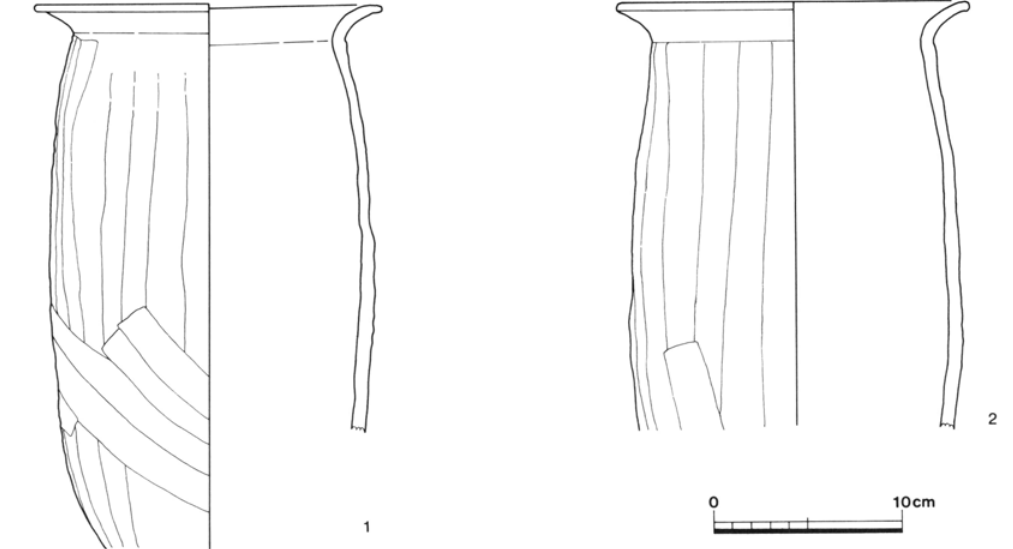
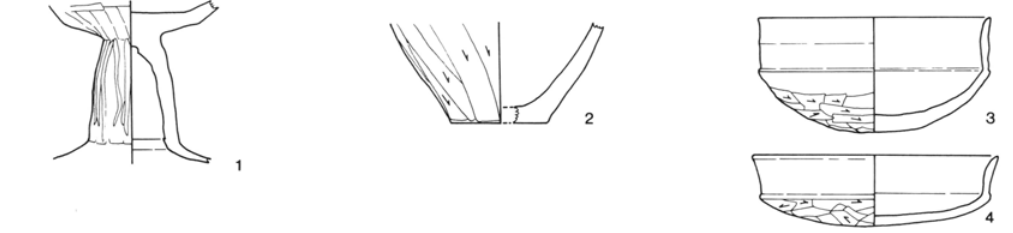
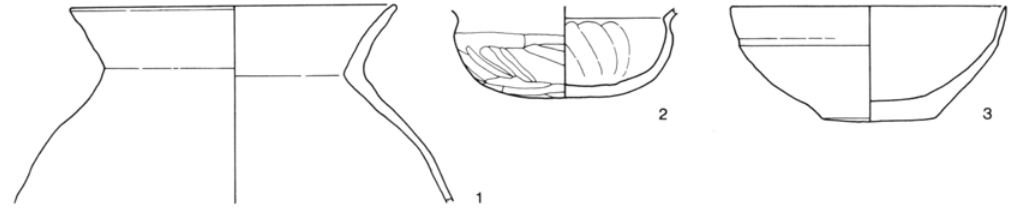
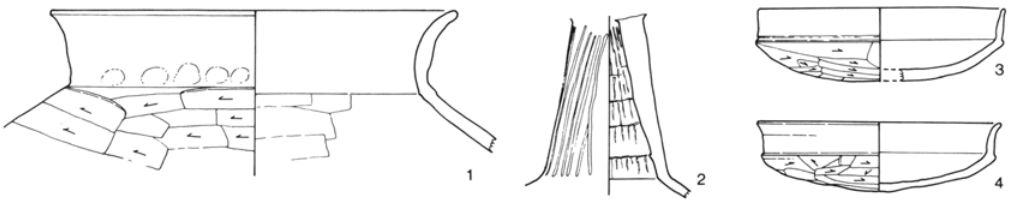
第24图 第19A号住居址(左上)、第19B号住居址出土土器实测图



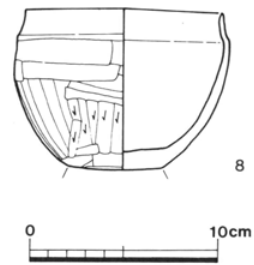
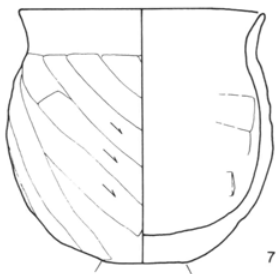
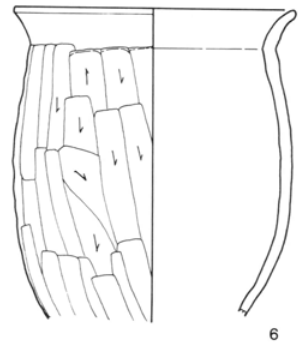
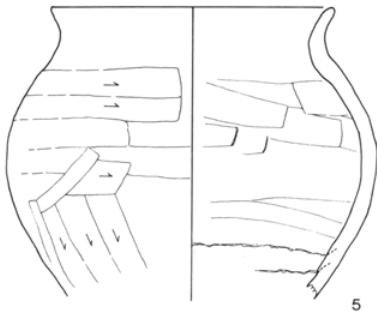
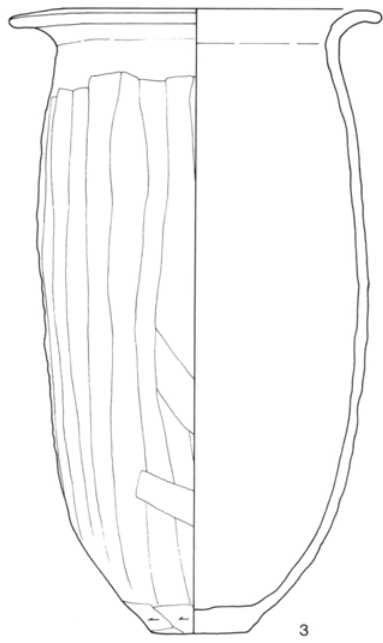
第25図 第20号住居址出土土器実測図



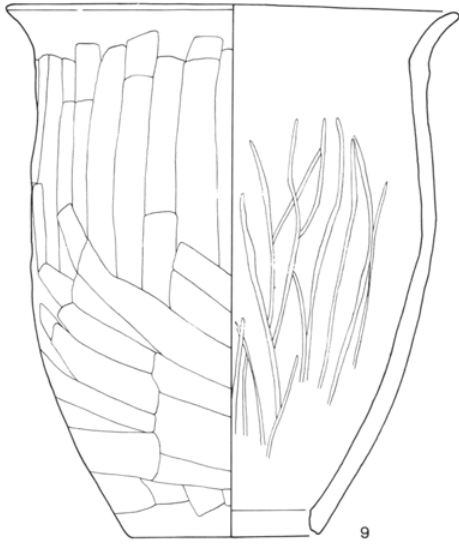
第26图 第20号住居址出土土器实测图



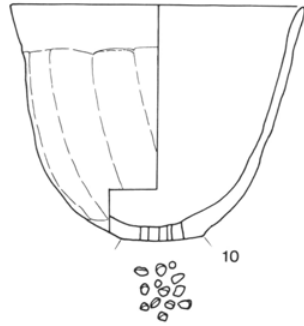
第27图 第21号住居址(上)、第22号住居址(中上)、第23号住居址(中下)、第24号住居址(下)  
出土土器实测图



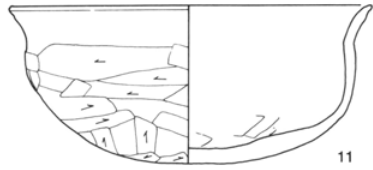
第28図 第24号住居址出土土器実測図



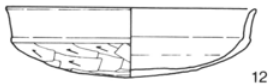
9



10



11



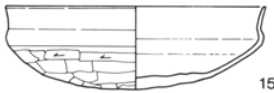
12



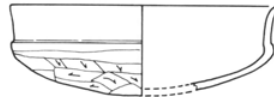
13



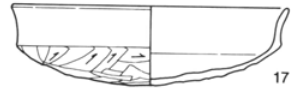
14



15



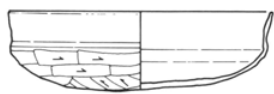
16



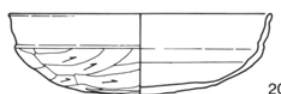
17



18



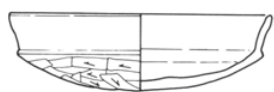
19



20



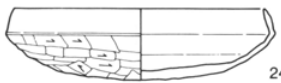
21



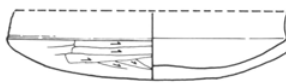
22



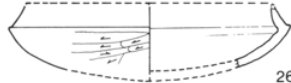
23



24

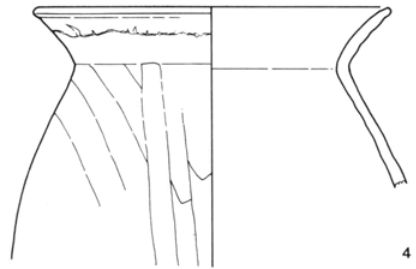
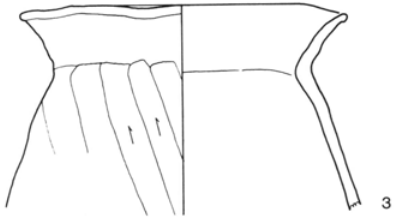
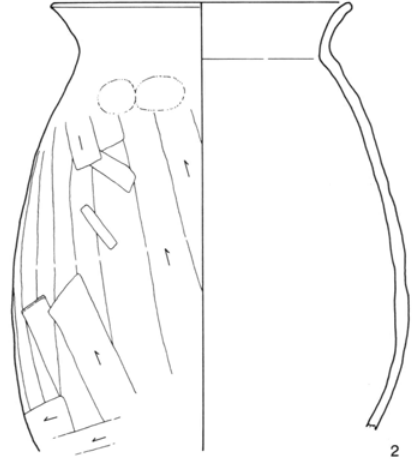
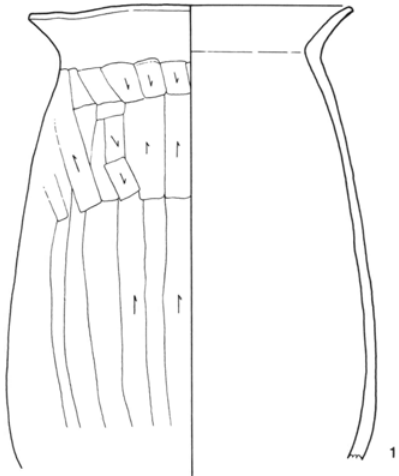
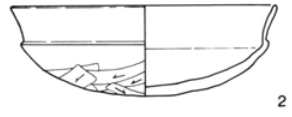
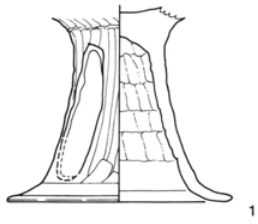


25

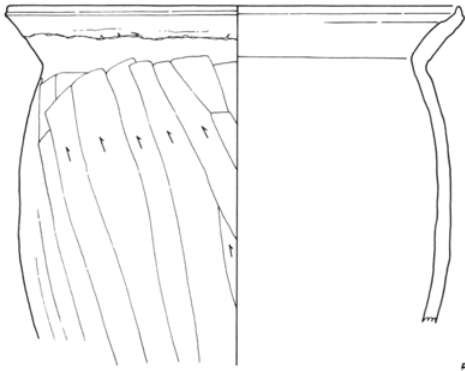


26

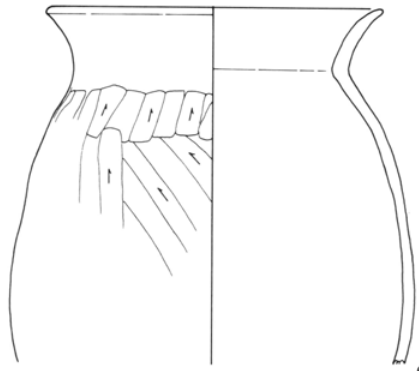
第29图 第24号住居址出土土器实测图



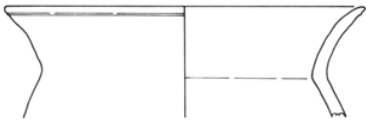
第30图 第25号住居址(上)、第26号住居址(下)出土土器实测图



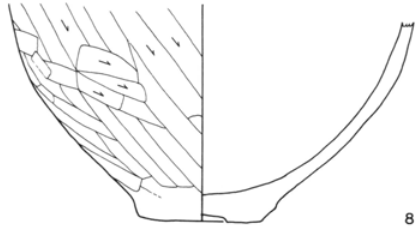
5



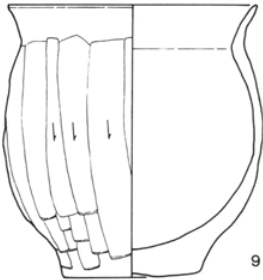
6



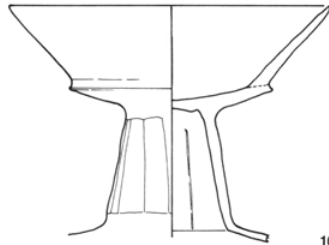
7



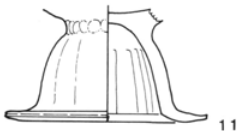
8



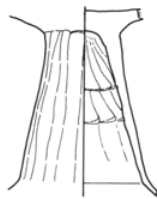
9



10



11



12

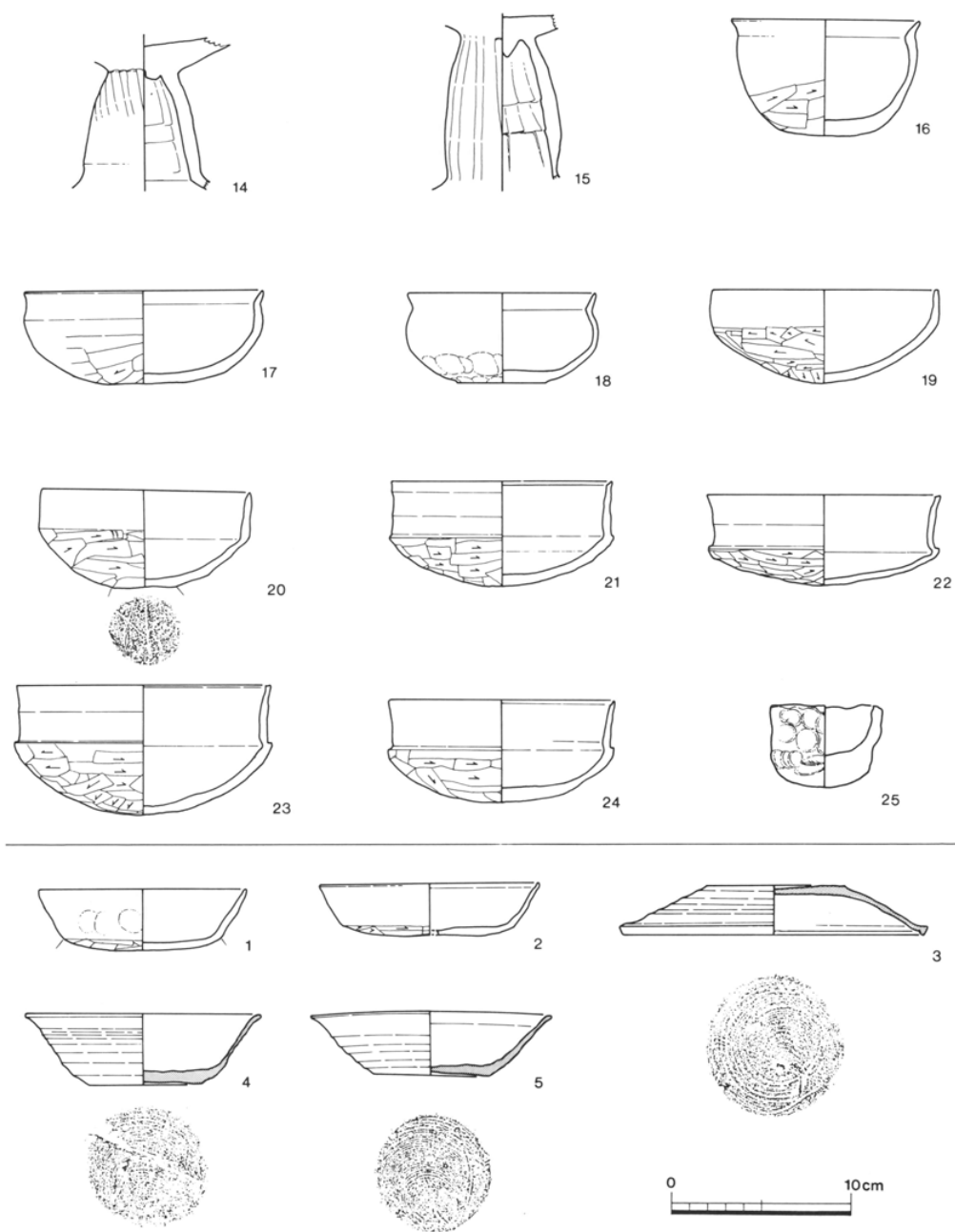


13

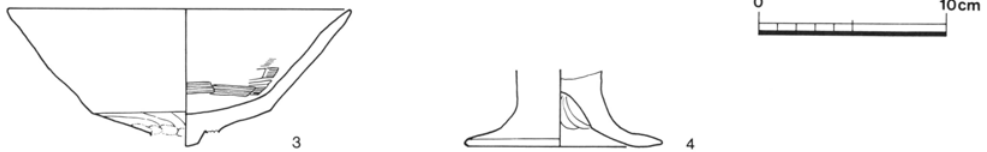
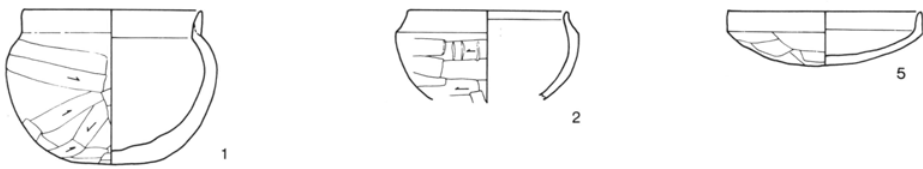
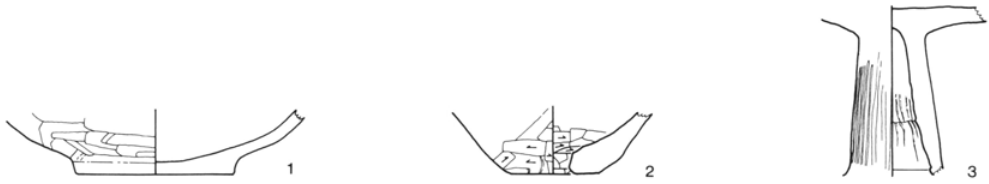
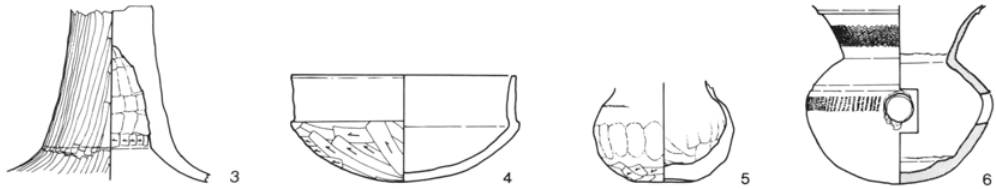
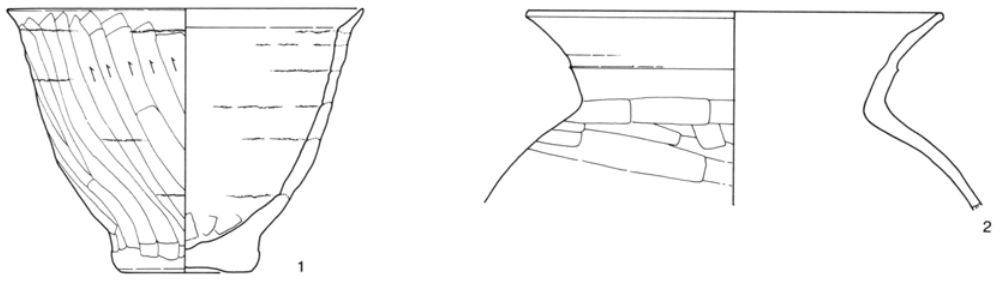


第31图 第26号住居址出土土器实测图

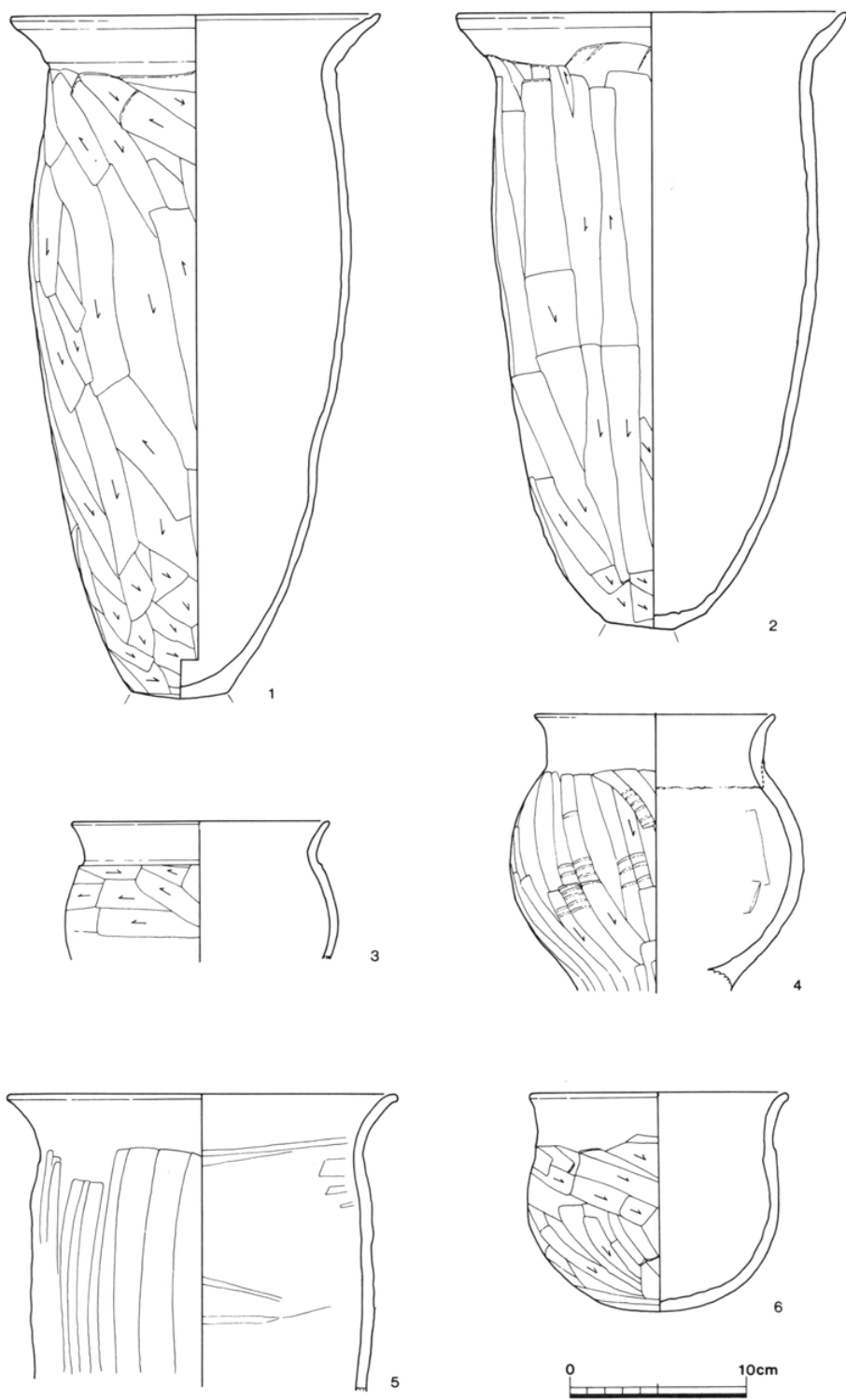




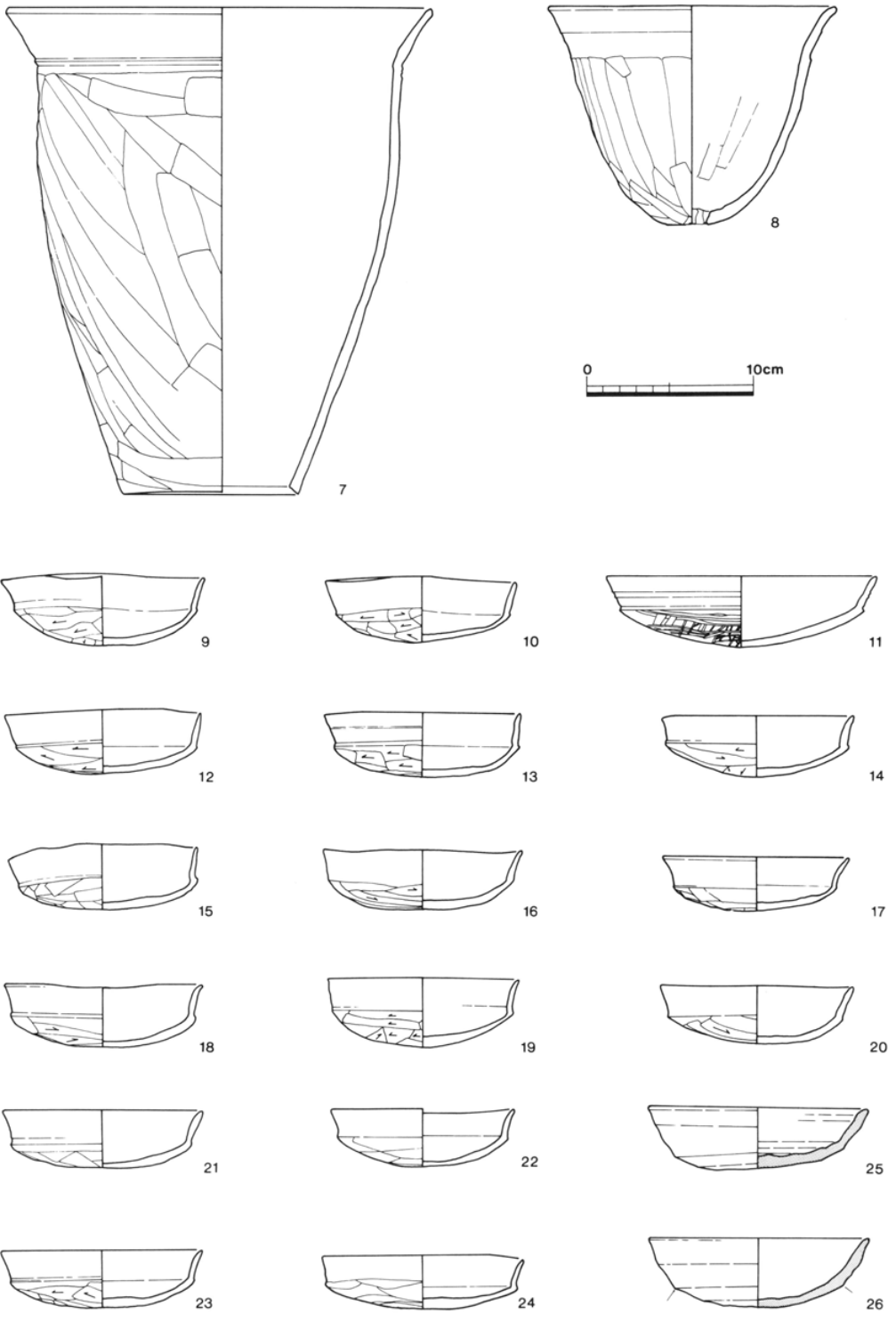
第32图 第26号住居址(上)、第27号住居址(下)出土土器实测图



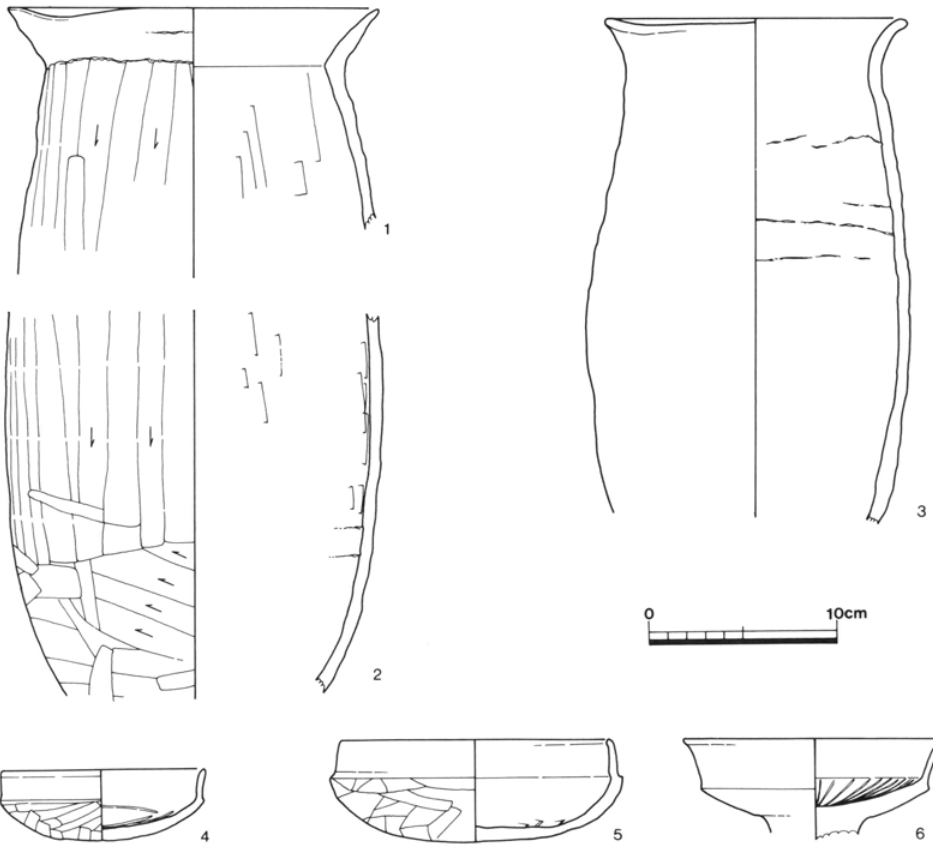
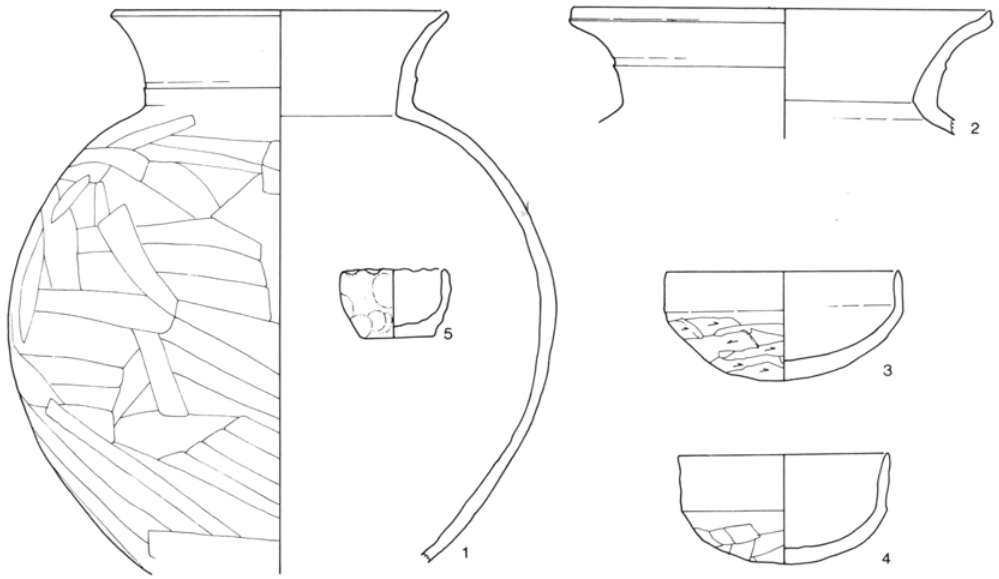
第33图 第28号住居址(上)、第32号住居址(中)、第34号住居址(下)出土土器实测图



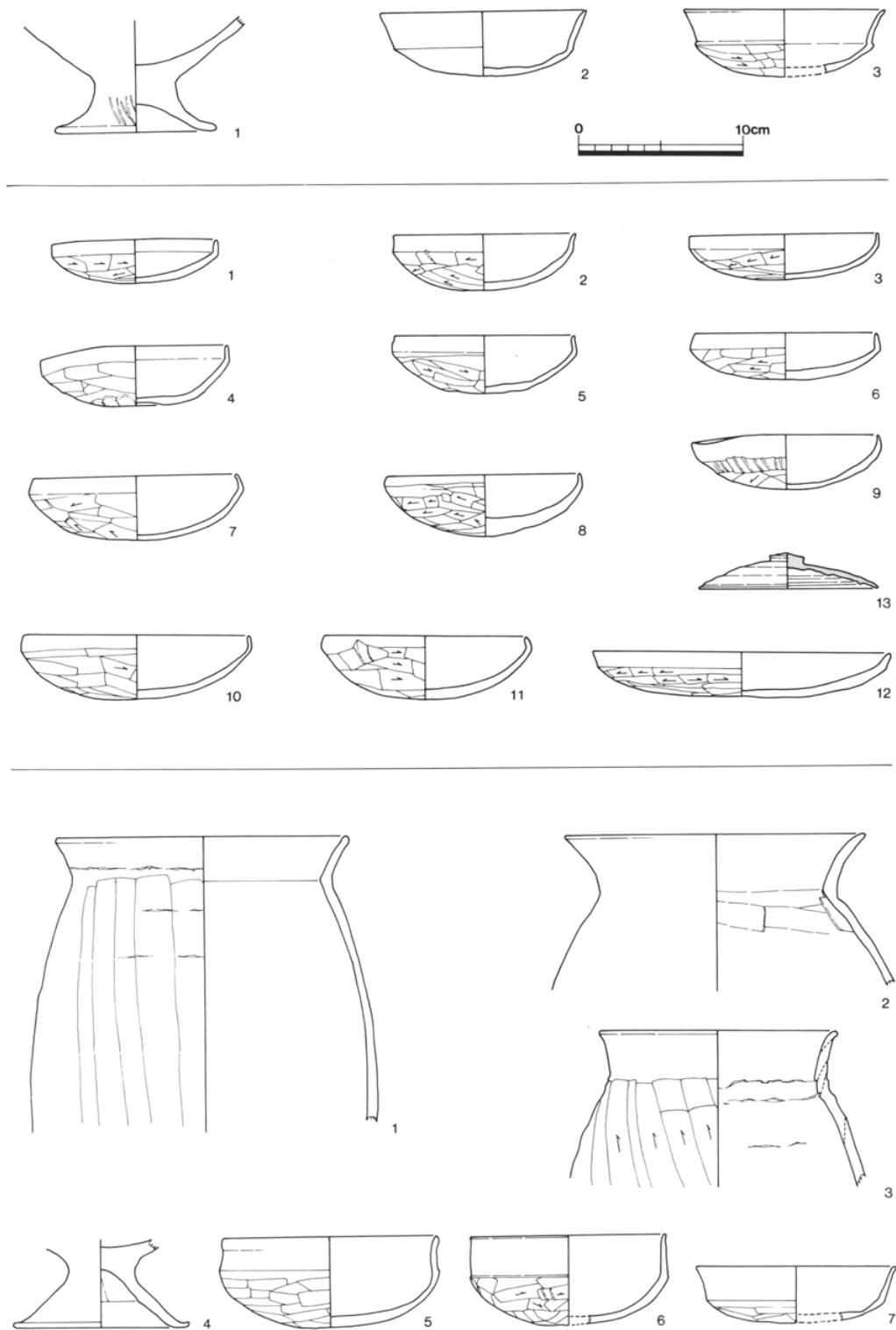
第34图 第36A号住居址出土土器实测图



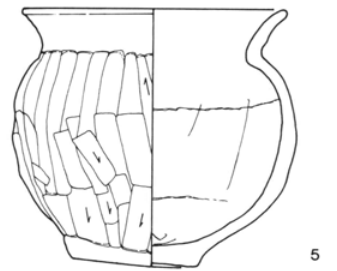
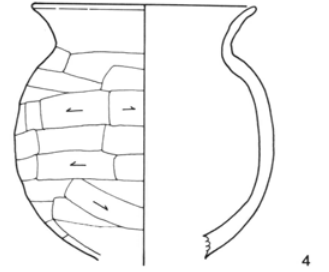
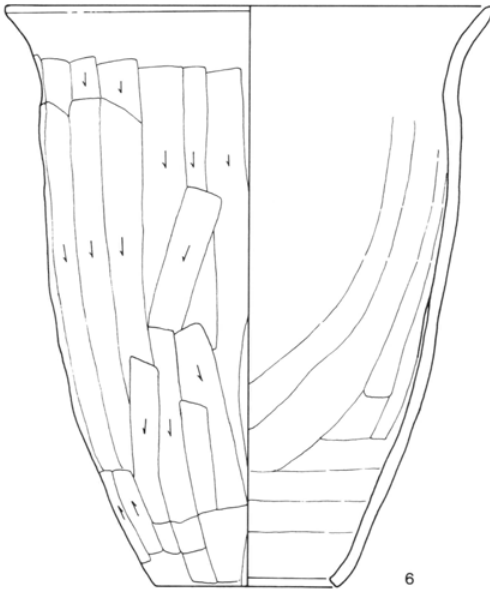
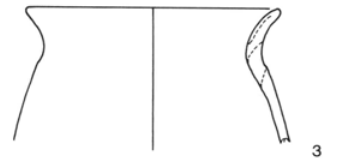
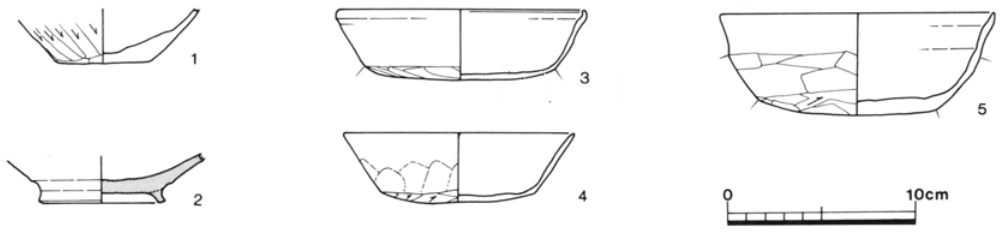
第35图 第36A号住居址出土土器实测图



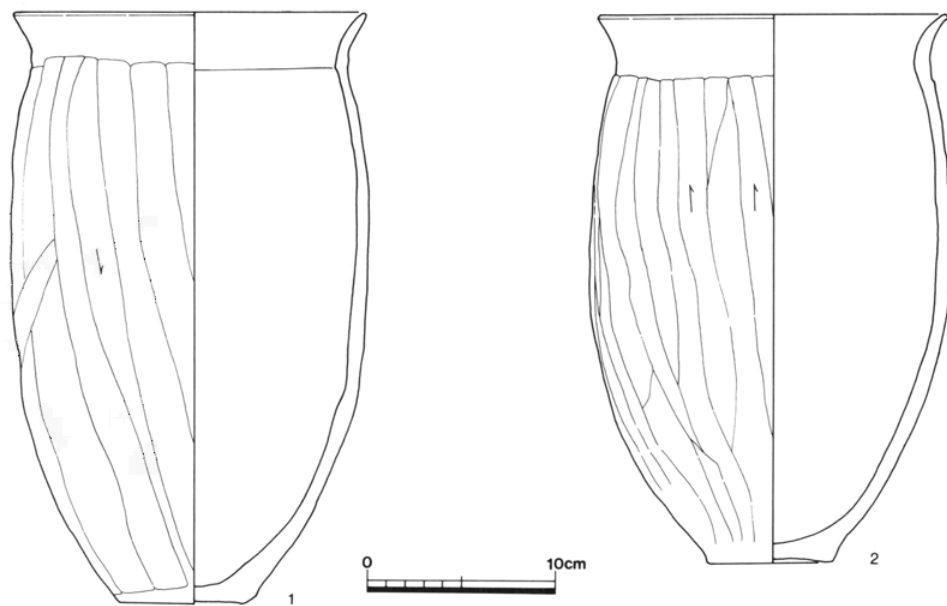
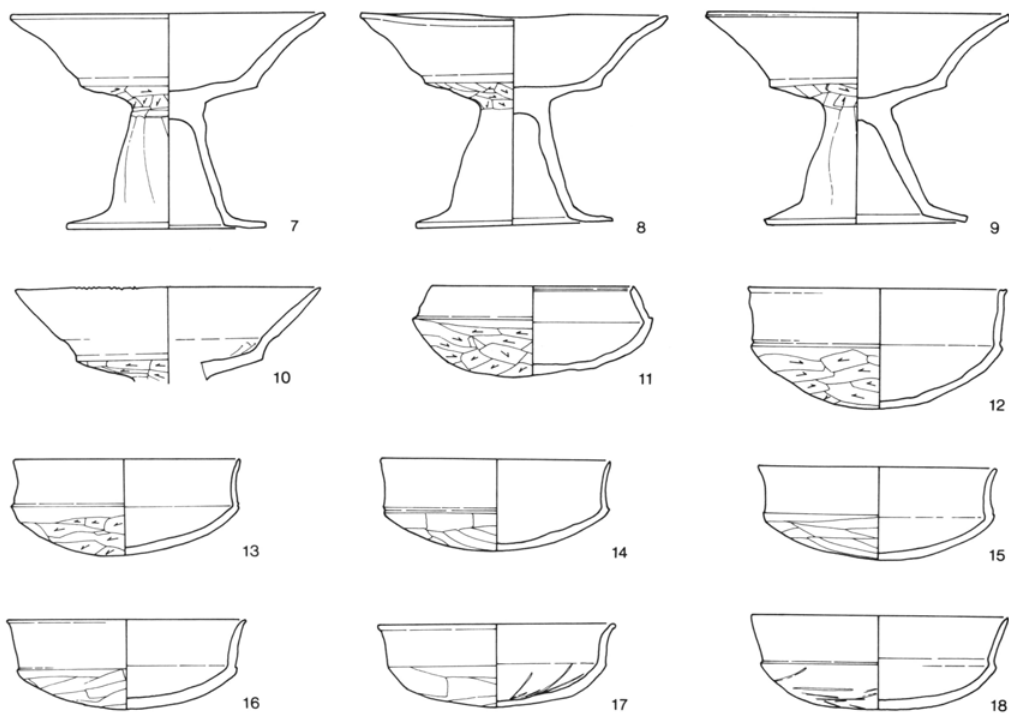
第36图 第36C号住居址(上)、第37号住居址(下)出土土器実测图



第37图 第38号住居址(上)、第39号住居址(中)、第40号住居址(下)出土土器实测图

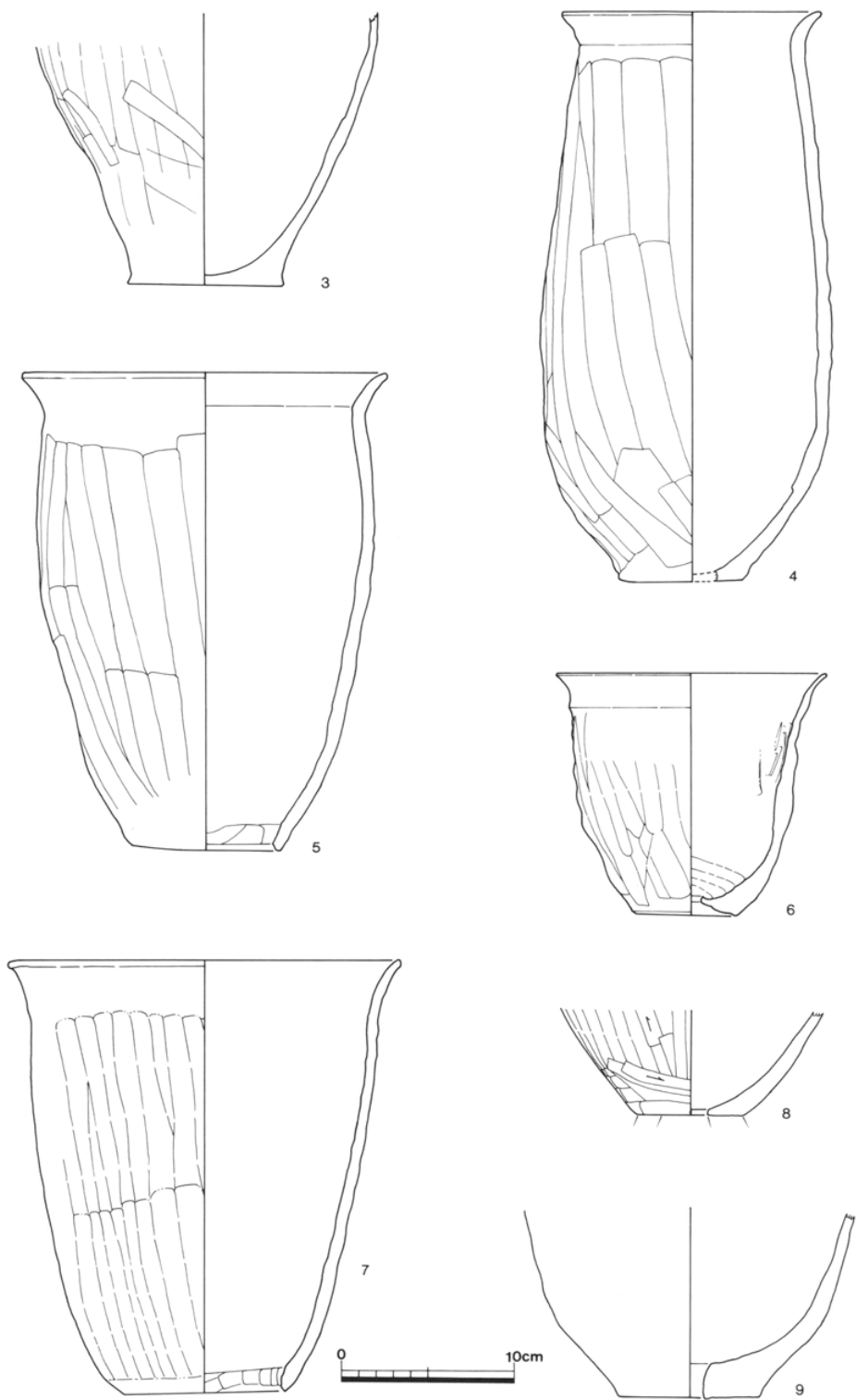


第38图 第41号住居址(上)、第42号住居址(下)出土土器実测图

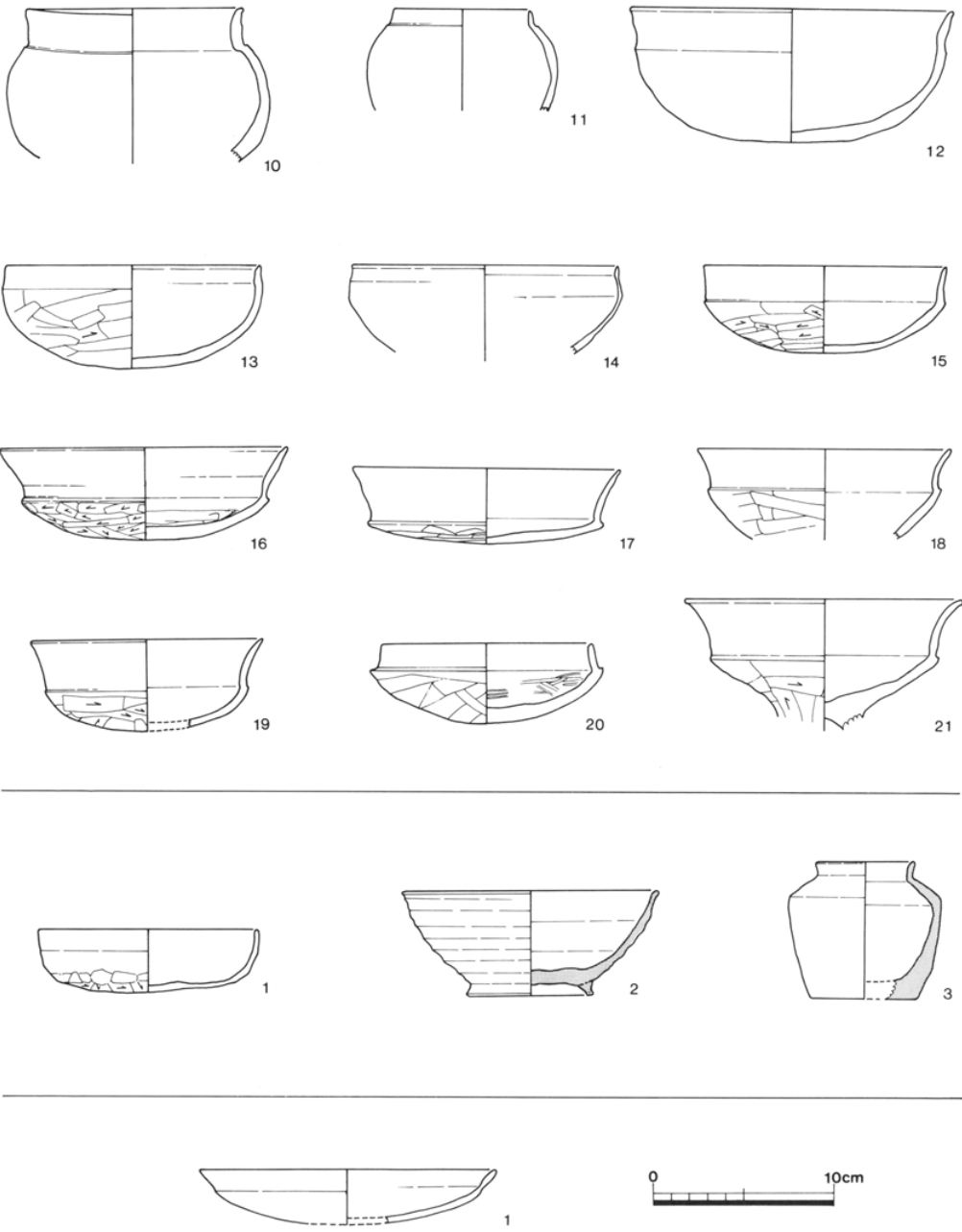


第39图 第42号住居址(上)、第43A号住居址(下)出土土器实测图

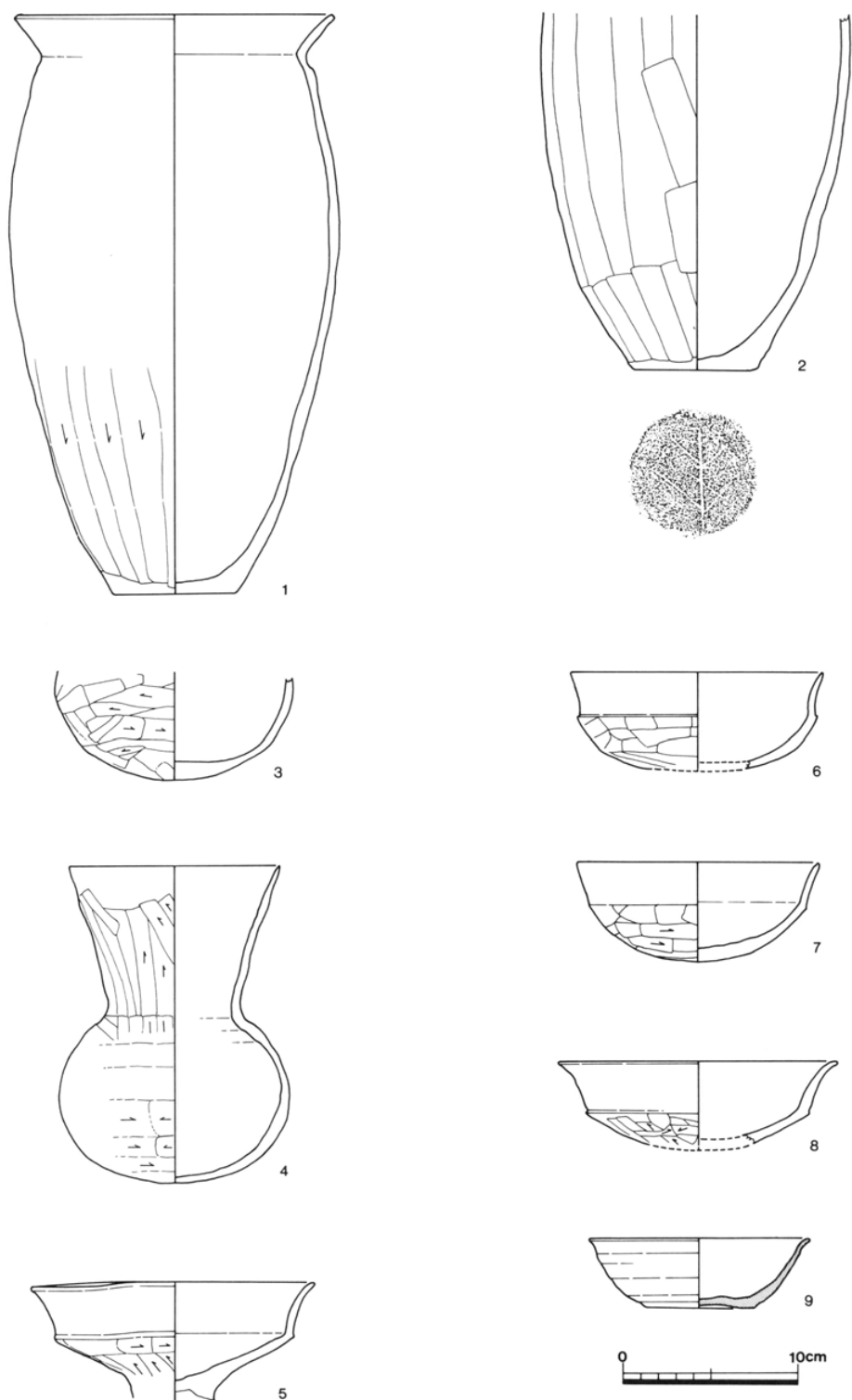




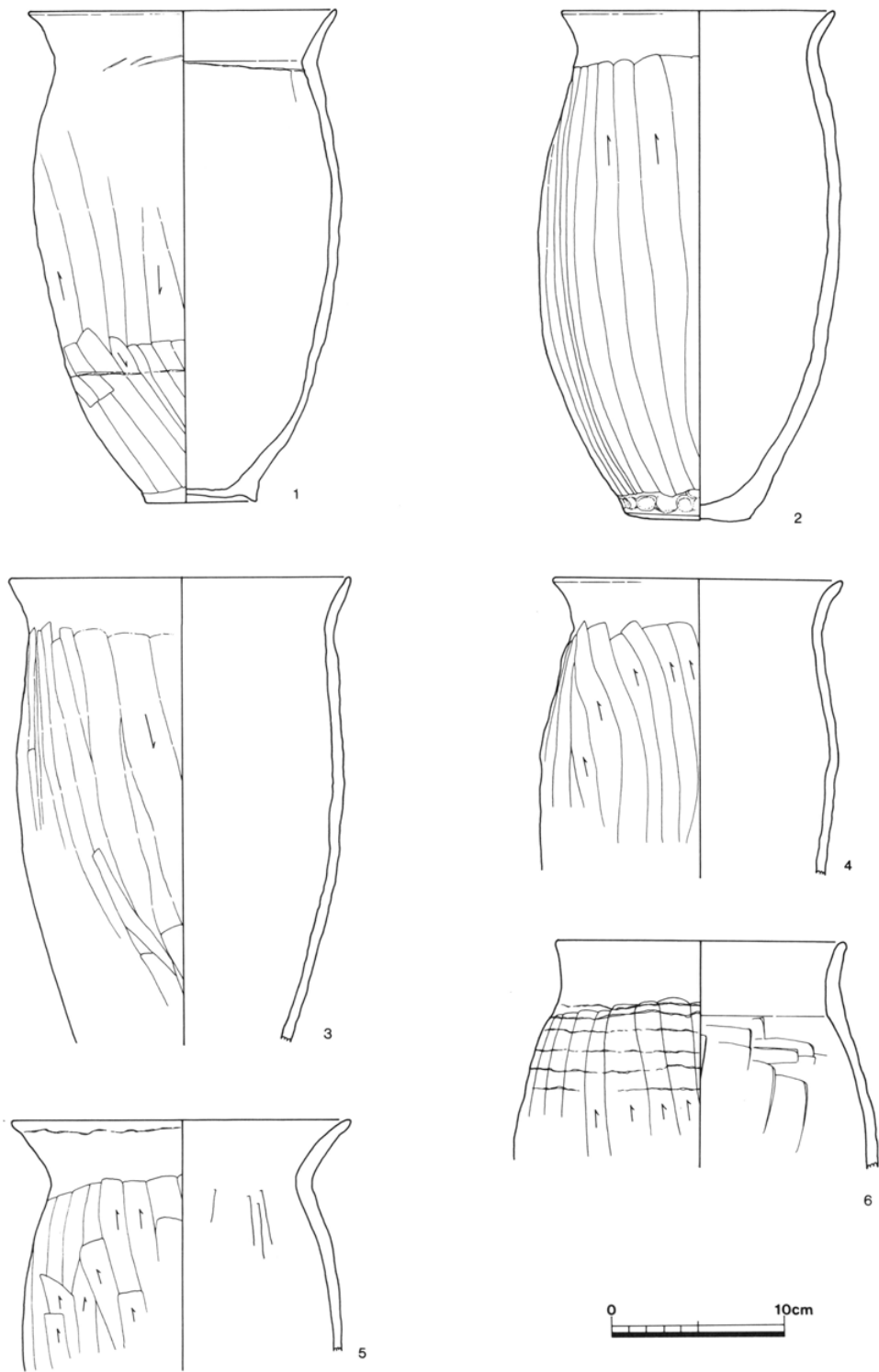
第40图 第43A号住居址出土土器实测图



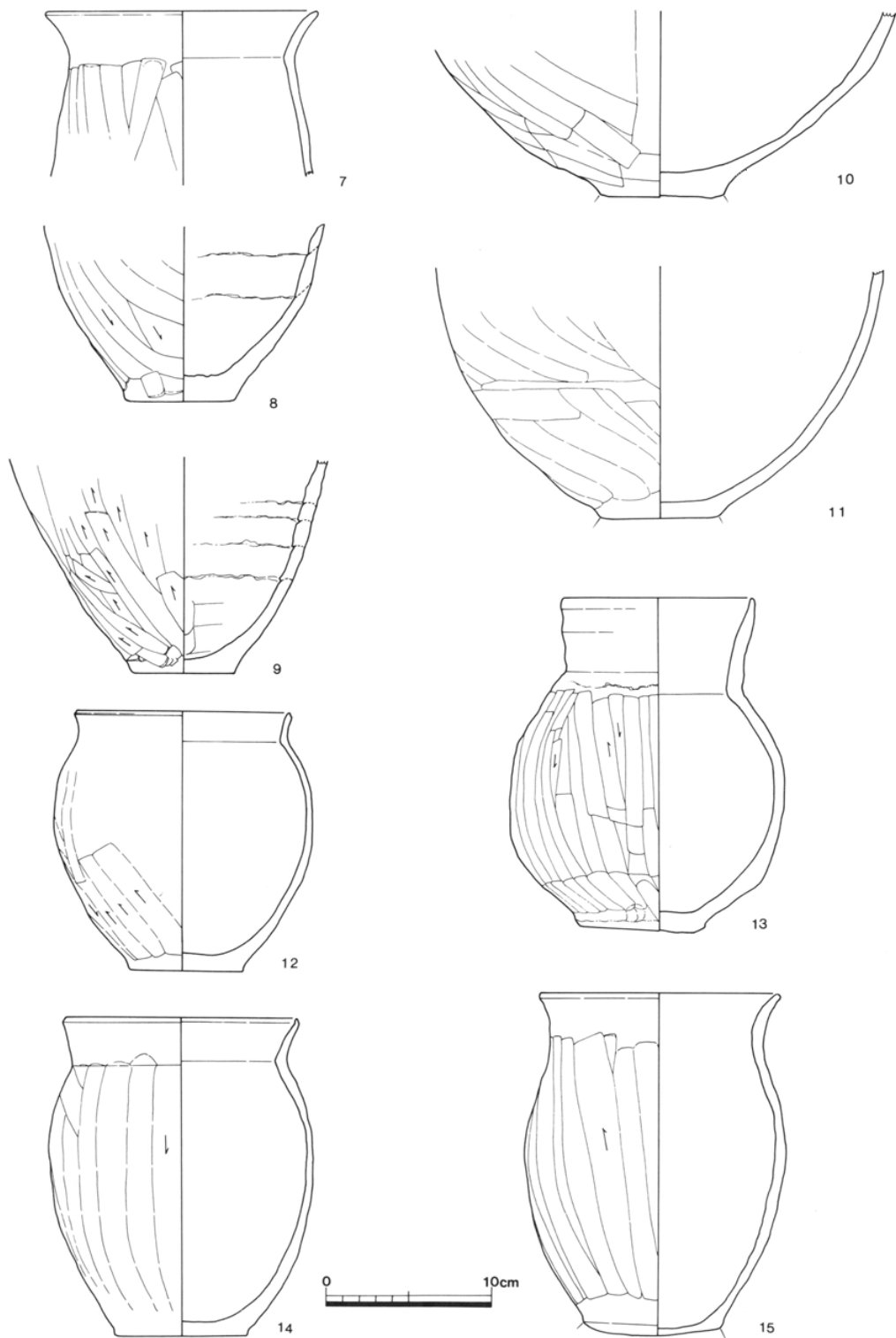
第41图 第43A号住居址(上)、第43B号住居址(中)、第44号住居址(下)出土土器实测图



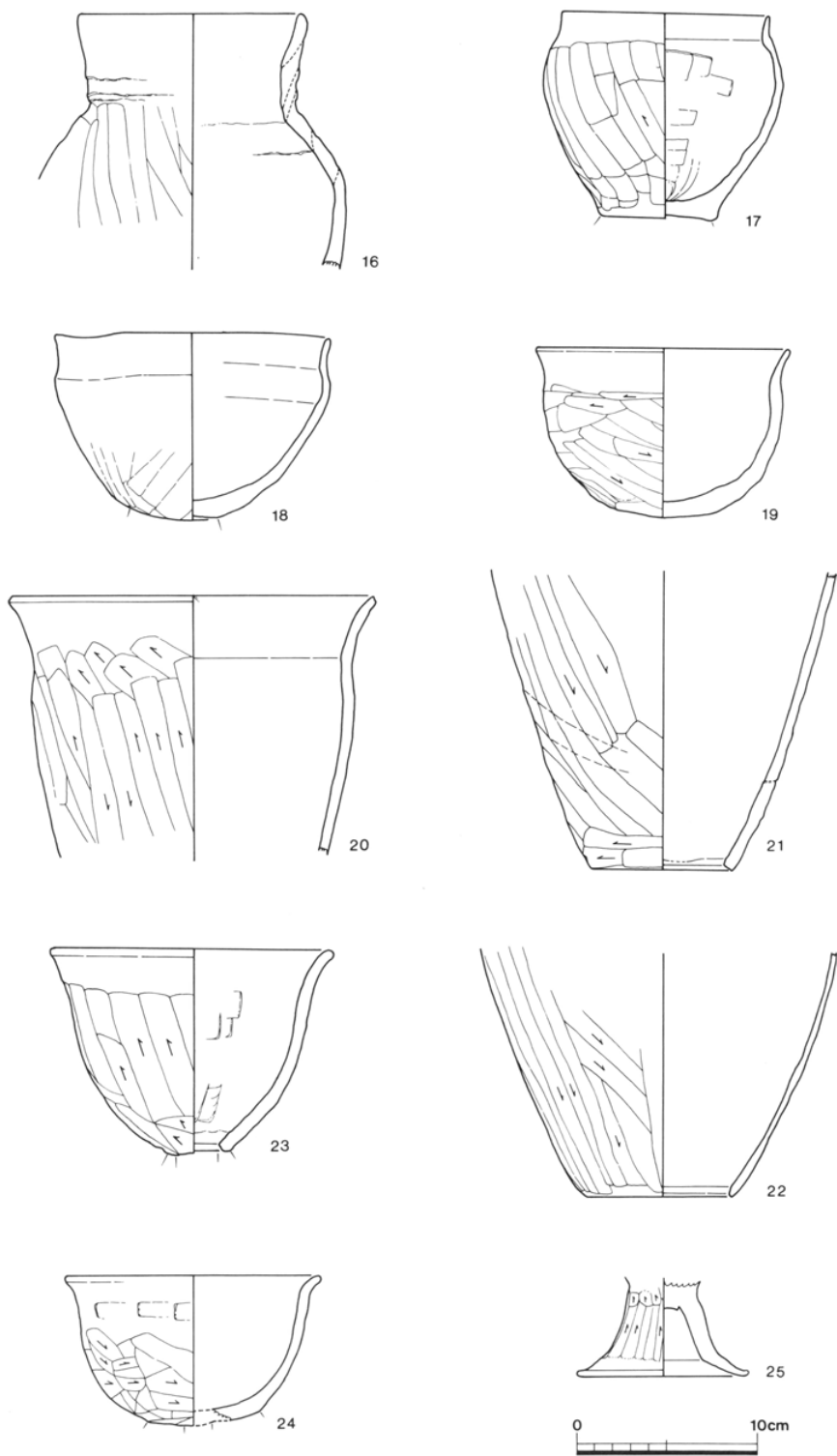
第42图 第45号住居址出土土器实测图



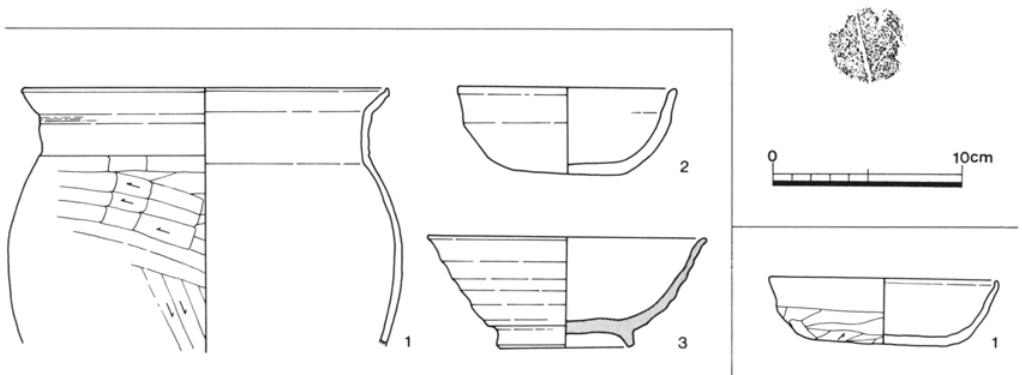
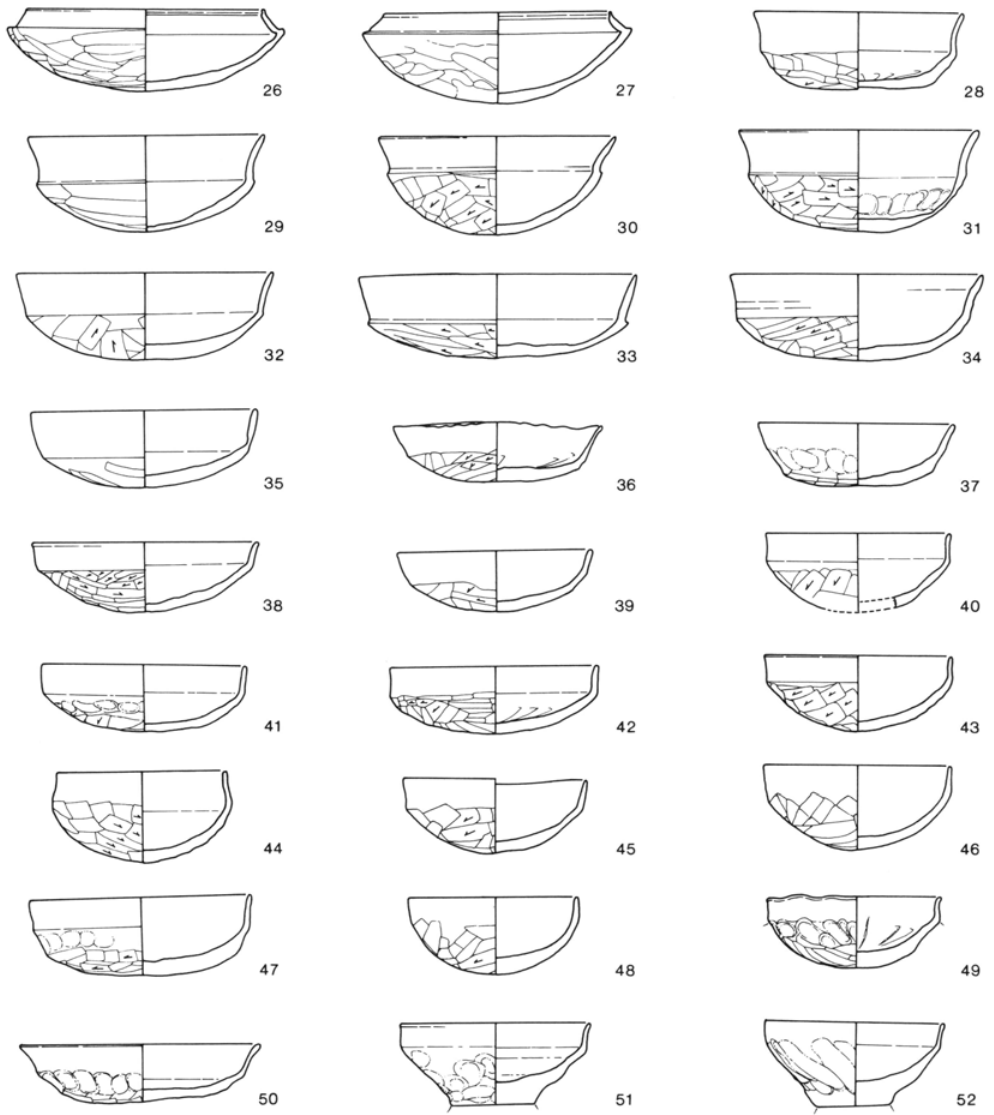
第43图 第48号住居址出土土器实测图



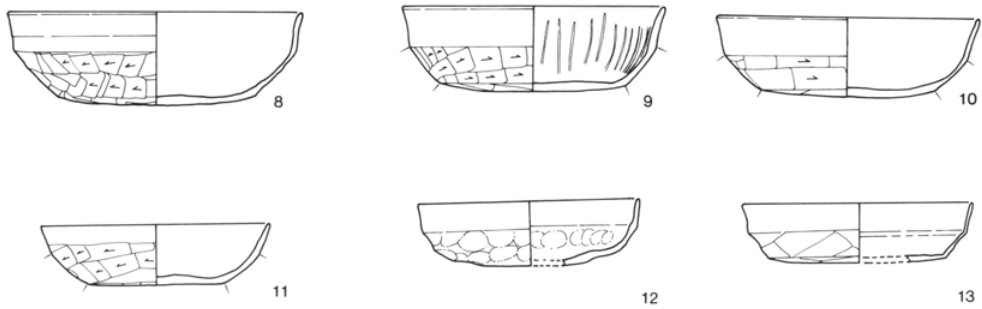
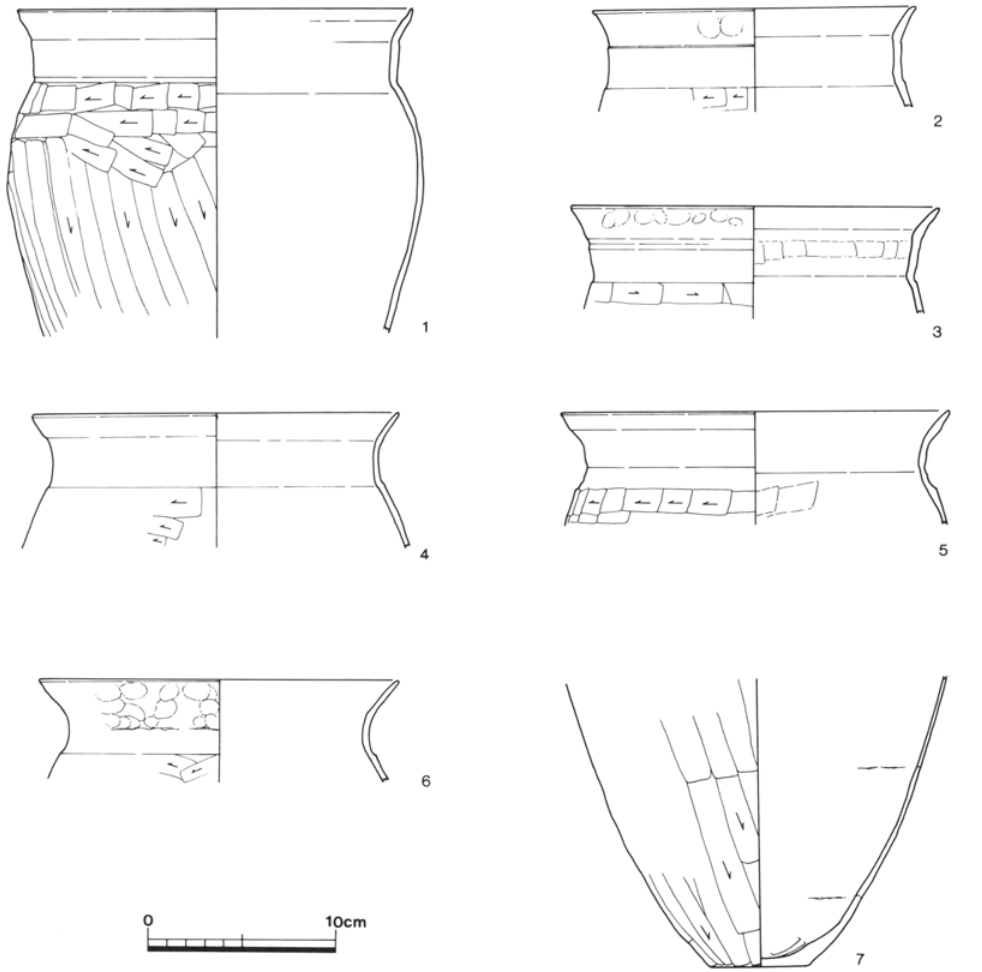
第44图 第48号住居址出土土器实测图



第45图 第48号住居址出土土器实测图



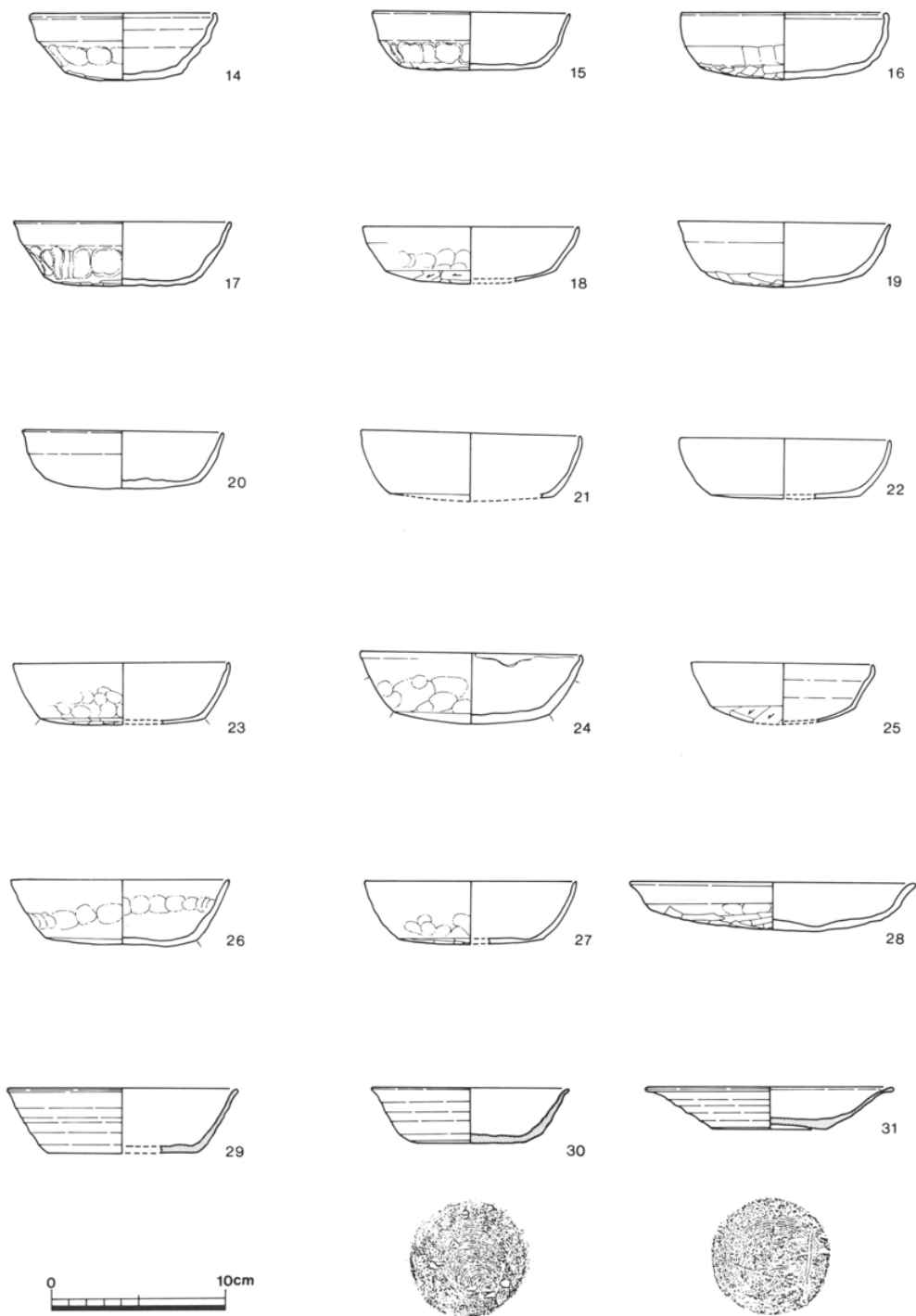
第46图 第48号住居址、第49号住居址(左下)、第50号住居址(右下)出土土器実测图



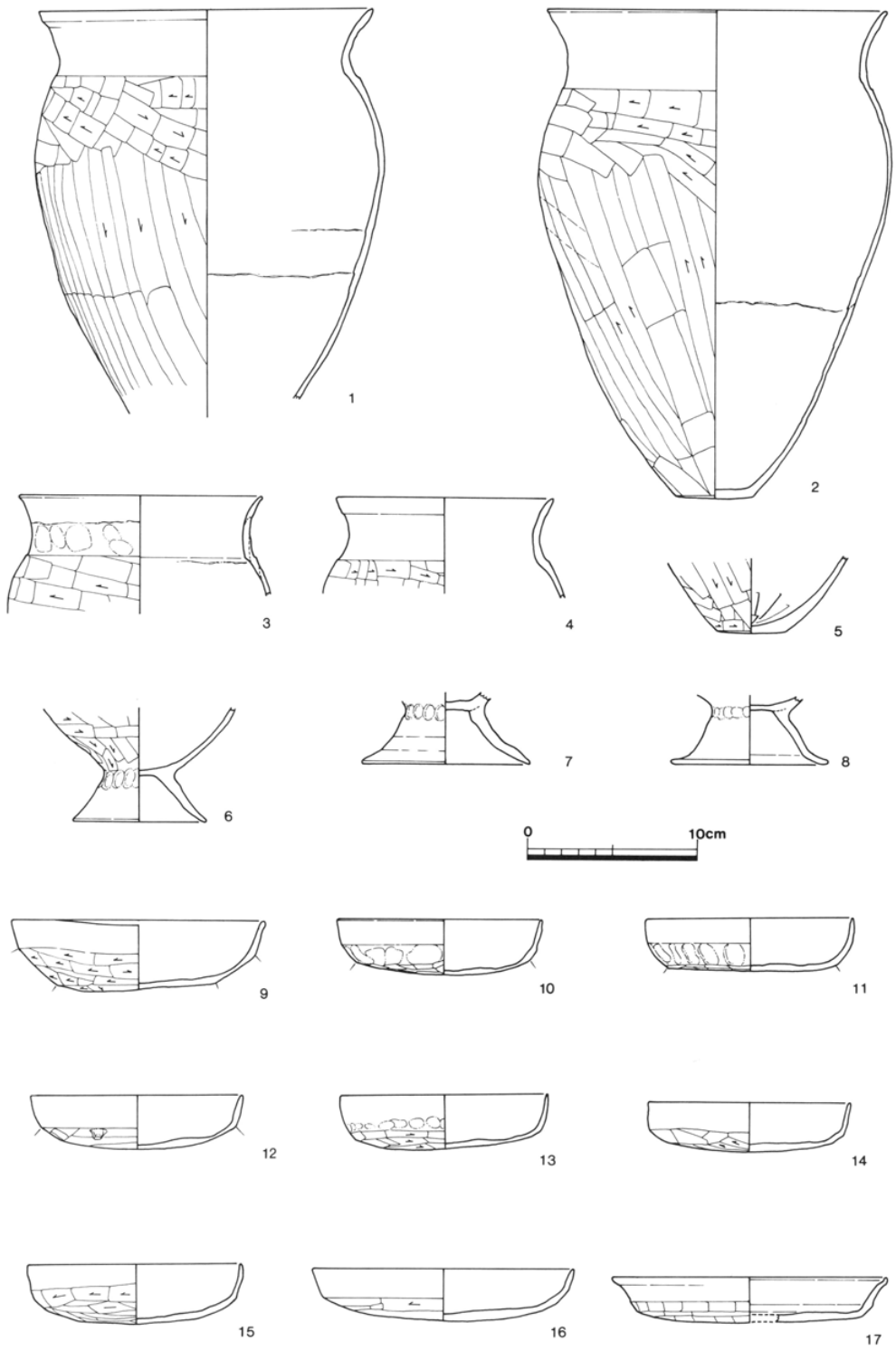
※鈎鍾車出土住居址

第47図 第51号住居址出土土器実測図

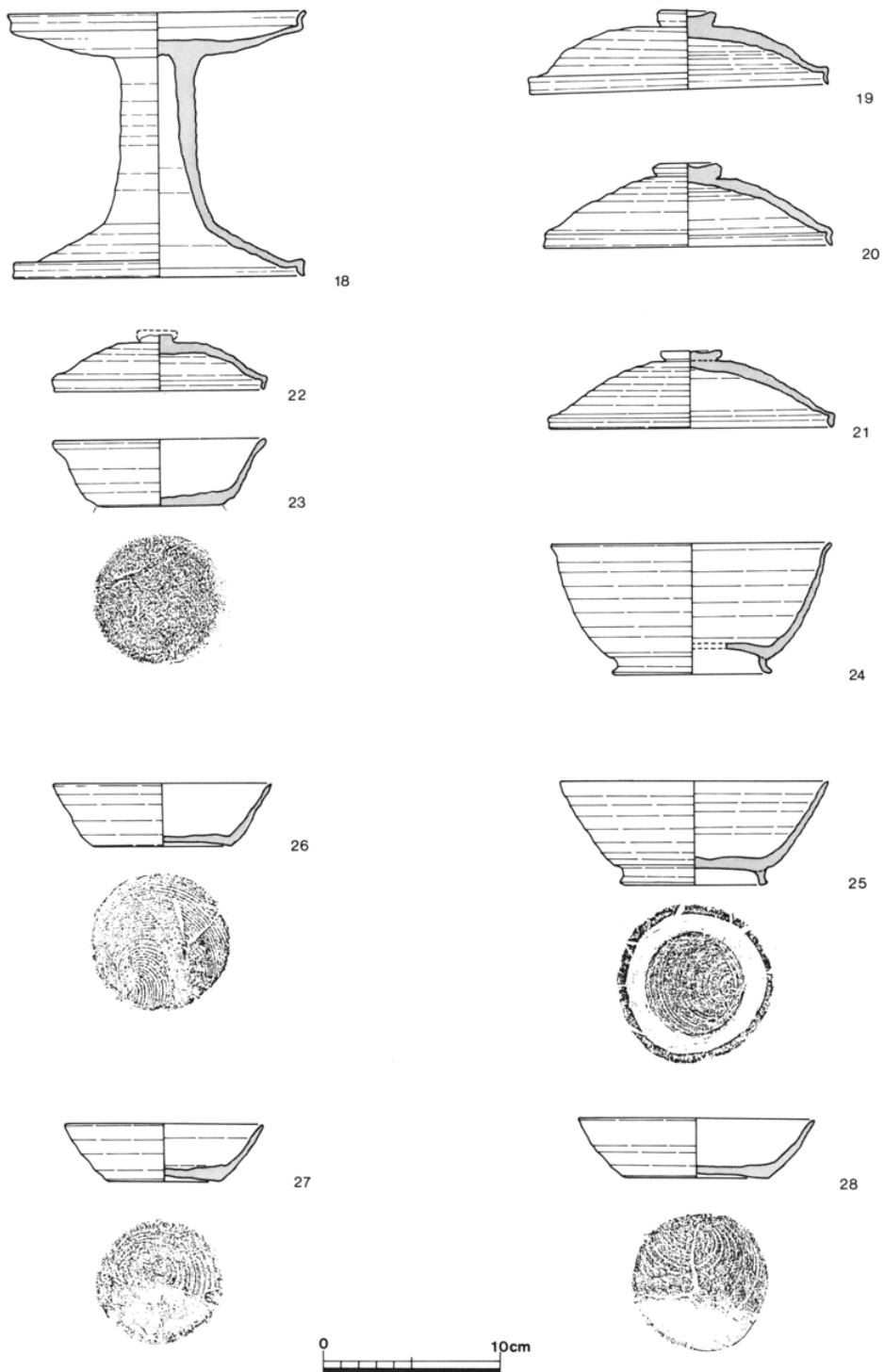




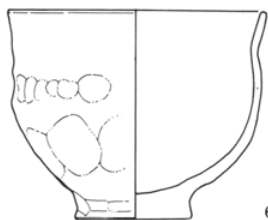
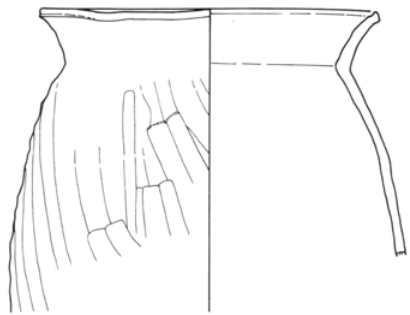
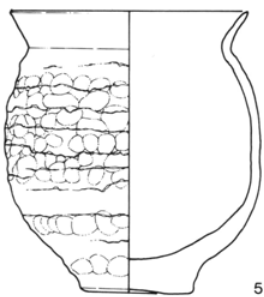
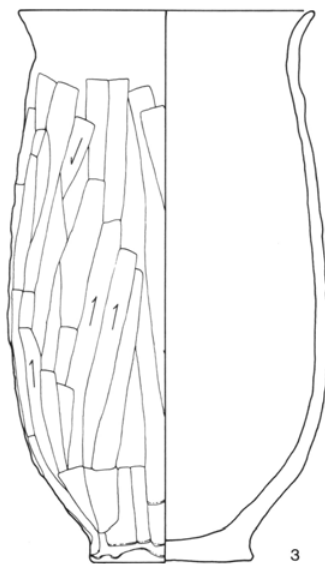
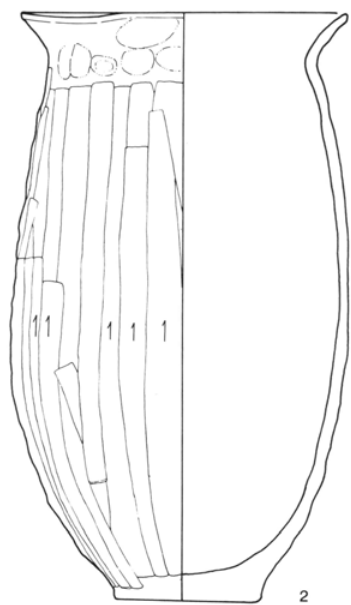
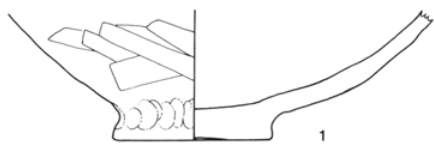
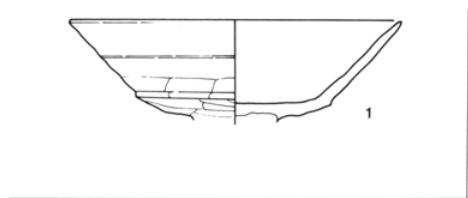
第48図 第51号住居址出土土器実測図



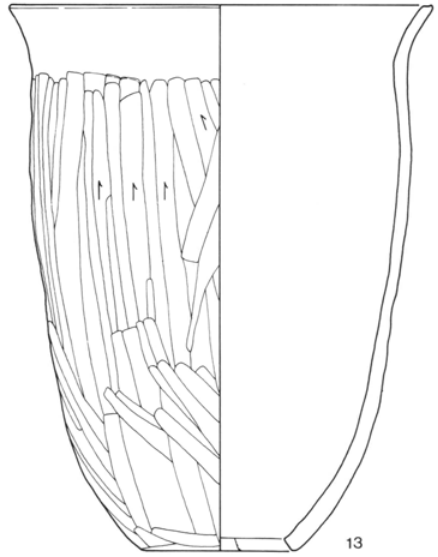
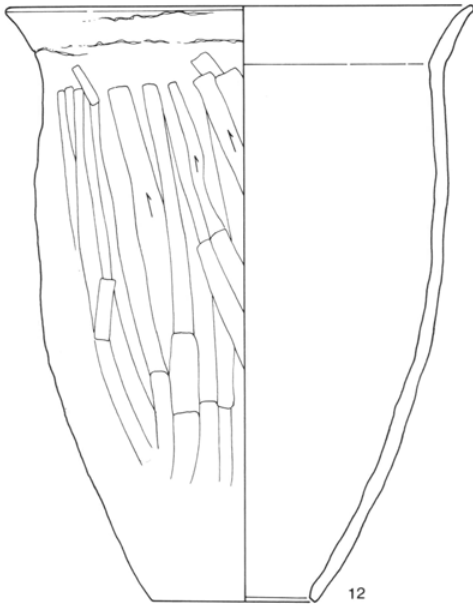
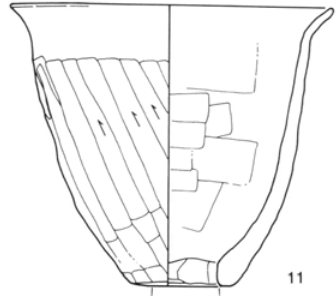
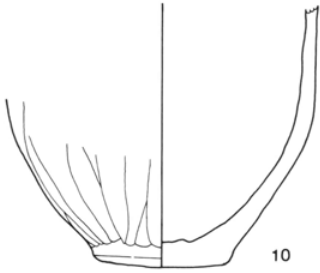
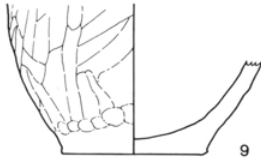
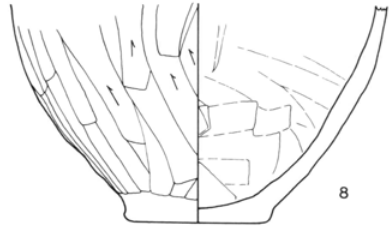
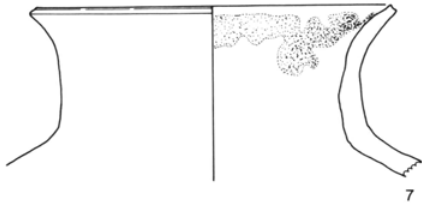
第49图 第53号住居出土土器実测图



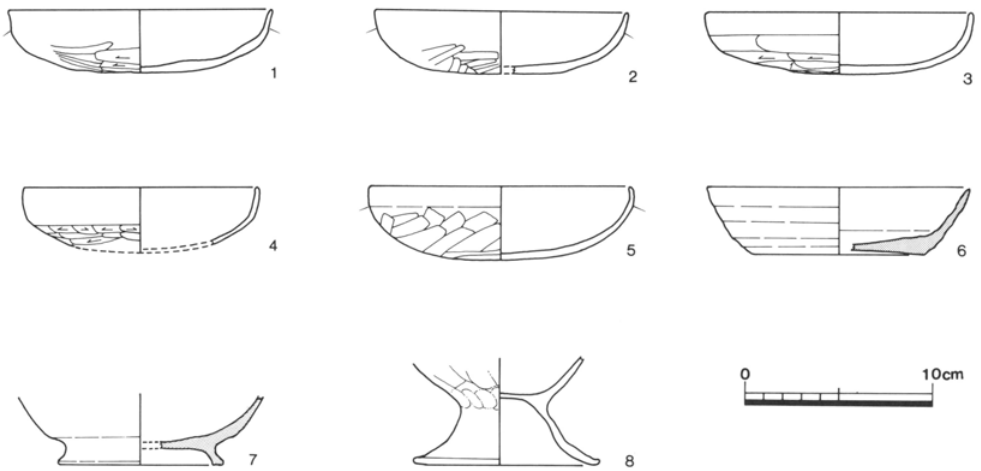
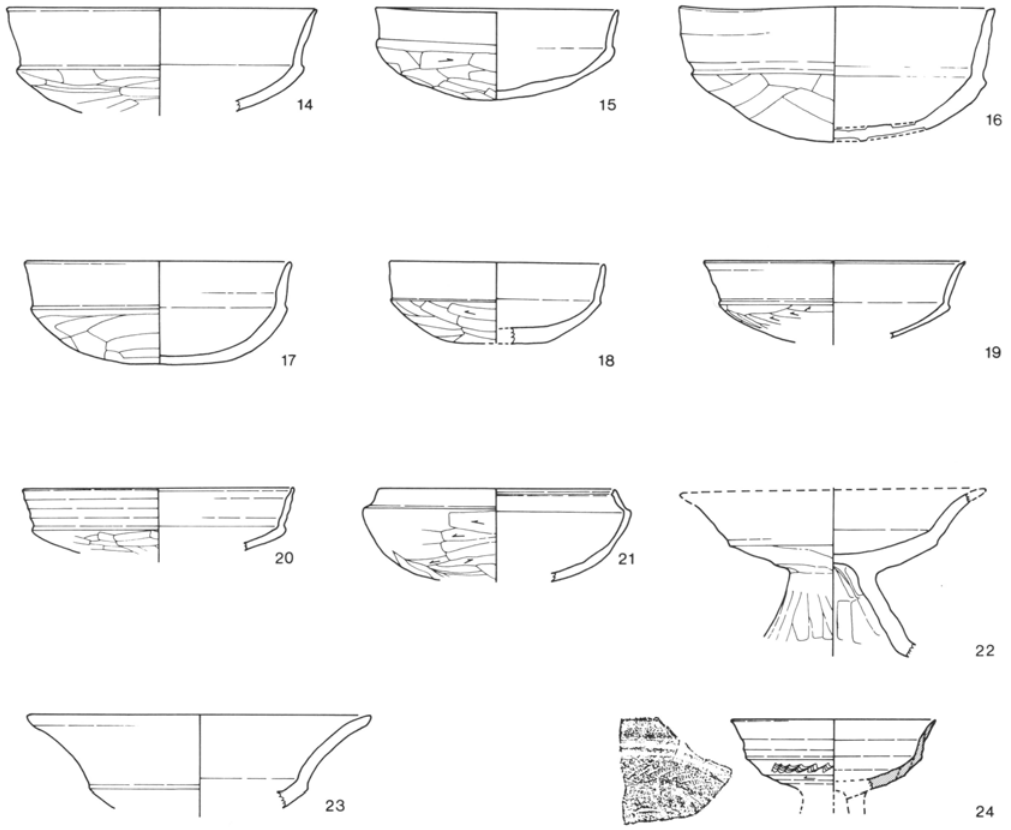
第50図 第53号住居出土土器実測図



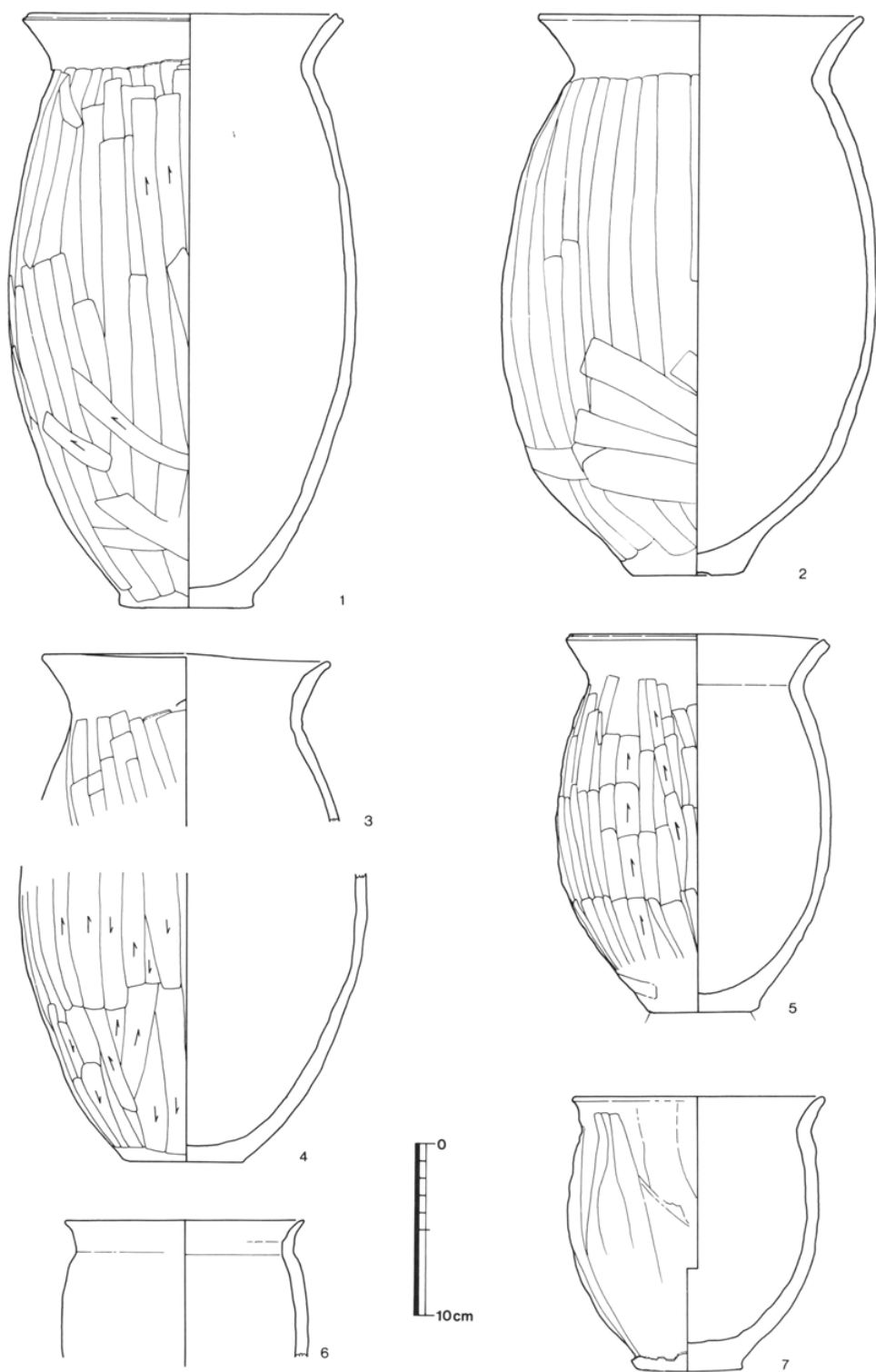
第51图 第58号住居址(左上)、第60A号住居址出土土器实测图



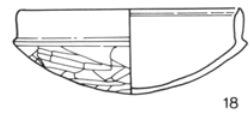
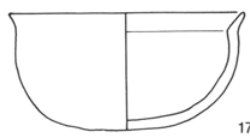
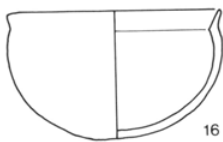
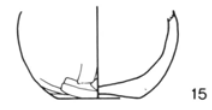
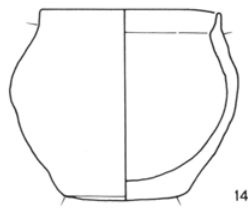
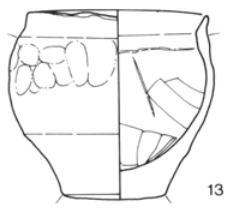
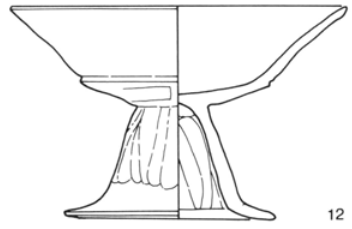
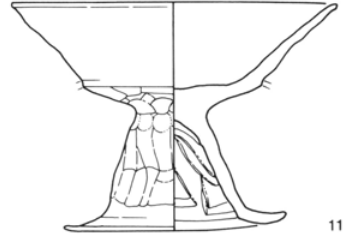
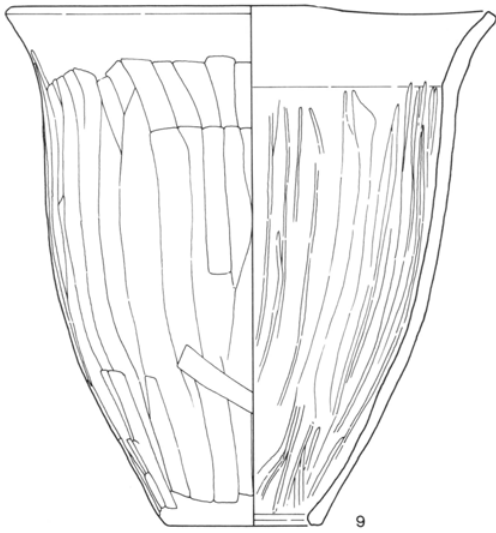
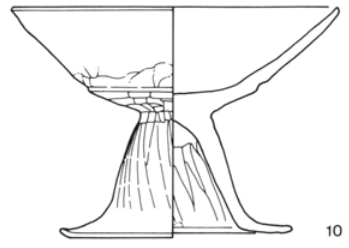
第52图 第60A号住居址出土土器实测图



第53图 第60A号住居址(上)、第60B号住居址(下)出土土器实测图

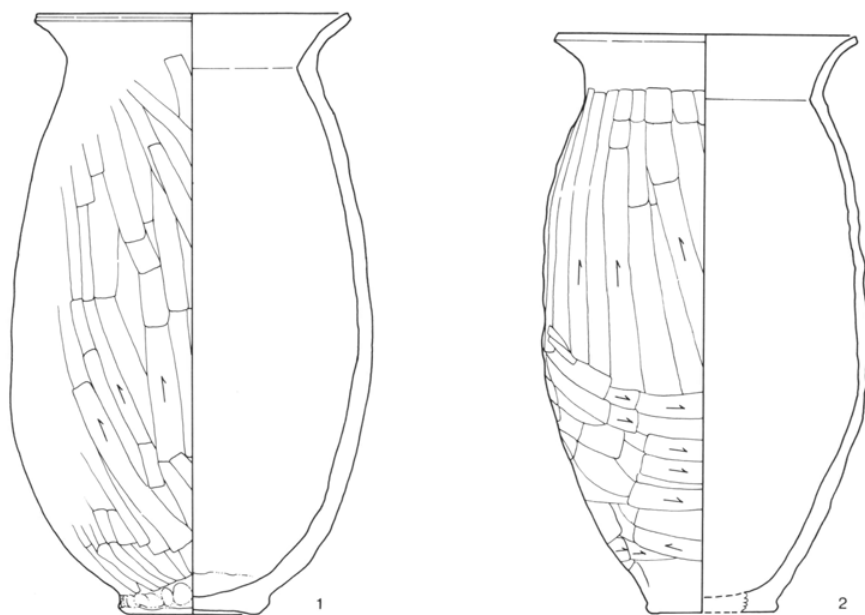
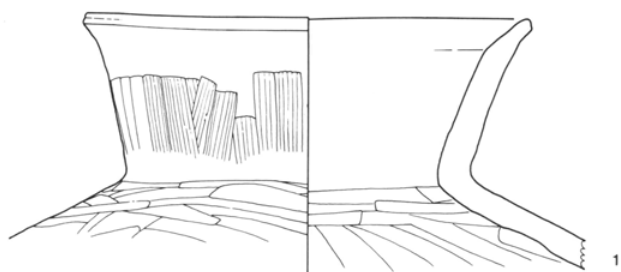
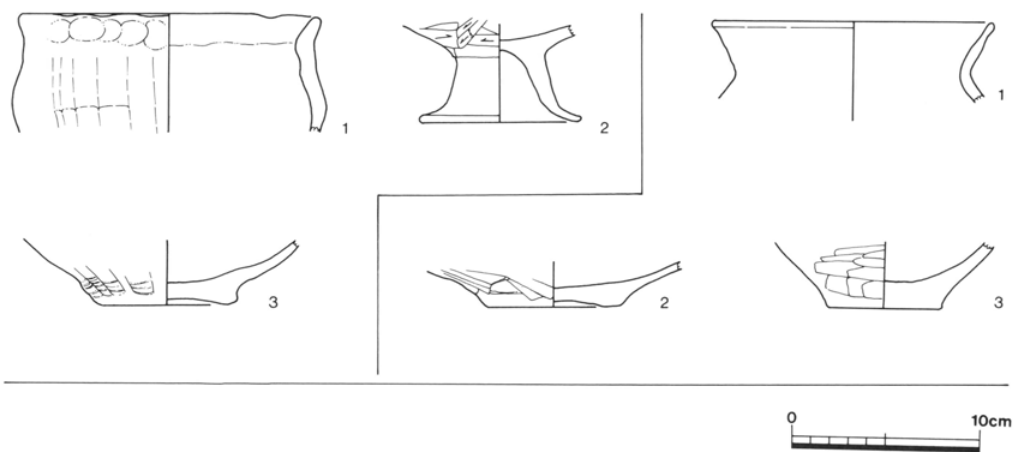


第54图 第61A号住居址出土土器实测图

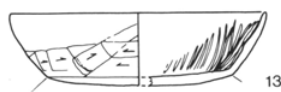
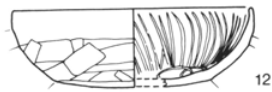
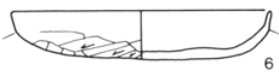
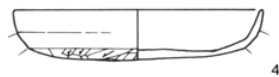
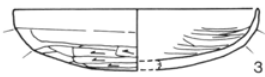
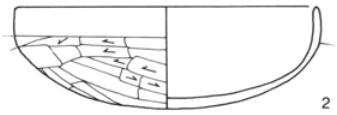
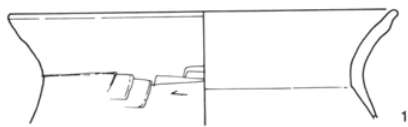
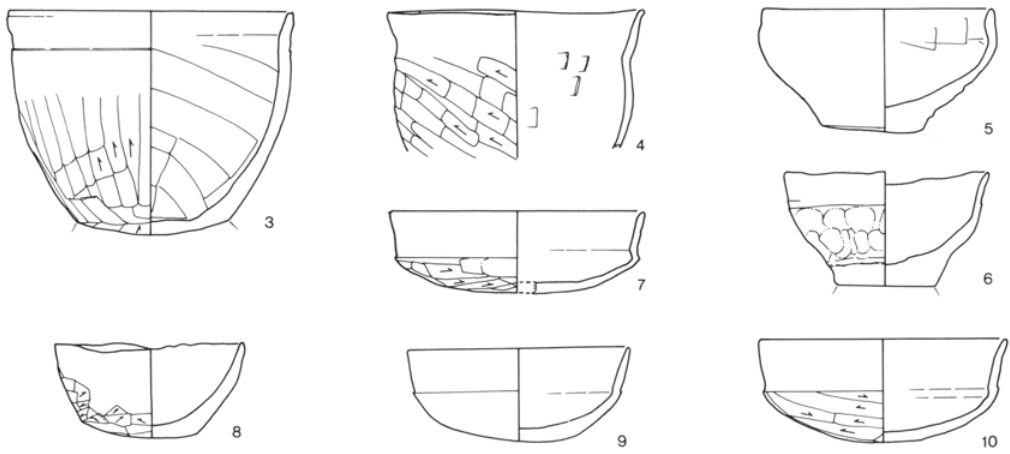


第55图 第61A号住居址出土土器実測図

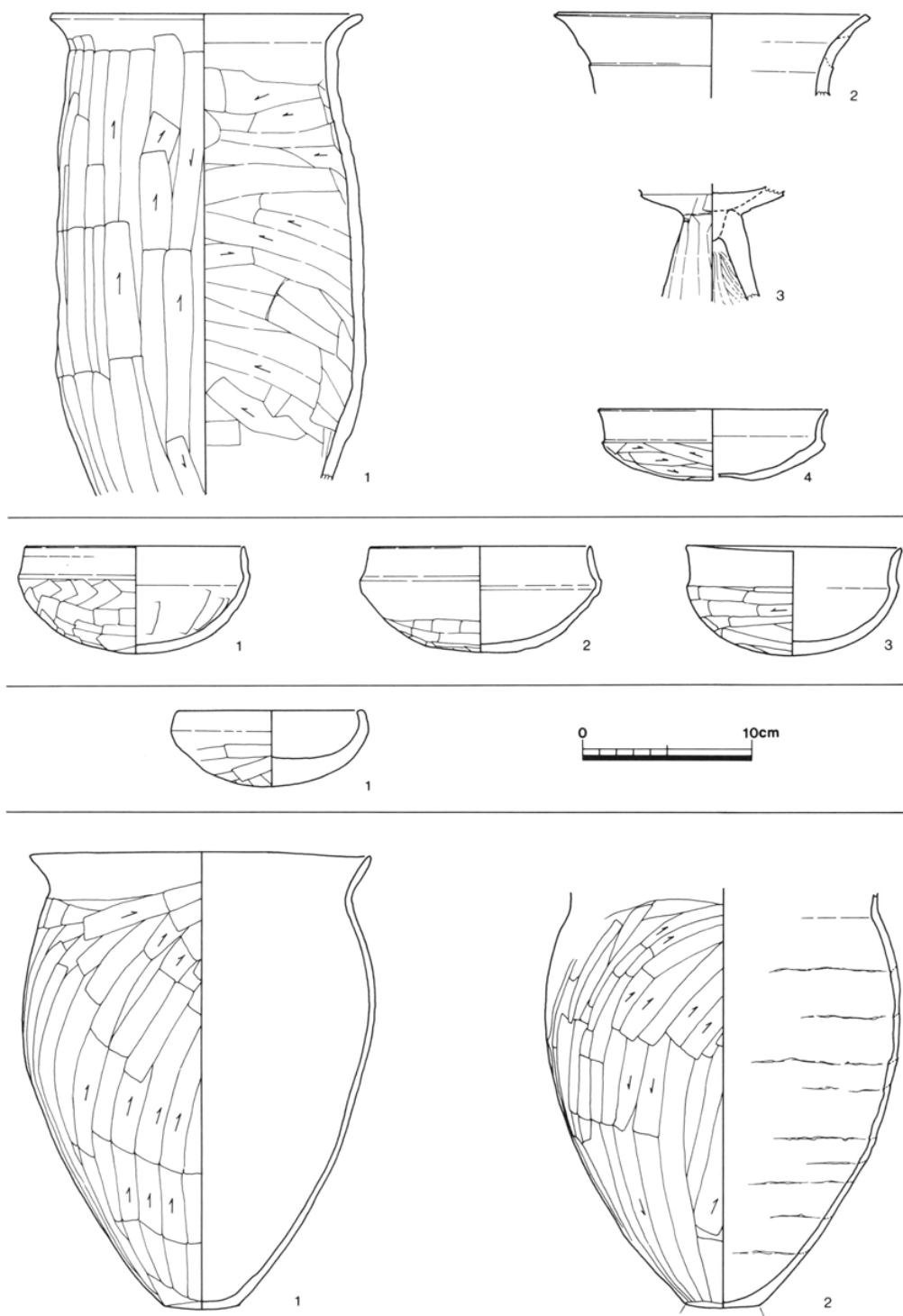




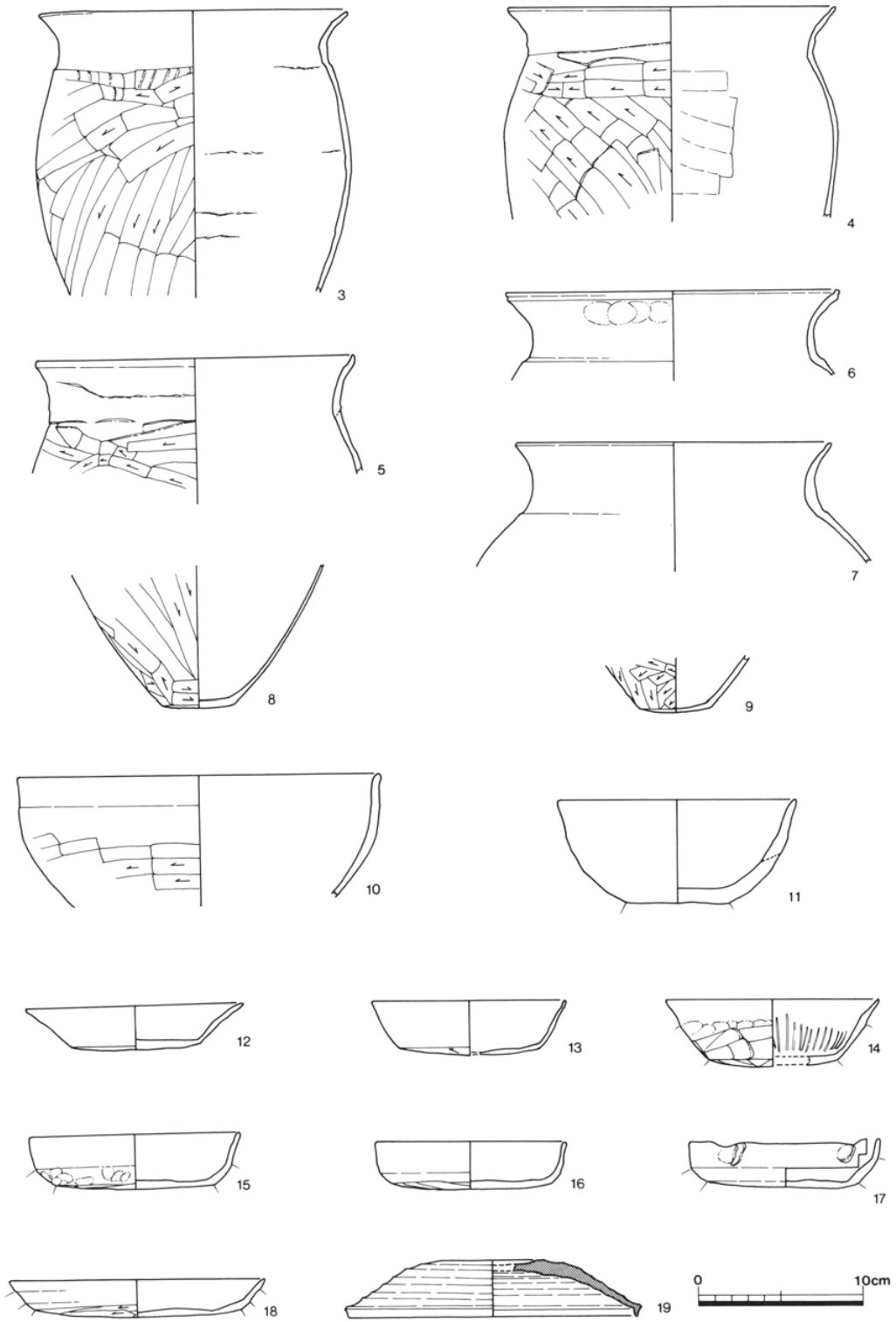
第56图 第62号住居址(左上)、第63号住居址(右上)、第64号土壙(中)、第65号住居址(下)  
出土土器实测图



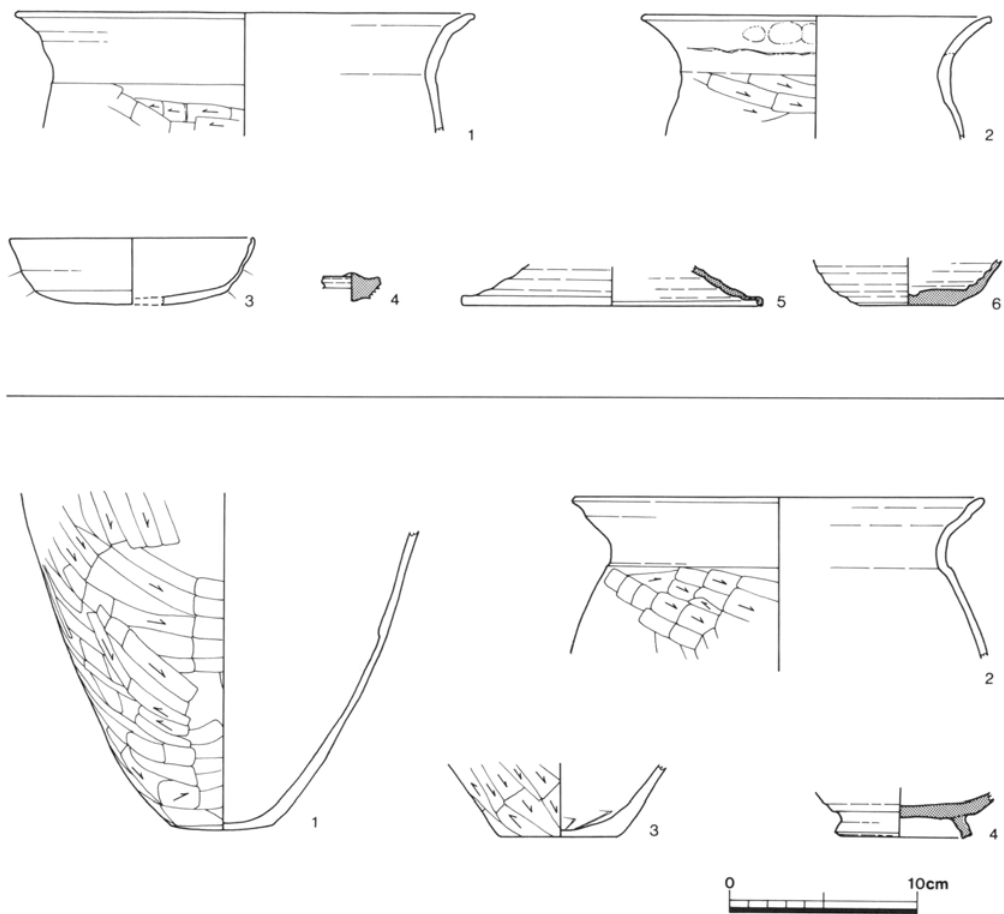
第57图 第65号住居址(上)、第66号住居址(下)出土土器实测图



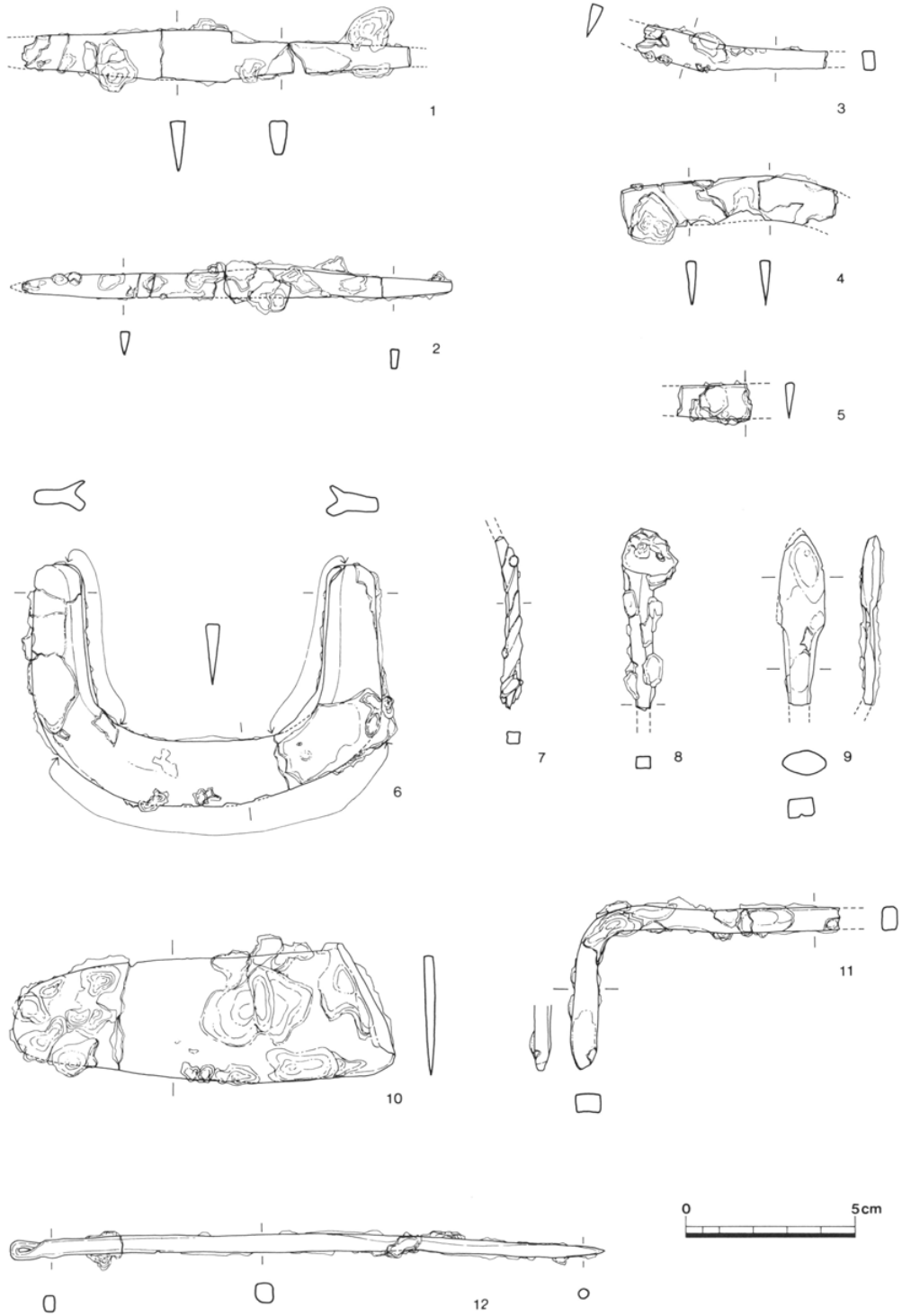
第58图 第67号住居址(上)、第69号住居址(中上)、第71号住居址(中下)、第72号住居址(下)  
出土土器実測図



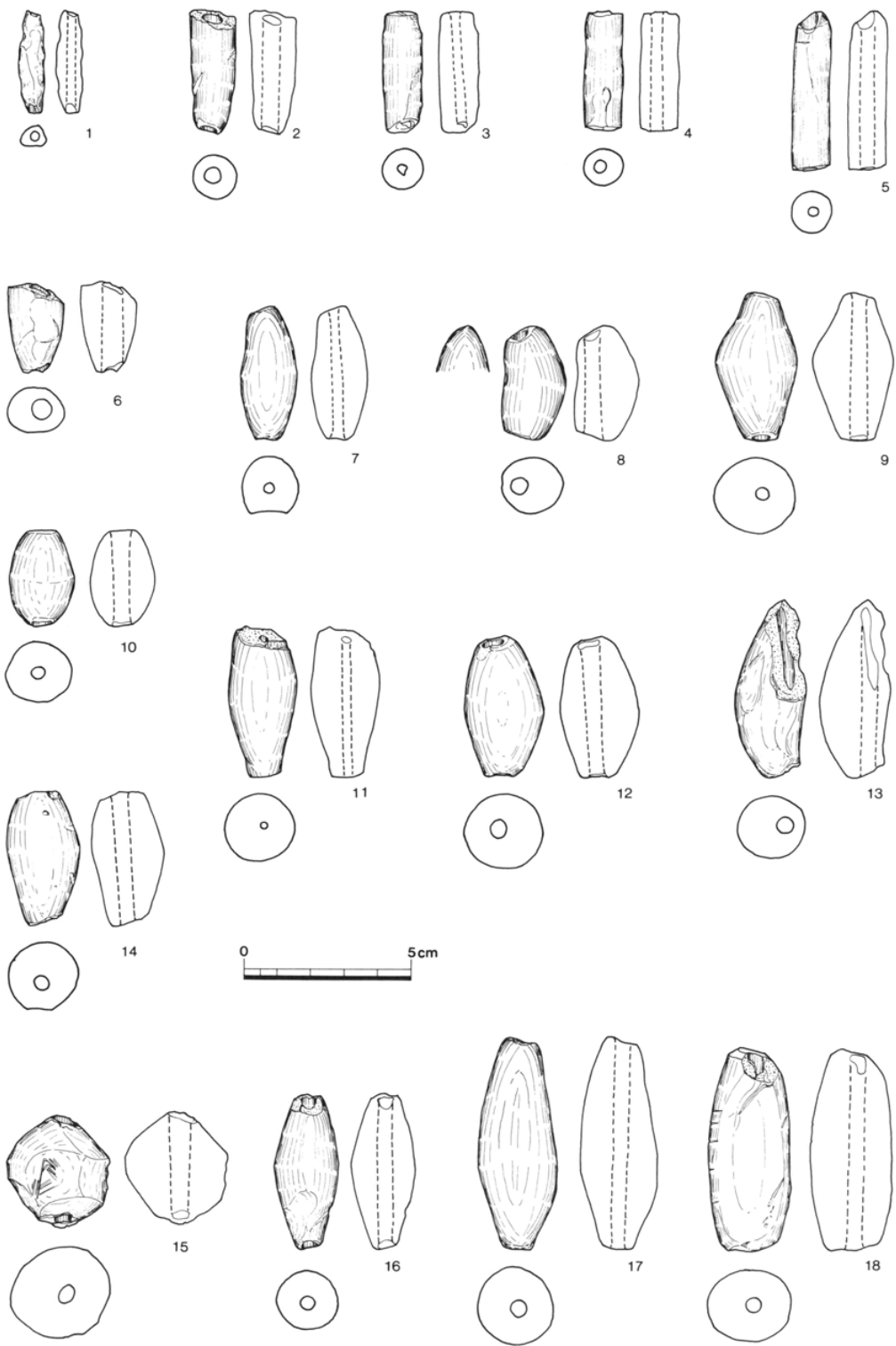
第59图 第72号住居址出土土器实测图



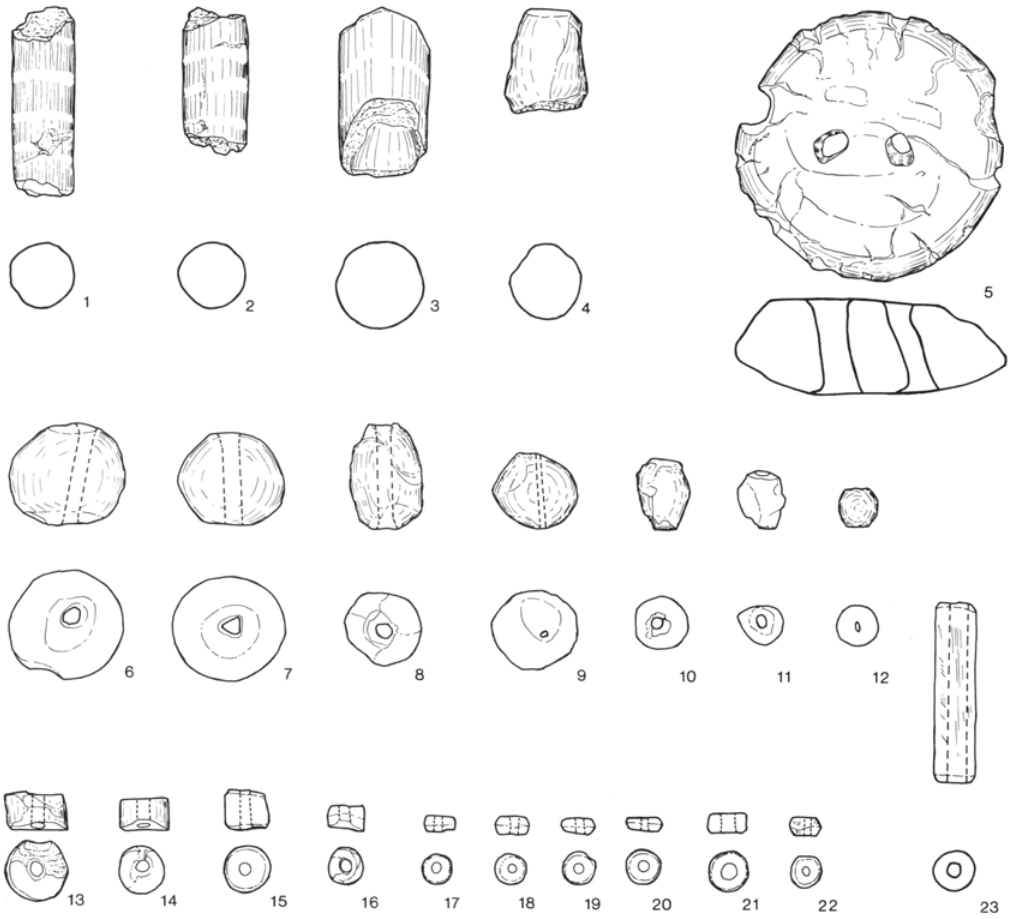
第60图 第74号住居址(上)、第75号住居址(下)出土土器实测图



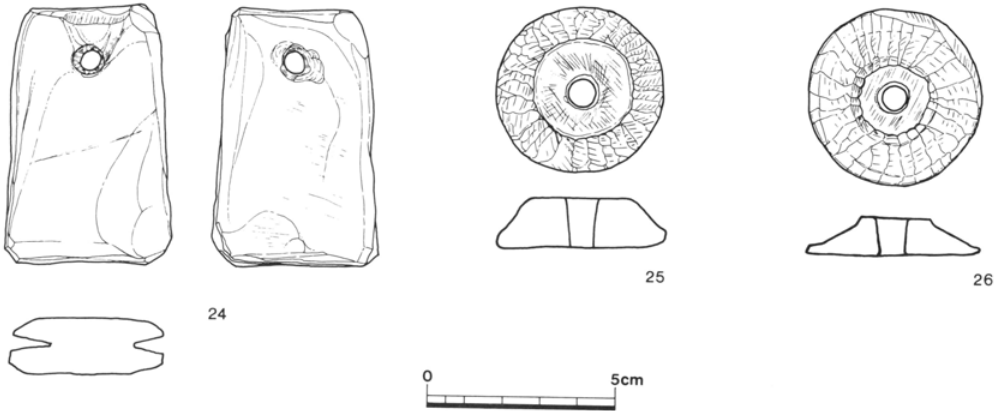
第61図 南大通り線内遺跡出土鉄器実測図



第62図 南大通り線内遺跡出土土錘実測図



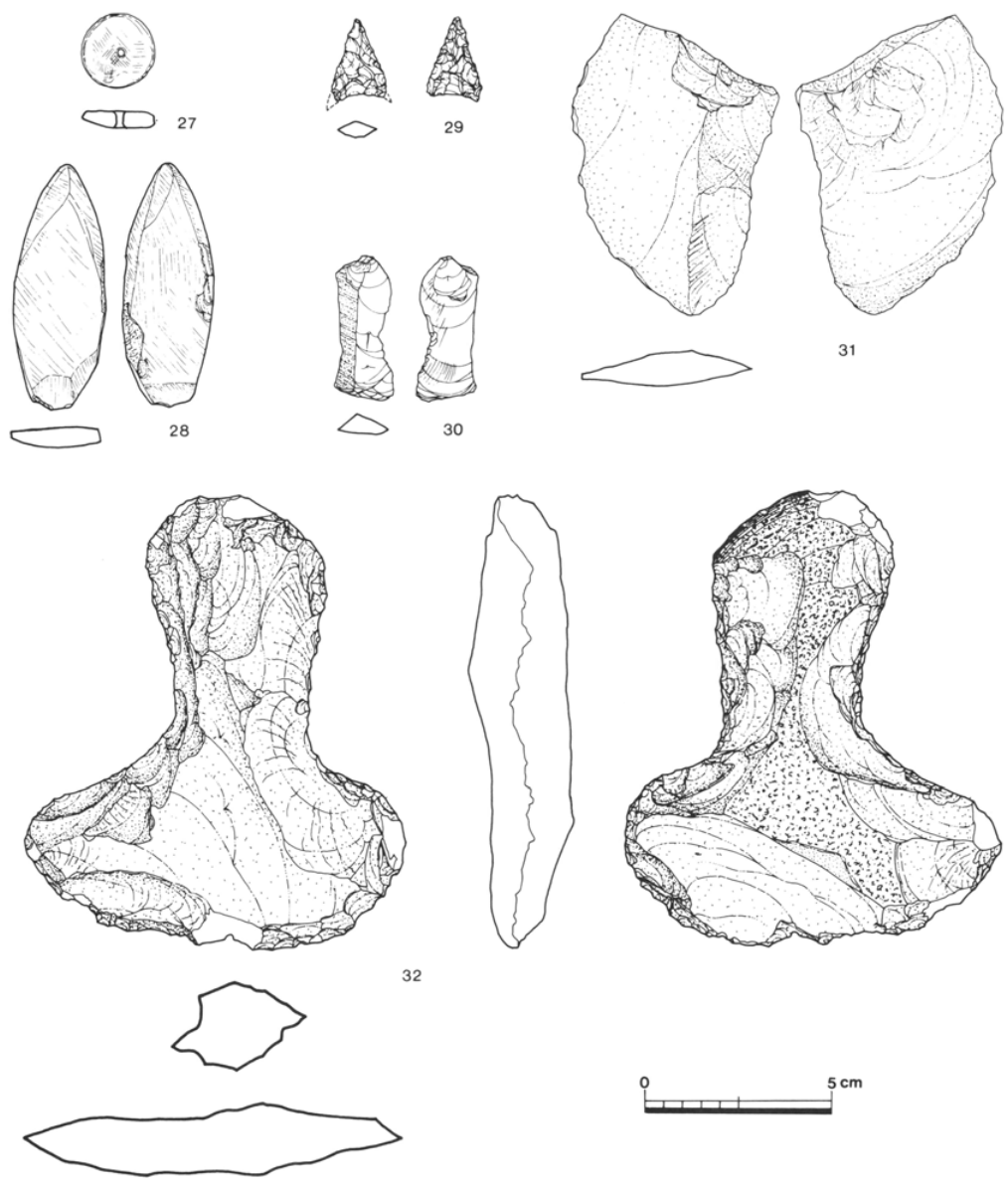
0 2cm



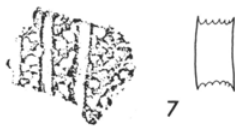
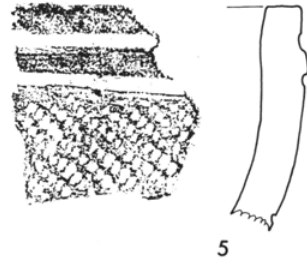
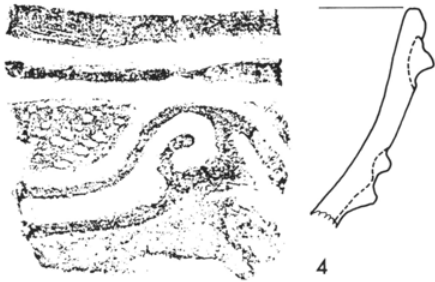
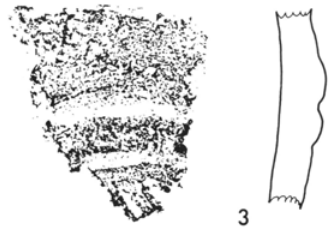
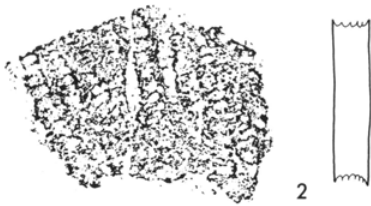
0 5cm

第63図 南大通り線内遺跡出土土製品・石製品実測図





第64図 南大通り線内遺跡出土土製品・石製品実測図



第65図 南大通り線内遺跡出土縄文土器実測図



遺物整理風景(本庄市埋蔵文化財センターにて)

## 第3章 考 察

### 第1節 重複状態を示す住居址の土器群について

南大通り線内遺跡では、多数の重複状態を示す住居址が検出された。これらは時間的な前後関係を指示するもので、層位的に検出された資料に順じる。このような住居址より出土した土器群は、編年作業を行なう時基準となる要素が多く、遺構の検討も重要な作業の一つである。ここでは鬼高式期に所属する住居址を中心にまとめてみた。

#### 【第24、25、26、65号住居址の土器群】

鬼高式期の住居址が6軒重複して検出された。第22、23号住居址も一連の重複関係を示すが、検出された遺構の範囲や遺物量が少ないことから割愛する。住居址の前後関係は、平面図では判明しがたいが、第26号住居址の南東部を第25号住居址の貼り床が覆っており、第25号住居址は南半分を第24号住居址に切断されている。北側の第65号住居址は第26号住居址に切断されているように見えるが、第65号住居址の床面レベルが浅く、現状において前後関係は不明であった。遺構からの前後関係は第26→25→24号住居址の順に新しくなる。次に各住居址の土器群を整理する。

第26号住居址の土器群は床面上の放置遺棄状態並びに、南西部で一括投棄状態で検出された。甕は最大径が胴部下半にあたるものが見られ、球胴に近いものの長胴化のきざしが観察される。甗は未だ甗形に近い状態を示す。坏にはわずかに平底を呈するものも見られるが、直立する長い口縁部に対して体部の深いものが見られる。高坏は脚部と坏部の接合部分の観察から和泉式の系統をひくものと、短脚化し全体に和泉式の高坏より小さく、鬼高型高坏より大形のいわゆる中形高坏が出現している。

第25号住居址より出土した土器はわずかで、その内容に基本的要素をもとめることは出来ない。坏は外反する短い口縁部に浅い体部を持ち、全体に扁平化したもので、第26号住居址例よりもかなり後出的な形態である。高坏は3方1段透かしの須恵器模倣品で、他例がないため帰属位置が不明であるが、須恵器における同形の消長から時間的な位置づけを暗示していよう。

第24号住居址ではカマド内、カマド両側の床面上、周辺の床面より放置遺棄状態で多数の遺物が出土した。甕は口縁部が著しく外反し、胴部は丸みがなく長胴化している。最大径は胴部から口縁部に移行する。1点のみ旧形態の残存品が見られる。甗は胴部がややふくらむ。坏は原則として口径が大きく扁平化したものからなる。内側に湾曲しつつ外反するものを主体とし、内傾するもの、外傾するもの等も見られる。

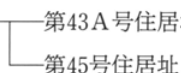
遺構の切り合い状態が不明瞭であった第65号住居址の一群は、土器の形態から前後関係をもとめると、甕は最大径が未だ胴部中央に位置するものの、第26号住居址例より長胴化が進行している。坏は口縁部がやや外傾しているなど、第26号住居址と第24号住居址例の中間的な形態を示している。

以上の点から本住居址群の前後関係、すなわち土器群の変遷は第26→65→25→24号住居址の順に新しくなる。なお、第22、23号住居址は遺構の切り合い状態から第22→23→24号住居址の順に新しくなり、第23号住居址からは第26号住居址と同様な坏が出土していることから時期が近接するものと推定

される。

#### 【第42、43A、45号住居址の土器群】

実際には4軒が重複し、1軒が近接する。第41、43B号住居址は国分式期の住居址であるため、本項では割愛する。遺構の切り合い状態は第42号住居址の南西部を第43A号住居址が切断しており、第45号住居址は第42号住居址のカマドを切断していることが、壁面の断面に観察される。したがって、遺構の新旧関係は、第42号住居址—第43A号住居址の順に新しくなる。



第42号住居址の土器群はカマドと貯蔵穴周辺の床面を中心に放置遺棄状態で出土した。貯蔵穴内からは完形品の甕が転落遺棄状態で出土している。甕は全容を観察可能なものはなかったが、胴部中央に最大径を持つ長胴甕と、口縁部が著しく立ち上がり広口な状態を示す2者が見られる。甕は長胴化している。坏には第26号住居址に見られたような直立する長い口縁部に深い体部を持つものが若干存在するが、大半は外傾ないし外反する比較的長い口縁部に、口縁部より浅い体部を持つものからなる。口縁部が内傾する須恵器坏身の模倣品が1点出土している。精巧に製作されており、MT15型式の模倣品と推定される。高坏は中形高坏で構成され、先の第26号住居址例より坏部の外反度が増す。

第43A号住居址は西半分が昭和62年現在未発掘であるが、貼り床面より多数の土器群が放置遺棄状態で出土した。甕は最大径が胴部中央に位置するものを基本とするが、胴部径に対して口径が広くなる。今一つは胴部下半に最大径を持ち、さらに長胴化しているもので口縁部が短くなる。甕は2種見られ、1つは口縁部が直立ぎみになる。坏はバリエーションが大きい。口縁部が直立ぎみのものも見られるが、主として深く外傾ないし外反し、体部が浅くなるものを基本としている。坏身の模倣品があるが、第42号住居址例より新しい様相をとどめる。高坏は和泉型や中形高坏が見られず、共伴する坏と同形態の坏部を持つ小形品で、いわゆる鬼高型高坏と呼称されるものである。

第45号住居址は極めて小形の住居址で中央に炉を持ち、居住家屋とは考えられず作業小屋もしくは貯蔵施設的な性格を暗示している。甕は最大径が胴部中央から上位に位置し、第43A号住居址例よりも長胴化が増す。坏及び高坏は第43A号住居址と同様である。他に直口壺が出土しているが、須恵器の模倣品と思われる。

住居址の切り合い状態に土器群の様相を加味すると、本住居址群は第42→43A→45号住居址の順に新しくなり、第43A号住居址と第45号住居址は、坏の形態からかなり近接した時期を想定できる。あるいは甕の器種セットに欠落があり、同一時期の所産である可能性も考慮される。

#### 【第60A、61A号住居址の土器群】

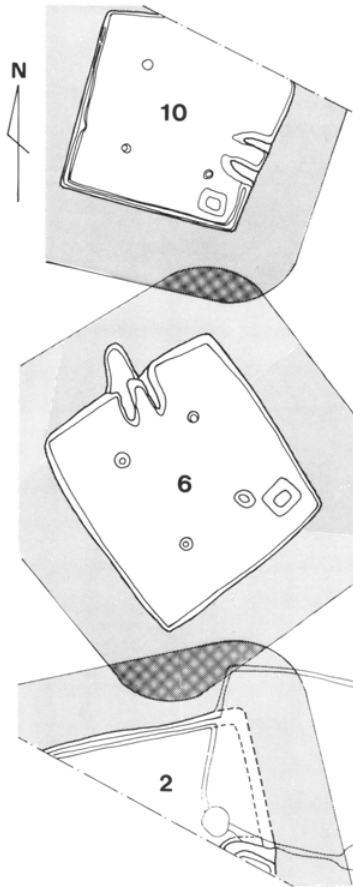
両住居址周辺には7軒の住居址が重複ないし近接するが、大半が未調査区域に入ることや、遺物量が極めて少ないこと、あるいは国分式期に所属するものも含まれていることから、両住居址以外ははぶいた。2軒の住居址は、第60A号住居址の東コーナーがごくわずかに第61A号住居址の西壁を切断しており、第61A→60A号住居址の順に新しくなる。

第61A号住居址の土器群はカマドと貯蔵穴周辺の床面上を中心に、放置遺棄もしくは転落遺棄状態

で検出された。甕は胴部中央に最大径を持つもので、長胴化が進行しつつあるが全体に丸みを残したプローションである。甕は鉢形を呈するが全体に短い。坏は1点のみであったため情報量に欠けるが、直立する口縁部より深い体部を持つ。須恵器坏蓋の忠実な模倣品と思われる。高坏は貯蔵穴に転落遺棄状態で出土したもので、坏部がさほど外反せず脚部底部の反り返りも大きい中形品である。

第60A号住居址の土器群はカマド及び貯蔵穴周辺の床面上で放置遺棄ないし転落遺棄状態を示す出土状態を見せた。完形の甕2点はカマド袖の補強材に使用されたもので、胴部は丸みがなく直胴状のみで、口縁部は広口を呈する。胴部上半のみ遺存していた甕は復原によると、胴部中央に最大径を持つ長胴甕である。甕は長胴化しており、口縁部の立ち上がりが大きくなる。坏は口縁部が外傾するものを基本とし、体部は未だ深い。厚手のものが見られる。口縁部に複数の稜線もしくは沈線の付くものが出現している。1点のみ坏身の模倣品があり、短い口縁部に深い体部を持つ。高坏は中形品で坏部の外反度が著しく、脚部も短脚化している。後述する須恵器無蓋高坏片が出土している。

土器の変化からも両住居址の新旧関係は、第61A→60A号住居址へと新しくなっていることを指示している。



第66図 想定復原した第2、6、10号住居址の周堤重複状態

#### 【第2B、6、10号住居址の土器群】

住居址の前後関係は直接遺構が切り合う状態を示すもの他に、互いに隣接しあうものも住居の構造上から示唆している。すなわち、われわれが発掘調査によって検出できる住居址の範囲は床面近くのみであり、その上屋構造、たとえば周堤や屋根の範囲を想定すれば、同時に立地したとするには困難なものも見られる。

本グループは約2mの距離を置き、ほぼ南北に位置する。このプランに群馬県黒井峰遺跡で存在が明確となった周堤の幅約1.5mを加算すると、それぞれが南北で重複することになり、ここに時間的な前後関係を前提とした土器群の把握が可能となる(第66図)。

北側に所在する第10号住居址は比較的小形の住居址で、カマド内外を中心に床面上に放置遺棄状態で土器が出土している。甕はカマド内より2点出土しており、長胴化のきざしがあらわれている。口縁部は長くくびれ部が明瞭である。甕の内、大きいものはカマド右袖奥に埋納されていた。短胴の甕形で古式な様相を残す。和泉式期以来の扁球胴埴を伴う。坏は埴形に近い形態と、直立ぎみの口縁部と同じ深さの体部を持つものが見られる。

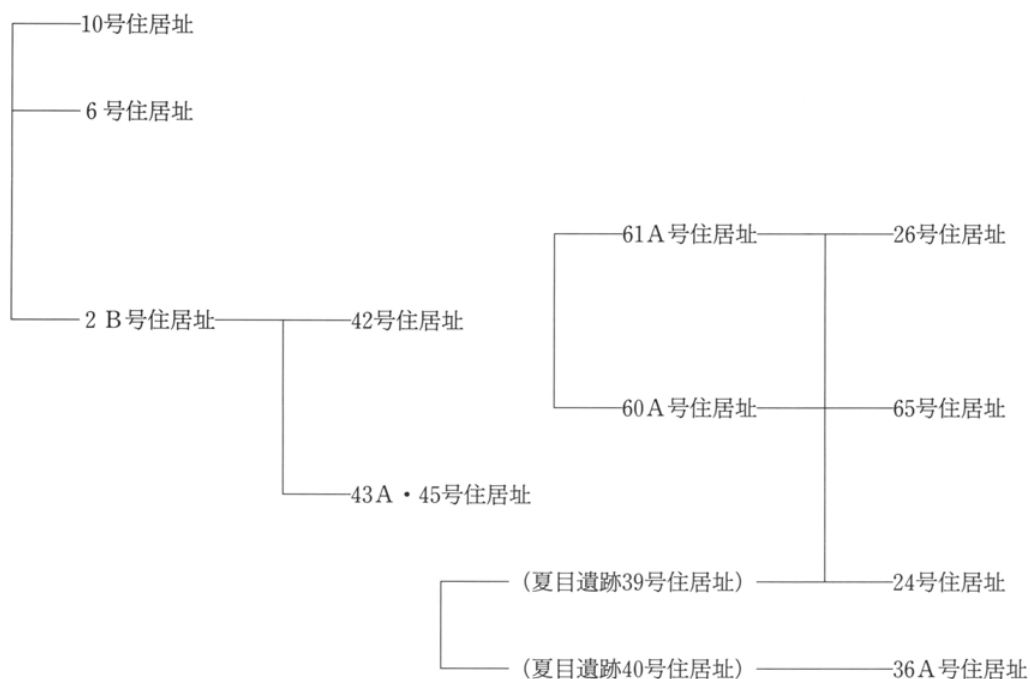
第6号住居址はカマド近くと相対する位置にある貯蔵穴周辺より放置遺棄、転落遺棄状態で出土している。甕は胴部下

半に最大径を持つが、第10号住居址例と同様で最大径の位置が移行したものにすぎない。甕は甕形をとるが、直胴ぎみになる。やはり扁球胴埴を共伴する。坏は口縁部と体部が深くなる傾向にあり、口縁部がやや外傾するものを含む。

第2 B号住居址の南半は調査区域外、東側が第2 A号住居址により切断されている。東側にカマドの一部が確認され、コーナーを復原することが可能である。土器は床面直上で出土した。甕は最大径が口縁部に移行しており、長胴化が進行している。甕は完全な鉢形を呈している。坏は直立する大きな口縁部に深い体部を持つ。高坏はカマド内の支脚に転用されたもので、中形品にあたり、坏部はあまり反りがなく外傾する。甕、甕、坏、高坏は第42号住居址の中に類例を見出すことができる。

土器群の新旧関係をもとめるならば、第10号住居址の一群が最も古式な様相を見せ、第6号住居址例は若干新しい傾向にある。第2 B号住居址は前2者よりかなり新しく、総括すると第10→6→2 B号住居址の順に移行する。第10、6号住居址はかなり近接する時期に立替られたものと考えられ、第6号住居址と第2 B号住居址は1段階ほど間隔が開く模様である。

上記以外においても重複する住居遺構は見られる。第36 A号住居址は第36 C号住居址の西側に貼り床をほどこした上にカマドを構築しており、第37号住居址は第36 C号住居址の東半分貼り床をほどこすものの、その範囲は明確でなかった。この一群は第36 C→37→36 A号住居址の順に変遷する。南大通り線内遺跡における、重複する住居址をもとにした鬼高式の変遷は、以下の表のごとくまとめられるが、前後する段階や間隙を埋める重複住居址例は、市内の他遺跡において資料が増加しつつあることを付記しておく。これについては別報告であらためて考察する。



第1表 南大通り線内遺跡検出の重複住居址前後関係模式図

## 第2節 鬼高式に伴う須恵器と土師器模倣品について

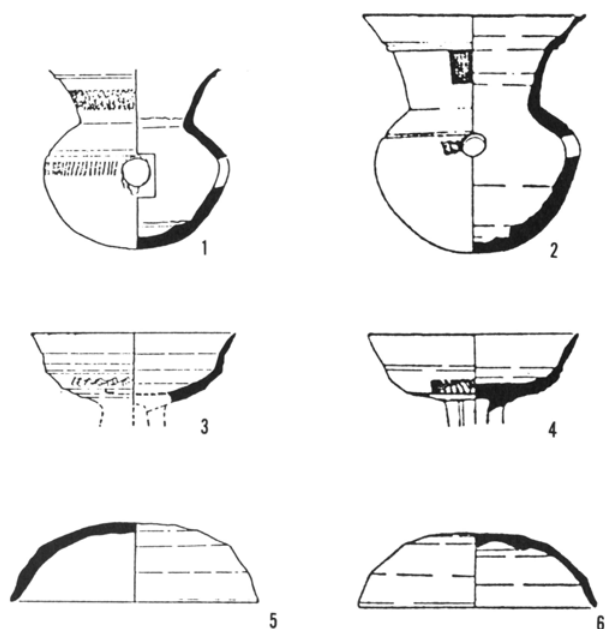
鬼高式の定義の一つに、須恵器の模倣品の出現と盛行があげられる。壺、高坏、坏等、この時期には須恵器の影響が色濃く反映されており、土師器模倣品と須恵器の相互比較の研究が進展しつつある。本遺跡ではテンバコ2台分の須恵器が出土ないし、採集されている。大半は国分式期に所属するが、鬼高式期の住居址においても若干の須恵器が出土しており、その帰属形式と模倣品の分析を行なう。なお、須恵器の分類、編年観は『須恵器大成』（田辺 1980）にもとづいた。

### 【第28号住居址の甕】

本住居址からは土師器の壺、埴、高坏、坏と須恵器甕が床面直上から出土している。甕(第67図1)は口縁部を欠損しているが、他の部分は完全に残存している。口縁部下位に波状文を、胴部中位には列点文を配している。器形は胴部にふくらみを持ち、肩部ははらず稜線も不明瞭であるが、浅い凹線が走る。胴部最大径に対してくびれ部の径が広がっている。口縁部を復原すると、胴部最大径より若干口唇部が大きく、全体の最大径が口縁部に移行した段階であることを物語っている。口縁部の高さは胴部高を上回るものではない。以上の特徴から、胴部が扁球胴で肩部が張り、最大径が胴部にあるTK23型式よりは新しく、口縁部に長さが増すMT15型式より古い段階にあたるものと推定され、田辺氏がTK47型式の古い段階と指摘されている埼玉県稲荷山古墳出土の甕より新しく、TK47型式の末に位置づけられている長野県松ノ山窯跡(第67図2)のものが、口縁部が若干長いものの類似している。

### 【第60A号住居址出土の無蓋高坏】

本例(第67図3)は口縁部のわずかな部分のみ残存していたが、口縁部と稜の部分等から直径を割り出し実測復原した。貯蔵穴内より出土している。坏部のみであるが、中央から下位に稜が走りその間に波状文が観察される。口縁部は中央の稜より外反している。脚部との接合部は残存していないが、復原からしてかなり細いものと推定される。同様な須恵器はTK10型式の中にもとめられ(第67図4)、口径や外反度等細部に至るまで極似している。ちなみにMT15型式の高坏は坏部が深く坏



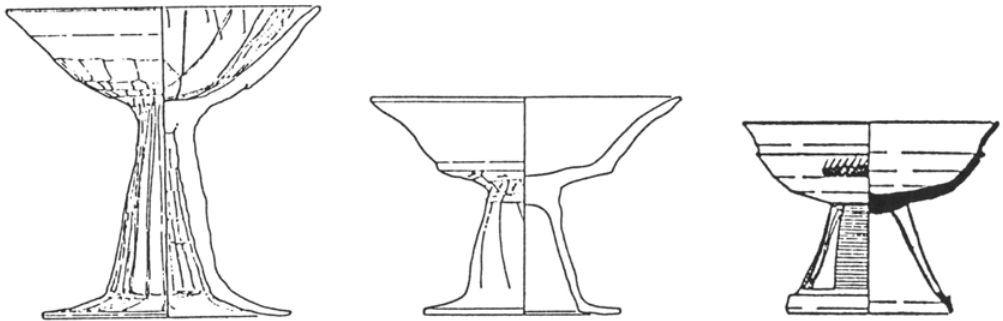
第67図 南大通り線内遺跡出土須恵器と陶邑出土等須恵器の比較



部と接合する部分の脚部径も大きいなど本例とは異なる。また、TK43型式は口縁部が立ち上がり、全体に壜形を呈することからやはり異なっている。以上の点から本高坏は、TK 10型式に属する2段透かし無蓋高坏と考えられる。

#### 【第36A号住居址出土の坏蓋】

本住居址の土器群はほとんどが床面直上かカマド内より出土した。須恵器坏蓋は完形品で2点とも床面上で検出されているが、出土状態から坏身として用いられたようである(第67図5)。両者とも体部内外面が中央から底部にかけて焼きの甘い白色を呈しており、重ね焼き焼成されたことを物語っている。全体に分厚く、胎土等から周辺の窯産と推定される。全体に丸みを帯び、外面に2～3段の不明瞭な稜が観察され、坏蓋に特徴的な体部と口縁部の明瞭な差がなくなりつつある。口縁部は口唇部近くで外反ぎみになる。このような傾向はMT85からTK43型式の段階より見られるが、何れも器高は浅い。TK217型式の段階では器高が高く壜形に近くなるが、口縁部と体部の差はなくなり、口縁部は内屈するなど本例とは異なる。以上の状態から本例に最も近似するものとしてTK209型式をあげる(第67図6)。



第68図 和泉型高坏と中形高坏及びTK47型式無蓋高坏の比較

#### 【いわゆる中形高坏について】

第1節においては文中に「中形高坏」と言う名称が現われたが、これは和泉型高坏より小形であるが、いわゆる鬼高型高坏より大形品で、全体のプロポーションは和泉型を小振りにした形態を見せる。消長は鬼高式期の前半の比較的短い時期にのみ存在する。形態的特徴は坏部が有段で、口縁部は外傾ないし外反する。脚部は直径が大きく短脚化している。技術的な特徴としては坏部と脚部の接合部が和泉型ではソケット状を呈するのに対して、本形態のものは坏部と脚部を別々に製作した上で直接接合している。従来から本形態の高坏については、和泉型が終末期に入り、小形化・短脚化したものと考えられてきた。しかし、中形高坏と和泉型高坏は一部同時存在しており、上述した理由から和泉型とは分離されることを示唆している。

北武蔵における須恵器の使用はTK73型式の段階から認められ、TK216型式と並行するものの中には、すでに在地窯が操業していた可能性を裏付ける資料も見られる点から、須恵器の影響は大きかったものと考えられる。児玉地方では須恵器が使用されはじめた当初より、住居内から出土する器種と

して甗、高坏、坏が多く見られる。祭祀的用途としての甗は和泉式期の段階で模倣化がはじまっており、第12号住居址出土の扁球胴甗(第69図1)はTK216型式の甗の影響をうけた可能性が考慮される。日常的な器種である坏は鬼高式坏発生の起爆材となり日常容器の主体をなして行く。住居内での使用頻度の多い高坏も当然模倣の対象となったものと思われる。中形高坏と同時期の須恵器高坏を見ると、TK47型式の1段透かし無蓋高坏が存在する両者の相似点は大きさが近いこと。坏部が外反すること。脚部が短く、接合部が太いことなどで、本高坏がTK47型式の影響をうけたか意識して製作された蓋然性は大きいものと考えられる。

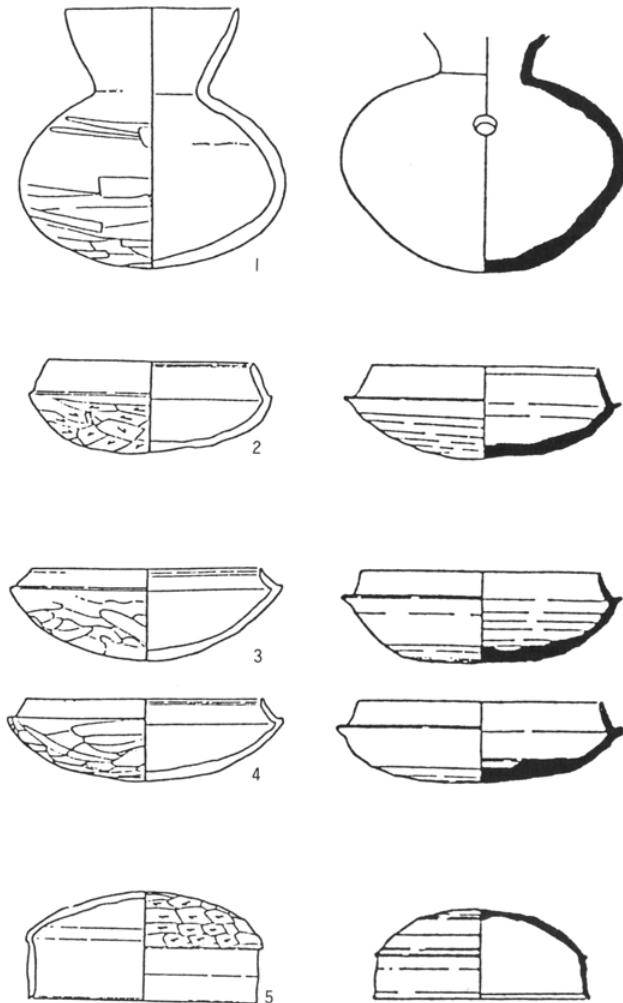
【坏の模倣品について】

模倣坏は鬼高式を代表する形態である。坏身の模倣品は量的に坏蓋の模倣品を圧倒するものではなく、それ自体の使用目的に限定

性があったことを暗示している。したがって、模倣も忠実に遂行されたものが多い。従来より坏身の模倣品は鬼高II式の指標とされ、モデルとなった須恵器の型式も新しいものであった。しかし、近年ではより古い段階の坏身模倣品の類例が確認されつつある。

第42号住居址より出土した坏身(第69図3)は、内傾する長い口縁部に平底に近い体部を持つ。口唇部には沈線が走る。同様な形態はMT15型式の中にもとめることができる。このような形態を示す坏身は上里町若宮台遺跡第31号住居址からも出土しており、共伴した土師器からさらに古いTK23型式前後を模倣したものと考えられる。

第48号住居址より出土した2点の坏身(第69図5、6)は、内半する短い口縁部に深い体部を有する形態をとり、TK10からMT85型式を前提として製



第69図 南大通り線内遺跡出土模倣土師器の類例

作されたものと推定される。これらは他の坏よりも整形が丁寧である。

坏蓋の模倣品は発生当初から身として機能しており、大半は「機能模倣」ではなく「形態模倣」に終始するが、各段階において須恵器各型式の模倣が実施される。第15号住居址出土の坏蓋(第69図9)は鬼高式期の古い段階に盛行する形態で、直立する長い口縁部に深い体部を持つ。口唇部に沈線が走る。須恵器坏蓋では TK47型式が最も近似しており、同様な見解は常に指摘されている。

### 第3節 南大通り線内遺跡の変遷

第1、2節では鬼高式期を変遷する上での基礎資料の整理を行なった。次に本遺跡で検出された住居址の変遷をまとめると、以下のごとく、和泉式期から国分式期を経て中世に至る20期の段階に分類されたが、一遺跡内より検出された資料をもとにしているため、編年的には欠落している部分もあることをあらかじめお断わりしておく（付図1・2参照）。

#### 【第Ⅰ期】

本期に所属するものは第8号住居址1軒のみである。検出された住居址中最大規模を誇る。和泉Ⅰ式期に属する。本遺跡内では五領式土器も出土しているが、この付近で最初に住居を営んだ明確な証拠である。

#### 【第Ⅱ期】

第12号住居址を基本とし、初期カマドが出現する。第8号住居址に近接しており、同住居址からの移動を暗示している。和泉Ⅱ式期にあたり、遺物には把手付大形甗や扁球胴埴に見るごとく須恵器TK216型式の影響を受けた形態が出現している。本期と同時期にあたる岡部町六反田遺跡第37号住居址ではTK216型式の器台、児玉町古井戸南遺跡第3号住居址でON46型式の樋口縁部、大里村船木遺跡第11号住居址からはTK216型式の樋が出土しており、本期は5世紀後半に位置づけられる。第14、34号住居址も本期に属する。

#### 【第Ⅲ期】

本期にあたる確実な資料は確認されなかった。第19A号住居址に帰属すると考えられる原初坏が本期の産物と推定される。同例は西富田遺跡群の夏目遺跡第32、51号住居址、西富田新田遺跡第7号住居址などにもとめられ、二本松遺跡は第Ⅱ期から第Ⅲ期にかかる過渡期の集落跡と考えられる。今井諏訪遺跡第49号遺跡からはTK208～TK23型式と推定される無蓋高坏が共伴しており、四方田遺跡第18号住居址ではTK208型式の坏身を伴っていることから、本期を5世紀後半から末葉に位置づけることができる。原初坏の出現や大形甗の定形化のきざしなど鬼高式の胎動が見られ、鬼高式最古の段階に位置づける。

#### 【第Ⅳ期】

鬼高式坏が定着する段階で、第69号住居址が該当する。ただし、本期に属する住居址は調査区域内においてはほとんど確認されなかった。近隣では今井諏訪遺跡第45、46、48号住居址があり、第46号住居址にはTK208～TK23型式と推定される甕片を共伴する。また、後張遺跡第50号住居址ではTK23と考えられる甕を出土しており、本期は5世紀末葉にあたる。

#### 【第Ⅴ期】

第6、10号住居址を代表とする。甕に長胴化のきざしが現われる段階である。甗が甕形に近いことや扁球胴埴を持つなど古い様相を残す。後張遺跡第19、22号住居址をはじめ後張遺跡に多く類例を見出せる。第6、10号住居址例と同形態の坏を保有する第28号住居址からはTK47型式の甕が共伴しており、本期は少なくとも6世紀初頭にあたることを指示している。前節で述べたごとく、第10、6号

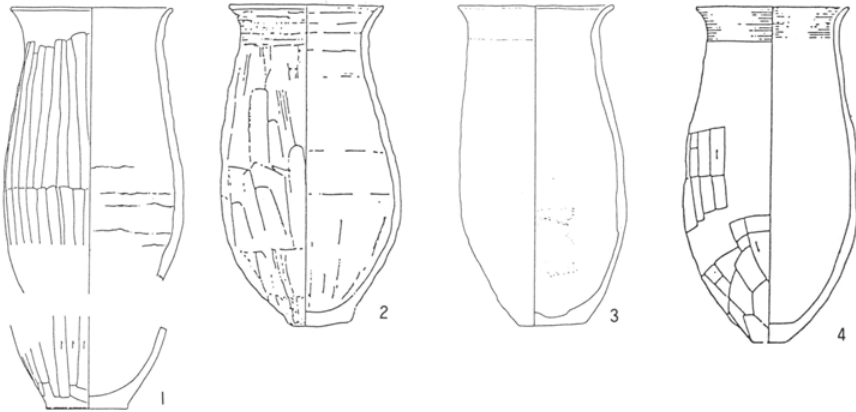
住居址は土師器の型式上ともに同段階に属するが、土器型式上の同時期に住居の建て変えが行なわれたのか、本期がさらに細分されるものか、今後の検討課題の一つと言えよう。

【第 VI 期】

第61A、26号住居址に加え、第15号住居址を基本とする。甕が胴部中央に最大径を持ちながら長胴化する段階で、坏も体部の深い整った形態になる。新たに中形高坏が出現する。後張遺跡第20号住居址には TK47型式と考えられる甕を共伴していることや、この段階に出現する中形高坏がやはりTK47型式の影響を受けた可能性から見て、本期の年代は6世紀初頭から前半と推定される。なお、南大通り線内遺跡では確認されなかったが、本期において確実に鬼高型高坏が出現している。

【第 VII 期】

第42号住居址があげられる。甕は前段階のものにくびれ部と口径が広くなり、胴部があまり張らない形態が存在する。坏には前段階の形態が少量存続し、口縁部が内側に湾曲しつつ直立ないし、外反する形態が主流をなす。中形高坏も存続している。甕はこの段階に入って長胴化が進行する。坏身模倣品の中に MT15型式を模倣したものと考えられるものがある。川越田遺跡第1号住居址には本住居址で主流をなす坏が多く出土しており、セット関係も極似している。ここでは胴部中央に最大径を持つがかなり長胴化した甕が出現しているが、甕の主体はなおも最大径を胴部中央に持つ、いわゆるラグビーボール状の形態で、少量ではあるがくびれ部と口縁部が広口になるものも含まれている。須恵器が2点共伴しており、坏身は TK10型式と考えられる。もう一方の蓋は坏の蓋ではなく短頸壺の蓋でやはり TK10型式に似る。以上のことから本期は6世紀第2四半期に位置するものと推察される。他に第2B号住居址も本期に属する。



第70図 胴部下位に最大径を持つ長胴甕の類例(1、南大通り線内遺跡第18号住居址 2、中道遺跡第27号住居址 3、社具路遺跡第47号住居址 4、精進場遺跡第A3号住居址 拠、各報告書)

【第 VIII 期】

充実した資料が得られた第60A号住居址に代表される。甕は広口の様相が増すが胴部中央に最大径を持つものも残存している。坏にあまり変化はないが、口縁部が外傾ないし外反するものを基本とし、

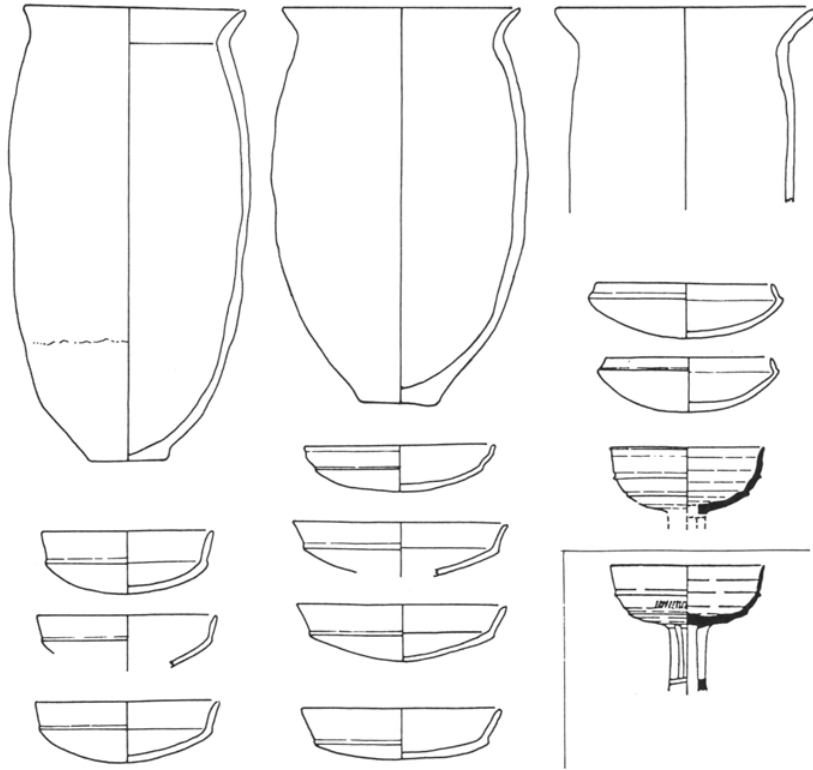
内傾する短い口縁部に深い体部を持つ坏身の模倣品が出現する。中形高坏や小罎が消滅する段階でもある。第60A号住居址からはTK10型式の2段透かし長脚高坏が出土している。本期に所属する遺跡に神川町中道遺跡第27号住居址の一群があげられる。同住居址においてもやはりTK10型式の1段透かし長脚高坏脚部が共伴している。また、甕の器種は豊富で、前段階に出現している胴部中央最大径で著しく長胴化したものが継続しており、他に口縁部に最大径が移行し直胴状になる、後に主流をなす形態が出現している。また、最大径が口縁部、胴部上半、中央、下半等一定せずバリエーションに富むのもこの段階の特徴である。したがって、1点の甕のみでは時期推定を行なうことは困難である。しかし、立ち上がりの大きい口縁部にくびれ部が不明瞭で、胴部下半に最大径を持つ長胴甕は、本期のメルクマールとなりうる可能性があり(第70図)、同例は神川町中道遺跡第27号住居址、同町精進場遺跡第A3号住居址、本庄市社具路遺跡第47号住居址にあり、南大通り線内遺跡では第18号住居址に同例が認められる。本期は6世紀中葉にあたる。

#### 【第IX期】

遺構の重複状態を示す第43A、45号住居址を基本とした。甕、坏とも変化に富む。甕は長胴なものと同短胴を呈する2者に大別されるが、何れも広口である。第43A号住居址には胴部下半に最大径を持つ長胴甕が出土しているが、口縁部は短く退化している。前段階の第18号住居址、社具路遺跡第47号住居址例で認められた胴部下半に最大径を持つものの系列に入るものと推定される。同様な形態を見せるものとして、社具路遺跡第35号住居址にもとめられ、同住居址からはTK10型式に類似した坏身模倣品が共伴する。また、遺物を多量に出土した第48号住居址の甕と坏の中には第43A号住居址と類似するものが認められ、坏身はその形態からMT85型式の模倣品と推定される。第43A、45号住居址とも坏は口縁部の外反度が著しくなり、対部が浅くなる傾向にある。なお、第45号住居址では直口壺、第48号住居址からは壺形が出土しており、何れも須恵器の模倣品と考えられる。本期は6世紀第3四半期に相当するものと推察される。

#### 【第X期】

第24号住居址に代表される。しかし、この土器群は形態的に片寄りがあり、周辺遺跡の標式とするには問題を残す。すなわち、甕は口縁部が極端に屈曲しており、坏では内側に湾曲しつつ外反する口縁部を持つものが主体となっている点にある。この段階で特徴的な様相は、坏が扁平化することにある。前述した形態以外の坏として、口縁部が外傾するもの、内傾する坏身を模倣したのが見られる。このような形態を示す坏を組成に持つ一群としては、隣接する社具路遺跡第49号住居址があげられる。同住居址の甕の量は多く、セット関係を把握する上で良好な資料を提供しているが、口縁部の状態から大別して2種類にわかれる。一つは第24号住居址例と同じ口縁部が著しく屈曲したもので、今一つは口縁部が外反し最大径を胴部中央に持つ従来からのタイプで、第24号住居址には後者が欠落している。両住居址の坏の一部と同じ形態のものが認められる社具路遺跡第49号住居址(第71図)では、甕は第24号住居址とは反対に口縁部が著しく屈曲する一群を欠く。なお、最大径が口縁部に完全に移行し、直胴状を呈するものもセットとして見られる。1点の須恵器が共伴しているが、これは2段透かし長脚無蓋高坏の坏部(第71図13)にあたる。口縁部の立ち上がりが大きく全体に深みを増すことからTK43の範ちゅう(第71図14)に属する。本遺跡ではこの段階に所属する住居址が少ないが、社具



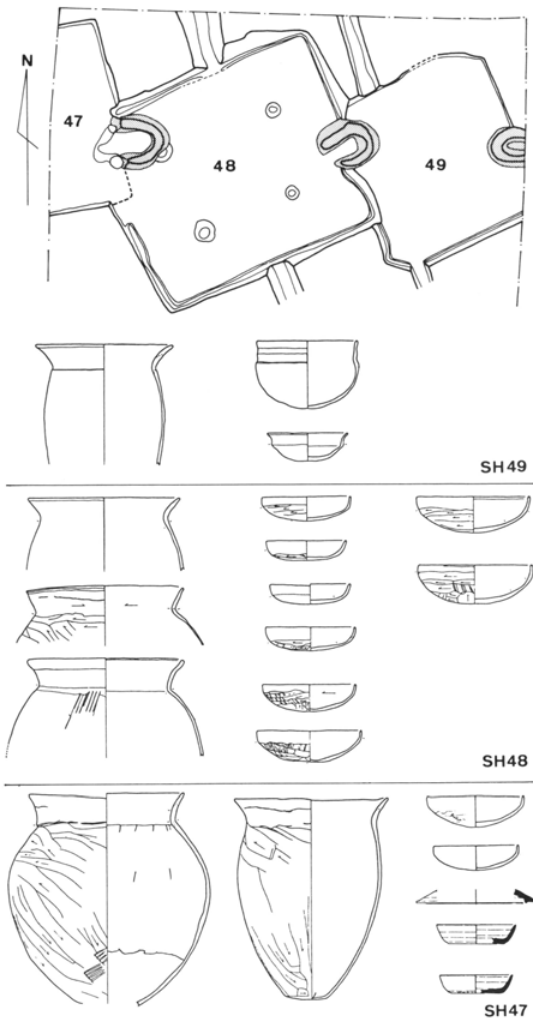
第71図 社具路遺跡第49号住居址出土土器集成(右下はTK43参考例)

路遺跡においては多く見られ、集落内における住居選地の移動が行なわれた可能性を示唆している。

本期は社具路遺跡第49号住居址例から帰属する時期の一端を TK43型式の時期、すなわち、6世紀後半の年代をあたえることができる。本期の土師器坏群は扁平化の特徴を示し、次段階の坏が矮小化する経緯や、次段階に TK209型式の坏を共伴することなどを考慮すると、須恵器坏が TK85～TK43型式にかけて扁平化し、TK209型式以降矮小化する変化と対応しており興味深い。

【第 XI 期】

第36A号住居址よりまとまった資料が得られており、これを基本とする。同住居址の土器群と同様の一群は、夏目遺跡第40号住居址にもとめられる。同住居址からは丸甕が見られる。坏は矮小化する特徴を示し、外傾する大きな口縁部に浅い体部を持つ形態のものが主体をなすが、兩住居址の出土例が示すごとく、坏身や矮小化していない前段階の形態も含まれる。同期に属すると考えられる遺跡に村後遺跡第1号住居址、川越田遺跡第3号住居址があげられ、何れも坏の矮小化を特徴とする。なお、第36A号住居址で共伴した TK209型式の坏から、本期は7世紀初頭の年代をあたえることが可能である。また、次段階との間には古川端遺跡第10、35号住居址に代表される段階が存在するが、本遺跡内では未確認である。あるいは第35号住居址に帰属する1点の坏が同段階に帰属するものかも知れない。近隣では夏目遺跡第49、75号住居址、社具路遺跡第25号住居址に類例をもとめることができる。



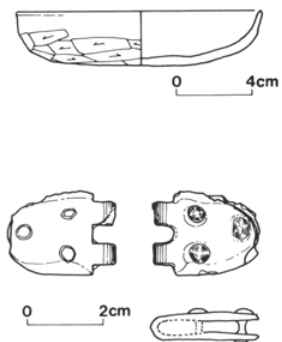
第72図 夏目遺跡第47、48、49号住居址と出土土器

の北限と推定される薬師遺跡第A号住居址では第39号住居址と同様の坏が出土しており、時期的に近接するものと考えられる。なお、本遺跡の西方に立地する今井遺跡群G2号住居址からは須恵器の坏身と蓋が逆転する段階で、宝珠つまみのある蓋を共伴する土器群が確認されており、第39号住居址の前段階に真間式最古の段階が存在することになる。したがって、本遺跡周辺における真間式期の変遷は今井遺跡群G2号住居址・薬師遺跡第A号住居址→南大通り線内遺跡第39号住居址→夏目遺跡第48号住居址→南大通り線内遺跡第83号住居址の順に変遷することになる。ちなみに、第83号住居址の一群は鈴木試案甕第5類期（鈴木 1984）にあたり、カマド袖内より

【第XII期】

第39号住居址が本期にあたる。内屈する口縁部を持つ坏と皿、疑宝珠つまみを持つ須恵器蓋が見られるが、甕の資料に欠ける。真間式期に所属する。本期に属するものは他に第68、71号住居址と第4次調査で検出され、現在整理中の第81、83号住居址があげられる。真間式自体は近年の資料増加によりかなり細分化されており、本期も当然のことながら数期に別かれるが、資料的に欠落が多く、第XII期として一括した。

近隣では夏目遺跡において第49→48→47号住居址への新旧関係が遺構の重複により把握することが可能で(第72図)、鬼高式期から真間式期への推移を観察することができる。上記の第49号住居址は一部で鬼高III式と呼称されているもので、第XIと本期のとの間に所属する段階の産物である。次の第48号住居址は真間式期にあたるが、坏は口縁部が直立ぎみで内屈の度合はゆるくなっており、第39号住居址例より新しい段階に属することを指示している。最も新しい第47号住居址の甕は、それまでのものに比べかなり短胴化しており、坏の口縁部が直立することや、共伴する須恵器等から国分式の古い段階に所属する。一方、本遺跡



第73図 南大通り線内遺跡第83号住居址出土土物



鍔帯金具が出土している（第73図）。

第 XII 期として一括された段階はほぼ真間式の消長と一致し、その期間は 7 世紀第 3 四半期から 8 世紀第 3 四半期の約 100 年間にあたる。

#### 【第 XIII 期】

本期は第 1 号住居址出土の台付甕 1 点のみで、多くを語ることは不可能である。鈴木試案甕第 7 類期にあたる。なお、同試案では第 6 類期より国分式の開始としている。

#### 【第 XIV 期】

国分式に該当するものではまとまった資料が得られた第 53 号住居址を代表とする。北武蔵型甕はくびれ部に段がつきだす。胴部はあまり張り出さずやや長胴な形態を呈する。台付小甕をセットに持つ。坏は口径が大きく、口縁部がやや外傾しだす。高盤を伴う。本期は鈴木試案甕第 8 類期にあたり、第 20、72、74 号住居址も本期に属するものと考えられる。ところで、本期は第 53 号住居址に見られるごとく、須恵器の需要が急激に多くなる傾向にあり、8 世紀第 4 四半期に位置づけられるものと考えられる。

#### 【第 XV 期】

第 51 号住居址の一群が該当する。甕は口縁部からくびれ部にかけてコの字型を呈するようになり、坏の口縁部は外傾の度を増す。鈴木試案甕第 9～10 類期にあたる。本住居址からは地名、人名が線刻された紡錘車が出土しており、「草田」の地名は 10 世紀ごろに編纂された『和名抄』に同名が記載されており、土器の編年観から同古文書の編集以前にかかる産物であることは明確である。須恵器の形態等から 9 世紀前半にあたるものと推定される。

#### 【第 XVI 期】

本期は第 9 A 号住居址のみで、鈴木試案甕第 10～11 類期に属し、将来前後する時期に包括される可能性を残す。

#### 【第 XVII 期】

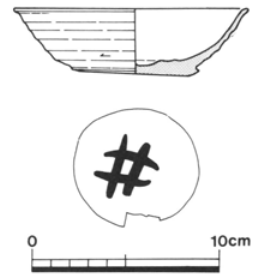
第 2 A 号住居址のみである。カマド内の支脚に転用された甕以外に器種構成は不明だが、本期にあたる鈴木試案甕第 11 類期は児玉町阿知越遺跡第 6 号住居址を基準に使用されており、同住居址からは口縁部が外傾する坏、須恵器の高台付坏、つまみのない蓋を共伴している。第 2 A 号住居址においても須恵器坏が出土（第 74 図）しており、底部には糸切り後に「井」字が墨書されている。

#### 【第 XVIII 期】

第 16 A、27、49 号住居址をあげうる。甕の完形品はないが、胴部上半が丸みを帯びる。コの字状に立ち上がる口縁部の上位は短く外傾する。住居址が小形化する傾向にある。鈴木試案甕第 12 類期に属し、第 16 A 号住居址からは「天」字墨書土器、銅鈴など特殊な遺物を伴う。

#### 【第 XIX 期】

南大通り線内遺跡において竪穴式住居址が廃絶する段階で、第 13 B、41 号住居址をあげうる。甕の資料を欠くが、坏は器壁が薄く、ヘラ削りは底部に集中する。須恵器の高台付皿を共伴する。児玉町



第 74 図 第 2 A 号住居址  
出土墨書土器

十二天遺跡第4 a号住居址と上里町中堀遺跡第5号住居址を基本とする。鈴木試案甕第13～14類期に所属する。なお、第13B号住居址は全時代を通じて最も小形化した竪穴式住居で、カマドを2基保有するなど、居住を目的としたものとは言い難い遺構である。

#### 【第XX期】

第I区東半において検出された大溝より出土した土器を標式とする。内耳鍋、陶器等かなり新しい様相が見られ、近世の産物と推定される。

土器の変遷に見る本遺跡の消長は、和泉式期より集落が発生し、周辺の遺跡（おそらく同一集落の一部）で確認された状態を総合すると、国分式期の新しい時期までほぼ連続的に継続した集落で、平安時代には「草田郷」の一部であったことが判明している。また、第51号住居址の主と推定される「大田部身万呂」の名が示す大田部集団は、その性格から平安時代をさらに遡り追跡される内容を秘めており、これについては次回の報告にて結論を述べる。

約700年前後継続した本集落跡も第XIX期から第XX期の間にはかなりの時間的空白があり、この点で集落自体の移動が考慮される。前者はおよそ10世紀前半ごろと推定されるが、興味深いことは、「草田」の地名が第XV期には出現していることが確実であるのに対し、同地名が記録されている『和名抄』編纂された直前の時期には消滅していることである。

本地方における古代末期から中世にかけての時期には、武蔵七党の一党である児玉党が台頭する。その党祖とされる遠峰維行は、現在の神泉村にあたる阿久原牧の管理者で、11世紀後半ごろの人物と推定されている。維行以降その子孫には児玉郡内の各土地が分け与えられたが、分家した子孫は新たに苗字を変え、その土地も苗字と同じ名称が付けられるようになった。現在本庄市内に見られる富田、今井、久下塚、四方田、牧西、児玉町の蛭川、塩屋、浅見、真下などの地名はこのころに発生したもので、児玉地方における古代地名が消滅する時期にあたる。維行より4代目にあるとされる親家は、12世紀中ごろの人物で富田氏を名乗り、およそ現在の大字西富田、東富田の範囲をその領土としていた。南大通り線内遺跡周辺の古代地名であった「草田郷」の地名が消滅するのはこのころと推定される。富田氏の館跡は、本遺跡の西南方に所在する西富田本郷遺跡内に堀の一部を残している。しかし、第XIX期から富田氏の成立までは約100年ほどの空白があり、この間の集落の動向については謎である。

## あ と が き

序文で教育長が述べられたように、本遺跡の発掘調査は昭和59年度より実施している。現状で、調査範囲内には約100軒余の住居址が存在することが判明しており、古代集落跡の中心部と推定される。言うまでもなく、出土した遺物は多量であったが、発掘調査後の整理作業は他の事業との兼ね合いから、時間的に制約の多い状況で困難を極めた。しかし、検出された遺構や遺物は、重要な内容を含むため、早急な公表が望まれたので先に遺構編を報告し、今回の遺物編を刊行する運びとなった。

住居址より出土した土器類は、完形品やセット関係を示すものも多く、考察ではこれらを整理し、遺構の切り合いによる土器編年を試行した。また、和泉式期より国分式期まで継続した息の長い集落跡であり、検出された遺構・遺物とも今後の研究に対し、重要な指針を与えるものと考えられる。

調査に際しては多くの市民の方々に御協力いただいた。また、児玉郡市埋蔵文化財担当者の諸氏にも種々のご教示をいただき、ここに感謝する次第である。

平成元年1月10日

増 田 一 裕 記

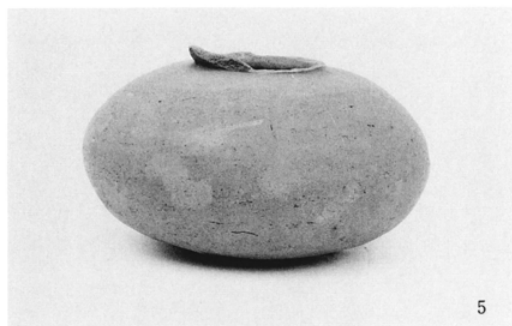
# 写 真 图 版



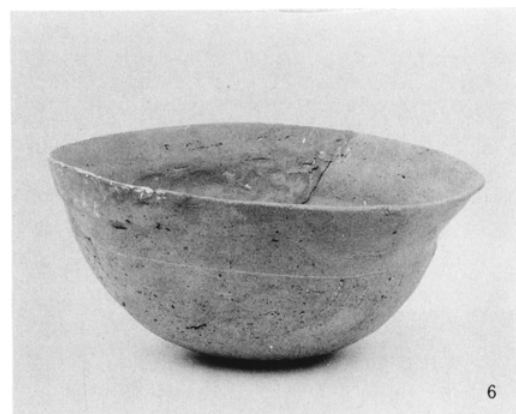


第1号住居址(1)、第2A号住居址(2)、第3B号住居址(3~7)出土土器

PLATE 2



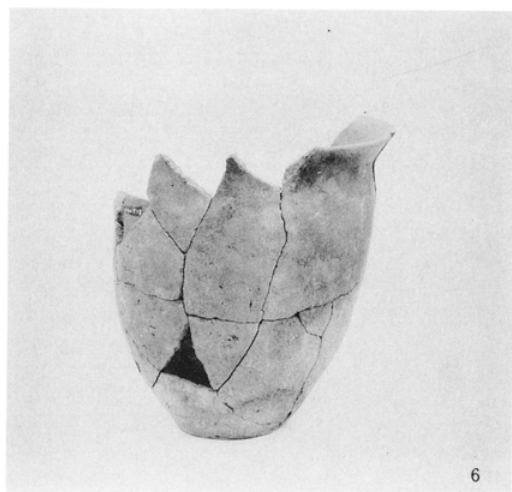
第6号住居址出土土器



第8号住居址(1~5)、第9号住居址(6~10)出土土器



PLATE 4



第10号住居址出土土器



1



2

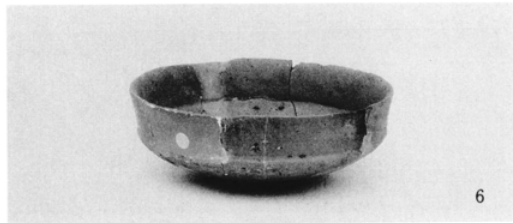


3

4



5



6



7



8



9



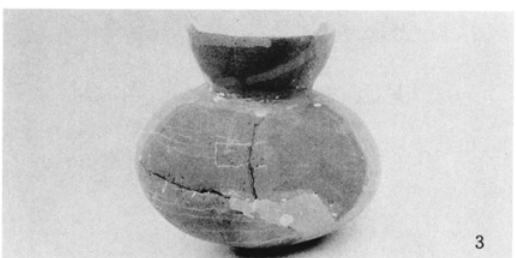
10



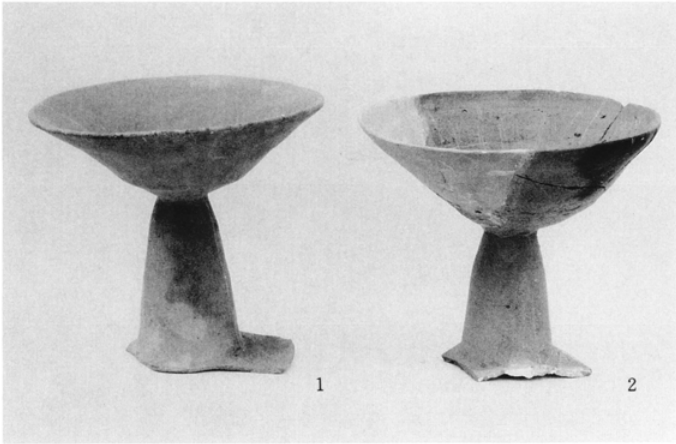
11

第10号住居址(1~4)、第11号住居址(5~9)、第12号住居址(10·11)出土土器

PLATE 6

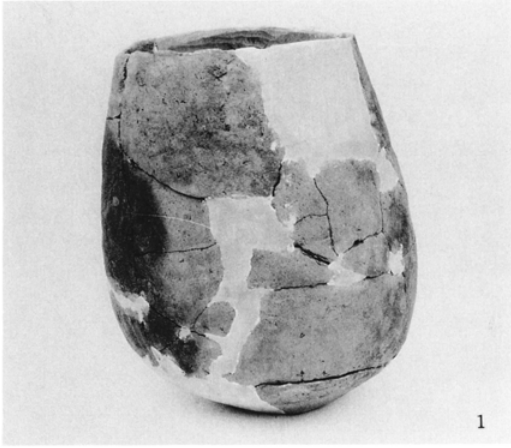


第12号住居址出土土器

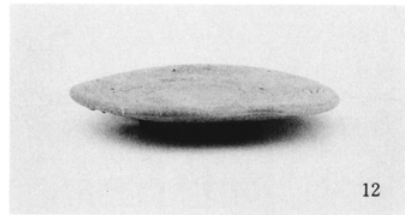
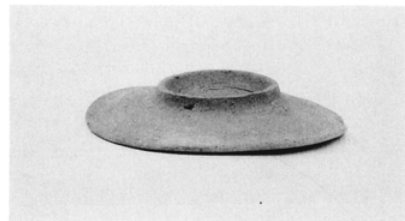
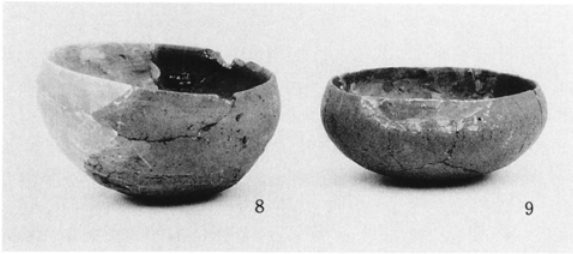
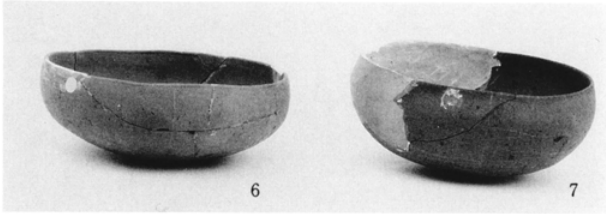
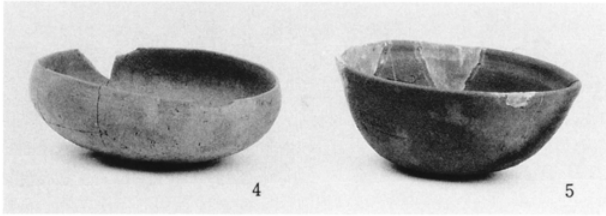


第12号住居址出土土器

PLATE 8

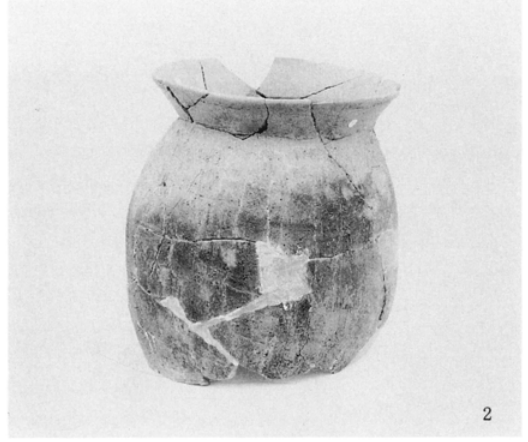
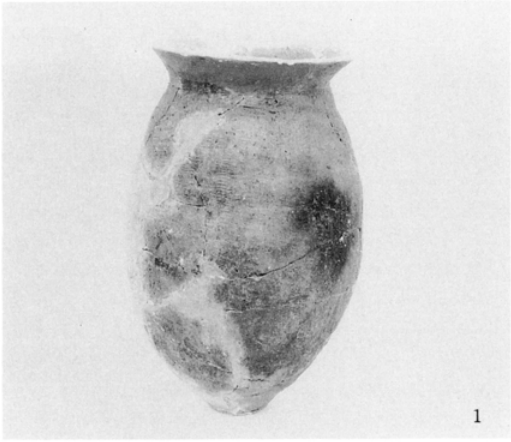


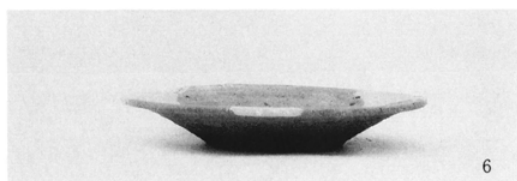
第12号住居址出土土器



第12号住居址(1~9)、第13号住居址(10・11)、第13B号住居址(12)出土土器

PLATE 10

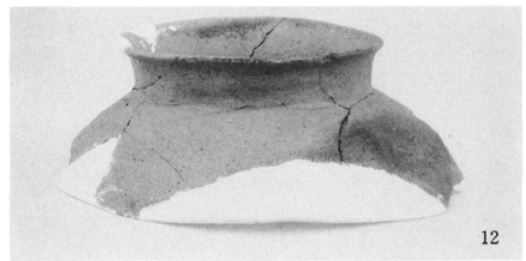
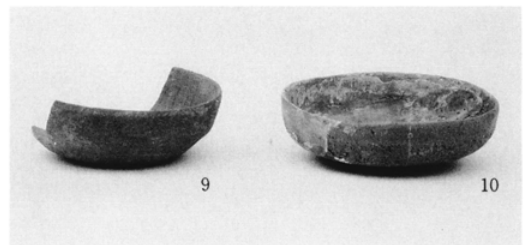
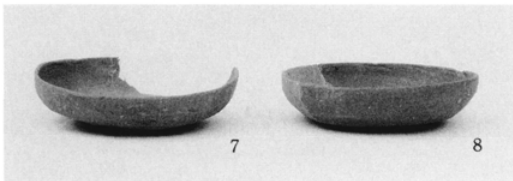
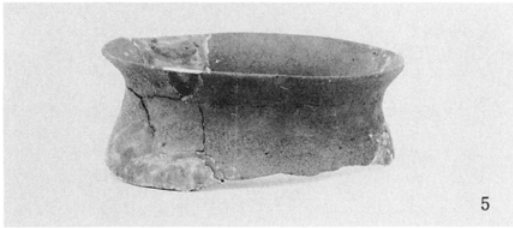
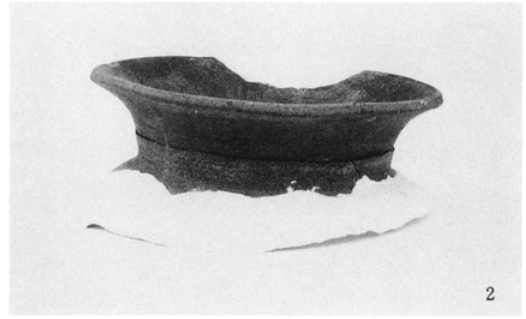




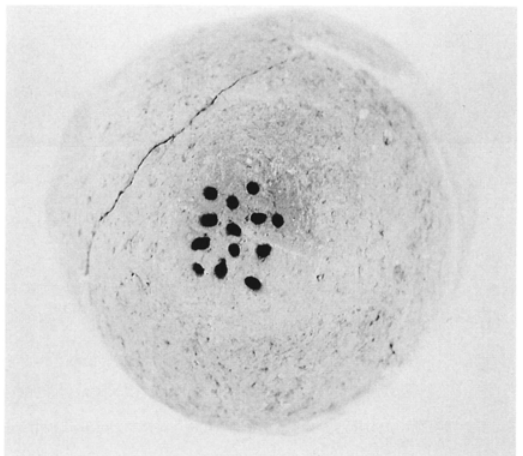
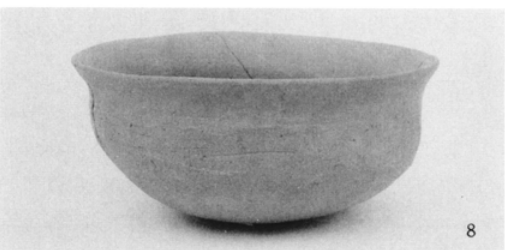
第15号住居址(1~3)、第16B号住居址(4~7)、第17号住居址(8・9)、第18号住居址(10~14)  
出土土器



PLATE 12

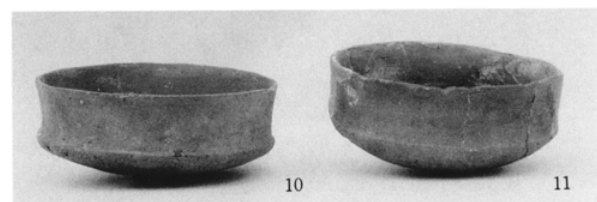
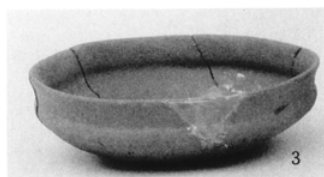


第19号住居址(1・2)、第20号住居址(3~11)、第21号住居址(12)出土土器

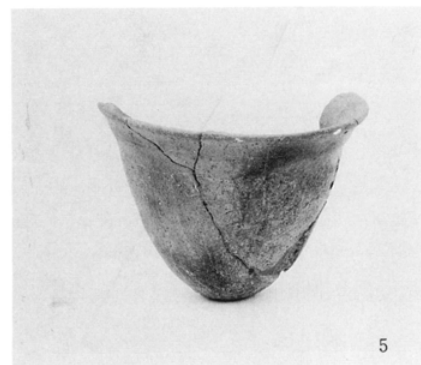


第24号住居址出土土器(右下6の底部拡大)

PLATE 14

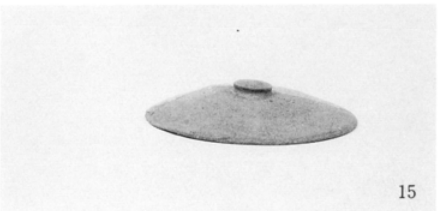
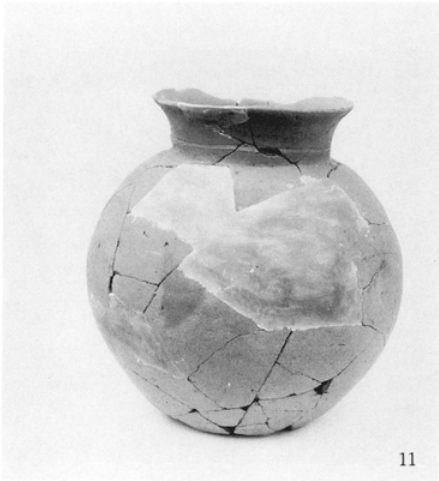
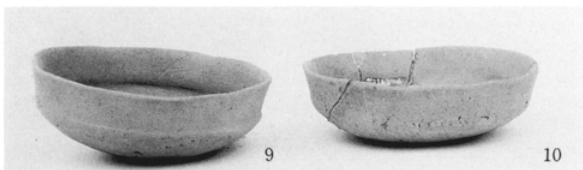
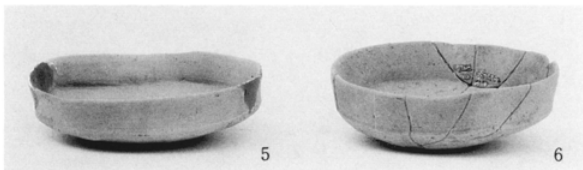
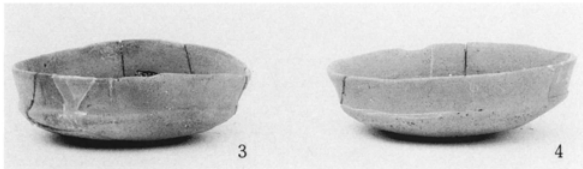
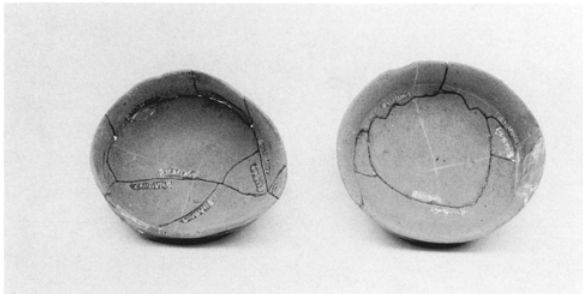
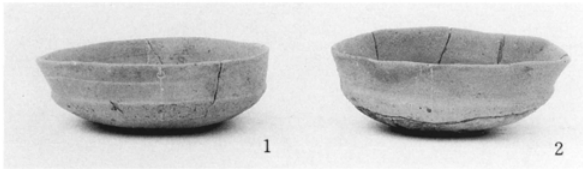
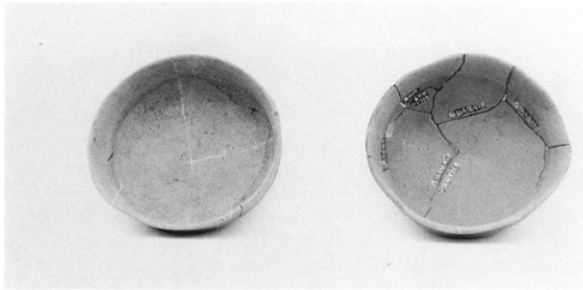


第24号住居址(1~6)、第25号住居址(7)、第26号住居址(8~14)出土土器

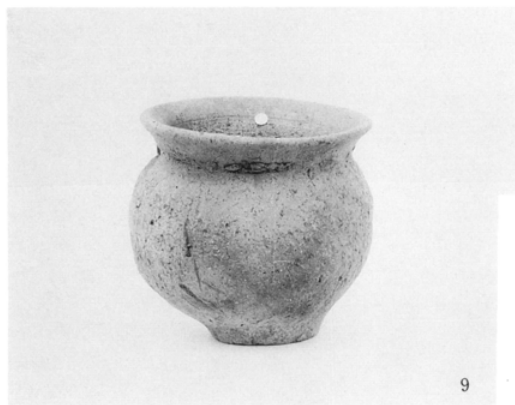
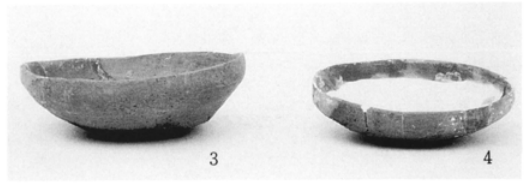
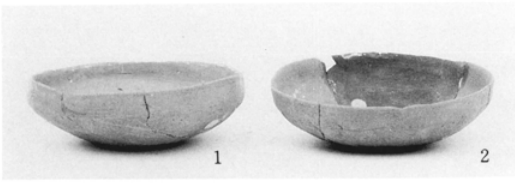


第36A号住居址出土土器(6・7は須恵器、7底部に黒斑)

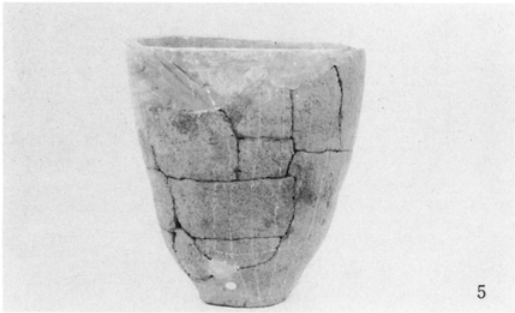
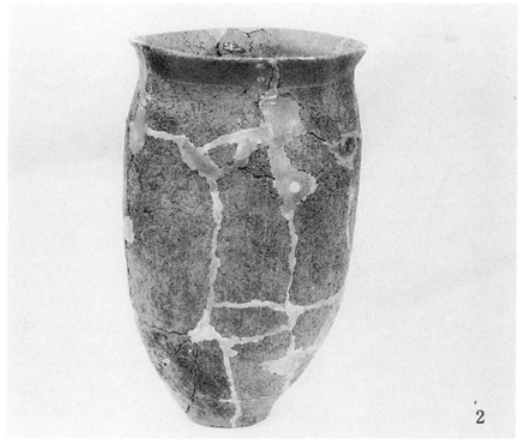
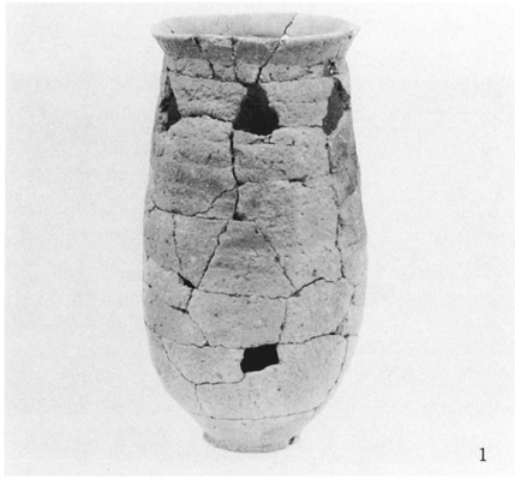
PLATE 16



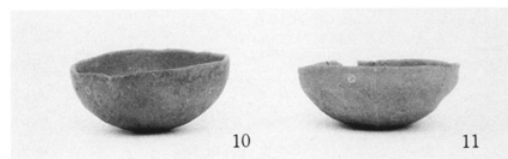
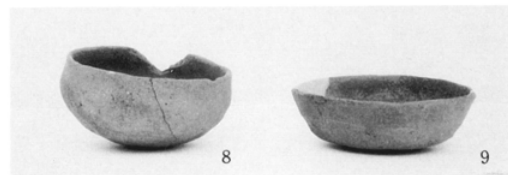
第36A号住居址(1~10)、第36C号住居址(11~13)、第36号住居址(14・15)出土土器



第39号住居址(1~4)、第42号住居址(5~13)出土土器



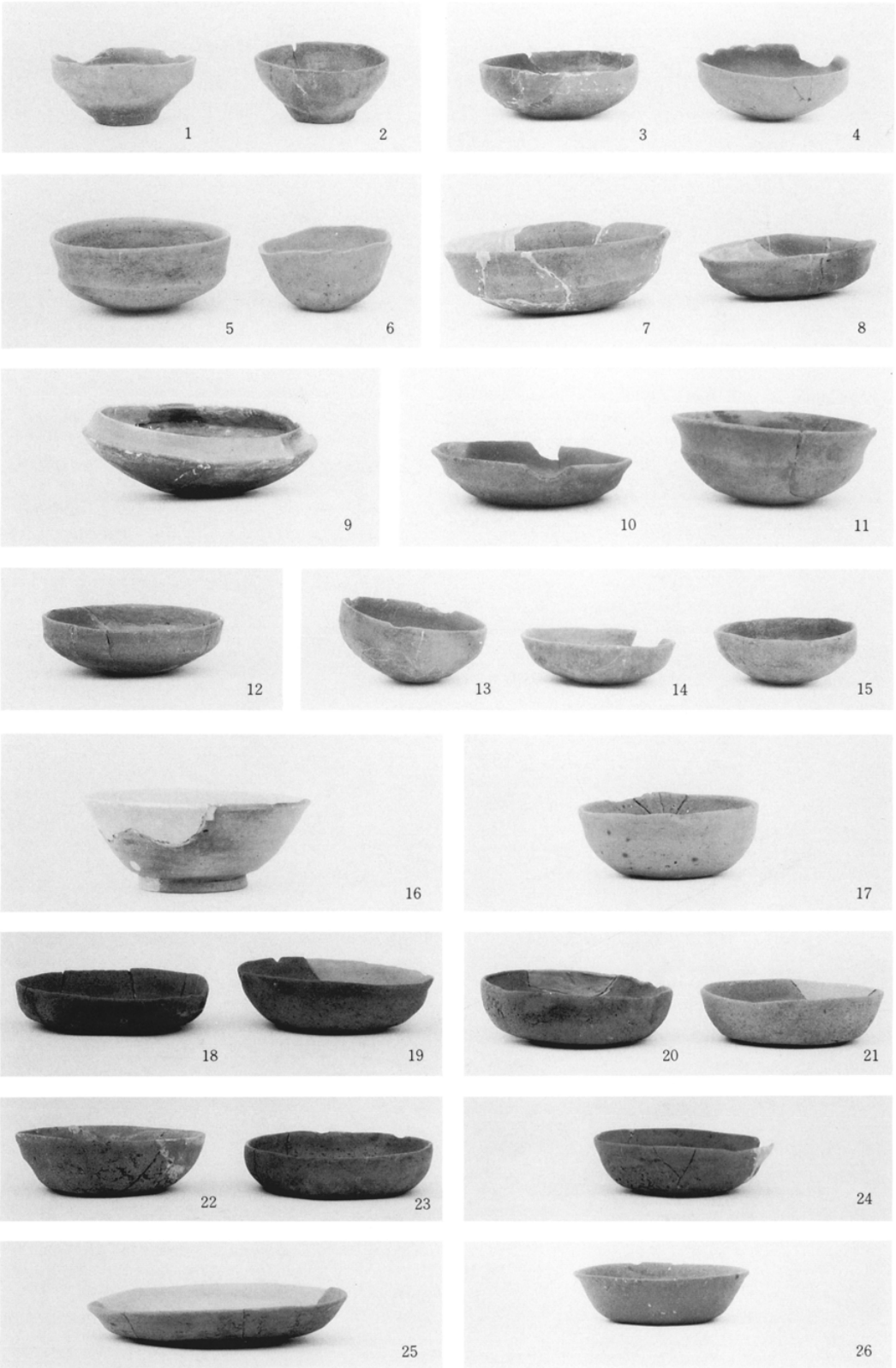
第43A号住居址(1~4)、第45号住居址(5~6)、第48号住居址(7·8)出土土器



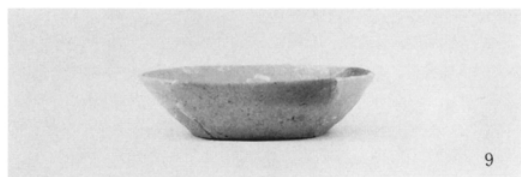
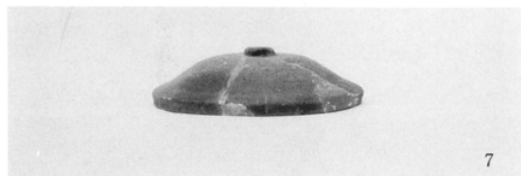
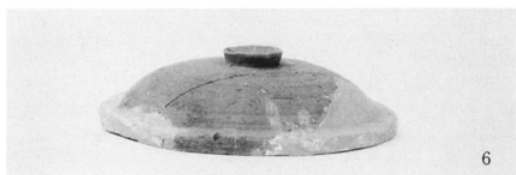
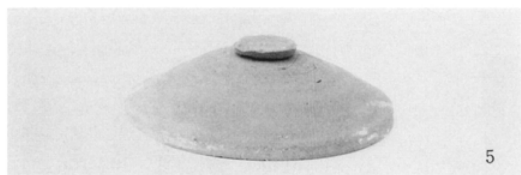
第48号住居址出土土器



PLATE 20

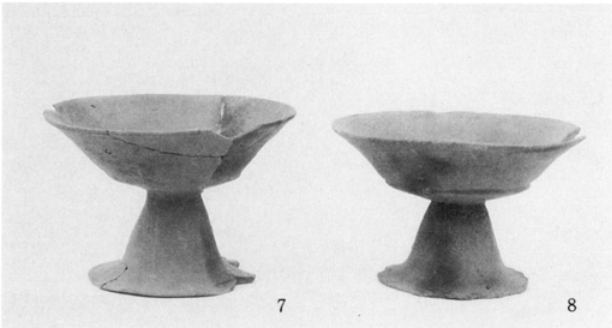
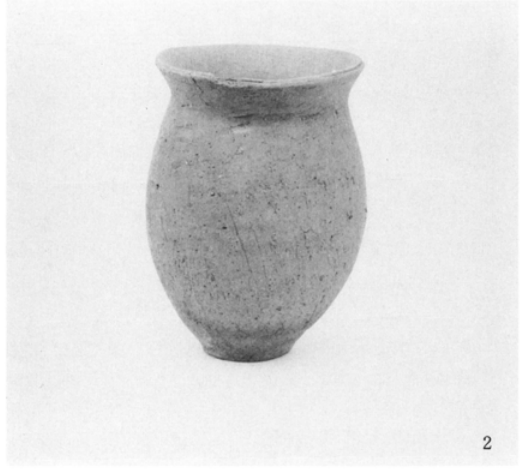


第48号住居址(1~15)、第49号住居址(16・17)、第51号住居址(18~26)出土土器

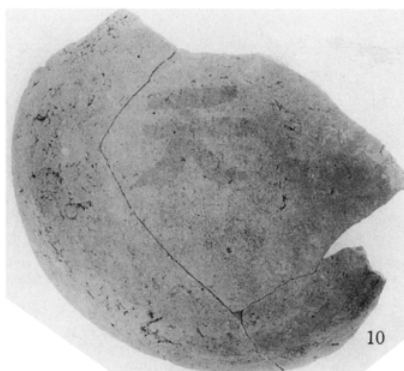
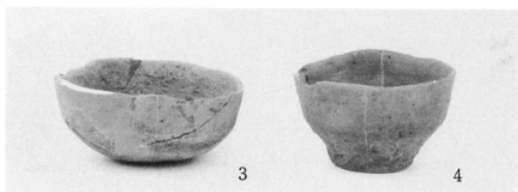


第53号住居址(1~11)、第58号住居址(12)出土土器





第61号住居址出土土器



第65号住居址(1~4)、第69号住居址(5~7)、第71号住居址(8)、第72号住居址(9)出土土器、追加：第16A号住居址出土「天」字墨書土器(10)、第43A号住居址(11)、第61号住居址(12)出土土器

## 南大通り線内遺跡発掘調査報告書II

---

平成元年3月27日 印刷

平成元年3月31日 発行

発行 本庄市教育委員会  
埼玉県本庄市銀座1-1-1

印刷 朝日印刷工業株式会社  
群馬県前橋市元総社町67

---







南大通り線内遺跡土器変遷表 1

<p>第II期</p>	
<p>第III期</p>	
<p>第IV期</p>	
<p>第V期</p>	
<p>第VI期</p>	
<p>第VII期</p>	
<p>第VIII期</p>	

南大通り線内遺跡土器変遷表 2

第IX期		
第X期		
第XI期		
第XII期		
第XIII期		
第XIV期		
第XV期		
第XVI期		
第XVII期		
第XVIII期		
第XIX期		